

稲門フィラテリー 51 号～ 60 号目次

2014 年 3 月～ 2016 年 6 月

号番号をクリックで目的号が表示、最終ページクリックで目次に戻る

51 号	オーストリア切手から考える 切手による比較文化笑論	875
	魯庵の郵趣観	883
	切手との出会い	886
	切手偏見 馬の切手	888
	命拾いで切手処分を考える	892
	切手収集と家庭サービス	894
52 号	印刷博物館見学記	899
	歌う DAIKU in ウィーンに参加して	902
	リトアニアに於ける初日カバー等の郵便再使用	903
	鎌倉につどう	908
	大珍品？	910
	世界文化遺産 富士山の切手	913
	切手に食を見る	914
	2 円切手「秋田犬」がウサギに踏まれた	916
	故 金井 宏之会員のコレクション 『日本手彫切手』 刊行	916
53 号	在横浜フランス郵便局と「デグロン君カバー」	919
	邪道！？ バーチャル切手収集	929
	稲フィラ会員の郵趣関係新刊書と寄稿記事紹介	934
	切手偏見 日本切手の花鳥風月	936
54 号	稲門フィラテリー第 15 回総会報告	943
	10 日間のアメリカ郵趣旅行	945
	米国リトアニア郵趣協会名誉会員とリトアニア郵趣事情	951
	幻のエンタィア	954
	稲フィラ会員の郵趣関係新刊書と寄稿記事の紹介	955
	歴史学者が愛でた暦と切手	956
	イギリス切手のデザイン	958
	クリスマス切手	960
	稲門フィラテリー見学旅行記 「会津への旅」	962
	2014 年日本切手発行状況	964
55 号	東欧で巡り合った郵趣仲間	967
	PhilaKorea2014 参観記	970
	ドイツ普通切手ゲルマニアシリーズ 国名表示 REICHS POST	
	低額凸版 2 色刷りと 5MK 凹版 2 色刷りの 版合わせの難しさ	974
	推薦図書「キッテデカ 2」	977
	オランダの切手に“Waseda” が！	978
	早稲田大学と新潟県	982
	53,54 号「稲フィラ会員の郵趣関係新刊書と 寄稿記事の紹介」に資料追加（2014 年分）	
	原宿駅前の切手屋	984
	箱根駅伝のコースをたどる旅	985

56 号	花の都の切手街	987
	ドイツ普通切手ゲルマニアシリーズと 日本普通切手田沢シリーズとの相似点	993
	神話に魅せられて	998
	国際展「副」コミッショナー体験記 ～ 切手展は出品書類が大事 ～	1002
	我らの大隈講堂	1006
	大隈講堂でオペラを	1009
	臭活の終活	1010
	大隈講堂切手の郵便局販売が終了 稲門フィラテリー送付先機関と登録状況	1011
57 号	FEPA(欧州郵趣連盟) LONDON2015 参観記	1015
	夜景シリーズ切手の発行	1019
	スペイン EA(エア) 村滞在記	1020
	切手からドイツを考える	1026
	年をとルーペ	1032
	磯野さんのなぞ解決せず	1033
58 号	稲門フィラテリー第 16 回総会報告	1035
	上海駐在で見た中国の文化と郵趣	1036
	荒木会員リトアニアの philatelic website に登場	1041
	金井コレクション「墨六」の現状について	1042
	龍 100 文第 2 版未使用シート	1044
	2015 年日本切手の発行状況	1046
59 号	抜刀隊とフランス軍事顧問団	1051
	小型シートを考える	1059
	凹版切手を楽しむ	1066
	貴重な資料発見	1067
	週刊文春に香りが	1068
	長谷川八千代さん 100 歳を祝う 故長谷川正純氏のお母さま	1069
	2015 年稲フィラ会員執筆の郵趣関係書と会報等の寄稿記事	1070
60 号	懲りずに 神楽・まつり・そして神楽	1071
	絵葉書で見る「地下鉄・東京駅・東京中央郵便局」	1077
	郵便秤	1082
	POST BUS	1085
	10 年ぶりの授業 そして「学年末考查の問題」と切手	1088
	テレビに映った会員二人	1090
	切手の中の浮世絵	1092

稲門フィラテリー

第51号

2014年3月1日発行

オーストリア切手から考える

切手による比較文化笑論

小川 義博

オーストリア切手を集めて半世紀、ただ発行順に整理してきた。その作業もそろそろ終わりにしなければと感じ、アルバムをじっくり見直した。すると、今まで見過ごしていたことが気になりだし、整理してみた。おのずと、日本切手では見られないことが見えてきた。そこに、切手から文化、社会の比較が当然できるかと考え、この駄文を試みた。切手による比較文化笑論とお笑いいただければ幸いである。

オーストリアは連邦共和制国家（9の州から構成）、北海道の面積に大阪府と同じくらいの人々が住み、人口密度は島根県程度。民族構成は90%がゲルマン系、ほかにハンガリー系など東欧系、ユダヤ系民族で、宗教は78%がカトリック、5%がプロテスタント、ほかにイスラム教5%、ユダヤ教。このことを頭にいれて、1942年以降2010年頃までの切手約2300種を検討した。

まず、切手の形状はわが国より普通切手、特殊切手ともに大型である。発行状況はわが国の

大体3分の1程度、発行枚数は10分の1程度と考えられる。近年、変種切手の発行が見られるようになり、刺繍切手、クリスタルビーズ貼付切手、偏光効果印刷切手等が発行されてきている。また、我国で常態化している多種類単一シートも年間数回発行されるようになり、小型シートの発行も徐々に多くなっている様である。一番の変化は単色繊細な凹版印刷だけの切手が発行されなくなってしまったことである。復刻での発行を別にするとも1997年の著述家テオドル・クレマー生誕100年記念切手を最後に凹版はすべてグラビアと一緒に印刷されており多少の違いはあるが多色刷りとなり、過去の渋い、シックな美しい切手がみられなくなった。さらにグラビア印刷だけの切手が増えてきて過去のオーストリア切手の面影はなくなってしまっていくことは残念なことである。また、切手のためにデザインされたものが多く印刷されてきて、切手の下に、発行年（中央）、デザ



変種切手のうち

クリスタルビーズ貼付切手 と 刺繍切手



凹版印刷の切手の日の切手 ルーペの中の切手も凹版印刷

最近、多い凹版+グラビア印刷のモダンアート切手



3つの版で印刷された普通切手の中の2種
デザイナー名が下左、彫刻者名が下右に記された凹版
デザイナー名のみ中央に記されたのが平版

イナナー（左）と凹版の彫刻者の名前（右）が印刷されていた。切手の右下に小さい文字が見られれば凹版印刷がされていると判断できた。しかし、これも写真使用、撮影者と思われる記載が散見されるようになってきたようである。

大型で凹版の切手を中心に戦後の切手を発行目的、デザイン、等から整理すると、次のようなことが浮かび上がってきた。

○周年発行切手が多い

50年、100周年のような周年記念発行が全体を通じ非常に多いことが特記される。全体で550種の切手が周年切手であり、4種に1枚は周年切手である。これら周年切手を周年と発行内容を関連させて整理してみると表1のようになった。500年以上の発行内容に地方・都市に関するもの、宗教に関するものが多くある。これはこの国の成り立ちが古い歴史をもつ地域、都市、宗教にあり、現在もこの事実を確認

表1 周年切手の発行内容と周年数

周年	人物 生誕 死去	文化 資源 行事	政治 行政 外交	地方 都市	社会施設 資源 インフラ	宗教	教育関係	総計
～50周年	22	19	32	6	5	8	2	94
～100周年	112	40	29	9	37	2	3	232
～150周年	35	7	12	1	7		6	68
～200周年	27	17	6	1	1	3	3	58
～250周年	10	1	1					12
～500周年	12	1	1	6		1	4	25
～1000周年	2		2	34	2	11	1	52
～1500周年				11		2		13
～2000周年				2				2
総計	220	85	83	70	52	27	19	556



ブレゲンツ市2000年
記念切手

して成り立っていることを表わしているのではと考えた。例えば、オーストリアのフォアアールベルク州の州都2000年切手がある。紀元前のケルト人集落を起源としハプスブルグ家の支配下になった都市の2000年を記念している。

○宗教関係切手が非常に多い

カトリックが国教となっていると考えてもよい国柄、全体で約15%の切手が宗教に関連していると考えられる。さらに、その内容をみると非常に敬虔なカトリック信仰を強く感じることができる。まず、クリスマス切手、



敬虔な信仰を感じさせる切手
クリスマス切手 リンツ司教管区200年記念切手

多くの国がサンタ、プレゼント、デコレーションといった本来の目的から離れたテーマでの切手が多くなっているが、オーストリアは1、2枚の例外を除き、キリスト生誕を描いた切手で統一されていること、次いで宗教界での事項が切手で記念されていることからである。加え

て、司教管区、司教監督区、司教区、守護聖人、聖人、聖墳騎士団、枢機卿死去、法王動向等の周年、牧師の生死で発行されていること、また、修道院の建物、美術品シリーズ、聖堂再建切手に表現されている宗教芸術に関する切手が多く発行されていること、さらに聖堂とは反対に片田舎の道端に建てられたキリスト十字架像なども切手に見られること等からである。また、13日の祭日のうち10日が宗教に関わる日であることも宗教がわが国と異なる社会的位置づけにあることを考えさせる。(宗教以外は元旦、メーデー、建国記念日の3日)

○人物に関する切手が非常に多い

人物の生誕、死去の周年を中心に約350人が切手になっている。特殊切手の5、6枚に1枚は人物切手ということになり非常に多い。人物切手の多くが凹版印刷で顔が表現されているので美しい仕上がりとなっている。人物の対象領域も広く、わが国のように文化人中心でなく、学術文化、スポーツ芸能に加えて政治家も対象となり、大統領から奇術師まで幅広い領域で活躍した人物が切手になっている。なかでも、音楽関係の人物が5分の1、60人を超えており、



幅広い分野の人物が切手になっている

切手デザイナー	精神分析医	奇術師
モーザ	フロイド	デブラー
没後50年	生誕125年	生誕200年

そのうち約50人がモーツァルト、ハイドン等作曲家であることはお国柄であろう。また、はがき発案者、切手の先駆者、切手デザイナーと切手関係の人物4人が切手になっていることは切手上的デザイナー、彫刻者名の印刷とあわせ、切手に対する意識、関心が高く、わが国との相違を考えさせる。

○州、市町村等、地方自治に関する切手が多い

オーストリアは連邦共和制国家である。さらに、中世からの自治を維持した都市国家、城塞

都市を歴史にもつ都市が多い。このため自治体の歴史を記念する切手の発行が非常に多くなっていると考える。わが国でこのような記念切手を強いてあげれば、開府(仙台、萩、江戸)、開都、遷都に関する6件33種位だと考える。対して、オーストリアは約80件80種も発行されており、周年も50年から1200周年の範囲で発行されている。中でも、表1の如く、700年から850周年の発行件数が多くみられ、12、13世紀に地域の多くの町が自治権をもつ



地方の視点を重く見る切手

フェラブルック市	ザルツブルグ司教区と同市鉄道	
850年記念	1200年記念	100年記念

た都市に発展したことがわかる。さらに、宗教的要因が加わる司教区、司教監督区など地域の宗教の記念時にも切手が20種程度発行されていること、地方の鉄道、登山鉄道、さらにトラムの周年記念切手も22種発行されている。このように、地方の歴史を互いに尊重することで国を成立、存続させていることを感じる。

○自然だけを描いた風景切手が非常に少ない

美しいアルプスの山々に恵まれるオーストリア、風景の描かれた切手も多い。しかし、拡大してじっくり眺めるとわが国の風景の描かれた切手と比べ、自然風景だけを描く切手が非常に少ない。どこかに、城、民家、道、牧柵等が描かれている。例えば、1945～47年に発行された34種の風景の普通切手をみる2種だけが自然風景のみで残り32種には建物等が描かれ



1945年風景シリーズ34種中の自然のみの2種



1973-83 年発行美しきオーストリアシリーズ
自然のみの2種

ている。

また、1973～1983年に発行された28種の凹版＋グラビアで印刷された「美しきオーストリアシリーズ」普通切手も2種だけが自然風景だけで、残り26種は自然と建物が同じか、建物に重きを置いた構図になっている。オーストリアでは風景、景色を捉えるとき、人の手が加わったものと自然と同じウエイトを置いていると感じさせる。

また、1984～1988年に発行された特殊切手の自然の美観シリーズをみるとその感をさらに深くする。19種のうち4種に木道のようなものが描かれており、一種にはどうしてこの建物が？という感じのものがある。美しい山をバックに場違いなレンガ外壁5階建の建物が描かれている。このような構図はわが国ではまずとられないであろうと考える。さらに、注意を引く切手が3種ある。滝、鍾乳洞、森を部



1984-2001 年発行自然美観シリーズ16種に
みられる気になる2種の切手

分的にアップし、洞窟生成物（鍾乳石、石筍、石柱など）、流れ、樹木幹をズームアップで描いたものであり、この構図もわが国ではとられないのでは考えられ、風景、自然の捉え方、表現に相違がみられることを感じた。

さらに、わが国では意図的に避けられるであろうものが、逆に意図的に切手に描かれていると感じるものがある。それは柵である。鍾乳洞通路、公園内散歩道、牧場、田舎道等に造られた柵が14枚の切手にみられる。こんなことから自然の捉え方、自然への思いが異なることを感じさせる。

○動植物の切手が少ない

わが国の切手のうち、花、鳥、虫、魚、動物を描いたものを数えるとなんと約1200種（グリーティング、ふみの日、年賀切手を除く）を超え、5枚の切手のうち1枚には動植物が描かれている。対して、オーストリア切手を見ると動植物が描かれているものは非常に少なく約



世界狩猟会議記念切手と
狩猟と環境シリーズ切手の
1種

90種と、20枚に1枚にやっと描かれているにすぎない。これら90種の内容をみると、花の描かれた切手約40種の多くは結核予防、ガーデンショーを目的に発行されたものである。また、鳥、動物を描いた切手35種も、愛護、保護目的の発行は最近になってであり、過去は狩猟会議、狩猟展、狩猟と環境という狩猟に関連する切手20種がすべてであった。

鹿が描かれた切手は4種発行されているがすべてが狩猟に関連しており、撃ち落とされた鳥が逆さに描かれた切手も見られ、狩猟民族と食習慣ということを考えさせられる。

わが国で狩猟に関連する切手は強いて探せば、2種の捕鯨を描く普通切手であろう（国際捕鯨委員会 (IWC) は除く）。これら以外に狩猟、



オオライチョウを狩猟の獲物として逆さに描いた国際狩猟展切手 と わが国唯一の狩猟に関与すると思われる捕鯨を描いた普通切手

そして漁業に関する切手はないか。今後も、一般哺乳類狩猟は絶対に切手にはならないであろうし、食糧事情が緩やかな時期であれば捕鯨場面も同じく切手にはなかったと考える。この切手、世が世であれば、グリーンピースの豆デッポウの集中砲火をうけたであろう。農耕文化と狩猟文化の異なりとそれに繋がる食文化と時代背景を考えさせてくれる動物、鳥切手である。

このように動植物に対する思いの違いが切手発行に明確に表れていると考える興味深い切手がある。1952年ウィーン動物園開園200年切手である。動物園の切手と言えば、数種の動物を大きく描くのが普通であろう。ところがこの切手なんと建物が大きく中央に描かれ、丁寧に見ないと4辺のツル植物に配された9種の動物に気付かないでしまう切手である。この動物園の建物を見て、風景切手の建物の存在を考えさせられた。わが国は切手に花鳥風月を重んじたデザインの切手が多いが、風景切手で述べたように、オーストリアは人の関わった製作物、建



建築物を重視したウィーン動物園200周年記念切手

物等と人物、個人を重んじたデザインの切手が多いと感じ、かなり異なった考え方から切手デザインが発想されていることを痛感した。

○博物館、美術館、展覧会、大学等、学術文化に関するものが多い

国の歴史によるのであろうか、博物館、美術館、劇場等、文化発展目的の施設の切手が非常に多く発行されている。わが国でも発行されているが、大きな国立博物館、美術館の周年記念が中心で、その他は観光PR目的である。オーストリアでは、美術館、博物館、劇場、オペラ座等が周年切手を中心に45種発行されているがそのほとんどが地方の施設で、博物館も工芸、技術、自然、民族学等、幅が広い分野の博物館である。これら周年が100～175年であり、この地方の江戸末期から明治期の文化の質に興味を抱かせるものである。



民俗学博物館50年



州立博物館150年切手

さらに、大学、学校の切手も100～400周年記念発行で、馬術、美術、工科、獣医、音楽等、幅が広い分野の教育の歴史背景が前述した文化施設の基礎となっていることを考えさせる。



ウィーン大学625年切手



スペイン乗馬学校400年切手

このような歴史、文化的環境が背景にあるためであろう、展覧会を記念する切手が約40種と非常に多く発行されていることが注意される(切手展は46種)。州、市、地方展覧会が8種あり、展覧会の内容にも地方を展示対象とした地方尊重的社会を感じさせるものがある。さらに、美術展以外に橋と砦、作曲家、鉄と鉱石、

鉱物と化石、狩猟、侍と芸者展といった多くの分野の展覧会が取り上げられ切手になっていることは文化への関心の幅と深さを示唆してはいないだろうか。



スタイアマルク州の
橋と岩展覧会

鉱業と鉱業の歴史
展覧会

オーストリアの学術、文化を考えると音楽の領域に触れざるを得ない。切手に見られる音楽の観点では、作曲家、指揮者等の前述した人物切手約 60 種以外に多くの音楽に関する切手約 40 種が発行されている。曲目（きよしこ



「きよしこの夜」作曲 「美しき碧きドナウ」作曲
150 年切手



100 年切手



ザルツブルグ州立劇場
200 年切手



ウィーンフィルハモニー
125 年切手



ウィーン男声合唱団 150 年



ウィーンフィル
ニューイヤーコンサート

の夜、美しき碧きドナウ)、劇場、楽団、音楽祭、合唱団等の周年に切手が発行され、さらに、ピアノ製作、コンサート開催でも発行されており、さすが音楽の国ではといえる切手が多く見られる。

○切手のデザインに直接的なものが多い

オーストリア切手にわが国の切手には見られない悪く言えば、どぎつい直接的なデザイン、良く言えば、訴えるものがなにか分かりやすくデザインした切手が多くみられる。これは国民性というか文化の違いが切手に如実に表れているのではないかと考えさせられる。

まず、被占領国という立場の違いを考慮しても、このデザインはすごいと思うものが反ファシズム、捕虜救済シリーズ切手の一連のデザインである。怒り、苛酷な生活を直接、目に訴えるものである。



反ファシズム

キャンペーン切手



捕虜救済

また、日常生活場面での社会的啓蒙キャンペーン目的の切手のデザインは恐怖、痛みを直接訴えると同時に理解しやすいデザインで、わが国のソフトに訴えているデザインと明らかに異なる。加えて、血をそのまま赤で表現した切手が存在することに社会の背景にあるものの違いを感じさせられた。わが国の切手



シートベルト装着
促進運動

リウマチ治療
推進運動



女性に対する暴力
根絶運動



世界人権宣言 30 年



薬物依存防止運動



(上) 国連難民事務所 50 周年切手、両手、口から流れる血を赤く表現

(右) 強制収容所解放 50 周年切手 (右) 階段上から流れる血を赤く表現



2002 年発行オーストリアでの休暇シリーズ普通切手 2005 年改値加刷は牛の影が値を消し、牛を虎に化けさせ、柵の中に入れられてしまう。他の 6 種も奇抜な加刷がなされる。



モダンアートも大胆に切手に

○勤労者、労働組合に関連する切手が多い

国際的立場からであろう、中道的政治が長く続いたことで、労働関連法律、産業別労働組合の周年、労働環境改善を啓蒙する切手などが 30 種ほど発行されている。中でも 労働医学、労働者スポーツといった勤労者の健康増進と生活向上を目的とする切手と一連の職業別に労働環境の改善を訴える切手の存在が注目される。また、人物切手の多い中、労働組協議長の生誕 100 年の 1986 年に発行された切手の存在はこの時代の労働組合の存在の大きさを考えさせられるが、2000 年以降、この種の切手発行は減少しているようである。



郵便電信労働組合 50 年



建設業の労働環境

○移動運搬手段の歴史の相違が切手に見られる

文化伝来上、地形上、制度上の問題から我が国で存在しなかった馬車の存在とその影響の姿が意外な切手にみられている。それは切手収集に関わる切手に馬車とバスが描かれていることである。手紙と人、物を運んでいた馬車が郵便事業に引き継がれ、経営形態は変わっても、ポストバスとして現在も運行していることを表している。このバス、スイス、ドイツ、イギリス(廃止?)、北欧などで、今も活躍している。各国でホルンのマークを付けたバスが切手になったり、玩具になっている。このバスに牛車、駕籠、輿の移動文化の日本との違いを痛感させられる。この馬車が発達しないで明治を迎えた理由が日本歴史の一つの謎であるということを知り切手から教えられた。



上左・切手の日の切手にザルツブルグのバスターミナルのPOSTBUS 上右・POSTBUS75周年記念切手

下左・2008年国際切手展小型シート、チェコ-オーストリア間郵便馬車 ホルンの郵便マーク

下右・英国 1985年 350 Years of Royal Mail Public Postal Service



○同一対象を繰り返し切手にすることが非常に少ない

わが国では同一人物、建物、生物等が10種類以上の切手に印刷されている。具体的には、富士山、さくらを除いても、国会議事堂、タン

チョウ鶴、前島密、法隆寺五重塔、姫路城、ペンギン、数えるのに苦労するほど多くの建物、生物等がくりかえし切手に印刷されている。反して、オーストリアは何回も切手をにぎわす人物、建物等は少ない。初代大統領、モーツアルト、クリムトの画、セメリング鉄道高架橋、国会議事堂、オペラ座が4~7種程度の切手に印刷されているにすぎない。小国であるのに、対象を重複させずに、切手を発行していくことができるのは世界文化遺産を多く持つお国柄だけではないであろう。

この他、少数民族融和を目的の切手からバルカン半島に接する国として、複雑な問題を抱えていることが感じとれる。



オーストリアの誇り モーツアルトとクリムトの切手も少ない

このように収集を終わるにあたって筆をとり、もっと切手を丁寧にじっくり見て、アルバムに整理できていたらと反省させられることになったが、時すでに遅しである。



少数民族融和切手

魯庵の郵趣観

黒川 清知

先頃部屋の整理をしていたら、懐かしい本が出てきました。早大教授の五十嵐力文学博士編「純正国語読本・巻五」です。裏表紙には3年C組と私の名前が下手な字で書いてあります。中学(旧制)3年生ですから昭和19年です。戦争がだんだん激しくなり多分勤労動員に駆り出される前のほんのひと時、国語の授業で使われ

た教科書です。

この読本は昭和12年7月発行が初版で、私たちが使ったのは昭和18年7月発行の訂正4版です。和綴りで中身はお粗末なわら半紙です。中を繻くと明治時代の評論家で小説家の内田魯庵(1868~1929)の「郵便切手と玩具」と題した随筆が眼に留まりました。他の文章に

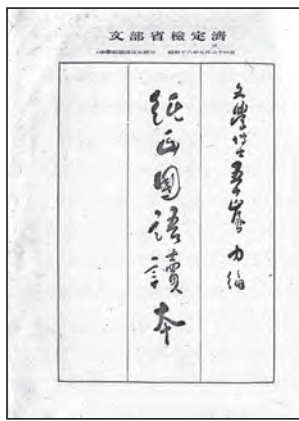
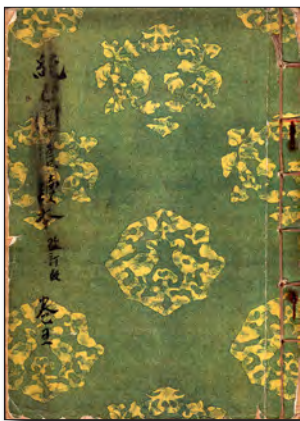
は赤の傍線が何箇所引いてありますが、この文章にはそれが一切ありません。先生が飛ばして進めたのでしょうか。私には記憶がありません。

この文章からいくつかを紹介したいと思います。

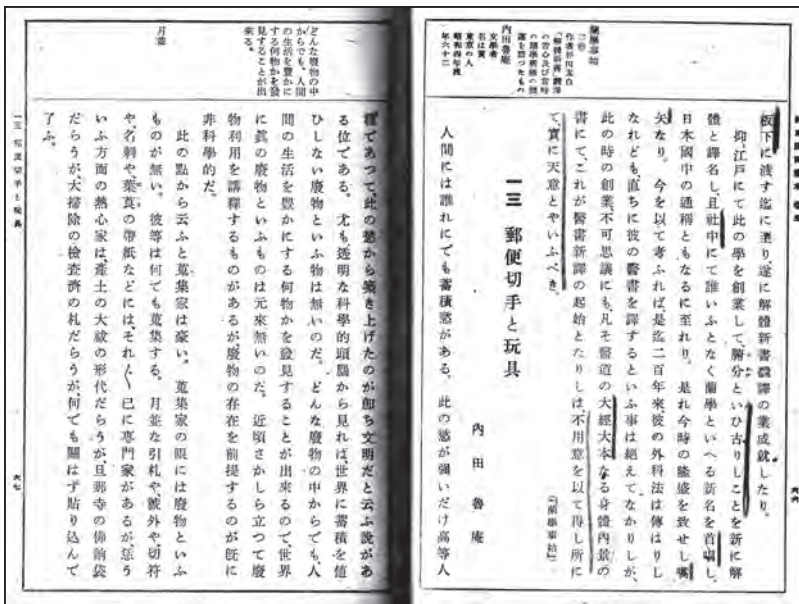
『人間には誰れにでも蓄積慾がある。この慾が強いだけ高等人種であって、此の慾から築き上げたのが即ち文明だと云ふ説がある位である。尤も透明な科学的頭脳から見れば、世界に蓄積を値ひしない廢物といふ物は無いのだ。どんな廢物の中からでも、人間の生活を豊かにする何

物かを発見することが出来るので、世界に真の廢物といふものは元来無いのだ。』と廢物なるものはこの世に存在なしと説いています。

『此の點から云ふと蒐集家は豪い。蒐集家の眼には廢物といふものが無い。彼等は何でも蒐集する。月並な引札や、號外や、切符や、名刺や、景莖の帯紙などには、それぞれ已に専門家があるが、恣ういふ方面の熱心家は、産土の大祓の形代



昭和18年発行 文部省検定 和綴じ教科書
純正国語読本
表紙 中表紙



だらうが、旦那寺の佛餉袋だらうが、大掃除の検査済のれだらうが、何でも關はず貼り込んで了ふ。』

そう云われると私にも当てはまる。妻からいつもこんなガラクタ捨てなさいと言われるものも集めています。

『蒐集家には廢物が多い。何でも集めて見れば趣味を生ずる。人もするものでは面白くないから、人の手を着けないものをと考へ考へ、目を皿にして蒐集物をハントする。』

『蒐集の入門は郵便切手と土俗玩具だ。前者は小學時代からそろそろ初める。後者は中學時代からだ。』

『性質から云ふと郵便切手は知識的で、土俗玩具は趣味的だ。郵便切手の蒐集は第一に地理的知識を與へる。第二に歴史を教へる。例へば、此の頃の中学生には、布哇が獨立の帝國であつたことを知らないものがある。が、カメハメハの顔の附いた切手は、此の太平洋の英雄を憶ひ出させる。又ナポレオンの顔の切手が數種あるが、服装に由つて將軍時代、執政官時代、皇帝

時代と、那翁の一代を物語つて居る。近くはロマノフ三百年の記念切手の如き、あれをロマノフ朝の最後の榮えとして亡びたかと思ふと、クレムリン宮の畫の附いた切手を見る事が、ツァールの亡朝を読むの感がある。郵便切手は全く地理と歴史との教師である。』

『そこで、どうして郵便切手或は土俗玩具から、蒐集の門に入るかといふと、二つながら一番手近に得られるし、價も普通のものなら子供の小遣錢（ポケットマネー）で足りるからだ。だが暫らくすると飽きる。少しばかり他の方面を覗くと、直ぐもう郵便切手でも有るまい、玩具でも意からうといふ。が、蒐集の世界は大海原の渺茫として限り無く、千尋の底の測り知れないほど意盡藏であつて、實は此の二つでさへが、廣く集めて深く究めるのは一生の仕事だ。』

ここで魯庵は切手蒐集は測り知れないほどの無尽藏の世界、飽きることなく一生の仕事だと言っています。ほとんどリタイアした私にとって耳の痛い言葉です。

『郵便切手を集めてゐるものは何萬何千人と限りもないが、一萬枚以上を貼り込んだアルバムを何冊と持つてゐるものは頗る寥寥だ。古い切手となると、前記のカメカメハの顔の附いた布哇の切手でさへが、此の頃は珍しくなっている。

ナポレオンの顔の附いたのを持つてゐるひとは何人あるか知らん。新しいのでも、阿弗利カの内地のだとか、印度のプロキンスののだとかになると、容易に得られない。高加索だの、ボスニアだの、新出（はしり）の切手は、外務省か逓信省あたりに來てゐれば來てゐるんだが、一般蒐集家の手に入るのにはまだ間がある。が、日本の蒐集家は大人しく手を束ねて待つてゐる。手に入らないものを無理に苦心して手に入れようとする熱心は多い。』

『ところが歐羅巴では、手を束ねて手に入れる事が出来るやうなものばかり集めてゐるのでは、蒐集家とは云はれない、全力を盡くすはお



和綴じ教科書に紹介された郵便切手

竜文切手、大韓帝國切手等以外に SCOTT には見つからない切手が2種掲載されている。どちらも、Privatとあるので、私用だと思われる切手。当時はドイツの都市、ストラスブールのノートルダム大聖堂を描く切手と Westfalen 州の都市、Bochum の切手と考えられる。

ろか、場合に由れば身体まで投げ出す気でゐる。郵便切手蒐集の爲めに世界を旅行する者があると云ったら、一寸信じられない気がするだらうが、欧羅巴にはさういふ熱心な蒐集家がザラにある。(後略)』

後半の此の部分は、明治時代の頃はなかなか洋行が難しい時代でやむ得ないことですが、現代では自由に外国に出かけ、異国の美しい切手をお土産にする人も多い。ましてフィラテリストとなれば、それが目的で外遊します。三井高陽氏、金井宏之先輩など世界の郵趣界でも著名な方、我が稲フィラ会員でも海外の郵趣展の審査員または入賞の名誉に輝いた人もいるのを見ると、全く隔世の感があります。

それにしてもこの魯庵という人は、なぜこのように切手に詳しいのか、彼の経歴を見ても郵趣の「郵」も出てきません。

彼のプロフィールは、明治元年東京生まれ、昭和4年に亡くなっています。明治時代の評論家、小説家で、二葉亭四迷と親交、ロシア文学の影響を受け、ドストエフスキー・トルストイを翻訳し日本に紹介しています。

彼は「学校放浪癖」があり、立教大学・中学、海城、攻玉社等々そして中退はしたが早稲田の英文科が一番長かったそうです。なかなか語学



内田魯庵 (1868 ~ 1929)

力があり、早稲田の成績は書取と作文が95点、会話は100点だったそうです。

因みに彼の長男内田巖 (1900 ~ 1953) は猪熊弦一郎、小磯良平らと新制作派協会 (後の新制作協会) を1936年に結成した著名な画家です。巖は早稲田中学から東京美術学校 (現東京芸大) に進学し、渡仏しています。

(了)

参考資料

- ◎五十嵐力編「純正国語読本」巻五
(中学校教科書<株>)
- ◎「サイエンス人名事典」日本編 (三省堂)
- ◎「早稲田をめぐる画家たちの物語」
(早稲田大学會津八一博物館)
- ◎「廣済堂よみもの Web」

内田魯庵が目にした切手を想像すると



布哇 カメハメハ3世
1853年発行



布哇
カメハメハ4世



露西亜 クレムリン
1913年発行



大韓帝国
1903年発行

切手との出会い

長谷部 晃

おぼろげながらの記憶

小学校5,6年頃の社会科の教科書で切手の挿し絵があるのをみて切手に興味を持ち自宅の切手が貼ってある郵便物から切手を切り抜いたのが切手収集の始め。そのころの切手は尾長鶏(5円)、観音(10円)、かもしか(8円)など。教科書の切手の挿し絵で記憶に残っていたのが「国立公園の横長の切手」という漠然としたもの。雑誌に「切手を集めましょう」という広告が載っていたのも記憶に残っている。この記憶をはっきりさせようとしていくつか調べてみた。

私の誕生日は3月31日、この日に切手が発行されたのは2000年に「国際子ども図書館開館記念」というのがある。このとき長瀬局であるだけの消印を押してもらった。(機械印だけはサイズが合わないのでだめだったが) そのう

ち子ども図書館を訪ねてみたいと思った。一昨年上京の折 子ども図書館を訪ね蔵書を確認してみた。小中学生の頃読んだ雑誌が所蔵されているのを幾冊か借りてみた。「中学生の友」を見たとき偶然だが不二スタンプの広告が目に入った。これがかつての記憶にあったものだ。

そこで司書のかたに「教科書の蔵書もありますか」と訪ねると、「ここにはありませんが教科書図書館という施設があります」という返事でそこを教えてもらった。そして「昭和28~29年頃の小学校5,6年生向けの社会科教科書で横長の国立公園切手の載っている、」というおぼろげな記憶をもとに教科書図書館に問い合わせをした。まもなく「昭和28年頃に使われた社会科教科書で切手の挿し絵があるものは東京書籍のものしかない」という解答をもらった。さっ

そくコピーを送ってもらったのが②。60年ぶりに「国立公園切手の挿し絵がある社会科教科書」に巡り会えた。おぼろげな記憶とそうとう違いがあったが。国立公園の切手は阿寒湖の



「中学生の友」に掲載された不二スタンプの広告



不二スタンプの広告に載ったアメリカ航空切手



おぼろげな記憶にあった阿寒湖の切手



埼玉県北埼玉郡大越村立大越小学校
昭和28年度 第6学年社会科教科書

8円だった、このほかにもいくつもの切手が出ていたこと、教科書の表紙にも切手の図案があったことなど。60年も前の記憶は部分的なものだった。

「中学生の友」の広告から日本切手のカタログを送ってもらうことになり、切手収集にはストックブック、ピンセットなどの専門用品があることを知った。小遣いで買えるものには限界があり 最小のストックブックを買った。それでも高揚した気分になったことを覚えている。半年に一回程度移動図書館なるものが公民館に廻ってきた。それをのぞいていたら「切手」(三井高陽著)なるものがあった。グラビアで極彩色の外国切手が載っていた。こんなすごい切手もあるのだと思った。切手の世界も広いものだと感じた。



埼玉県北埼玉郡大越村立大越小学校 昭和28年度 第6学年社会科教科書 9章 ゆう便(p63~79) 79ページの写真(教科書図書館蔵書のコピー)

田舎の郵便局には記念切手などはこなかったようだ。新聞のニュースを頼りに学校の近所にあった郵便局を訪ねたが普通切手(おしどり、かもしか、観音)しか手に入らなかった。高校に入って(1952年)町場にてで本屋にも足繁く通ようになった。そんな時に目にしたのが「バンビブック」、早速求めたが、切手の本の最初だった。基礎的な知識を得ることができた。ただ高校二年のころはいろいろやりたいことが多かった。新聞部、生徒会の活動、読みたい本も多かったし、受験勉強もしなければならない。思うようにはならなかった。大学受験の時期を経て合格発表の際にもらった「学内案内」をめくっていてサークル活動のいろいろが紹介されていた。その中で「切手研究会」の名を見つけたときはこんなものもあるものかと思い、是非訪ねてみようと思った。入学後に訪ね



高校生になって求めたバンビブック



今年は午年、年賀状を整理していて、小学校の頃、お小遣いをはたいて買った競馬の切手を思い出した。1948年発行競馬法公布25周年記念切手である。ひどいオフセンターだったが



我慢して買ってしまったことを思いだす。ふと、馬がどのくらい、どのように切手に描かれているか気になった。

約420種の切手に動物が描かれている。そのうち約100種の切手が馬に関係している。この数は2番目の犬をかなり引き離してのトップである。しかし、描かれ方が他の動物と異なるようである。動物で唯一、馬と文化というシリーズ切手が発行さ

てみてその虜となったのだった。興味の中身は切手ばかりではなかったが。

1964年に卒業し秩父で教員になった。そのとき教材になりそうな本と切手を持って行った。小中の教科書、雑誌類はほとんどとってあった。これも収集の目だったと思うが、実家に残しておいた。1971年に実家が建て替えになった。母屋を壊すときに母が「本を処分するが、残したいものがあたら取りにきな」と言ったが、そのまま壊された。いま思えば取りに行ったほうが良かったかと思う。国際こども図書館でいくつかコピーをとるなかで残念に思うこともある。1960年代の「切手趣味」などの雑誌があったから。当時は雑誌の価値などわからなかった。

れ、競馬という姿で多く発行されていることである。

生活に密着した動物だけに鞍、鐙、鞭、馬車等の馬具も切手になっている。分類すると切手のために描かれたものが約40種、切手になった文化財に描かれているもの約40種、郷土玩



切手のために描かれた馬術競技の馬



文化財の中に描かれた馬尾形光琳作 佐野渡硯箱



郷土玩具の馬



小判切手2種の4隅に描かれた馬具の鞭・蹄鉄

具として描かれたもの約 13 種、馬具として 4 種等である。馬を動物の種として描いた切手はなく、強いて探すとシマウマであろうか。在来種としての野生馬（？注）は風景の中に描かれた尻屋崎の寒立馬（かんだちめ）、都井岬の御崎馬（みさきうま）ぐらいであろうか。



尻屋崎の寒立馬



都井岬の御崎馬

これに反して競馬馬は文化財の中に描かれたものも含めて 8 件 20 種も発行されている。しかも、どういう訳か個体を特定できるという人間並みの扱いで多くの馬が発行されている。



カブトヤマ



シンザン

そんな競馬の中に近代競馬でなく古代の競馬（？）とでもいうか京都の賀茂別雷神社（上賀茂神社）で毎年 5 月 5 日に行われる 1093 年から続いている賀茂競馬（かもくらべうま）という天下泰平五穀豊穡を祈願するための儀式が 3 種の切手となっている。2002 年切手趣味週間切手 2 種と馬と文化シリーズ切手 16 種のうちの 1 種である。どの切手も疾走する馬が描かれており、現在の競馬を連想させてしまうが、どうも違うらしい。競うことは競わせるが 2 頭だけで行われる。その様子を知りたく永年、切

手趣味週間切手の原画六曲一双の「賀茂競馬図屏風」の屏風の画像を探していたが美術書、図録等に掲載はなく、所蔵館 馬の博物館 のご厚意で知ることが出来たので会員諸兄姉にもご鑑賞いただきたい。（次頁参照）

切手は右隻の動的な部分であり主題部分といえる、競馬の二つの場面（第三扇及び第五扇）を取り上げている。のんびりとした見物人の風景と馬場の様子は切手だけでは思い至らない風景である。また、馬と文化シリーズ賀茂競馬模様小袖の白縮緬地石畳に賀茂競馬図文様の鮮やかな色どりからこの祭事のにぎやかな一面も感じることができる。乗用・騎馬以外に家畜としての馬が描かれているものを探すと農耕馬の姿はなく、倉吉地方に残るのであろうか " 胴引き " を描いたふるさと切手だけである。家畜としては荷役、運搬に働く馬がすべてである。

ここで注意されることが 2 つある。1 つは荷役運搬を描いたものはすべて浮世絵であることである。浮世絵が江戸庶民の生活を描いたものであることを如実に感じさせてくれることである。浮世絵になった切手の中に別の動物が荷役



小袖 白縮緬地石畳に賀茂競馬図文様
京都国立博物館蔵
馬の博物館
近代競馬 150 周年記念
「くらべ馬展」図録
より



上 「賀茂競馬図屏風」の屏風左隻

下 「賀茂競馬図屏風」の屏風右隻



2002 年切手趣味週間切手



運搬に活躍している姿が見える。それは牛である。そして荷役運搬に新たなものが使われている。それは車輪、牛車（ぎゅうしゃ・荷用）である。また、江戸時代以前を描いた絵巻、屏風に精巧なスポークを持つ車輪をつけた牛車（ぎっしや・乗用）が描かれて切手になっている。しか



江戸時代の馬の荷役運搬に活躍を描く浮世絵の切手
馬と文化シリーズ
北斎・浮世絵 武州千住図



2003 年国際文通週間
広重・浮世絵 川崎



胴引きする馬



江戸時代の牛の荷役運搬に活躍を描く浮世絵の切手

2003 年国際文通週間
広重・浮世絵 大津



2001 年国際文通週間
広重・浮世絵 坂之下



牛車（ぎっしゃ・乗用）が描かれた切手2種
第2次国宝シリーズ 源氏物語関屋濡標図切手
俵屋宗達源氏物語関屋濡標図屏風原画 右隅に牛が待機している



1992年国際文通週間 国宝
平治物語絵巻

八車が普及しなかった理由とも関連付けられている。牛車は日本書紀に記されているという。では、馬車は日本に伝わってこな

かったのかという疑問を持つが、この疑問は1枚の切手からも答えが得られそうである。少なくとも馬車の存在をその姿、形で古代から知り得たという。その切手は第3次国宝シリーズ青銅鏡“神人車馬画像鏡”の切手である。拡大してみると右側に3頭立ての馬車が描かれている。恥ずかしながら、電子画像で拡大してみてもはじめて知ることができた。切手をもっと丁寧に調べ、考えることの大切さを痛感させられた。

(編集子)



ワッカ原生花園の
観光馬車

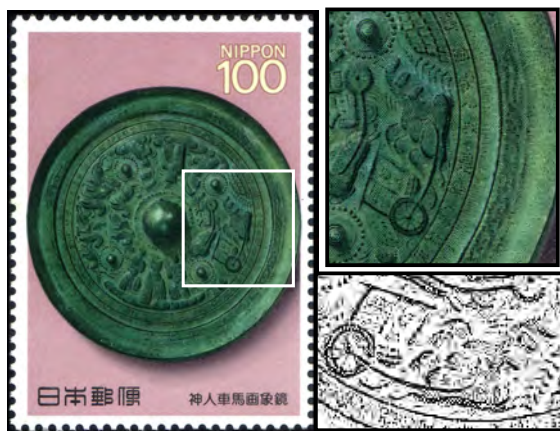


2007年郵便民営化
発足記念
郵便現業絵巻郵便馬車
積込風景



1971年国際文通週間
東京鉄道馬車図

し、馬車は見当たらない。馬車が描かれた切手は10種あるが、1種をのぞきすべて明治維新後の社会の情景を描いた絵画が切手になっている。明治期の郵便馬車、鉄道馬車から現在の観光馬車まで切手に多く取り上げられている。ここに、日本史の1つの謎「なぜ明治期なるまで日本に馬車がなかったか」という問題を切手の上でも捉えることができる。日本の地勢、気候、騎乗を伝えた人種、馬の種類、日本人の性格等から議論がされているが、これらは幕末開国以降の馬車の急速な普及、発展を説明出来なく、政治的、経済的な要因であったと考えられてきつつある。関西では江戸で普及していた大



1989年第3次国宝シリーズ
青銅鏡 神人車馬画像鏡

注・家畜馬が逃げ出し繁殖した馬。本来の野生馬は世界にモウコノウマのみ。このモウコノウマ、モンゴルでは絶滅し、世界中の動物園にいた種を集めモンゴルで繁殖を試み300棟近くまでになっている。

参考文献

理系の視点から
板倉聖宣 日本史再発見 朝日選書

命拾いで切手処分を考える

青柳 次男

2月8日、関東地方は大雪に見舞われた。土曜日でしたが、客先に出ていた私は、18時に仕事を終え、懇親会を中止し、家路に。外は、まるで吹雪。すぐ地下鉄の駅に走り込み、品川駅までは、何の障害もなく、嘘のようにスムーズで、かえって、嫌な予感。というのも、仕事を終える直前に、自宅付近の交通状況を確認したところ、バス会社の担当者から、「スミマセン、その付近のバス便は、全て運休させて頂いております」との、大変丁寧で、冷たい応答を頂戴していたから。まっ！、行きつけるところまで行って、あとは歩くか。乗客で満杯の京浜急行は、遅れてはいたものの発車。しかし、5分も走らないうちに、「前の電車に接近してますので、徐行します」と、停車。徐行なら走れっ、と腹の中で叫んだところで、嫌な予感は、膨らむ一方。通常なら20分で到着する横浜駅まで、2時間。到着直前、無情な車内放送。「東京電力からの電力供給が不安定のため、運転を見合わせます。横浜駅を発着する他の鉄道も止まっています」。暫く後、「地下鉄と相鉄線は、間引き運転してます。お急ぎのお客様は、アワセテご利用下さい」。どうやって「アワセテ」利用するんだ。できるわけネーダロ。口には出しませんが、マイクを握って、必死に状況説明に努めているだろう駅員さんを、思い切り蹴飛ばしたい気分。翌日の新聞、TVのニュースも、東京電力の電力供給不安定については、全く触れていない。ホントだったのだろうか？1時間経過。駅近辺のホテルを調べ、片っ端から電話。入学試験時期が重なっているためか、空きは全く無し。「スミマセン」という言葉の虚しさを、これほど痛切に感じたことは、今までにない。まだ電車は動かない。駅員側も長期戦を覚悟したのか、車両のドアを閉じ、寒風の吹き込むのを避ける。

4時間後、翌日に入った零時過ぎ、「お待たせしました。間も無く、電力供給が再開される見込み」。4時間でオマタセかい。他に言い方があるだろう、と怒る気力もない。とにかく、動き出したものの、当然、前に電車が詰まって

いる。いつも17分の所を、1時間かかって最寄り駅へ。既に午前1時15分。タクシー乗り場は、長蛇の列だけれど、タクシーの姿は見えず。時間が経つにつれ、一人離れ、二人離れ、お陰様で、段々先頭に近づくものの、相変わらずタクシーの姿は見えない。何度、私も列を離れ歩こうと思ったことか。しかし、自宅まで約4キロ。途中からかなりの登り坂。それに雪道。ともかく我慢。雪と寒風の中、1時間30分。殆どの人が諦めて列を離れたため、何とか3台目のタクシーに乗れた。しかし、時計は2時30分を過ぎていた。嫌な予感は、ここからが本番。タクシーが、「坂」を登れるか？「行けるところまでお願いします」。坂は喘ぎながら登り切った。でも、案の定、幹線道路から自宅への道は、雪に覆われ、既に埋まりつつある轍が一筋。僅か300mを進むことができない。タクシーを降りる。雪は、私の膝まで積もっている。ラッセルとは言わないまでも、ともかく歩かなければ。まっさらの雪の上に足跡を付けるのは、悪いような、もったいないような気はしたものの、歩く。

300mのなんと遠いことか。自宅に辿り着いた時、丁度、3時。この日は、雪のため、朝7時に家を出たので、何と20時間後の帰宅と相成った。それにしても、短気を起こして、駅から歩き出さないで良かった。もし、歩いていたら、翌日の新聞の片隅（それも横浜版の）に、「年寄りの無謀。帰宅途中凍死」は確実だったと思う。しかし、横浜は、積雪14cmとの公式ニュースなのに、我家近辺は、30cm。ホントにここは横浜なのか？30数年住んでい



て、疑ってもしようがないけど。

大雪とは違って、昨年夏の台風の夜。雨戸を打つ雨音と電線を鳴らす風にビクビクし乍らインターネットで台風の進路を確認していると、ポロヘンという通知音と共に、一通のメール。高校時代の後輩からだ。一体、こんな夜に何だ？と開封してみると。「切手の処分を手伝って欲しい。」義父が亡くなり、義母が、残されたコレクションを処分したい、と言っている。先輩（私のこと）は、切手を集めているのだから、何とかできるだろう。との依頼。何回かのメールのやり取りの後、現物を見ないと何とも言えないので、一部を、送ってもらうことに。ひょっとして、「手彫」でも、と淡い期待を込め、ユーパックを開くと、昭和50年代半ば以降の切手が2〜3シートずつズラリ。付けられた後輩のコメントに、「これが、中でも一番価値があるものだと思う。」と。そして、各切手には、義母が調べたというカタログ評価。最近の切手事情に疎い私でも、日本の記念切手類の評価に関するそれなりの情報は持っている。その情報をもとに、「全て、額面割れ。それも、半額程度で売れば御の字。」と返信。

そうは言っても、確証が欲しい。通勤途中の新橋に稲門フィラテリー会員の竹内氏がいることを思い出し、連絡を取り、後輩を連れて訪ねた。既に一線を退いていたが、いろいろと面倒を見てくれて助かった。客？として切手商の店先に立つのは何年振りだろう。早稲田の戸塚スタンプ以来か。久し振りの物珍しさに、店内

を見回すと、陳列棚の隅の方に切手が並んでいる。どう見ても「端っこ」。そして、陳列されているのは、見返り美人と月に雁くらい。「切手は商売になりません」。という竹内氏の言葉通りの状態。持参した切手をカウンターに並べると、女性社員？が呼ばれ、「査定」が始まる。強烈なショック。その女性は、水分

を含ませたスポンジに指先を濡らすと、そのまま、シートの数を数え始めた。素手で。それも濡れた指。確かに指先を湿らせなければ数え難いことは分かる。指の脂がつくから、必ずピンセットを使うこと。切手を集め始めたころ、そう言われて、ピンセットを買いに走ったことを思い出す。青ざめてはいなかったもののショックを隠せない私に気が付いたのか、竹内氏は、「これらの切手は、殆ど料金別納郵便に使われるんです。趣味の切手ではありません。」頭の中では理解していたものの、目の当たりにしたのは初めて。額面50円以上と50円以下、シート状態かバラ状態かで、引取り金額、即ち買取金額が違う。数え終わると、計算機を叩き、額面合計に買取率を掛け、ハイ、これだけです。我が後輩が、義父のコレクションで一番価値があると考えていたその買取金額は、10万円にも達しない。その時、後輩は別途、記念硬貨も持ち込んでいた。そちらは、かなりの高値。やっぱり「金」の方が強いのか。その後、後輩は、コレクションの残りを持ち込んできた。竹内氏の手間を少しでも省くため、私が「素手」で枚数を数え、一覧表を作成し、再度、新橋のお店を訪ねた。竹内氏は、切手よりも乗車券関係を担当していることを聞いていたので、私は、古い切符の鑑定を依頼した。裏に印字された番号が10000の、地下鉄丸の内線の切符。期待を見事に裏切り、「100円です。」「ぞろ目などの切符が良く持ち込まれますが、殆ど、100円以下。」とのことでした。因みに、「ハサミ」が入っているなら、切符の右下が良いそうです。

私もいま、自分の切手、特に、日本の記念切手類をどうしようか迷っている。シミがあっても、折れがあっても、額面以下とはいえ引取ってもらえるなら、一度、ピンセットを気にせずに、何シートあるのか数えてみようと思っている。

大雪の中で行き倒れなくて良かった。自分で切手を処分することができそうだし、こうして駄文を書くこともできる。それにしても、切手はどうなるんでしょうか。IT技術の発達は、王の趣味であり、趣味の王も葬り去ってしまうかもしれない。何とか、雪辱できないものでしょうか。



切手収集と家庭サービス

稲葉 良一

はじめに

皆さんは、日々切手を眺め郵趣に親しんでいることと思います。その時間は、まさに至福のときで、日々のストレスも吹っ飛んでしまうことでしょう。しかし、我々が切手に没頭すればするほど家族へのサービスがおろそかになるのではないのでしょうか？ややもすれば、せっかくの趣味を敵対視され、家庭内で居づらくなっているいませんか。ストレス発散の郵趣のはずが、新たなストレスを産み出せば、元も子もありません。もし郵趣と家庭サービスを両立できれば、郵趣もさらに楽しくなるというものです。

では具体的にどのような方法があるのでしょうか？最も理想的な方法としては、夫婦で郵趣を楽しむ、または親子で郵趣を楽しむ場合でしょう。私の周りにも、何組か御夫婦で郵趣を楽しまれ、ミニ切手展や JAPEX に御夫婦で出品されている方もいます。うらやましい限りですが、多くのご家庭では、そううまくいかないでしょう。我が家でも妻は、まったく切手に興味は示さず（反対に恨んでいる？）、4人もいる子供も何とか興味を持たせるようにしたのですが、結果は全敗。結局家庭内では、私1人が切手を楽しんでいる状態です。実際この記事を読んでいる方は、私のような状況の方が多いのではないのでしょうか。ただ我が家では、少しは郵趣に理解を示すようになってきました。ではどうして理解してもらえるようになったのでしょうか。

国際切手展

私が初めて国際切手展を見学したのは、1997年6月のサンフランシスコでした。それまでも、ハレー彗星や皆既日食を見るためや生徒の引率で外国へ行ったことはありましたが、切手三昧の国際展には、すっかりはまってしまいました。普段日本国内展では見るのが難しい国際的に有名な珍品切手や日本切手が見られ

勉強になります。このときは、故金井宏之先輩の手彫切手と榎哲郎氏の小判切手が出品されており、大いに刺激を受けたものです。また、ディーラーブースをまわっての買い物も楽しく、何点か掘り出し物も手に入れることができました。（図1）そして何より異国の地での観光や食事は魅力的でした。



図1 ロシア・シズラン差立てイタリア宛
何故かポートアーサー（旅順）や上海經由

夫婦で国際切手展

すっかり国際展を気に入った私に、1998年7月のシンガポールアジア展に取材に行ってみませんか？と日本郵趣協会から依頼があり、行ってみることにしました。しかし、私は英語が苦手で、英会話もほとんどできません。そこで、英語の教員であった妻を誘ってみました。はじめは、乗り気でなかった妻を、子供も大きくなったので、何とか説得して二人で行くことにしました。（図2）

妻にとっては初めての外国で、はじめは戸惑っていましたが、2~3日もすると、外人と話すのも慣れてきたようで、通訳として活躍してもらいました。また、作品を参観する中で、ユース部門に出品していた「光」という作品に感心し、少しは切手コレクションに理解を示すようになりました。しかし、何といっても気に入っていたのは、川のほとりで食べた屋台での夕食だったようです。（図3）



図2 シンガポールアジア展 会場にて



図3 川のほとりの屋台



図4 日本のコミッショナーとして参加

安くておいしい！

妻の好きな海鮮類が、とにかく安くておいしいのです。そこで最近ではホテルでは食事をせず、朝食も含めて外で食べるようにしています。なぜなら、ホテルのレストランは高いのです。我々が泊るような都市では、ホテルの周辺や駅の近くに安くて美味レストランがいくらかでもあるのです。そのため、妻は海外でおいしい食べ物とお酒を楽しむようになります、喜んで国際展についてくるようになりました。また、海外でホテルに泊まるときのホテル代は、日本と違って部屋単位で料金を払うので、私1人で泊っても妻と2人で泊っても料金は一緒なのです（日本の旅行会社で予約するとだめですよ！）。ですから、思いのほか旅行費は安くすることができます。

この後、フィラ日本2001のコミッショナー部のお手伝いすることもあり、海外のコレクターとつながりを持つために、台湾、ドイツ、北京、イギリスと妻と2人で国際展に出かけました。特に、1999年5月のドイツ国際切手展（IBRA'99）は、日本のコミッショナーとして参加し、私自身も日本開催以外の国際展に初出品したこともあって思い出深いものとなりました。（図4～6）ドイツのニュールンベルグで約2週間過ごしたのですが、まずビールがおいしい。ドイツでは、ビールはソフトドリンクなみで、会場の中庭で昼間から飲みましたし（コミッショナーの仕事は午前中で終り）、夜はビヤホールで乾杯！また、ニュールンベルグソーセージもおもしろかったですが、最高はホワイトアスパラでしょうか。川のほとりのアスパラ料理専門店食べたアスパラ料理の味は絶品で忘れられません。



図5 自分の出品作品「旧小判切手」の前で
大金銀賞を頂きました



図6 プリクラ切手出現前 封筒にカッセルとして
プリントするサービスでした

このとき、コミッショナーをしてわかったのですが、各国（アジアを除く）のコミッショナーや審査員は、夫人同伴で来るのが当たり前で、アジア各国の参加者だけがほとんど単身で参加していました。当時日本で国際切手展にご夫婦で参加されていたのは、金井先輩ぐらいなものでした。2000年のロンドンスタンプショーのとき妻は、金井先輩の奥様より「ダンナは、自分の好きなことで来ているのだから、こんなときは、こちらもしっかり買い物などをすれば

いいのよ」と助言を受けたそうです。私の妻は、買い物より料理やお酒を飲む方が好きなのですが、いずれにしろ普段のフラストレーション解消にはいいようで、少しは郵趣に対して甘く見てもらえるようになりました。その後は、妻だけでなく子供達も国際切手展について来るようになり、我家では、国際切手展＝家族旅行となっていました。(図7)



図7 フィラコーリア 2009 ブリクラ切手

バカンスはのんびりと

昨年8月のタイ・バンコック国際切手展に「旧小判切手」を出品したので、妻と2人で行ってきました。バンコックでは、駅前の新しいホテル（雨に濡れずに入れる）に宿泊したのですが、このホテル、電子レンジやフライパンから洗濯機・乾燥機まであり、トイレはウォシュレット付きのマンションみたいな部屋でした。それで、朝食付き1泊約8000円、1人当たり4000円ですよ！。交通の便も良く国際切手展や観光，食事を楽しました。ただし、肝心の私の作品は、2011年の横浜国際展よりも充実させたつもりでしたが、結果はランクが1つ下げられてしまいがっかりでした。そんな中、同胞の鎌倉さんの震災切手が金賞に！これは朗報でした。もともとリーフ作りには定評があり、図版の見易さはぜひ見習う必要があると思いました。今後の活躍が楽しみです。(図8)

バンコックの国際切手展については、いろいろな雑誌に書かれているので、ここでは割愛し国際展後の行動についてお話します。



図8 鎌倉さんの作品より

今までは、国際切手展が终れば帰国というパターンでしたが、今回は職場の友人の薦めもあり（友人夫婦とは現地のホテルで合流）、国際展後3泊4日でタイのリゾート地「ホアヒン」に行ってみることにしました。タイのリゾート地といえば日本ではプーケットが有名ですが、タイには日本人に知られていないリゾート地がたくさんあります。「ホアヒン」はタイ王室の避暑地でありタイで最も古いリゾート地です。(図9) ホアヒンまではバスで2時間半ほどですが、今回は鉄道を使うことにしました。バンコック中央駅からホアヒンまで約3時間の旅



図9 タイ ホアヒンの位置

です。中央駅はヨーロッパの国際列車が発着するようなレトロな感じの素敵な駅で、途中の景色も大きなパゴダが見えるなど車窓から見える景色はまさにテレビの「世界の車窓から」そのものでした。もっとも出発は 40 分遅れ（この間遅れる放送なし）、到着も 2 時間半の遅れでしたが、とにかくのんびりするための旅ですからこれも御愛嬌。ホアヒンでのホテルは、イギリス風のレトロな感じのホテルで、プールも 3 か所、庭から浜辺へもすぐ出られる快適なホテルでした。（図 10・11）

しかも今回は、早割りで（1 月）にホテルの部屋の予約を 1 万 1 千円（朝食付き）という安い料金で予約が取れました（冬だと 1 泊約 3 万円もする高級リゾートホテルだが、8 月は雨季のため安い）。今回一緒に宿泊した友人は 4 度目のホアヒンで、確かな情報が決め手となりました。ホテルでの生活は、とにかくのんびりしました。朝は 7 時半ころ起き、朝食を食べた後は部屋に付いているテラスで読書やパズル。お昼頃になると街に出て昼食と買い出し。午後は、プールサイドで寝ころび、たまにプールで泳いだり海に出て泳いだりします。プールサイドで寝ていると、たまにボーイさんがフルーツをサービスに持ってきてくれたりします。（図 12）夜は、街中のレストランへ。ホアヒンに來ている観光客の 9 割はヨーロッパ人で、そのせいかイタリアレストランも多く、味も一級品でした。もちろん地元タイ料理や海鮮料理も美味しく、とても安いのです。街中の料理屋で友人夫婦と 4 人で海鮮鍋と他に 2～3 品ほど頼みビール 8 本くらい飲んで日本円で

総額 3～4 千円です。それでおなかはいっぱいです。日本では考えられません。こんな生活ですから、日本国内で旅行するよりは安くつくかもしれません。しかも、のんびりできます。日本人の旅行は、観光ツアーに参加したり（これはこれで楽しいですが）旅行会社の指示通り時間がくれば食事に行ったり、買い物に行かされたりしますが、本当の休暇は、とにかくのんびりすることですね。日本人は、とにかく休むのが下手です。今回の旅行で、一番大きな収穫は、のんびりすることの大切さに気づいたことです。

最後に

皆さん、郵趣を楽しむために、国内外の切手展へ行きましょう。新しい刺激を受けて、切手収集が楽しくなること間違いなしです。そして思い切り楽しむために、家族にも楽しんでもらいましょう。そのために切手展見学は、夫婦旅行または家族旅行とセットがおすすめです。特に国外の国際切手展はおすすめです。さらに、自分の作品を出品すれば言うことなしです。本文でも書いたように、海外旅行は、宿泊料金は安くできますし、食事代も慣れれば思いのほか安くできます。しかも、日本ではなかなか味わえない料理やお酒は新鮮で魅力的です。最近では、インターネットで調べれば、思いのほか簡単に店を見つけることも出来るでしょう。

私達は、切手展の見学とブースめぐり。家族は買い物や観光、そして夜は一緒に料理を楽しむ。皆さんも実践してみませんか。



図 10 イギリス風高級リゾートホテルで満足



図 11 ホテルの庭からそのまま海へもいけます



図 12 食事の後は、プールサイドでのんびり

稲門フィラ総会が早稲田学報に

稲門フィラテリー総会が早稲田学報 2013 年 8、12 月に掲載されました。校友会登録稲門会は 1400 団体以上あります。稲門フィラテリーは発足時の平成 12 年に登録稲門会となっています。

校友会登録稲門会となることで毎年ホームカミングデー当日、稲門フィラテリー総会開催場所として 7 号館の教室使用の許可を得ています。また、大隈講堂切手発行時、大学創立 125 年、校友会設立 125 年の記念イベントにおいての稲門フィラテリー活動は早稲田学報に大きく取り上げられました。(記 磯野昭彦)

平成 26 年稲門フィラテリー総会日程

平成 26 年のホームカミングデー・稲門祭日程を大学が 10 月 19 日に決定しました。

従って、**稲門フィラテリー総会も 10 月 19 日**に予定します。時間、懇親会等は確定後、お知らせします。

会員の元気な活躍が新聞、テレビに

岡田芳郎会員が昨年末、12 月 15 日 日本経済新聞朝刊 13 面で太陰暦を太陽暦に変えることに尽力した大隈重信を「壮大な実験、大隈重信主導」と題して記述。また、渡辺勝正会員が NHKBS プレミアム、ザプロファイラー「杉原千蔵・奇跡の決断 命のビザ」の舞台裏 極秘任務と激動の生涯」で杉原千蔵 直筆の文書を手にもその人柄を紹介。お二人とも、ますますお元気でご活躍です。



編集後記

偶然、教科書に載った切手からの二つの原稿。自分の知識をひも解いて、過去、切手の持った視覚的情報の貴重さと切手の情報メディアとして、その時代での重要性を改めて認識させられました。現在、切手は唯の商品券的意味合いの色彩豊かな紙切れになってはいないでしょうか。情報過多の時代、量より、質の高い洗練された付加価値のある情報を持った切手がよりもとめられているでしょう。また、カナダでは郵便の戸別配達が無くなったとのこと、質、量、どちらにしても切手はどうなるのでしょうか

御存知でした？

KEIO Philatelist 46 号で目にしました。

〈水はがしの楽しみが無くなる〉

私は切手集めを始めて以来紙つき切手の水はがしを楽しみにしてきました。

ところが最近ではイギリス、アメリカ切手をはじめオーストラリア、ニュージーランドと水につけてもはがれないものが出てきました。無理にはがそうとするとやぶれたり色が落ちたりします。イギリスのマーチン切手にいたっては、再使用防止のために付けられたクリップ状の枠に沿って穴が空いてしまいます。またうまくはがせたとしても強力な裏糊は残り他の切手やアルバムリーフにくっついてしまい始末に終えません。不正防止や消印作業の簡素化のためとは思いますが収集家にとってはなんとも無粋な措置に思えてなりません。切手愛好家の減少傾向は否定できませんがこのようなことも原因になっているのかも知れません。アメリカのスコットカタログではこの切手は水はがしは出来ないとの表示を付けているそうです。このような切手はどの様にしてアルバムに収めればよいのでしょうか

うまくはがせる方法をご存知の方は是非ご教示ください。郵政当局の寛大なる改善措置をねがうばかりです。(吉村昭紀)

★稲門フィラテリー常設展

第 25 回 平成 25 年 12 月 4 日
～平成 26 年 3 月 1 日
「昭和～平成 午年の年賀郵便切手」
新宿北郵便局

第 26 回 平成 26 年 3 月 1 日
～平成 26 年 6 月初旬
「郵便料金改定に伴う切手発行の歴史」
新宿北郵便局

★切手教室

平成 26 年 2 月 1 日

郵便で迎えるバルト海の小国

リトアニア再独立の歩み 荒木 寛隆

平成 26 年 3 月 1 日

郵便料金改定と切手 宮鍋 益治

4 月 5 日の切手教室は下記を予定

午前 凸版印刷 KK 印刷博物館見学

午後 「切手の印刷」 宮鍋益治 新宿北郵便局

詳細は 3 月下旬 葉書にてお知らせします。

発行日：2014 年 3 月 1 日

発行：稲門フィラテリー

発行人：磯野 昭彦

〒150-0002

渋谷区渋谷 1-11-3 正栄ビル 4 階

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：吉沢 忠一 青柳 次男
小川 義博

稲門フィラテリー

第 52 号

2014 年 6 月 1 日発行

印刷博物館見学記

宮鍋 益治

4 月 5 日 (土) の稲門第 105 回切手教室は、午後 1 時 30 分から定例教室 (今回「切手の印刷」をテーマ) の前に、小川・諸田両会員の推奨もあり午前中に印刷博物館の見学を計画しました。諸田さんが事前見学を行い館と折衝して下さり、土曜日にも関わらず 11 時に学芸員の方に技術解説をしていただけることになりました。そこで、10 時 30 分にトッパンビル 1 階ロビーに集合と会員には切手教室案内はがきで通知し、一般参加者向けには郵趣 4 月号のイベントスケジュール「つどう」欄に広報を出していただきました。印刷博物館は文京区水道 1-3-3 のトッパン小石川ビルの 1 階フロア部分と地下 1 階の 2 フロアで構成されており、案内パンフレットは、日本語、英語、中国語、韓国語などが用意されておりました。1 階部分は参観無料、地下は入館料一般 300 円ですがシニ

アは無料とのことでした。

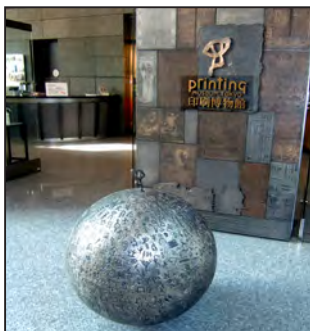
1 階フロアでは今話題の 3D プリンターの特別展示が行われており、こちらは見学自由でしたので、早目に来られた方は見学出来たようです。

10 時 30 分の集合時間に稲門会員 8 人が集まりました。一般参加者は交通の便が悪い (飯田橋駅から徒歩で約 15 分) こともあり、参加ゼロでした。吉沢会員からは無料招待券の提供を受けておりましたが、8 人全員がシニアで無料扱いでした。最初の 30 分は各自自由見学し、11 時に受付に再集合、学芸員が現れました。学芸員により展示順序の「印刷のプロログ展示ゾーン」から解説が始まりました。この展示は前印刷 (岩や骨などに記録された情報) から現代のデジタル時代の印刷までが展示されており、ロゼッタストーン、ラスコー壁画から洋の東西の様々な印章、碑文、文献が精巧に複製されて展示されていました。特に複製された書類や本などは本物かと思われるように紙色など古色されて復元されており大変興味深いもので



楕円形のトッパンビル

建物、展示場所の
写真は博物館パン
フレットより転載



文字、種類のサインが
刻まれた地球 (?) の
置かれた玄関



複製されたロゼッタストーン、ラ
スコー壁画、東西の様々な印章、
碑文が展示された展示室への道

したが、学芸員に、時間の関係もあり、私たちが切手収集を趣味にしており、切手の印刷方法について主に説明を希望しましたので、途中を省き、「総合展示ゾーン」の切手関連の展示スペースに直行していただきました。

博物館の床面積約 4,150 平方メートル、展示面積が 1,750 平方メートルと広いのですが、古いポスター、チラシ、書籍から最近の印刷物までバラエティー豊かな展示がされておりその中で印刷物全体からみると切手はウエイトが小さく、切手関連の展示はグラビア印刷、オフセット印刷の違いを示す展示と最近発行の凸版印刷(株)製造の特殊切手星座シリーズ第2集の切手が最近の特殊印刷の 箔押し、アルミ蒸着紙、UV クリア印刷、香料印刷、示温印刷、フロッ



キヨッソーネと最初の凸版の小判切手

キー印刷、木目シート、ノーカーボン印刷の9種類の印刷の1つの例として箔押し印刷切手1シートが展示されていたのみでした。

今は、ほとんど見られなくなった凸版切手、会社の社名でもある凸版印刷について質問すると、凸版印刷(株)は1880年代の印刷局で技術指導にあたったお雇外国人エドアルド・キヨッソーネが

細紋彫刻機の操作、エルヘート凸版法等の最新技術を、日本の技術者に伝えた。弟子の中の2人の技術者が当時最先端の技術である「エルヘート凸版法」を基礎に日本の印刷業界の発展を考えて1900年(明治33年)凸版印刷合資会社が創立されたとのこと。

現在の日本切手は「稲門フィラテリー」第46号に2012年、第50号に2013年のその年に発行された日本切手の印刷方法別・印刷会社別の実績データをお小川会員が毎年報告している



トッパン印刷製造 オフセット・ホログラム印刷 南極・北極の極地保護の切手

ように、凸版印刷はお年玉付年賀切手の番号部分の印刷だけが例外で、他はすべてグラビア印刷とオフセット印刷である。

そこで印刷博物館の展示も①P S版(オフセット印刷の版)4色、②ゴムブランケット1本、③シリンダー(グラビア印刷の印刷版面)、①～③の実物展示と、④解説映像「オフセット輪転印刷機とグラビア輪転印刷機」(約6分間)、この映像は製版・色調整・印刷・乾燥・梱包まで簡潔に、オフセットは大量印刷に最適、グラビアは写真の印刷に効果的、インキもオフセット用は粘度が有り、グラビア用はさらさらで彫りの深い部分に入るインキなどと各印刷の特徴違いを説明しておりますがジックリ観る時間は

表 2,012 年発行切手の印刷方式と印刷機関

印刷方式	種類			印刷機関			総計	割合
	ふるさと切手	特殊切手	年賀切手	Cartor Security Printing	国立印刷局	凸版印刷(トッパン)		
オフセット	37	153		163		27	190	49.5%
オフセットエンボス加工		10		10			10	26.0%
オフセットホログラム箔押し		10				10	10	26.0%
グラビア	60	107	2		155	14	169	44.0%
グラビアメタリックマルチイメー		3			3		3	0.8%
グラビア凸版			2		2		2	0.5%
総計	97	283	4	173	160	51	384	100%

なかった。

展示物で同じ図案をグラビア印刷とオフセット印刷の2通りで印刷した雑誌とチラシの現物とルーペが置いてあり参観者が網目の違い・印刷の特徴を観察できるようになっていました。しかし、暗い中でルーペの倍率は15倍程度で各版の特徴まで把握するのは難しかったようです。

学芸員の簡単な説明の後、こちらより様々な質問を、最近のホログラム印刷、箔押し印刷など特殊印刷の方法、ルーペ使用はともかく切手を肉眼でみて、グラビア印刷かオフセット印刷かの区別は馴れれば出来るのか、凸版印刷(株)では凹版印刷は現在おこなわないのか? などなど質問ぞめで時間がたちまち過ぎて、午後の「切手教室」の時間が迫ってしまいましたので、

学芸員に感謝して終わりました。

切手に関する展示物は少ないですが、展示内容は広範で多くの知識が得られる興味深い場所ですので次回は充分な時間を取りたいと思いました。参加者8人(坂下、諸田、野島、小林、宮鍋、荒木、占野、甲斐)

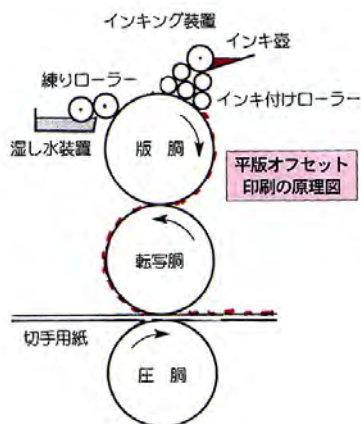


表 代表的な切手の印刷方式 (注1)

現在、最も多い切手印刷方式 オフセット印刷図(注2)

版式	印刷方式
オフセット印刷	ウェット
	ドライ
凸版印刷	凸版印刷方式
凹版印刷	凹版印刷方式
グラビア印刷	グラビア印刷方式



1996年に発行された最も新しい凹版切手。現在、郵便局で購入できる唯一の凹版切手。

参考文献

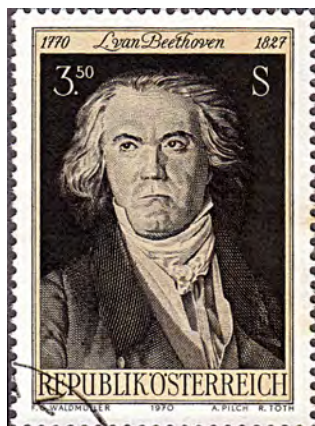
1. 世界の切手印刷
印刷局朝陽会
2. 図解：世界の切手印刷
日本郵趣協会
3. 日本切手百科事典
日本郵趣協会
4. 楽しい切手収集
関東郵趣連盟
5. 切手集めの科学
三島良績著 同文書院刊
6. 日本切手専門カタログ
日本郵趣協会

歌う DAIKU in ウィーンに参加して

林 輝子

地元、川崎の高津で「第九をうたう会」を27年前に数人で立ち上げ、百数十人集り、演奏会終了後、合唱団を誕生させ、今でも毎年定期演奏会（ミサ曲と小曲）を開き、歌い続けています。

たまたま、昨年12月、東日本大震災復興支援プロジェクトから、「ウィーンの楽友協会大ホール（黄金の間）で第九を歌う」という企画



1970年オーストリア発行
ベートーベン生誕200年



2012年オーストリア発行
楽友協会設立200年記念



1970年オーストリア発行楽友協会建物100年記念

音楽好きの私たちには又とないチャンスと飛びついたわけです。

東京での事前練習にはウィーン少年合唱団の指揮者がわざわざ来られるなど準備も致しました。

ウィーンに着いたのが3月1日、演奏会は3月5日、前日のリハーサル会場はコンチェルトハウス。オーケストラはウィーンカンマーオーケストラ、指揮はシュテファンヴラダー氏（6月に来日予定）、テノールのヘルベルトリッパート氏はウィーン少年合唱団出身、メゾソプラノ、バリトンは日本人、合唱は日本全国から集まった250人余、その他地元のウィーン少年合唱団とそのOB達、それに南相馬市の少女合唱団も参加。問題は各パートの合唱団員の席順です。公平な「くじ引き」でしたが、リハーサルでは一番は高い所から、本番は前列からと逆転し、私のように背が低いと果たして指揮者が見えるか心配でしたが、どうやら見える位置に立つことができました。

7時半 演奏開始、超満員の観客席、第四楽章に入ると緊張感が高まります。無事歌い終ってアンコールは「花は咲く」でしめくくり、万雷の拍手を受けて感激。会場の内装を見納めて退場しました。

歴史のあるホールなので、舞台の床など多くの演奏家の足跡を感じる古めかしいものでした。

初めて、第九を指導してくださった先生が「第九を覚えることは一生の宝物になる」と仰った言葉を実感したよい機会でした。



ウィーン楽友協会「黄金の間」

リトアニアに於ける初日カバー等の郵便再使用

荒木 寛隆

去る2月の切手教室で紹介したリトアニアにおける『初日カバー及び記念カバー（以下「FDC等」と云う）の郵便再使用』に関しては、講演後も質問を受ける機会が多かったので使用事例を紹介しながら説明をしたい。

1. リトアニアではFDC等に貼った切手は翌

日以降も郵便料金として有効

日本ではFDC等に貼付された記念印押印済の切手は記念印押印時に郵便として使用しない限り切手としての効力はなくなる。従って、例えば封書料金82円切手を貼ったFDC等でも翌日以降に郵便として使用すると料金不足の扱いとなる。

ところが、リトアニアでは郵便使用時点の郵便料金以上の切手が貼付してあれば、そのまま宛名を書いて郵便物として投函することが出来る。また、FDC等の切手が郵便料金に不足する場合には差額分の切手を貼付して郵便に使用できる。

リトアニアの友人で郵趣専門家のレオナス(Dr. Leonas Veržbolaukas)氏の説明によると『この取扱いは旧ソ連領時代からの慣行でロシア始め旧ソ連邦独立諸国は勿論、旧東欧諸国でも当然の取り扱いとして行われている。リトアニアでは「FDC等の記念押印は郵便としての抹消印ではない」と云う解釈で郵便規則上の再使用規制規定はない。郵便に使用していない切手を「無効」とする日本郵便の考え方が判らない』と云って、却って日本の取り扱いに首を傾げている。

2. リトアニアのFDC等の郵便再使用例

(1) 切手発行初日記念印付FDC

図1及び図2は1993年11月16日発行の「リトアニア郵便創始75周年記念」切手を貼った日本宛のFDC実通便である。両者の違いが判るでしょうか？



図1. リトアニア郵便75周年FDC 海外非優先便書留封書実通便
1993.11.16(初日印) Vilnius → 1993.11.24川越(埼玉)
海外非優先便書留封書料金(≤20g) 90 cent (内書留料金 30 cent)



図2. 2004年 日本宛海外優先便普通封書実通便
(FDCの後日郵便使用)
2004.07.20 Kaunas → 2004.07.28川越(埼玉)
海外優先便普通封書料金(≤20g) 1.70Litas

図1は発行初日の日本宛 FDC 実 通 便 で、60cent の記念切手に Vytis (白馬の兵士)30cent 切手を貼って海外非優先便書留封書料金 (≦ 20g , 以下同じ) 相当の 90cent としている。次の図2は図1と同じ記念切手の FDC を再使用して 2004 年 7 月 20 日に日本宛に送ってきた実通便である。郵便使用時点の海外優先便普通封書料金は 1.70 Litass なので、初日記念押印に使用した切手 2 枚合計 1.60 Litass に 10cent 切手を 1 枚貼って郵便使用時点の料金にしている。

また、図3は国内便としての再使用例で、1991 年 2 月 16 日独立記念日の初日印と 1991 年 9 月 21 日のシャウレイ (Šiauliai) 市 200 年記念特印の 2 個の記念押印がある。この FDC を 1999 年 12 月 24 日の郵便 (クリスマス特印使用) に使用している。郵便使用時点の国内普通封書料金は 70cent なので、初日押印済みの 20cent 切手及び記念押印した 3 枚 (20c+15c+10c) の切手合計 45cent に加えて 5cent 切手 1 枚を貼って適正料金としている。



図 3. 1999 年 国内便普通封書実通便 (FDC+ 記念特印付カバーの郵便使用)
1999.12.24 Šiauliai → 1999.12.27 Kaunas - 31
国内便普通封書料金 (≦20g) 70 cent



図 4. 2007 年オランダ宛海外優先便普通封書実通便 (記念特印付カバーの郵便使用)
2007.04.03 Vilnius - 55 → 2007.04.-- Sneek (Netherlands)
海外優先便普通封書料金 (≦20g) 1.70 Litass

(2) 記念特印の初日印付 FDC

図4は 1991 年 6 月 27 日発行の切手付封筒 (国内普通封書便専用 30 kopeck) に 1991 年 12 月 22 日のバスケットボール創始 100 年記念特印を押印した記念カバーを後日オランダ宛の海外優先便に再使用したものである。記念押印に必要な封書料金 (50kopeck) とするために Vytis 20 kopeck 切手を貼付し、更に、郵便使用時 2007 年 4 月 3 日には、海外優先便普通封書料金 (1.70Litass) とするために 2 枚合計

1.20 Litass の切手を追加貼付している。

(3) 切手付封筒発行初日記念印付 FDC

図5と図6は何れも切手付封筒 FDC の郵便再使用例である。

図5は 1991 年 6 月 27 日首都ヴィルニウス (Vilnius) で開催された世界リトアニア人スポーツ大会記念の記念押印をした切手付封筒を 1995 年にウズベキスタン宛海外普通便として再使用したものである。この切手付封筒は国内書留封書 (70 kopeck) 用に発行された記念封筒



図 5. 1995 年ウズベキスタン宛海外非優先便普通封書実通便 (FDC の郵便使用)
1995.12.20 Agluonai → 1996.01.09 Tashkent(Uzbekistan) → 1996.01.10
Tashkent -167 海外非優先便普通封書料金 (≤20g) 70 cent



図 6. 2000 年 国内便普通封書実通便 (切手付封筒 FDC の郵便使用)
2000.01.29 Vilkaudinis → 2000.01.31 Kaunas - 31
国内便普通封書料金 (≤20g) 無額面 B (1.00 Litass)

であるが、郵便使用時点 (1995 年 12 月 20 日) では海外非優先便普通封書料金 70cent に相当する切手付封筒として利用された。

図 6 は 1993 年 5 月 1 日に発行されたリトアニア初の海外優先便普通封書専用の無額面 B (料金 80 Talonas 相当) 切手付封筒 FDC の国内便再使用例です。本件切手付封筒の発行当初は当然のことながら海外便に使用されたが、郵便使用時点 (2000 年 1 月 29 日) では無額面 B 切手 (料金 1Litas 相当) は国内普通封書料金と

同額となったために、専ら国内便に使用された。

(4) 郵便再使用の特例を知らない人もいる

然しながら、リトアニア国民なら誰もが FDC 等の再使用特例を知っているか、と云うとそうでもないようだ。

図 7 はソ連軍によるリトアニア人のシベリア大量追放 50 周年を追悼した「運命の 6 月」記念切手 (額面 20 kopeck, 1991 年 06 月 14 日発行) の FDC で、リトアニア国内で大量追放が始まった 50 年前と同じ「6 月 14 日」に発行されたものである。郵便使用時点 (1993 年 10 月 5 日) の海外普通便書留封書料金は 1.10Litas なので 30cent 切手 3 枚の加貼りで足りるのに、もう 1 枚茶色の Vytis 25cent 切手 1 枚を貼って料金合計が 1.35 Litass となっている。恐らく、FDC の郵便使用特例を知らないために余分な切手を貼ってしまったものと推測される。また、ハイパーインフレ時期で郵便局窓口には偶々 20cent 切手が払底していたために 25cent 切手を購入せざるを得なかったのかもしれない。

3. その他旧ソ連邦独立国の郵便再使用例

『旧ソ連及び旧ソ連邦独立諸国でも同様の取り扱いが行われている』と言うリトアニアの友人の話に触発されてカバーを捜してきたが、漸くウクライナの事例を見つけることが出来た。

図 8 はウクライナが 1991 年 3 月 31 日に発行したウーソ (スィス) ～クラフ (ポーランド) ～リボフ (ウ



図 7. 1993 年ウズベキスタン宛海外優先便書留封書実通便 (FDC の郵便使用)
1993.10.05 Alanta → 1993.11.22 Tashkent (Uzbekistan)
海外非優先便書留封書料金 (≤20g) 1.10 Litas (内書留料金 30 cent)

4. 日本の FDC 郵便再使用例

初日カバーの再使用例は未だ入手出来ていないが、記念小型印を押印したはがきの再使用例がある。何れもはがき印面の額面効力は無効のために、郵便使用時点の料金相当額の切手が貼られている。

(1) 図 9 は福島市で開催された郵便百年記念郵便資料展の記念小型印 (昭和 46 年 4 月 10 日付) が押印された 7 円はがきである。

このはがきは同年 4 月 21 日 (東京中央郵便局機械印及び手押し印) 沖縄宛の航空便と



図 8. 1993 年 米国宛・ウクライナ国際航空便書留封書実通便 (FDC の郵便使用)
1993.04.05 Kiev - 1 (Ukraine) → 1993.04.12 Brooklyn (New York/USA)
国際航空便書留封書料金 (≤ 20g) 115krb. (内書留料金 20krb.)

クラク) ～キフ (ポーランド) 間初飛行 75 周年切手の FDC を 1993 年 4 月 5 日に米国宛書留便として再使用したものである。記念切手発行当時の国内封書基本料金は 35 karbovanets (カルボネツ) であったが、1993 年郵便使用時の米国宛優先便書留封書料金 115krb. に適合させるために切手 3 枚合計 80krb. を追加貼付している。

して再使用されているが、特別地帯 (沖縄) 宛航空郵便はがき適正料金とするために 2 枚合計 20 円 (15 円 + 5 円) の切手を貼付している。

(2) 図 10 は東京中央郵便局切手普及課 30 周年記念展の小型印 (昭和 58 年 4 月 1 日付) が押印された 40 円はがきである。このはがきを平成 22 年 2 月 5 日に京都 (中京郵便局) から川越に差し出されたもので、郵便使用時点のはがき料金である 50 円切手が貼付されている。

5. 終わりに

旧ソ連邦独立諸国の FDC 等の使用事例はリトアニア及びウクライナ以外にロシア、ラトヴィアのカバーを各 1 通ずつ入手しているが、残念ながら何れも郵便再使用特例を利用していない。

郵趣仲間からは、『フランスやオーストラリアでも郵便の再使用特例がある』とも聞くが、その友人達も実通便は未だ一度も見たことがないと云う。郵趣史の本道から外れるのかもしれないが今後も旧ソ連邦独立諸国を含めて FDC 等の郵便再使用例を調べてみたいと思っている。

郵趣仲間に聞くと、FDC 等の日付と消印の日付が異なっていることから『変な FDC』として切手だけを切り取って廃棄してしまうことが多いようである。皆様のコレクションの中に『変な FDC』を見つけた時は是非教えていただき、できればお譲り頂きたいと願っている。

(注) 切手額面単位について

1990 年 10 月発行の再独立一番切手発行当時の額面単位はルーブル (1Rouble=100kopeck) であったが、1992 年 10 月 1 日以降は暫定通貨タロナ (1Talonas=1Rouble) に、1993 年 6 月 25 日以降は新通貨単位リタス (1Litas=100cent/=100Talonas) に変更となり、夫々の額面単位に読み替えられている。



図 9. 沖縄 (那覇) 宛航空はがき便・再使用例
昭和 46(1971).04.21 東京中央 → 那覇 (沖縄)
特別地帯 (沖縄) 宛・航空便はがき料金 20 円



図 10. 国内はがき便・再使用例
平成 22(2010).02.05 中京 (京都) → 川越 (埼玉)
国内はがき料金 50 円

リトアニア基礎データ

外務省ホームページ参考

一 般 事 情	
面積と位置	6.5 万km ² 日本の約 6 分の 1 北緯 55 度カムチャッカ半島中央部に該当
人口	297.2 万人 (2013 年) 茨城県人口とほぼ同じ 首都 ヴィルニウス (54 万人)
言語	リトアニア語 宗教 主にカトリック 通貨 リタス = 41.3 円
宗教	主にカトリック 政体 共和制 議会一院制 任期 4 年
主要産業	石油精製、食品加工、木材加工・家具製造、物流・倉庫

鎌倉につどう

長谷部 晃

1964年東京オリンピックの年に切手研究会を卒業した者で「卒業50年のつどい」を開きました。3月16～17日江の島・鎌倉で楽しい日を過ごしました。まさに切手研は永遠でした。



池山氏 長谷部 森氏 嶋村氏 中川氏

私たちは1960年に大学に入学し、切手研究会で出会い、学生会館14号室や雀荘を舞台に4年間を過ごし、1964年3月に卒業しました。メンバーは16人前後(1年の三宅島合宿には15人参加)、切手研黄金時代(?)を支えました。切手研として卒業したのは10人でした。(余談ですが同期の卒業には横山大先輩がいました。入学時は既に四年生でしたが)卒業後OB会では何度かあいましたが多数が集まったのは大杉先生の退職記念の会だけだったと思います。社会人になって切手との縁がきれた者の方が多数でした。また岡田氏と岡崎氏は在職中になりました。

2002年に私が退職したとき、「秩父で還暦の会をやろう」と呼びかけ、芝桜や秩父札所を廻る会を開き5人が集まりました。その後何度か嶋村氏の別荘で1,2期後輩を含めて集まったり、私を除いて(秩父からだと夜の集まりに参加するのは困難)の集まりがありました。昨年、

ホームカミングデーの案内がきて「卒業50年でホームカミングデーの招待は終了」という事でした。「ほんとの卒業50年は2014年3月だからそれを期して集まりをしよう、ついでにはホームカミングデーのおり相談しよう」と言い

出したのも私でした。ところが間近になって私は出席できなくなり、池山・嶋村両氏に相談しておいて欲しいと伝え、言い出しっぺでありながら、ドタキャンになりました。でも池山・嶋村両氏の尽力で開催されることになったのです。

16日(日)は風がありましたが晴天で春の行楽シーズン到来を思わせる日和でした。江の島の岩本楼に入り夕景色を見ながら歓談、50年前の仲間に戻りました。夕食の宴を囲みながら50年を語り合いました。今でも全国を走り回っている中川氏の

奮闘記、銀行の転勤で名古屋、松江、大阪と転戦しヤクザから負債を取り立てた森氏の武勇伝、かわいいがとんでもないことをする高校生との出会い(私)、御神楽や外国旅行に蘊蓄を傾ける池山氏、ツーリストの秘話をあかす嶋村氏と話題は尽きません。そして切手研とは切っても切れない麻雀もやりました。多くの者は久しぶりでしたが、嶋村氏は老人会でよく囲むことがあるようで現役でした。指先



2004年発行ふるさと切手



現代的というのでしょうか。鶴岡八幡宮は一昨年の台風で銀杏の木が倒れ、その子孫の育成がおこなわれているのを興味深く眺めました。昼食はこの日からシラス漁が解禁になったので試食しようと探しましたが幟は出ているのにまだシラスが届いていないという店もあってしばらく探してシラスを味わいました。新品はうまいという見本でした。一泊二

日がつどいでしたが五人とも元気、家族の介護をする人もいましたが昔に返った気分です。

翌日は江島神社を参拝、江の島も歩くと結構広いものでした。テレビの天気予報でおなじみの江の島ですが、頂上にある展望塔に登り下



界を眺めましたが春がすみで富士山までの眺望がかすんでいたのは残念でした。参道で江ノ島郵便局に寄りました。風景印と黒活を押してもらったためです。長谷部と中川氏は旅先

で消印を集める事は続けています。その後、江ノ電で鎌倉に移り、大仏と鶴岡八幡宮に参詣・参拝しました。鎌倉大仏は第一次昭和切手の一円の図案(切手の図)になっています。切手縁の地に一度は詣でようと思っていました。東京の者は小学生の遠足で来ているそうですが、私ははじめてです。大勢の観光客でにぎわっていましたが外国人が多いのが目につきました。これも

日をつどいでしたが五人とも元気、家族の介護をする人もいましたが昔に返った気分です。鎌倉を選んだのは亡くなった岡崎氏の生地であり、岡田氏の在所だったからです。お二人の冥福を祈りながら散会しました。私についていえば鎌倉一熊谷間は直通電車です。この50年に大いに変わったことでした。湘南新宿ラインがつながったのです。学生時代は池袋、赤羽、久喜(当時は東北線でした)と乗り換えがあり時間をとられたのですがまさに隔世でした。思えば60～64はオリンピックをめざして東京が変えられる時期だったのです。木造の池袋駅を使った最後の世代だったのです。



大珍品？

青柳 次男

古希を過ぎて、この世にサヨナラをする時期が近づいてきたせいか、このところ、私に届く郵便物が急激に少なくなっている。その理由の第一は、間違いなく、私自身の活動範囲の縮小にあり、そして更に、インターネット等の普及による「メール」が、その状況に拍車をかけていると思われる。

ご存知の童謡の名作

「やぎさんゆうびん」（作詞：まどみちお）

♪白ヤギさんからお手紙着いた

黒ヤギさんたら読まずに食べた

仕方がないのでお手紙書いた

さっきの手紙のご用事なあと♪

「ねえ！ オテガミってメールのこと？」

どうやってメールを食べちゃうの？」

今の子供達から、こんな質問が出てくるのではないかと心配になってくる。

そんな中、アメリカから1通の封書が届いた。封筒表面のかなりの面積を切手が埋めている。しかし消印がない。最近のアメリカからの郵便物には、このようなことが多い気がする。カナダでは、郵便業務合理化のため、地域ごとに集合ポストを設け、戸別配達を廃止した。そのため、自宅から集合ポストまでの往復に、特に老人には負担がかかっていると、TVニュースで報じていたが、ひょっとして、アメリカ版の合理化は、消印廃止か。それとも単なる手抜きか。YOU TUBE には、郵便配達車の窓から、玄関先に向かって郵便物を放り投げる様子を写したビデオが投稿され問題化してもいる。そんなことを考えながら、貼られた切手に傷をつけないよう、そっとハサミを入れた。多少期待しながら。

その郵便を受取る1か月ほど前、久し振りに時間が取れたので、パソコンを立上げ、アメリカのインターネット・オークションを涉獵した。獲物に出会えず1時間ほどで退散。しかし、何か違和感が残る。その「何か」を確認のため、再びオークションへ逆戻り。違和感の原因がはっきりした。この写真だ（画像1）。



画像1 違和感を感じさせた切手

何の変哲もないと思われる第5回国民体育大会の記念切手。でも、よく見ると、下の2枚は、逆になっている。「大珍品！」そんなバカな、とは思うものの、出品者は一応信用のあるニューヨークの切手商。そこが、「BLOCK OF 4」と明記している。詳細に確認しようと、画像を拡大するも、画素数の関係か不鮮明度が増し、余計分からなくなる。100%ニセモノと思いながら、それでも、入札状況を見る。初期値1セントに対し4人が応札。その時点で最高入札額は32ドル。ニセモノ集めを自負する、というよりホンモノに縁のない私としては手を拱いてはいられない。赤提灯を1回我慢すれば何とかなる。落札できるかどうかは分からないが、一応、参加しておこうと、64ドルで応札。翌日、「おめでとうございます。あなたが43ドルで落札しました」とのメールが仕事先に届いた。

その「大珍品」が入っているかもしれないアメリカからの郵便だ。ハサミで口を開けた封筒から、ピンセットを使い、そっと取り出す。しっかりと「ブロック」になっていて、一見、接着

したようには見えない。用意したルーペで拡大。
期待通り？切断痕を発見。（画像2）



画像2 切断痕ははっきり見える

「見事な技術」には違いないが、何故、逆さに接続したんだろう。外国のオークションでは、日本切手が、時々、上下逆の画像で出品されていて、その上、国名が、CHINA, JAPAN, TAIWAN, KOREA, HONG KONG などと表示されていることもある。「漢字」の上下を判断できないのだろうか（日本に関する認知度の低さか）。そうするとこの4枚ブロックは、外国人の手になる偽装かもしれない。そして、偽装者には、「大珍品」を偽装する意図など毛頭なかったのだろうと考えられる。しかし一応、出品者には連絡した。「期待通り、偽装ブロックだった」と。もちろん、何の返事も届いていない。

偽物といえば、外国のインターネット・オークションでは、日本の手彫切手の偽物が多く出品され、それなりに落札されている。切手表面に、「参考」、「模造」と印刷されていても、また、消印に「モゾウ」という文字が見えていても、である。かく言う私の収集品にも、数年前、インターネット・オークションにデビューした当時の「参考」品が残されている。さすがにいまでは、稲門フィラテリー先輩会員の指導よろしきを得て、ある程度まで見分けを付けられるように成長？している。しかし、つい先日、先輩の教えを忘れ、「正真正銘」の参考品、模造品

の入札競争に参加してしまった。そして、見事落札。落札額は、前述の偽装国体切手の2倍。これで、赤提灯を3回我慢しなければならない。その落札品が画像3になる。明治廿三年八月三日印刷、五日出版の「造模手切便郵止廃本日大」、発行者 和田小太郎である。英語で、IMITATION OF THE DISMISSED JAPANESE POSTAGE STAMPS. とあるから、もともと外国向けに作成されたものと思われる。明治22年というと1889年。今から120年以上も前のこと。正に、この偽物は、日本の立派な「文化



画像3-1 「造模手切便郵止廃本日大」



画像3-2 「造模手切便郵止廃本日大」の上部拡大

財」と言っても良いのではないだろうか。言い過ぎは覚悟ですが。

この模造切手一覧ほど古くはないものの、50 数年前の早稲田祭切手展（画像 4）に、「信じられますか？」という表題で、私は、数枚のリーフを出品し、REPUBLIK MALUKU SELATAN とか、ZARAGOZA, LUNDY ISLAND など、当時の著名なアメリカやイギリスの切手カタログに全く記載のない諸国？の切手を並べた。もちろん現在も、それらのカタログで発見することはできない。しかし、ふと思い立ち、インターネットを利用して調べてみることにした。50 数年ぶりの確認になる。先ず驚いたことに、インターネット・オークションでは、立派に「切手」として取引されている。でも、謂わば、全て地方切手であり、実際に通用する、あるいは通用したわけではない（未確認ですが）。LUNDY 島などは、実在するイギリスの島で、現在は、18 人の住民が生活し、観光地として賑わっていると紹介されている。そして、そこで発行される、あるいは発行された切手に

関しては、カタログまで存在し、イギリスには、その島の切手を専門に集める収集家がいるらしい。因みに、LUNDY 島では、その島独自の消印も用意されているが、正式には、イギリス切手を貼付しなければならない。

インターネットを活用し、たった 1 時間足らずで、50 数年前の疑問を解決することができた。本当に便利になったと思う。一方、インターネット等、通信手段の発達とは、紙で伝達する手紙を電子メールに変えてしまい、白ヤギさん、黒ヤギさんの食糧事情を悪化させるとともに、切手の必要性を益々低下させている。それでも、何故かこの国では、毎年、夥しい種類の切手が発行される。白ヤギさん、黒ヤギさんの仲間である私（青ヤギ）としても、何らかの対応を考えなければいけない時期に来ていると思っている。



画像 4 50 数年前の早稲田祭切手展に
展示したリーフと拡大した LUNDY 島の切手？



画像 5 LUNDY 島はどこ、どんな島？

世界文化遺産 富士山の切手

富士山が世界文化遺産に指定された。自然遺産でなく文化遺産ということである。富士山はサクラの花について多く切手に描かれている。当然、世界遺産シリーズ切手として10種が発行されるであろう。その前に富士山がこれまでにどのように切手に描かれてきたのかを整理してみた。



富士と桜
これぞ日本の切手

160種の切手に富士山はなんらかの形で描かれている(普通27、航空9、年賀1、特殊74、ふるさと38種)。しかし、描かれ方が非常に変化に富んでいる。まず、全体でも、部分でも富士山を描いた絵画は59種も切手になっている。そのうち54種は浮世絵である。北斎・富嶽三十六景の17の絵が33種の切手に、広重・五十三次、江戸名所の富士山が描かれた17の絵が18種の切手に使用されている。しかし、これら浮世絵のうち山として富士山を主題にしたものは、北斎の山下白雨(切手6種)、凱風快晴・赤富士(切手4種)ぐらいで、他は富士山が背景になった浮世絵である。対して、他の絵画は横山大観の霊峰飛鶴のように富士山を大きく主題に描いたものが多い。



この富士山が背景として多く描かれることは残り100種の切手についてもいえることである。富士山の景観を大きく描いた切手は国立公園、JAPAN WEEK、山岳シリーズなどに20種程度にとどまり、他は背景に富士山を描いたもの、デザインの一部に富士山を配置したものである。この点をふるさと切手にみると富士山からの距離に比例して富士山の扱い方に違いがみられる。お膝元の山梨14、静岡8、そして神奈川5、東京2(江戸名所と粋の浮世絵切手除く)の順に富士山が描かれた切手が発行されており、切手に占める富士山



山梨県

静岡県

神奈川県

東京都

の大きさも同じく距離に比例して小さくなっている。

次に、デザイン化した富士山は富士鹿、震災切手など33枚の切手に見られる。その中で特徴的なのは北斎の赤富士のように縦長にデフォルメされた大仏航空のような切手が多いようである。頂上だけ、頂上の無い、コインの中の富士山もある。



縦長にデフォルメされた富士



富士山 山頂

山頂のない富士山

発行目的の点から整理すると、郷土のランドマーク表現は当然として、国際観光年、国際文通、航空切手等のように日本のシンボルとして描かれているものが多い。160種のうち57種は国際的事項に関連した切手である。この点を国際的な事項の切手に用いられることの多い浮世絵切手でみても、浮世絵切手218種のうち富士山が描かれた浮世絵切手55種の65%は国際的事項の切手であるのに、富士山のない浮世絵切手164種では37%で、富士山が描かれた浮世絵が意図的に国際的な事項の切手に用いられているかと考える。



山梨県ふるさと切手
富士講の巡礼地 忍野八海

山梨山の切手自体が多いということであろうか。この点からも近く発行される切手がどのように文化遺産とを感じるものになるか楽しみである。(編集子)

この号の最終校正を進めていた5月初旬、世界遺産シリーズ〈第7集〉「富士山―信仰の対象と芸術の源泉」の発行が発表された。文化遺産らしい切手が見当たらないと感じざる得ない富士の四季の風景等の10集である。

切手に食を見る

和食がユネスコ世界無形遺産に指定されるといことが聞こえてきて、思い出したことがある。最近のヨーロッパ切手に食材、料理を描いたものが多くみられるようになってきていることである。振り返ってわが国をみると非常に少なく、唯一 1984 年発行の全国菓子大博覧会切手の和菓子があり、他は食材として最近の野菜シリーズぐらいで、料理の切手はない。



ヨーロッパの食材、料理切手をながめると国によっていくつか異なることが注意された。ヨーロッパで料理といえば、フランス、イタリア料理であろう。ところが、この二カ国が切手での食材、料理の扱いが異なるようである。フランスの 80 種ちかい食関連切手は食材より、料理を主に切手にしているのに対して、イタリアは食材に限られている。

フランス切手には地方を代表する料理とデザートがいくつかみられる。地方料理としてはプロヴァンス地方の海鮮風味の濃厚なスープ"ブイヤベース"、ラングドック地方のカスレーという陶器で白インゲン豆を使った煮込み料理カスレーなどが切手に描かれ、フランス料理といえば頭に浮かぶフォアグラ、生ガキ、フランスパンも切手になっている。そして、クレープをデザートにノートルダムを目にコーヒーも楽しめる。

フランス切手には地方を代表する料理とデザートがいくつかみられる。地方料理としてはプロヴァンス地方の海鮮風味の濃厚なスープ"ブイヤベース"、ラングドック地方のカスレーという陶器で白インゲン豆を使った煮込み料理カスレーなどが切手に描かれ、フランス料理といえば頭に浮かぶフォアグラ、生ガキ、フランスパンも切手になっている。そして、クレープをデザートにノートルダムを目にコーヒーも楽しめる。



ブイヤベース



カスレー

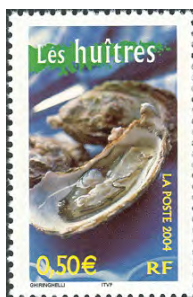


パン

そして、クレープをデザートにノートルダムを目にコーヒーも楽しめる。



フォアグラ



牡蠣



クレープ



カフェ

一方、イタリアは具体的な料理でなく、食材の輸出を目的にしたイタリア製品として切手にしている。一連の"Made in Italia"切手の中で発行されている。イタリアが誇る靴、宝飾品、大理石、高級車等と一緒にいくつかの食材が切手になっている。料理の色付けや風味付けのための香辛料サフラン、生ハム、バルサミコ酢などが切手に描かれている。そのうちの一種はこれでイタリア料理は調理されているという代表的な食材を網羅し一緒に描いている。

この両国も含め、スイス、ベルギー、スウェーデンなどの切手をみて感じるのは食生活に占めるチーズとワインの大きいことである。ヤギ、ヒツジ、牛、白カビ、青カビ、等のチーズが切手から特異の香りを放つようである。いくつかのチーズをつまんでみると、パルメザン、カマンベールのほかに、ヤギとヒツジの混乳でも作



生ハム



バルサミコ酢



サフラン

右 北イタリアの風景をバックにイタリア料理には不可欠なトマト、トウガラシ、生ハム、チーズ、ワイン、パスタ



るというコルシカ島の Brocciu, シャンパーニュ地方の柔かい Chaource, 昔の洗濯石鹸を思い出させるシチリア島の Ragusano などが鼻を喜ばす。更に、スイスにはフォンデュを想定してか白ワインのぶどうとチーズをえがいたものがある。

チーズと異なりワインは食材のブドウが切手に描かれワイン自体が切手に顔を見せることは少ない。イタリア切手には異なる風景をバックに垣根栽培のブドウ畑と種類の異なるブドウを描いた切手がある。詳しい知識を持つ人ならばそこにワインのラベルを思い描けるのであろうが、横文字を頼りに調べたら、日常親しんでいるものの4倍もするワインであった。



チーズケーキに使用する
コルシカの Brocciu



シャンパンに合うのか
白カビの Chaource



熟成期間の段階を変えて
味を楽しむ Ragusano



ブドウが白ワインを、
フォンデュを思わせる
スイスチーズ

この種の切手で幅広い関係領域から切手にしている国がある。スウェーデンである。レシピ本の著者、料理評論家等の人物、平凡な野菜、スイーツ、夏の市民菜園風景、デザート、家庭料理等、楽しいものが多い。そのなかで森林国らしい切手が注意された。The Forest Larder (森の食料貯蔵室) として発行された4種の切手である。このあたりにベリー種のジャム類の切手が発行されている。こんな



ボジョレー地方の
ブドウ、これであ
の赤ワインが



イタリアの高級ワイン、バローロのブドウ「ネッビオーロ」(左)、グレコ ディトゥーフォのブドウ「グレコ」(右)とそのブドウ畑



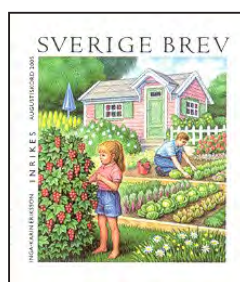
切手の中、強烈な臭いを放つ切手が発行されている。世界一臭いものとして位置付けされているニシンを発酵させたシュールストレミングという発酵バルトニシンの缶詰を描いた切手である。その臭さを切手では鼻を赤くして表現しているらしい。屋内ではとても臭くて食べられず、



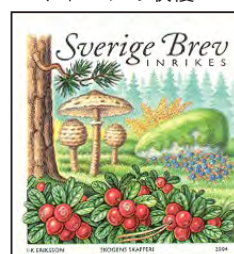
著名なレシピ本の著者



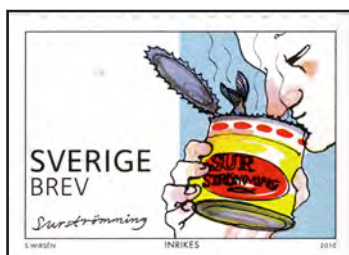
キャベツの収穫



夏の市民菜園



森の食料貯蔵室



強烈な臭いを鼻、目許の赤さに
表現したシュールストレミング

戸外、テラスで
ウォッカ等で洗
い、野菜、チー
ズと一緒にパン
に載せて食べる
ようである。こ
の臭いを数値で
表すと下表のよ
うになるという。

無形文化遺産 "和食" が切手になるとしたら
目を楽しませる料理が主となるのであろうか。

食の香りベスト 10

(小川)

シュールストレミング	8070
ホンオフェ (エイの発酵食品、韓国)	6230
エピキュアーチーズ (缶詰チーズ、N.Z)	1870
キビヤック (海鳥の発酵食品、アラスカ)	1370
くさや (焼きたて)	1267
鮎寿司	486
納豆	452
くさや (加熱前の干物)	447
沢庵漬け (古漬け)	430
臭豆腐	420

数字はアラバスター単位 (Au) による測定。

2円切手「秋田犬」がウサギに踏まれた

磯野 昭彦

4月20日は郵政記念日、毎年切手趣味週間記念切手は発行されるものの、最近では郵政記念日のことがマスコミで報じられることはあまりない。日本郵便でさえも最近、特に民営化後は「郵政記念日」の行事はあまりないようだ。日本郵便が公社であった時代までは郵政記念日には、例えば各郵便局（主な集配局）では記念式典が開催されていた。

今年4月20日の日本経済新聞文化欄に2円切手「秋田犬」の絵が目に残った。その2円切手はウサギに踏みつけられている絵である。私の大好きな2円切手「秋田犬」を踏みつける

とはケシカラン。しかし、そのウサギをよく見るとエゾユキウサギである。そうだ、今年消費増税に伴って発行されたウサギと気が付いた。絵は現代画で有名な福田美蘭画。秋田犬からエゾユキウサギにバトンタッチを記念した絵のようだ。この絵に「増税に伴う新切手発行」という記載が一切ないのが憎い。

絵になったこの2円切手「秋田犬」は、平成元年消費税導入時に伴って発行されたもの。原画は昭和28年発行時の2円切手と同じである。私はこの秋田犬が日本切手で一番日本らしさのある切手であると思っているのだが……。



1953年8月25日発行
第1次円単位普通切手
秋田犬



2014年3月1日発行
新料額普通切手
エゾユキウサギ



2円のエゾユキウサギ

福田 美蘭

2014年4月20日 日本経済新聞 朝刊 文化欄

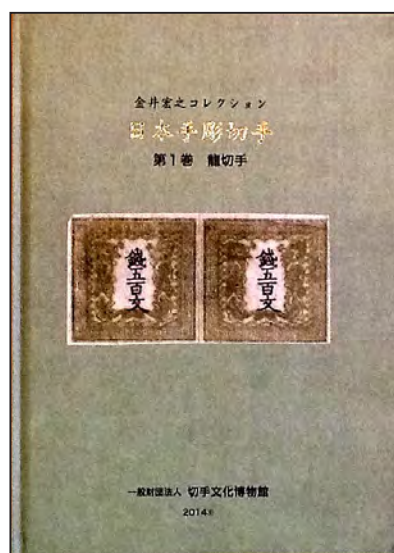
故 金井 宏之会員のコレクション

『日本手彫切手』刊行

稲門フィラテリー 49 号でお知らせしました故金井会員の貴重なコレクションを記録した書籍『日本手彫切手』が 3 月に切手文化博物館より刊行されました。

第 1 巻龍切手、第 2 巻和紙桜切手、第 3 巻洋紙桜切手・鳥切手で構成された布張豪華本、部数限定で発行されました。

切手文化博物館より稲門フィラテリーに寄贈されました。閲覧希望の方は稲門フィラテリー事務局で閲覧できます。



龍 48 文コレクション



鳥切手コレクション

カラー版会報の印刷の参考に

稲門フィラテリー電子版 PDF をアドレス所有会員に配布してから、一部会員より掲載した切手カラー画像は郵便切手類模造等取締法に触れるのではないかと指摘を複数いただきました。電子画像は法に触れないと明確に書かれたものを見つけましたので紹介しておきます。総務省の HP (http://www.soumu.go.jp/yusei/02ryutsu14_03000030.html) に次のように記されています。

デジタルカメラなどで撮影した郵便切手の画像データをホームページやブログなどに掲載した場合には、その行為自体は「郵便切手類模造等取締法」の取締りの対象とはなりません。掲載した写真が印刷された場合には、同法に抵触する可能性がありますので、十分ご注意下さい。

印刷の際に抵触しない印刷、掲載方法が記されていました。

1. サイズを変更

印面を96mm以上か、17mm以下に印刷する。
10cm以上、2cm以下ならカラーでも抵触しないようです。

2. 文字、二重線を加える。

① 12 ポイント以上の文字で模造、参考品等と記す

② 太さ 0.23mm 以上の 2 重線を金額、日本郵便部分に加える。



3. 一つの角に斜線を引く

① 線は太さ 0.23mm 以上

② 始点と終点は各辺の 4 分の 1 以上におく。

③ 印面の外に 1mm 以上はみ出している。



平成 26 年稲門フィラテリー総会日程

平成 26 年のホームカミングデー・稲門祭日程を大学が 10 月 19 日に決定しました。

従って、**稲門フィラテリー総会も 10 月 19 日**に予定します。時間、懇親会等は確定後、お知らせします。

★切手教室

平成 26 年 4 月 5 日 105 回

午前 凸版印刷株式会社 印刷博物館 見学

午後 「切手の印刷」 宮鍋益治 新宿北郵便局

平成 26 年 6 月 7 日 106 回

「切手の画像 2 万種を楽しんでみませんか」

小川義博 新宿北郵便局

編集後記

この 3 月、1995 年以来久しぶりに普通切手が 7 種類と大幅な変更がされて発行された。消費税 8% 増税によるものである。52 円、82 円切手の変更は 2 円の増税が頭に浮かぶが、8% の税金はいくらで、真の郵便料金はいくらなのか。計算してみると、48 円、76 円が郵便料金。来年 10 月には 53 円、84 円の切手が発行されるのか。そして、52 円、82 円切手は発売停止となり、短命な切手の運命が普通になるのか。この普通切手発売停止、特殊切手の種類の多さによる郵便局窓口の負担を軽減するためかと、勘繰りたくもなる。

★稲門フィラテリー常設展

第 26 回 平成 26 年 3 月 1 日

～平成 26 年 6 月初旬

「郵便料金改定に伴う切手発行の歴史」

新宿北郵便局

第 27 回 平成 26 年 6 月 7 日

～平成 26 年 9 月初旬

「紹介：新宿北郵便局で使用している

通信日付印（消印）」

新宿北郵便局

発行日：2014 年 6 月 1 日

発行：稲門フィラテリー

発行人：磯野 昭彦

〒150-0002

渋谷区渋谷 1-11-3 正栄ビル 4 階

(株) 英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：吉沢 忠一 青柳 次男

小川 義博

稲門フィラテリー

第 53 号

2014 年 9 月 1 日発行

在横浜フランス郵便局と「デグロン君カバー」

小林 彰

はじめに

「泰平の眠りを覚ます上喜撰たった四杯で夜も眠れず」。1853年7月8日（嘉永6年6月3日）ペリー提督率いる4隻の黒船が浦賀沖に来航し国交を求めた。浦賀は見物人で一杯になったという。この時の様子を詠んだ狂歌が冒頭の句。上喜撰とは緑茶の銘柄「喜撰」の上物という意味で、蒸気船とかけて揶揄している。ペリーは開国を促すフィルモア大統領親書を幕府に手渡したが、彼らは返答までに1年を要求したため、ペリーは1年後に再来航すると応じた。

そして、1854年2月13日（嘉永7年1月16日）、ペリーは琉球を経由して浦賀に再び姿を現した。幕府との取り決めで1年間の猶予を与えるはずであったが、半年で決断を迫った。約1カ月にわたる協議の末、幕府はアメリカの開国要求を受け入れ、全12カ条におよぶ日米和親条約が締結された。徳川家光以来200年以上続いた鎖国の終焉である。その後、列強は相次いで和親条約を締結し、外交事務と居留民保護のため公使館や領事館を開設した。

さらに1858年（安政5年）になると、幕府は5カ国、アメリカ・イギ

リス・ロシア・オランダ・フランスと順次、修好通商条約を結ぶに至った。ポルトガル、イタリア、デンマーク、スペイン、スウェーデン・ノルウェー、オーストリア・ハンガリーほかも5カ国に遅れること数年、同様の条約に調印した。

この修好通商条約により横浜、長崎、函館、兵庫と新潟の5港で自由貿易が認められた。自由といっても条約締結国の国民に借地と住居・営業が許可されるのは開港場内の一定地域に制限されていた。この地域を「居留地」という。借地権や建物の所有権を含む外国人の居住権を「居留」と呼んだことからこの名がついた。横浜の居留地は現在の山下町と山手の丘一帯にあり、ここには公使館、領事館、商館が建ち並び、また瀟洒な異人館が軒を連ねていた〔図-1〕。



〔図-1〕横浜外国人居留地・本町通（横浜開港資料館絵はがき）

欧米から大勢の外交官、御雇外国人、聖職者、商人らが開港地にやって来て、居留地内に落着いていた。当時、日本ではまだ近代郵便制度が未成立で、居留民は本国との通信には領事館を通じるしか手立てがなかった。これを領事館郵便という。領事館員が本務の片手間に郵便事務を取り扱った程度のもから、後年の英・仏横浜局のように独立した局舎と専従職員を有する組織的なものまで、その進化の程度には大きな差があった*1。

本稿では、在横浜フランス郵便局と同局長デグロンの名を冠した日仏混貼カバー「デグロン君カバー」を紹介し、あわせてこの分野の収集・研究者、松本純一氏との交流についても触れる。松本氏を抜きに「デグロン君カバー」を含む在横浜フランス郵便局は語れないからである。

*1 松本純一「フランス横浜郵便局」星雲社2008年刊、第2章4. 領事館郵便の始まり(18頁)

(1) 在横浜フランス郵便局

1-1. 領事館時代を含むフランス局(領事館)の所在地の変遷

1859~1862 神奈川宿慶運寺 [図-2]

1862~1865 駒形町中横丁

1865~1866 居留地 31 番

1866~1866 運上所向側

1866~1875 本町 5 丁目(別名「弁天」)

1875~1880 居留地 134 番



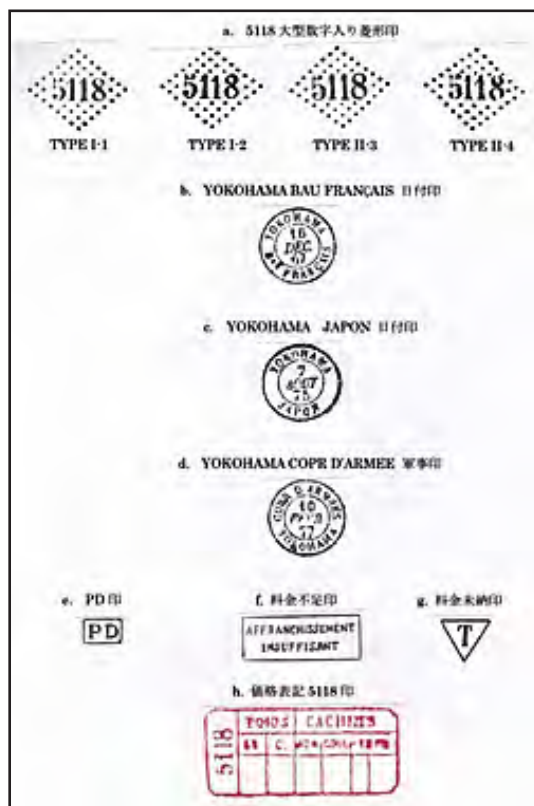
[図-2] 神奈川宿・慶運寺
(最初期のフランス領事館の所在地)

1-2. 開局

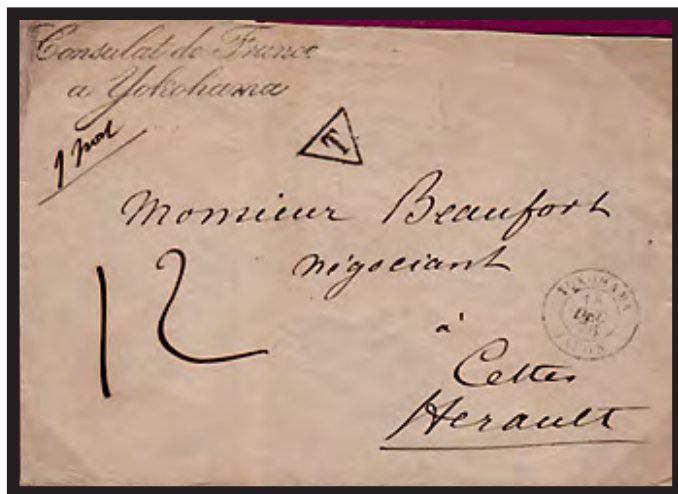
1865年7月1日、横浜のフランス領事館の郵便事務担当者デグロンが正式に横浜局の局長に任命された。この日をもってフランス横浜局の開局日とみなしていた時期もあった。しかし、松本純一氏の調査により1865年9月7日に横浜入港の仏郵船デュプレックス号により郵便資材一式が届けられ、この時点で郵政の規定に則った郵便取扱の態勢が整ったことが確認された。したがって、同氏はこの日を開局日とされ、現在ではこれが定説となっている。

1-3. 横浜局で使用された各種印 [図-3]

- a. 5118 大型数字入り菱形抹消印
- b. YOKOHAMA BAU FRANÇAIS 日付印
- c. YOKOHAMA JAPON 日付印
- d. YOKOHAMA CORR D' ARMEE 日付印
- e. PD 印 (Payé jusqu' à Destination)
- f. 料金不足印 (Affranchissement Insuffisant)
- g. 料金未納印 (Taxe) [図-4]
- h. 価格表記 5118 印 (Chargé) [図-5]



[図-3] フランス横浜局使用各種印



[図-4] 現在、横浜局未納印付カバーは本1通のみ知られている。
在横浜フランス領事館差立フランス宛書状
未納料金 12 デシム (1フラン 20 サンチーム)



[図-5] 横浜局 5118 価格表記印付きカバー
現在確認されている価格表記印付カバー 2 通の内の 1 通

1-4. 横浜大火

1866 年 11 月 26 日早朝、居留地に隣接する末広町の豚肉商から出火し、西風に煽られて大火災となった。この大火で日本市街の 3 分の 2 と居留地の 5 分の 1 が焼失した。「在庫していた商品が残念ながら先月 26 日の大火ですべて焼失したことをご報告いたします」[図-6]。この書簡は大火後最初に (1867

年 12 月 16 日) 出航した仏郵船アルフェー号で香港に、さらに別の郵船に積み替えられて 1867 年 2 月 1 日マルセイユ着。その後陸路で北フランスのランスに届けられた。

当時フランス領事館(郵便局)は運上所向側に移転していたが全焼した。5118 菱形抹消印や在庫していた郵便切手類が焼失した。しかし、理由は不明だが、抹消印以外の日付印などは消失を免れたと言われている。新しい 5118 印が翌 1867 年 4 月に支給された*2。なお、新 5118 印の中に 8 が他の同印に比べ大きく、かつ十位の 1 が破損している印がある*3。

*2 松本純一「フランス横浜郵便局」第 4 章

3. 郵便業務運営上の臨時措置 (50 頁)

*3 小林彰「フランス横浜局 5118 印の欠陥について」切手研究 No.371, 1992

1-5. 本町 5 丁目への移転と

大火による臨時措置*4

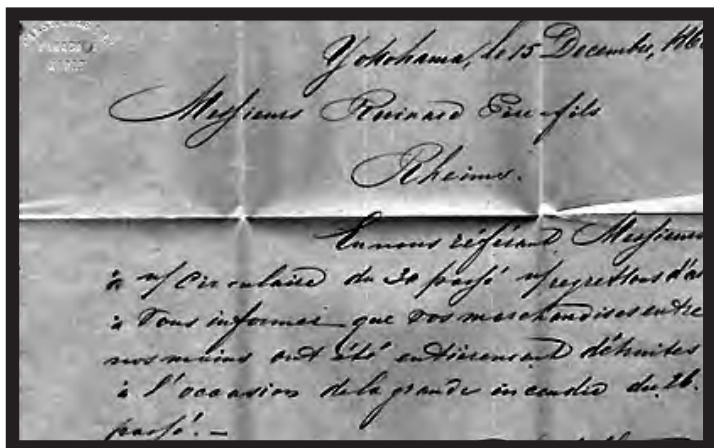
焼失した横浜局の業務は弁天にあったフランス公使館の隣に移転し再開した。本町 5 丁目とも表記される。他方、事務上の扱いとしては 5118 抹消印が焼失したため、日付印や錨入菱形印で切手を抹消した事例がある[図-7]。錨入菱形印は 1867 年 1 月横浜入港のアルフェー号が自船の船舶郵便用のものを臨時に貸与したという。なお、この時期、日付印や PD 印(到着地まで料金払い済み)が本来の黒や朱に代えて青で押印されている例が散見される。業務が混乱していたことがうかがえる。

*4 松本純一「フランス横浜郵便局」第 4 章 3.

郵便業務運営上の臨時措置 (48~50 頁)

1-6. 居留地 134 番*5

1875 年 11 月、フランス領事館は山手地区フランス山の麓に移転する計画がまとまり、新領事館落成まで一時的に居留地 74 番に移転した。これに伴い、領事館とともに仮住まいしていた郵便局も移転することになり、居留地 134 番の



〔図-6〕横浜大火（1866.11.26）後、最初に出航した（1866.12.16）
仏郵船でマルセイユ経由北フランスに運送された書簡
「在庫商品が先月 26 日の大火で全焼した」と記されている。



〔図-7〕大火による臨時措置。錨入菱形印で抹消されている。

デグロン局長の私宅を局舎代わりに利用した。

*5 松本純一「フランス郵便局の所在地の同定」

郵便史研究会・紀要 37 号（2014 年 3 月）6.

居留地 134 番の時期 1875.12.27~1880.3.31（13 頁）

1-7. 日本の外国郵便制度の整備 *6

1871 年 4 月 20 日（明治 4 年 3 月 1 日）東京・大阪間に官営郵便路線が開設され、前島密らによる近代郵便制度が発足した。以来、国内の郵便路線は着実に伸張されていった。さらに外国との郵便創設を志向する駅通寮は、英・米・仏の在日局を利用して外国郵便を受発信する仕組みを考案した。

横浜以外の日本各地宛到着便は、横浜の各外

国局に私書箱を設け、横浜郵便役所が一括して受け取り、駅通寮によって受取人の居所まで配達する方法をとった。この配達料金は国内便扱いとし、先払（受取人払い）ではあるが 2 倍料金を徴収しないことも定めた。

他方、外国への差出便は 1872 年 4 月 8 日（明治 5 年 3 月 1 日）布告の「海外郵便手続」でその方法を公布した。すなわち、外国宛の封筒を別の大きめの封筒に入れて日本国内料金と宛て先別に定める外国郵便料金の合計額を日本切手で外側の封筒に貼付し、「外国郵便差出願」と記して駅通寮に差し出すよう定められた。駅通寮では依頼すべき外国局を選定し、内側の封筒にその国の郵便切手を貼付して横浜日本局経由、当該在日外国局に持ち込み外国への送達を依頼するという仕組みであった。因みに、フランス宛書状料金は 4 匁（=15 グラム）毎に 32 銭と定められた。当時の在横浜フランス局からフランス本国宛の料金は 10 グラム毎に 1 フラン（仏郵船による）または 1 フラン 30 サンチーム（英国郵船による）だった。1 フランは約 20 銭、1 フ

ラン 30 サンチーム約 26 銭に相当するので、駅通寮の料金はフランス局の料金に比べてやや割高だった。「外国郵便差出願」によって差し出された実例が現在までに 3 通が確認されている。その内の 1 通は「八戸カバー」の名称で広く知られている。

*6 松本純一「フランス横浜郵便局」第 12 章 1.

「海外郵便手続」外国郵便の萌芽（153~156 頁）

1-8. 万国郵便連合の成立 *7

1870 年代前半まで、世界各国における外国郵便の仕組みは複雑であった。当時の郵便交換条約は当事者 2 国間で締結されることが多く、料金その他の扱いにおいて統一性を欠いてい

利用者には不便なものであった。そこで万国共通の郵便条約の構想が浮上した。1862年8月にアメリカの郵政長官ブレアによる郵便国際会議の提唱であった。

翌1863年、主要14カ国の代表がパリに参集して郵便物の重量と料金の統一、乗継料金の簡易化などが議論された。この会議は1863年パリ小会議と称され、後年の万国郵便連合の萌芽とされている。1874年、ベルンに22カ国の代表が集まり、最初の郵便大会議が開催された。そして同年10月9日、「一般郵便連合 Union Générale des Postes (GPU) の創立に関する条約」が調印された。次回のパリ大会議において万国郵便連合 Union Postale Universelle (UPU) への改称が議決された。当初の加盟国は22カ国で、条約の発効日は1875年7月1日と定められた。フランスは国内事情から同条約の施行が遅れたため、1876年1月1日からの加盟となった。日本の正式な万国郵便連合への加盟日は1877年6月1日と決定された。28番目の加盟国となった。

万国郵便連合への加盟によって、6月20日以降、加盟国宛の書状料金は10銭と定められた。ただし、アメリカと上海宛は特別料金5銭のままであった。

*7 松本純一「フランス横浜郵便局」第17章3.
万国郵便連合の成立 (245~246頁)

[参考] 日仏間フランス郵便料金 *8

1865年6月21日公告、7月15日施行、
9月7日適用開始

前払書状 (7.5g 毎) 70 サンチーム
着払書状 (7.5g 毎) 90 サンチーム

以後、再三料金は改定された。1870年12月21日公告、1871年1月1日適用開始ではプリンディシ経由の料金設定。普仏戦争のため、英国船はマルセイユに代えてイタリア南端のプリンディシに母港を置くことになり、イタリアは通過料を徴収した。従って英国船による通送の場合、通過料を上乗せした料金を設定した。また、1877年3月16日公告、4月1日施行、5月30日適用開始ではGPU加盟国間の郵便料金は大幅に値下げされた。日仏間フランス郵便料金の変遷については下記に詳述されている。

*8 松本純一「フランス横浜郵便局」付録2. フランス横浜郵便局の郵便料金の推移 (319-322頁)

1-9. 閉局

1877年になるとフランス横浜局発着の郵便物は急激に減少した。後期 (1877~1880年) の現存郵便物は200通未満と推定されており、開局から閉局まで (1865~1880年) の同局発着郵便物の推定現存総数約3000通に対して7%でしかない*9。

フランス本国の郵便電信省郵政総局は郵政月報第23号 (1880年3月) で「フランス横浜郵便局は1880年4月1日以降その業務を停止する」と告示した。デグロン局長も同趣旨の公告を3月6日のL'Écho du Japon紙に掲載した。「4月1日以降、従来フランス局で行ってきた郵便物の取り扱い業務はすべて日本の郵政当局により実施される」。1865年9月7日の開局以来、14年7カ月に及ぶ同局の歴史に終止符が打たれた。なお、デグロンは閉局後もフランス郵政上の地位としては横浜局長のまま、1年間は日本の駅逋局顧問として二重に雇用されていた。この間、デグロンはフランス郵便局の所在地でもあった居留地134番に居住し続けた*10。

*9 松本純一「フランス横浜郵便局」第18章1.
終末期のフランス横浜郵便局 (253頁)

*10 松本純一「フランス横浜郵便局」第18章5.
フランス横浜局の閉局 (260頁)

(2) 「デグロン君カバー」

2-1. デグロン来日と離日

デグロン Henri Joseph Degron は1839年4月14日、ヴェルサイユ市内で誕生した。父親は司法書士、母親は近郊クレスピエールの富農の娘で、一人っ子のアンリは不自由のない暮らしを送っていたらしい。彼が14歳の時、父親が投獄された。その理由は不明。この事件のためか、デグロンは高等教育を受けていない。数回にわたり外務省の書記官試験を受けたが合格しなかったという*11。

1861年2月2日もしくは3日、フランス軍艦ラ・ドルドーニュ号の乗組員として来日した。その後、1862年1月末から8月の初めの

間に同艦を降りて公使館付の書記官補に任命された*12。

在上海フランス局は1862年12月19日開設された。同局には大型数字5104入菱形印や日付印などが配布された。デグロンは郵便実務習得などの目的で1864年1月に上海局に出張した。上海から帰任した直後の2月4日付のThe Daily Japan Herald紙に初めてデグロン名義で郵便受付の公告が掲載された。デグロンの肩書は郵便取扱人となっている*13。すでに述べたように、1865年7月1日、本省から横浜郵便局の局長に任命された。そして、1880年3月31日の在横浜フランス局の廃局まで局長の任にあった。デグロンは廃局後1年間、駅通局長、前島密の顧問として駅通局雇となったことは前述のとおり。1881年4月24日仏郵船タナイス号で20年余滞在した日本に別れを告げた。デグロンの肖像[図-8]*14。

*11 松本純一「フランス横浜郵便局」第20章2.

来日までのデグロン(284頁)

*12 松本純一「フランス横浜郵便局」第20章4.

フランス横浜局開局への胎動(286頁)

*13 松本純一「フランス横浜郵便局」第20章12.

晩年のデグロン(297頁)



[図-8] フランス横浜郵便局長
アンリ＝ジョセフ＝デグロン。

(松本純一「フランス横浜郵便局」より転載)

*14 松本純一「フランス横浜郵便局」第20章11.

デグロンの肖像(295頁、297頁)

2-2. 「デグロン君カバー」*15

「デグロン君カバー」とは、幕末から明治初年にかけて、横浜に開設されていたフランスの郵便局を経由して、東京などからフランス宛に送られた郵便物であって、日本とフランス両国の郵便切手が混貼された郵便物を指す。これは松本純一氏の《「デグロン君カバー」研究史》のまえがきに記されたいわば定義である。松本氏は続けていう。横浜以外の日本の各地（ほとんどは東京）から、日本の国内便によって、まずはフランス横浜局長デグロン宛に配達され、フランス横浜局から先は、フランスの郵便物として本国の宛先に送られた。日本とフランスの、二つの異なる郵便区間を通過するために、それぞれの区間に有効な切手が混貼された郵便物である。日本国内の宛先（フランス横浜郵便局長のデグロン）とフランスの最終宛先と二通りの宛先が記された郵便物と見ることもできる。

*15 松本純一《「デグロン君カバー」研究史》

日本郵趣協会2010、

まえがき「デグロン君カバー」とは(3頁)

2-3. 「デグロン君カバー」の出現*16

1958年4月、「シャナハン・オークション」カタログに、日本の手彫切手とフランス切手が同じ封筒に貼られているカバーが掲載された。後に言う「デグロン君カバー」の郵趣界への初めての出現であった。参考値は80英ポンド(220米ドル)だった。しかしながら、5月3日のシャナハン本社(アイルランド首都ダブリン)での競売で無入札に終わった。

本状は5ヵ月後の10月4日の競売に再出品された。今回は別のデグロン君カバー1通も出品された。60英ポンド(168米ドル)と前回より25%評価を落としている。新たな1通は50英ポンド(140米ドル)と評価されていた。当時の為替レートや日本の給与水準を考慮すれば、現在の80万円に相当。落札値はさらに高値になる可能性もあり、また競売人の手数料10%を加算しなければならない。落札結果は不明である。

1964 年、「国際郵便切手展」が全日本郵趣連盟主催、朝日新聞後援で東京（7 月 31 日～8 月 5 日、於日本橋白木屋）と大阪（8 月 10 日～16 日、於なんば高島屋）の両会場で開かれた。本展には「デグロン君カバー」2 点が展示された。実物の一般初公開だった。

*16 松本純一《「デグロン君カバー」研究史》第 1 章 1.

「デグロン君カバー」初出の経緯 (8-12 頁)

2-4. 「デグロン君カバー」の性格 *17

「デグロン君カバー」方式は、陸軍省雇のフランス軍事顧問団員に対する優遇措置と長いこと考えられてきた。しかし、現在では「デグロン君カバー」方式は優遇措置など特別の郵便取扱方法ではなく、普通の郵便規則で説明可能な通常の郵便物と考える方が妥当だといわれる。すなわち郵便物上の仏文の宛名とフランス切手を無視すれば、宛名は和文で明記され、料金が日本切手で完納された国内郵便物である。また、仏文の記載やフランス切手の貼付を禁止する規定は「郵便規則」にも「差出人心得」にもない。

他方、フランス横浜局でも、宛名は仏文で明記されているし、料金は自国切手で前納されて

いるので引受を拒否する理由はなかった。日本切手と和文のデグロンの宛名も横浜以遠の通送上問題はなかった。

この「デグロン君カバー」方式は 1873 年 1 月 13 日差出から 1877 年 12 月 3 日差出まで現存例があり、5 年間の長期にわたって継続実施されていて、公認の郵便物取扱方法であったと推察される。従って、この「デグロン君カバー」方式の開始に当たっては、日本の官庁間の調整も、日仏両郵便局間の協議も、新しい規則を創る必要もなかったと結論づけられる。

*17 松本純一「フランス横浜郵便局」第 16 章 2.

「デグロン君カバー」方式成立の経過 (214 頁)

2-5. デグロン君印のタイプ分類 *18

東京からフランス横浜局まで国内郵便として送るための宛名であるデグロン局長の住所・役職を記した木製の印判は日本人の印判屋に作らせてフランス軍人の宿舍である教師館に配備されていた。現在、下記 7 タイプが知られている [図 -9]。

タイプ 1：現存の「デグロン君カバー」の 80%

以上に使用されている。デグロンの肩書「佛國飛脚船会社長」[図 -10]。

タイプ 2-a：現在 2 通のカバーが確認されている。肩書「佛國飛脚屋会社長」。

タイプ 2-b：現在 1 通のカバーが確認されている。2-a と 2-b の差異はデグロン君の「君」の位置。2-a に比べ 2-b の方が上方にある。

タイプ 3：タイプ 1 と記載内容は同じ。ただし枠付き。1 通のみ。

タイプ 4：フランス横浜局が 1876 年 12 月 27 日に居留地 134 番に移転した後の「横浜居留地百三十四番」。またデグロンの役職も「佛國郵便局長」に改められた。1 通のみ確認。

タイプ 5：デグロンのデに濁点がなく「テグロン」となっている。記載内容はタイプ 2 と同一で枠付き。7 通が知られている [図 -11]。

タイプ 6：タイプ 4 に酷似。ただし、



[図 -9] デグロン君印全 7 タイプ。

(MASTUMOTO JUN ICHI "A History of
The French Post Office of Yokohama" より転載)

文字の大きさと字配りに差異があり、タイプ6と命名された。1通のみ。特筆すべきは、このカバーの差出人はフランス軍事顧問団員ではないこと。

なお、デグロン君の宛先を筆書きしたカバー 2



[図-10] デグロン君印 (タイプ1)。フランス切手は表面に貼付。



[図-11] デグロン君印 (タイプ5)。

差出人ルボンまたは代理人が直接横浜局に持込。
日本切手貼付なし。

通も知られている *19。

*18 松本純一《「デグロン君カバー」研究史》第15章 3.

《タイプ2の「デグロン君印」の詳細比較》
(123-125 頁) および第18章 2. 「デグロン君
印」の各タイプ (136-137 頁)

*19 松本純一「フランス横浜郵便局」第16章 5.
手書きされた「デグロン君」の宛名
(228-232 頁)

2-6. 「デグロン君」印押捺カバー

一般に「デグロン君カバー」はフランス横浜局の所在地とデグロン君が和文で刻印された印判が押捺され、日仏両国の郵便切手が混貼されているカバーと定義されていることは前述のとおり。現実には日本切手が剥がされ、フランス切手だけがカバー上に残って

いるいわば損傷「デグロン君カバー」も少なからず現存する。これはフランス到着後、日本切手が珍しく名宛人あるいは第三者が剥がしたのかも知れない。また、[図-11] に示したように日本切手をカバーから剥がした痕跡はないがフランス切手のみが貼付されているカバーも少数ある。これらは差出人もしくは代理人が直接フランス横浜局に持参して出状したのであろう。

松本氏はデグロン君印押印カバーのデータ・ベースを作成し都度更新されている。最新のデータによれば手書きの宛名のカバーも含めると 105 通のカバーが確認された *20。

内訳：

印判タイプ 1	完全カバー	x 53 通
印判タイプ 1	日本郵便不関与 (日本切手不貼付)	x 1 通
印判タイプ 1	損傷カバー (日本切手脱落ほか)	x 33 通
印判タイプ 2-a	完全カバー	x 1 通
印判タイプ 2-a	日本郵便不関与 (日本切手不貼付)	x 2 通
印判タイプ 2-b	完全カバー	x 1 通
印判タイプ 3	完全カバー	x 1 通
印判タイプ 4	損傷カバー	

	(日本切手脱落)	x 1 通
印判タイプ 1+4	損傷カバー	
	(日本切手脱落)	x 1 通
印判タイプ 5	完全カバー	x 6 通
印判タイプ 5	日本郵便不関与	
	(日本切手不貼付)	x 1 通
印判タイプ 6	完全カバー	x 1 通
印判タイプ 6	不完全カバー	
	(封筒表側のみ現存)	x 1 通
宛名筆書	完全カバー	x 2 通
合計		105 通

*20 松本純一編 2014.1.1「デグロン君カバー」

データ・ベース 第6版

[注意] 10年ほど前、「デグロン君カバー」はそのほとんどが偽造・変造と論じた記事が世にでたことがある。この説は松本氏により直ちに論破された。現在では、デグロン君カバーの変造品は1ダース程度。それ以外は問題なしとする松本氏の説が支持されている。デグロン君カバーは危険という偏見は払拭されねばならない*21。

*21 松本純一《「デグロン君カバー」研究史》第14章3.

“FFE”No.8に掲載の「デグロン君カバー」稿

(3) 在横浜フランス郵便局との出会い

3-1. 1974年から1978年と1980年から1983年の2度にわたりアルジェリアの首都アルジェに駐在した。この間、1年に10回ほどアルジェからパリに出張していた。夕刻、パリはオペラ通りの切手商、日本人にも馴染みのBehrの店に入り浸り、1862年から1880年まで発行の目打付ナポレオン3世、月桂冠のナポレオン3世、パリ包囲下のセレス、共和国のセレス、サージュ・タイプを入手していた。この年代に絞ったのは、この間に発行された切手が在横浜フランス局で使用されていたからである。郵便史的背景も知らぬまま同局発着カバーも細々と入手していた。

3-2. 1978年に最初のアルジェ駐在から帰国後、新橋駅近くにあったサン・フィラテリックセンターでR. サール著、松本純一訳注、金

井スタンプ商会 1976 年刊行の「フランス横浜郵便局」を入手した。フランス語版の翻訳と思い、原著も欲しいと言ったところ、「この日本語版は、原著者サール氏の執筆途中での逝去により、松本氏が著者の意志を引継いで訳注書として出版したもの」と教えられた。この訳注書にはフランス横浜局で使用されたフランス切手の一覧表が付いており、この表に筆者の保有する切手には赤鉛筆で○印を付した。特に、筆者が該当切手を所有していて、表で空白となっている未見欄に○印を記入するのは爽快だった。

この時、訳注者の松本氏とはまったく面識がなかったが、巻末に住友化学工業(株)勤務と紹介されていて、住友商事(株)の筆者とは同じ旧財閥系で親しみを覚えると共に住友には多才な人がいるものだと思心した。

その後1983年に2度目のアルジェ勤務から帰任した。翌1984年に松本氏は「フランス横浜局とその時代」を日本郵趣出版から上梓された。発刊を知って直ちに入手し、手垢の付くほど何度も読み返した。

(4) 松本純一氏との交流など

4-1. 1986年にカナダ・モントリオール事務所に赴任、1990年に帰任した。この頃にはフランス横浜局のカバーも50通程集まっていたが、さらに発展させるには在横浜フランス郵便局を含む日仏交流史の研究者・松本純一氏から直接指導を受けねばと思い、早大切手研の先輩、サン・フィラテリックセンターの高馬邦夫氏に同氏への仲介の労をお願いした。初対面は銀座7丁目の小料理屋、3畳ばかりの座敷だった。松本氏は慶応義塾のご出身で筆者より遙か年長。お会いすると温厚で気さくな紳士で緊張は解けた。が、フランス局に対する並々ならぬ情熱と豊富な知識に圧倒された。一言一言に感服し、感嘆した。

厚顔無恥であったが筆者のコレクションをご覧いただいた。直後、是非JAPEX 90に出品されたらと予期せぬお勧め。種々ご指導を仰ぎながら初出展にこぎつけた。筆者の郵趣界へのデ

ビューだった。初出品で金賞を授与された。

4-2. 以来、松本氏には各種貴重な資料を惜しみなく提供いただき、筆者のフランス局の知識も飛躍的に向上した。1992年、全日展の伝統郵趣部門に「フランス 1862~1876」を出品し郵政大臣賞、翌1993年には郵便史部門「フランス横浜郵便局」で連続して郵政大臣賞を受賞した。先学の諸氏、松本純一氏を始めとし、澤まもる氏やアンドレ＝ローラン氏のご指導の賜物にほかならない。なお、澤氏は切手研の先輩・根岸昭二氏に紹介いただき、ローラン氏はパリの切手街ドウルオ通りの老舗切手店 Robineau の先代社長から紹介された。以来、20年の歳月が流れた。

ところで、松本氏は2003年に日本郵趣協会・理事長に就任、2005年辞任と同時に会長を引き受けられ現在にいたっている。

4-3. 「フランス横浜郵便局」を国際展、1994年ソウル、1996年ヘルシンキ、1999年パリ、に出品した。ソウルとパリで大金銀賞、ヘルシンキでは銀賞だった。ヘルシンキとパリの両展はマダガスカル駐在中の開催だったので、出品に際し稲門フィラテリー会員で先輩の西村寿一郎氏にはたいへんお世話になった。同氏とはヘルシンキで1週間ご一緒した。

パリ展での大金銀賞は本場フランスでの受賞で感激もひとしおだった。澤氏は審査員として参加された。また、参観に来られていた松本氏とは、パリ在住のローラン氏を交え、北駅前有名なレストランでワイン片手に生ガキに舌鼓を打ちながら歓談した。

4-4. デグロンの墓は生地ヴェルサイユ近郊のクレスピエールという小村にある。松本氏は2度墓参されている。1997年に松本氏は英文の「The French Post Office in Yokohama」を James Bendon 社から出版された。同年、筆者はデグロンの墓地を初めて訪れ、松本氏の英文版「フランス横浜局」を墓前に供えた。

4-5. 松本氏が今日までに上梓されたフランス横浜局関係文献を参考に下記する。ただし、スタンプレーダー、全日本郵趣、切手研究、郵趣研究、郵便史研究、Japanese Philately、

Fakes, Fogerries, Experts (FFE) など国内外の定期刊行誌に発表された論考は省略。

1.R. サール著、松本純一訳注、「フランス横浜郵便局」
金井スタンプ商会、1976

2. 松本純一「フランス横浜郵便局とその時代」
日本郵趣出版、1984

3. 松本純一「横浜にあったフランスの郵便局 - 幕末・明治の知られざる一断面」原書房、1994

4.Jun Ichi Matsumoto "The French Post Office in Yokohama" James Bendon Ltd. , 1997

5. 松本純一「在日外国局研究史」
(郵趣研究ブックレット No.5)
日本郵趣協会、2006

6. 松本純一「フランス横浜郵便局」 星雲社、2008

7. 松本純一「デグロン君カバー研究史」
日本郵趣協会、2010

8.Matsumoto Jun Ichi "A History of the French Post Office of Yokohama" JPS, 2012

[付記] 上記以外、「郵便史コレクションの作り方」日本郵趣協会1990、「日仏航空郵便史」日本郵趣出版2000、「一心フランス 郵趣人生」日本郵趣出版2004などがある。

おわりに

本稿では在横浜フランス郵便局と「デグロン君カバー」に焦点を当てて概要を紹介した。そのほとんどを、松本純一氏の複数の著作から快諾を得て引用・転載させていただいた。松本氏には衷心より謝意を表したい。

フランス、アメリカ、イギリスが日本国内に自国の郵便局を設けたことは主権の侵害である。しかし、当時の日本ではまだ外国郵便制度が確立されておらず、これら在日外国局を経由する以外、海外との郵便交流は不可能であった。この点を踏まえれば、主権侵害よりも外国郵便の嚆矢として在日外国局が果たした役割を率直に評価すべきであろう。

その意味で、郵便史はもちろん伝統郵趣あるいはテーマチックの分野に取り組まれている諸兄姉には在日外国局、その中でもっとも研究の進んでいる在横浜フランス郵便局に関心を持っていただければこれに優る歓びはない。

邪道！？ バーチャル切手収集

小川 義博

はじめに

会報の編集をお受けして困ったのがまったく切手から遠ざかっていて切手のイメージと知識が無くなっていたことである。執筆者の要望に応えるためにせめて、日本切手だけでも 100% 応えられるようにと、切手画像と文字情報を合わせた検索システムをどうにか作成した（会報 33 号「日本切手データベース完成」）。切手発行のたびにデータを追加したり、過去の切手に新たに知り得た情報を加えたりしてきた。その経験の中で、切手への思い、切手収集に対する気持ちに変化が起きてきたことを自覚した。

それは、切手そのものよりも、情報が付随している切手画像の方が大切に思えるようになったことである。実物の切手より、発行内容の文字情報を連結した電子画像 FILE の方がである。新しく発行された切手をスキャンし、情報をリンクさせると、切手は家族が使用して、手元から無くなっても気にならなくなっていることに気付いた。どんどん使用して、ストックブックに入れる気持ちが失せてしまった。そして、ストックブック、アルバムを開くよりも、モニターに映る拡大された切手画像を楽しんでいることが多い自分におどろいた。そして、1 円の前島

密と見返り美人画像 FILE とを同等に扱っている、カタログ値をまったく気にしないで扱っている。当たり前と言われれば、それまでであるが、“アレッ！？”と感じさせた。その利用価値はまったく同じなのである。そして実物の紙片を所有しておきたい、自分のものにしたいという私有欲が消えていき、逆に、画像 FILE と文字情報を揃えたいという収集家宿命か、別の私有欲が異なる形で存在感を大きくしてきた。

バーチャル切手アルバム

日本切手の画像私有欲が一段落した後、唯一アルバムに発行順に整理してあったオーストリア切手をスキャン、そして調べ直して、私有欲を一応満たした。これだけバーチャル切手が揃うと、自ずとカタログ収集レベルであればバーチャルリーフの切手アルバムが面白いように出来てくる。

例えば、見返り美人、実物は一枚だけ発行順のアルバムに鎮座しているが、バーチャルであれば、発行年別切手リーフ、趣味週間切手リーフ、浮世絵リーフ、浮世絵作者別リーフ、見返り美人切手リーフなど、どのリーフにも美人に振り返っていただき、簡単に、贅沢に作成できる。バーチャル切手は何枚でも持てる。そして

[illegible][illegible]

見返り美人



山田浅右衛門
記念切手
150円

1948年 山田浅右衛門 山田浅右衛門記念
1949年 山田浅右衛門 山田浅右衛門記念
150円



趣味趣味週間
記念切手
150円

1948年 趣味趣味週間 趣味趣味週間記念
1949年 趣味趣味週間 趣味趣味週間記念
150円

切手はすべて買えるトリミン



趣味趣味週間
記念切手
150円

1991年 趣味趣味週間 趣味趣味週間記念
1992年 趣味趣味週間 趣味趣味週間記念
150円



趣味趣味週間
記念切手
150円

1993年 趣味趣味週間 趣味趣味週間記念
1994年 趣味趣味週間 趣味趣味週間記念
150円

トリミンで買える切手



趣味趣味週間
記念切手
150円

1995年 趣味趣味週間 趣味趣味週間記念
1996年 趣味趣味週間 趣味趣味週間記念
150円



趣味趣味週間
記念切手
150円

1997年 趣味趣味週間 趣味趣味週間記念
1998年 趣味趣味週間 趣味趣味週間記念
150円

趣味趣味週間記念切手



趣味趣味週間
記念切手
150円

1999年 趣味趣味週間 趣味趣味週間記念
2000年 趣味趣味週間 趣味趣味週間記念
150円



趣味趣味週間
記念切手
150円

2001年 趣味趣味週間 趣味趣味週間記念
2002年 趣味趣味週間 趣味趣味週間記念
150円

発行年別リーフ

浮世絵切手リーフ

見返り美人リーフ

実物は貴重な1枚でもバーチャルは何枚でも必要なリーフに配置でき、自由にリーフを作成できる。

何より発行日、作者、画像内容等の文字情報をコピー、ペーストで簡単に付記、完成できる姿をしている。

更に、個と扱われる切手を一つの集合体として扱う面白さを見つけた。オーストリー切手の検索システムを持ってあらためてその感を深くした。オーストリー切手のバーチャルアルバムリーフを作成、感じとったもので会報 51 号の紙面を汚した。あの駄文のためには、人物切手、地方都市、音楽、自然、動植物、絵画芸術、鉄道切手リーフなど約 100 枚のバーチャル切手リーフが生まれて、わが PC の HD に保存された。切手教室のプレゼンでご覧頂いたのがその一部である。しかし、このようなものを持つと、一般教養、知識が欠けていたため、見落としていた事項が散見され、それなりに刺激を受け、書物をひも解く機会も増えてくる。

バーチャル切手を求めて

このようなアルバム作成を楽しんでいると、更に、収集癖、私有欲がでてきて、もっとバーチャル切手が欲しくなってくる。自分のストックブックをスキャンして情報をリンクさせて増やしていたが、そのうち、ネットから拝借する、と言えば聞こえはいいが、パクルことを憶えた。時間を見つけネット徘徊をはじめた。この徘徊、意外と難しく、良い切手鉱脈にぶつからない。良い鉱脈というのは画像の質が高く、文字情報を合わせて得られ鉱脈である。少なくとも画像は 200dpi 以上で、発行年月日、発行目的が得られるものが望ましいのである。例えば、郵便会社の鉱脈は情報は詳しく得られるが画像が 72dpi と画面で楽しむにはお粗末だったり、外国の切手商のものは画質は良いが情報がまったくなく、SCOT に援助を求めねばならないよう

である。そのうち画質、情報とも素晴らしい鉱脈にぶつかった。UPU のサイトである。画質は 200dpi 以上がほとんど、英文であるが文字情報も充実したサイトで最近 10 年程度のバーチャル切手が拝借出来た。そのほかにもいくつかの切手商、個人収集家のサイトにもかなり有望な鉱脈を見つけることが出来た。

ここで画像の質を具体的に示すと下記の国宝切手清水寺本堂を 72、200、400dpi でスキャンした画像のようになる。3 つの画像の質で清水寺がモニターに映し出されたものを想像していただくと、72dpi 画像は実物大をモニターで見る程度が限界で、使用に絶えないことがお判りいただけるだろう。

バーチャル切手の作成・取得と補正・整理

スキャナーで切手の画像を作成するには黒地に透明紙で作成されたストックブックをバラして用いるのが便利である。まとめてスキャンしないと手間が大変。なるべく 200dpi 以上の解像度でスキャンした方が画像をきれいに拡大して楽しめることは下図の通りだ。

その後は、画像処理ソフトが必要になる。集合させた切手画像のまま、ピントフィルター、色調補正で最低限の調整をしてから、個別に切り取り、意外と大変な水平位置を調整し、一応、HD のストックブックに保存する。

サイトからは画像の取り込みに個別にクリックで「名前を付けて画像保存」でなく、サイトによってはサイトを丸ごと取り込み、画像 File だけをを振り出す方法があることを知った。おかげで飛躍的に数多く取り込めるようになった。しかし、サイトからの画像の多くは解像度、色調のよいのは少なく、補正する必要な画像がほとんどであるが、必要なものだけにとどめざ



国宝切手 清水寺本堂

左の清水寺の黒色部分が下記の数字 dpi で示してあります。この大きさ、画質の清水寺切手画像を想像してみてください。



72dpi



200dpi



400dpi

るをえない。それでも 2000 種程度の駄切手未整理パケットとでもいうような Folder が出来上がってしまう。その後は、実物切手と同じく、ストックブックに整理する作業である。

具体的には、考えられる項目 Folder を HD に作成する。主だった国と関心のあるトピカル事項である。次に、写真整理ソフトのサブネイル画面でパケットの画像を確認し、直接、該当 Folder に移動させる。こうして、各 Folder にある程度 File が集められた段階で、FILE 名を一括文字情報として、必要ソフトに貼り付け、その中で切手の持つ発行年、発行目的等を入力する。画像はマウス操作だけで比較的楽に準備できるが、画像 FILE 名と切手の持つ情報をそれぞれ文字にして整理するのに労力を要する。幸い FILE 名を一括して文字として取り出せる Filer があったので大助かりした。綴りを間違えやすい FILE 名入力が助けられた。File 名を手入力してははこのバーチャル切手収集はまず不可能だったであろう。

半年もしないうちに、我がバーチャル切手コレクションは日本以外で約 2 万種を超え、これまでは見向きもしなかったカリブ海諸島の乱発切手も選択するようになっていた。やはり、財布に関係が無いと見方が変わるものである。このパケットをピンセットでなくマウスで整理していくのもしんどいが結構楽しいものである。

次の作業が大変である。File 一覧表に文字情報を入力していくことである、とても、Scott を開いている時間はない。切手画像を見るだけで理解できる、国名、発行年、デザイン内容だけでも大変である。横文字をそのまま入力せざる得ないことも多い。こんな時、便利なのが翻

訳のサイトで、切手画像の隣にサイト画面を置き、忘却曲線の右下に達した老いた脳から消えた単語などを調べることが便利で重宝している。こんなことをしながら、日本切手 DB システムのコピー版 EXCELFILE に入力した。

画像を楽しむ

このような作成経過を経て、ある程度文字情報を持ったバーチャル切手ストックブックが 25 冊程度誕生した。それらは国別ストックブックともいえる国名 Folder が 19、トピカル別 Folder が 4 つ、未整理駄切手パケットとでもいうべき 8000 種の FILE を持つ Folder である。このバーチャルストックブックを持ったことで、数分でトピカルに集めてモニター画面で一覧表としてながめ、さらにそこから、コピーでバーチャルアルバムがつくれるようになった。近頃はこんなことをして切手を楽しんで切手の知識と一般知識をも深めている。

具体的に述べると、まず、自由に拡大して切手を楽しめることである。ルーペを利用すると拡大画像を制止させて他と比較することは出来ない。モニター画面であれば記録作業も可能で、拡大もかなり安定した状態で自由にできる。普段は気にとめない切手に興味を持てる。普通切手「人物画像鏡」も拡大してみると、画像に描かれているものをさらに調べてみようとも思われてくる。このズーム操作は基本的ソフトウェアエクスプローラで可能であるが、サムネイルで画像を見ながら自由に選択できる一般的な写真アルバムソフトの活用が良いであろう。

折角のバーチャルとは言え 2 万種の切手。少し系統立てたり、関連付けたり、枠を変えて、バーチャル切手をモニターに並べられる機能を EXCEL に持たせた。日本切手 DB に作成したマ

```
0268a_sc0232-5_116183_r_l.jpg
0273a_sc0236_116187_r_l.jpg
0253d_sc0224-line-perf_146469_r_m.jpg
0256d_sc0226-wide-top_146470_r_m.jpg
0257a_sc0227-comb-14x14-narrow-top_116170_r_m.jpg
0252a_sc0223_116164_r_l.jpg
0258a_sc0228-grey-blue_116172_r_l.jpg
0241x_sc0217-comb-perf_146474_r_m.jpg
0244a_sc0218-comb-perf_116153_r_m.jpg
0249a_sc0221-comb-perf_116161_r_m.jpg
0246a_sc0219-comb-perf-14x14_116155_r_l.jpg
0248a_sc0220_116160_r_l.jpg
0232m_sc0209-11_116140_r_m.jpg
0235m_sc0212_116144_r_m.jpg
0236a_sc0213-6_116146_r_l.jpg
```

とても手入力で誤りなく入力するのは無理な画像 FILE 名の文字列



未整理切手画像 Folder のサブネイルの一部
ここから特定 Folder（サイバーストックブック）に
移動させる。



普通切手人物画像鏡も拡大してみると
馬、踊り、文字があり。見方が異なってくる。

クロを利用した。これで国別で集合、国境を超えての集合等が一般的事項でできるようになった。例えば、クリスマス切手を国別に発行年順集合、19ヶ国のクリスマス切手大集合等が容易に出来るようになり、楽しみの幅が広がった。次に、希望通りモニターに切手を並べられるようにした。ピンセットで水平に複数枚を並べる苦労を考えると夢のようである。

これで、ワープロ画面等に準備したバーチャルリーフを作成するのも簡単である。バーチャル切手のドラッグ、コピーでスムーズにでき、更に、ネットから資料を探し編集し、バーチャルアルバム completion である。1冊のアルバムからの一部を次ページ示した。



発行年によってクリスマス切手もこんなに違う。
2002年—2010年アイスランド、イタリア切手



クリスマス切手も国がちがえば描かれるものも面白い
2004年 アイスランド、イタリア、カナダ、グリーンランド、スイス、スロバキア、ニュージーランド、ノルウェー、フィンランドのクリスマス切手一部

最後に

正しい切手収集とはとても言えないけれど、カタログ値に惑わされることもなく、この邪道切手の楽しみ方は年金生活者には相応しいものである。更に、切手収集を終わらせる日の近い者にとって相応しいものとする。どんなにたくさん収集しようが、クリック、金槌の4、5回の動き一瞬で整理ができ、残されたゴミのような紙きれで家族を悩ませることがないのによりである。

このコレクション、拝借ばかりでは気が引けるし、ぜひ会員諸兄姉に体験していただきたいと考え、DVDに納めたバーチャルストックブックを用意しました。稲門フィラの名譽を汚すような切手収集に興味をもたれ、邪道な収集で御御足を汚してみたい方は連絡ください。

切手を楽しんでください

見たい国を選択してください。

1. アイスランド 約 600 種
2. イタリア 約 710 種
3. オーストリア 約 2300 種
4. カナダ 約 1300 種
5. スイス 約 580 種
6. スウェーデン 約 680 種
7. フランス 約 2000 種
8. ベルギー 約 1120 種
9. 英国 約 1700 種
10. ドイツ 約 400 種
11. フィンランド 約 600 種
12. ニュージーランド 約 1000 種
13. ノルウェー 約 300 種
14. デンマーク 約 400 種
15. スウェーデン 約 400 種
16. グリーンランド 約 200 種
17. スロバキア 約 300 種
18. ニュージーランド 約 300 種
19. アメリカ 約 3000 種

国の番号は？
アルファベットは？

上の切手をクリックしてください
希望のものがあります

見たい切手を選択してください。

A. 島の切手 約 500 種
B. 美術切手 約 4000 種
C. スラバキア切手 約 1500 種
D. クリスマス切手 約 300 種

日本切手 約 6500 種

上のメニュー画面から楽しみが始まる

クリスマス切手 (1)

キリスト生誕

オーストリア オーストリア ベルギー フランス

季節・雪国

フィンランド イギリス アイスランド

子どもの世界

スウェーデン デンマーク フィンランド スウェーデン

かざり

スウェーデン アフリカ カナダ スイス

左画面からドラッグ、コピーでリーフを簡単作成

記念切手で乗車するオーストリアの鉄道旅 より

セメルング鉄道

グロッグニッツ駅から途中セメルング駅を経由し、ミュルツツァーシュラク駅に至る。世界初の山岳鉄道として知られるが、他山岳鉄道同様、走行時の地勢の険しさや高低差も特筆に値する。ヨーロッパで最初に国際標準軌を採用した鉄道であり、鉄道自体も今なお稼働している。走行距離は全長41.825キロ、高低差は460メートルになる。建設期間は1848年から1854年までの6年間である。ゼメルング鉄道の設計者カール・リッター・フォン・ゲーガ (Carl Ritter von Ghega) は機関車の構造に最新の技術を用いることで、急勾配やカーブを克服した。軌道には、14のトンネル、16の高架橋、100を超える石橋に11の鉄橋がある。また、土木工事(トンネル掘削・橋梁架橋など)に際しては、自然との調和が重要な課題とされており、このことが世界遺産認定について大きく評価された。

ゼメルング鉄道を含む路線は、首都・ウィーンと、オーストリア南部の都市(グラーツ、クラゲンフルト、フィラハ)・国外の都市(イタリアのヴェネツィア、スロベニアの首都・リュブリャナ、クロアチアの首都・ザグレブ)とを結ぶ、オーストリア連邦鉄道(OBB)の重要幹線の一つである。このためゼメルング鉄道は、開業時とは異なり電化こそされているものの、開業から150年以上が経過し、世界遺産に登録された現在でも現役であり、上記の都市を結ぶ特急列車が1時間間隔で通過するほか、イタリアの首都・ローマとを結ぶ夜行列車や、多数の貨物列車も通過する。

210th Anniversary of the Birth of Karl Ritter von Ghega
2012 発行
世界遺産認定記念
2012 発行

ゼメルング鉄道の設計者
カール・リッター・フォン・ゲーガ (Carl Ritter von Ghega)

1971 年 快速鉄道運行開始
セメルングを走行する快速列車

エンゲルト機関車

セメルングの開通で必要になったのが強力な蒸気機関車で
ある。そのため、いくつかの機関車が開発された。セメル
ングで活躍したのがエンゲルト機関車であった。フランス、
スイスでも必要とされた。オーストリアでは1930年代
まで運行した。

世界遺産登録基準における以下の基準を満たしたと
見なされ、世界遺産登録がなされた。
ある期間を通じてまたはある文化圏において、建築、
技術、記念碑的芸術、都市計画、景観デザインの発展
に関し、人類の価値の重要な交流を示すもの。
人類の歴史上重要な時代を例証する
建築様式、建築物群、技術の集積また
は景観の優れたもの。
世界遺産に登録された他の鉄道
ニルギリ山岳鉄道、ダージリン・ヒマラヤ鉄道

ブレンナー線 (鉄道) 100 年

オーストリアとイタリアの国境ドロミ地方のブレンナー峠はアルプスを越える他の主要な峠より低く、鉄道はトンネルに頼らず1867年に開通した。

オーストリア イタリア
国境表示

シュルテンキルヒン AB
オーバーザン AB
インスブルック OB
マイヤーホフ OB
プレナー線 FS
メルター FS
メルター FS

100 BRENNERBAHN
1867
50
REPUBLIK ÖSTERREICH

オーストリアとイタリアの国境ドロミ地方のブレンナー峠はアルプスを越える他の主要な峠より低く、鉄道はトンネルに頼らず1867年に開通した。

2011 年 馬車鉄道 175 年

Mühlkreis 鉄道 100 年

水運が盛んなヨーロッパ、発達した運河技術をしてもリンツ周辺の山岳を南北に貫くことはできなかった。石炭、岩塩等の陸路輸送の効率を図るため長距離に馬車鉄道路が造られた。この馬車鉄道、ビールのふるさとパドワイザーを通過していたので後にビール輸送にも使用された。そのビール輸送を描く切手もある。1872年馬車鉄道は廃止され、蒸気機関車の鉄道へと発展し、チェコとオーストリアを結ぶ鉄道となっている。

100 JAHRE MÜHLKREISBAHN
4s

62 ÖSTERREICH
175 JAHRE
PROTECTORIA NOSTRA 1872-2012

56 REPUBLIK ÖSTERREICH

2011 年 馬車鉄道 175 年

リンツを中心に運行した鉄道馬車

100 JAHRE MÜHLKREISBAHN
4s

62 ÖSTERREICH
175 JAHRE
PROTECTORIA NOSTRA 1872-2012

56 REPUBLIK ÖSTERREICH

2011 年 馬車鉄道 175 年

リンツを中心に運行した鉄道馬車

稲フィラ会員の郵趣関係新刊書と 寄稿記事の紹介

新刊書

「10枚の愛蔵コレクションVol.1

夢のおもちゃ箱編」日本郵趣出版

2014年6月発売元：郵趣サービス社

定価：本体2000円＋税

本書は日本郵趣協会が発行する月刊誌「郵趣」にて2001年から連載中の「拝見！10枚の愛蔵コレクション」をもとに再構築したものです（一部本書のための書き下ろしを含む）。これまで同連載では140を超えるさまざまなテーマを取り上げてきましたが、本書では子どもの頃に憧れたものの、親しんだものの、夢中になったものなどを中心に25のテーマを厳選し、「夢のおもちゃ箱編」としてまとめました。子どもの頃の憧れや夢中になった体験は、大人になっても楽しい記憶として心の中に残っています。本書にぎゅっと詰められたさまざまなテーマの切手を通じて、子どもの頃のと看めきやワクワク感を想い起していただければ嬉しい限りです。

構成：

第1章 子供の頃の憧れ

映画女優、飛行機、モータースポーツ、天体、宇宙開発、バレエ

第2章 どうぶつ大好き

かえる、ウサギ、ペンギン、馬、ジュゴン、ネズミ、英領の鳥

第3章 私のお気に入り

鉱物、人形、仏像、バラ、キノコ、凹版彫刻家スラニア

第4章 思わずにっこり

小さな傘、UFOと宇宙人、マジック、錬金術、エッフェル塔、ウィトルウィウスの人体図

第1章の映画女優を甲斐正三氏が担当、下記がその一部紹介です。

甲斐正三さんが選ぶ映画女優：

ヴィヴィアン・リー（対象切手イギリス1985発行）、グレース・ケリー（モナコ1993年）、マリリン・モンロー（アメリカ1995年）、キャサリン・ヘップバーン（アメリカ2010年）、オードリー・ヘップバーン（カナダ



2008年）、グレン・ガルボ（スウェーデン2005年）、ロミー・シュナイダー（オーストリア2008年）、ジュディ・ガーランド（アメリカ1990年）、ヘディ・ラマー（オーストリア2011年）、イングリッド・バーグマン（ジブラルタル1995年）の10名の女優が挙げられている。また、マレーネ・ディートリッヒ（ドイツ1997年）とケイト・ブランシェット（オーストラリア2008年）の2種が迷いに迷った次点として紹介されています。

2012年1月から2014年6月の期間

郵趣誌に掲載された稲フィラ会員記事

（会員名71名順に掲載）

★荒木寛隆氏

川越 YUSHU (JPS 川越支部)

2013年7月第258号

「第34回 リトアニアの選挙投票郵便(1)」

8月第259号

「第35回 リトアニアの選挙投票郵便(2)」

9月第260号

「第36回 リトアニアの選挙投票郵便(3)」

10月第261号

「第37回 リトアニアの選挙投票郵便(4)」

11月第262号

「第38回 リトアニアの選挙投票郵便(5)」

12月第263号

「第39回 2013年のクリスマス&年賀郵便」

2014年1月第264号

「第 40 回 リトアニア外務省から届いた
グリーティングカード」

2 月第 265 号

「第 41 回 リトアニアの干支切手」

3 月第 266 号

「第 42 回 初日カバーの郵便再使用」

4 月第 267 号

「第 43 回 冬季オリンピック参加」

★甲斐正三氏

郵趣（日本郵趣協会）

2012 年 2 月号「タイ切手展でのジュニア切手教室」
11 月号「切手で知るブルターニュ」

2013 年 4 月号・5 月号

「パケットで楽しむ外国切手・タイ（上）（下）」

2014 年 4 月号・5 月号

「イギリスの古城を訪ねる (1)(2)」

7 月号「" 日英交流 400 年" に寄せて

最初の日英交流～甲冑とジョン・セーリス」

フィラ・スリー・ホークス（JPS 三鷹支部）

2013 年 3 月号・4 月号

「日本の城を訪ねて (1)(2)」

★鎌倉達敏氏

全日本郵趣（全日本郵趣連合）

2014 年 3 月号

「切手収集再開から国際切手展金賞受賞までの軌跡」

★桑野 博氏

郵趣研究（日本郵趣協会）

2012-4 連載：グラビア普通切手・製造面分類の
基礎知識「動植物国宝図案シリーズ 其の 11」

2013-6 動植物国宝と新動植物国宝の目打形式・
分類の要点「連続柵型目打切手の収集（前）」

2014-1 動植物国宝と新動植物国宝の目打形式・
分類の要点「連続柵型目打切手の収集（中）」

★小林 彰氏

切手研究（切手研究会）

2013 年 6 月号「カナダ・アドミラル・イシュ
の偽造・変造品とその作者」

郵便史研究（郵便史研究会）

2013 年 6 月号

「横浜洋菓子事始・ペイル兄弟の足跡」

全日本郵趣（全日本郵趣連合）

2013 年 12 月号

「横浜居留地 85 番の日本切手代理店」

フィラ・スリー・ホークス（JPS 三鷹支部）

2013 年 7~8 月号・9 月号

「アフリカにもっとも近いアジアの国 (1)(2)」

10 月号・11 月号

「続アフリカにもっとも近いアジアの国 (1)(2)」

Railway Stamps (JPS 鉄道切手部会)

2013 年 11 月

「リレー自己紹介 (41) 鉄道切手を集めていない
一会員の鉄道関係収集品」

★正田幸弘氏

全日本郵趣（全日本郵趣連合）

2013 年 8 月号（復刊 1 号・通巻 598 号）

「新組織設立に向けて」

12 月号（復刊 3 号・通巻 600 号）

「澤まもる郵趣活動略歴」

2014 年 3 月号（通巻 601 号）

「日本郵趣連合（新組織）結成のご報告」

【付記】正田氏は 2014 年に新組織・全日本郵趣
連合の初代会長に就任された。

フィラ関西（関西郵趣連合）

「新新・紙の宝石」の題名で

外国クラシック切手の発行経緯などを連載。

★和田文明氏

Philatelic Journal (Stampedia, Inc)

2012 年度

「アメリカ郵政の公用郵便の書留郵便システム」

註] 掲載漏れはご容赦ください。また、掲載漏れ
は編集までご一報願います。

（小林 彰）

【付記】

切手研究会は 2012 年 4 月に「切手研究会創 立
60 周年記念論文集」を発刊した。下記、稲フィラ
会員の論文が掲載された。

・根岸昭二氏

「私をとりこにしたブラックスワンのエンタイアたち」

・小熊忠三郎氏

「電気通信・テレフィラテリーの世界」

・西村寿一郎氏

「ボスニア・ヘルツェゴビナのファーストイシュー」

・桑野 博 氏

「第 1・2 次慶弔切手のカラーマークによる版分類」

切手偏見



消費税 3%が郵便料金に追加加算されたとともに新料金で新たにシリーズ切手が発行された。「おもてなしの花シリーズ」という 8 種の切手である。「季節の花シリーズ」に加えての発行なのか。これで何種類のシリーズ切手が？という疑問すら持つことが馬鹿らしくなる感がある。わが国の切手の中で花を描いた切手が多いことは花鳥風月を愛でる文化のなせる業であろうか。それにしても郵便局の窓口は花が狂い咲き状態である。切手にどのくらい、何種類の花が咲いているのかを整理してみようと、くだらない時間つぶしを始めた。

花鳥風月の意味を自然の美しい景色、また、自然の風物を題材とした詩歌や絵画などをたしなむ風流と曲解して、それに加えて切手も対象として考えてみた。まず、花鳥風月、花鳥という作品名をもつ美術作品を原画にした切手が多いことが気になっていたので整理してみた。表 1 のように 9 種類の作品が切手に用いられ、発行 12 件で 45 種類も切手になっている。目立つのは酒井抱一 3 作品から 24 種類の切手が発

表 1 花鳥を作品名にもつ作品を原画とする切手

原 画	原画作者	通 称	件数	枚数
花鳥十二月図	渡辺省亭	2008 年切手趣味週間	1	4
花鳥図	橋本雅邦	2010 年切手趣味週間	1	2
花鳥図屏風	酒井抱一	1977 年国際文通週間	1	1
四季花鳥図巻	酒井抱一	1997 年国際文通週間		3
四季花鳥図巻	酒井抱一	700 円普通切手		1
四季花鳥図巻	酒井抱一	郵政公社設立		10
四季花鳥図巻	酒井抱一		3	14
四季花鳥図屏風	酒井抱一	2006 年国際文通	1	2
四季花鳥図屏風)	狩野元信	2013 年切手趣味週間	1	10
十二ヵ月花鳥図屏風	酒井抱一	郵便民営会社発足記念	1	8
春夏花鳥図屏風	狩野永納	2012 年切手趣味週間	1	1
著色花鳥版画	伊藤若冲	1998 年国際文通週間	1	3
合 計			11	45



図 1 酒井抱一 四季花鳥図巻 上巻春夏と原画にする切手

行されている。なかでも、四季花鳥図巻は花鳥だけでなく、昆虫も切手になっており、絵画芸術品のなかで切手になった数で最多のものであろう。

具体的に、酒井抱一の四季花鳥図巻に切手を配置してみると、春夏の鮮やかな花々が発行目的に相応しいのか多く切手になり、秋冬のものは相応しくないのか、



図2 酒井抱一 四季花鳥図巻 下巻 秋冬と
その部分を原画にする切手

切手に描かれているのが少ない。また、切手趣味週間、国際文通週間の切手では花より鳥を主にデザインされたものが多いようである。

この花鳥風月図巻にも描かれている夜、雪の情景から頭に浮かんだことがある。夜、夜に関係するものを描いた切手と雪の情景を描いた切手が外国に比べ非常に多いのでは、と

いうことである。これも花鳥風月の一側面かと調べてみた。

夜の情景が約 130 種類の切手に描かれていた。その内容は大きく 3 つに分類できるようなのである。なんらかの建造物のライトアップと光を放つ夜景を描いたもの約 60 種類、花火を描いたもの約 40 種類、夜の祭を描いたもの約 30 種類である。この中から、風流を感じるものを探すと共通事項が浮かび上がってきた。それは月が関係していることである。これが約 30 種類あった。

月に関わる宇宙関



21 世紀に伝えたい東京の風物

飛騨古川祭り起こし太鼓

土浦の花火

図3 夜を描く切手の
3 分類 夜祭 夜景・
ライトアップ、花火



係以外の切手を見ると全体に風流を感じさせるものが多いかと感じる。それは、歌、俳句、物語を発行目的にしたもの、月が描かれた絵画を切手にしたもの、浮世絵等、別の側面から風流の要因を織り込んだものを切手に採用した例である。風流をどうとらえるかは難しい。明るい光が夜陰に映えるものには風流は感じにくいとしても、もう少し期待したのは間違いであろうか。月明かり、月光を表現した絵画作品等から切手にしたものがほとんどである中に、切手のためにデザインされ、かつ、月を表現せずどこか風流を感じさせる切手があった。それは国定公園琵琶湖の切手である。石山寺観月亭からの瀬田川、琵琶湖、比叡の山並みの眺めを夜景に描いている。主に濃紺でしずかな満月の下の夜を感じる切手である。もう 1 枚は月夜の静けさのなかに華やかさを感じさせる切手がデ



夜、月、そして雪を外国切手に探してみた。クリスマス切手に夜の切手が見られる以外、思ったとおり非常に少ない。わずかのヨーロッパ切手ではあるが整理してみると、オーロラ、赤熱の溶岩流、灯台等を描いた切手に少数見つけれられた。

図4 夜の静けさを愛でている題材が切手になって風流を感じさせる
唱歌を題材 俳句を題材 浮世絵を題材



図5 切手のためにデザインされ月夜の風流を感じさせる2枚の切手

ザインされている。ふるさと切手 京の四季 円山公園の月の光と篝火に映える夜桜の切手である。

次に、雪を愛でる切手についてみると、雪山は除いて、かなりバラエティーに富んだ切手がみられた。その中で目立つのが同じ対象を雪景色と雪の無い風景とを切手にしている例である。日本三庭園と金閣寺である。金閣寺は同じ構図で同時に同一シートで発行されている。加えて、夜と雪を合わせて愛でているのが浮世絵切手に1枚見られる。国際文通週間切手 蒲原である。



兼六園の風景
偕楽園の風景

後楽園の風景
金閣寺の風景

同日発行



図6 愛でる雪を感じる 名所地の切手



図7 雪と夜に風流を求められる唯一の切手か

更に、月が描かれた切手となると、僅かしか見つけれなかった。このように外国切手にわが国のように夜、月、雪を愛でていると感じさせるものは非常に少ないとようで、文化の違いを感じざるをえない。

本題の花、鳥をみると、前述してきた夜、月、雪と異なり、自分の見識、感性では風流を感じられるものがほとんど無く、目に留まるものはほとんど美術品からの切手であった。それゆえ、どのような花、鳥が切手に描かれているかを整



Aurora Borealis
Iceland 2013 年

Eyjafjallajökull
氷河の火山噴火
Iceland 2010 年

Finland 湾の
灯台 Finland
2003 年

下の2枚には月が



Christmas Gnomes
クリスマスの小人
Norway 2007 年



Ona 灯台 Norway 2007 年

図8 外国切手に見る 夜、月、雪

理して、何かを見いだせればと考えた。

まず、花を切手種類別に整理すると、表2のようになった。花はふるさと切手に特殊切手の2倍以上も咲いていた。ふるさと切手が地方郵政局ごとに発行されていた時期の花切手の狂い咲き（この時期の38%は花が描かれている）の後遺症と国土緑化切手に花が多いことがふるさと切手にこの数をもたらしたかと考える。しかし、現在もふるさと切手の30%には花が咲いており、郵政民営後も花に群がる虫の習性は変わらぬようである。

普通切手に花が多いと感じたが、これは手彫切手に彫られた桜花（34枚）と震災切手、昭和切手に富士山と一緒に描かれたサクラ（11枚）のためである。

全体では204種類の花が1010枚の切手に咲いていた。今回は分類をヤマザクラ、カワズザクラ等はサクラに統合するようにしたため、細かく分類すれば250種程度になるうか。

当然ながら、ふるさと切手には県花、名所旧跡の一部分として切手に描かれているのに対して、特殊切手では国際関連行事に絵画の花の部分が描かれていた。この点をふるさと、特殊切手の両種類で一番多く描かれていたサクラをみると、ふるさと切手では城、塔の文化財背景



手彫切手に咲く桜花
稲門フィラテリー坂下泰一氏蔵切手



富士山とサクラ



サクラだけを描いた唯2種

図9 普通切手にみられるサクラの咲き方

として18枚、庭園の一部として10枚、地域の名木、天然記念物として11枚の切手になっていた。対して、特殊切手では国際会議、外交

関係を記念する切手に、我が国をイメージしてであろう半数近い22枚の切手に描かれていた。このあたり、法では定めていないが国花として扱われているサクラを感じさせる。普通切手でのサクラは前述した切手を除くとむしろ少ないと考えられる。

また、ふるさと切手には多く咲いているが特殊切手にはあまり咲いていない花がみうけられる。ツツジ、チューリップ、ハマナス、リンゴ、ナシなどであり、身近な花と名産果実の花ですべて県花である。反対に特殊切手に偏って咲いている花がある。ボタンである。島根県の県花であるが、絵画から切手に描かれ、かざられ、中国の国花（検

表2 切手種類別、花種類別切手数

2013 年末現在

合 計		ふるさと切手		特殊切手		普通切手	
発行数	1010	発行数	633	発行数	273	発行数	92
発行割合	15%	発行割合	36%	発行割合	6%	発行割合	18%
花 種		花 種		花 種		花 種	
サクラ	181	サクラ	80	サクラ	45	サクラ	52
ウメ	51	ツツジ	33	ウメ	18	ツバキ	7
ツツジ	36	ウメ	24	ボタン	16	ウメ	6
ツバキ	26	チューリップ	17	不明	13	キク	3
ボタン	23	スイセン	13	ユリ	9	フジ	3
ユリ	22	ナノハナ	13	ツバキ	9	アジサイ	2
バラ	20	バラ	13	キク	9	カタクリ	2
アジサイ	19	リンドウ	13	バラ	7	タンポポ	2
スイセン	19	ハマナス	11	アジサイ	7	ナノハナ	2
リンドウ	19	ユリ	11	リンドウ	6	フクジュソウ	2
不明	18	リンゴ	11	ヒマワリ	6	イブキトラノオ	1
キク	18	アジサイ	10	サクラソウ	5	カワラナデシコ	1
チューリップ	18	コスモス	10	スイセン	4	ケシ	1
ナノハナ	17	サクラソウ	10	カキツバタ	4	サギソウ	1
サクラソウ	15	ツバキ	10	ラン	4	スイセン	1
ヒマワリ	13	モモ	10	ツツジ	3	スミレ	1
フジ	11	シャクナゲ	8	アサガオ	3	タチツボスミレ	1
カキツバタ	11	ハナショウブ	8	キキョウ	3	ツククサ	1
コスモス	11	カキツバタ	7	ナノハナ	2	ハナショウブ	1
ハマナス	11	ナシ	7	フジ	2	ミズバショウ	1
リンゴ	11	ハマユウ	7	ベニバナ	2	ユリ	1
その他	440	その他	307	その他	96	その他	0

表3 切手に咲いている花と数

	花	種	花	種	花	種
あ	アーノルディ	1	サワギキョウ	1	ハクサンフウロ	1
	アイリス	1	サンカヨウ	1	ハス	4
	アカマツ	1	シクラメン	3	ハナシノブ	1
	アサガオ	7	シナノキンバイ	1	ハナショウブ	10
	アザミ	2	シバザクラ	3	ハナミズキ	2
	アジサイ	19	ジャガイモ	3	ハマゴウ	1
	アズマシャクナゲ	1	ジャクナゲ	10	ハナナス	11
	アツモリソウ	1	シャクヤク	2	ハマヒルガオ	1
	アマギシャクナゲ	1	ショウブ	2	ハマユウ	7
	アヤメ	4	ジョウロウホトトギス	1	バラ	20
	イチイガシ	1	ショカツサイ	1	ヒゴタイ	
	イネ	1	シラカシ	1	ヒダカソウ	
	イブキトラノオ	1	シラネアオイ	2	ヒナギク	2
	イワウメ	1	シレットコスミレ	1	ヒノキ	1
	イワカガミ	3	スイートピー	1	ヒマワリ	13
	イワブクロ	1	スイセン	19	ヒメキンリンソウ	1
	ウメ	51	スイレン	2	ブーゲンビリア	2
	ウルップソウ	1	スカシユリ	1	フキノトウ	4
	エゾカンゾウ	4	スギ	1	フクジュソウ	6
	エゾノリュウキンカ	1	スズラン	7	フジ	11
	エゾムラサキ	1	スダジイ	2	ブナ	1
	エビネ	1	スダチ	4	フヨウ	1
	オオマツヨイグサ	1	スダチノハナ	1	ブラウン	1
	オガタマノキ	1	ストレチア	1	フリージア	1
	オクシリエビネ	1	スノードロップ	2	ベニバナ	8
	オヤマノエンドウ	1	スマレ	4	ベニバナヤマシャクヤク	1
	オリーブ	5	ゼラニウム	1	ヘリオトロープ	1
か	カーネーション	3	タチアオイ	1	ホオズキ	1
	ガーベラ	3	タチツボスミレ	1	ホオノキ	2
	カキ	1	タニウツギ	1	ホタルブクロ	1
	カキツバタ	11	タネスミレ	1	ボタン	23
	カタクリ	6	タムシバ	1	ホテイラン	1
	カッソウ	1	ダリア	2	ボトルブラッシュ	1
	カトレア	1	タルマイソウ	1	ボビー	5
	カワラナデシコ	2	タンポポ	2	ミカン	7
	カンゾウ	1	チシマギキョウ	1	ミズバショウ	9
	キキョウ	7	チャ	1	ミツバツツジ	1
	キク	18	チューリップ	18	ミヤギノハギ	5
	キスゲ	2	チョウノスケソウ	1	ミヤマオダマキ	1
	キタコブシ	1	チングルマ	2	ミヤマキリシマ	8
	キバナシャクナゲ	1	ツクシ	1	ミヤマシオガマ	1
	キリ	5	ツツジ	36	ミヤマユキウスユキソウ	1
	キンボウゲ	1	ツバキ	26	ムクゲ	1
	キンモクセイ	3	ツククサ	3	ムスカリ	2
	クス	6	ツワブキ	2	ムニンノボタン	1
	クリ	1	デイゴ	8	ムニンヒメツバキ	2
	クリスマスローズ	2	テッポウユリ	1	モクレン	1
	クレマチス	2	トルコギキョウ	1	モモ	10
	クロユリ	6	ナギ	1	ヤクシマシャクナゲ	1
	ケイトウ	2	ナシ	7	ヤマシャクヤク	1
	ケシ	3	ナツミカン	4	ヤマブキ	1
	ゲンゲ	2	ナデシコ	4	ヤマボウシ	1
	コウシンソウ	1	ナナカマド	2	ヤマモモ	4
	コウボネ	1	ナノハナ	17	ユキワリソウ	2
	ゴールデンワトル	1	ナンブイヌナズナ	1	ユリ	22
	コオロギラン	1	ニオイエビネ	1	ライラック	4
	コスモス	11	ニッコウキスゲ	5	ラベンダー	5
	コブシ	8	ニリンソウ	1	ラン	7
	コマクサ	2	ネブ	1	リシリヒナゲシ	1
さ	サギソウ	1	ネム	1	リュウキンカ	1
	サクユリ	1	ネモトシャクナゲ	5	リンゴ	11
	サクラ	181	ノジギク	5	リンコスチリスギガンテア	1
	サクラソウ	15	ノゾリキスゲ	1	リンドウ	19
	ササユリ	1	ハイビスカス	6	レブンアツモリソウ	2
	サザンカ	5	ハギ	6	レンゲ	3
	サツキ	3	ハクサンイチゲ	2	ロウバイ	4
	サルスベリ	1	ハクサンコザクラ	1	ワスレナグサ	2
	サルビア	3	ハクサンシャジン	1	不明	18
					合 計	1010

討中とか)をイメージして日中友好条約等の切手に使用されているため特殊切手に多くなっている。普通切手に整理されたツバキの6枚は印字コイル切手のツバキの数である。

次に、切手に咲いている200余種の花の種類を整理し、表3にした。このような資料は目にしたことが無い。植物の知識もない者が細かく見にくい表で紙面を無駄に埋めることをお許し願いたい。花の名から具体的に切手のイメージが浮かべられるもの少なく、再三、切手を確認することが必要な表作成であった。

次に、鳥の描かれた切手を整理すると表4のように、花の咲き方とは異なっていた。ふるさと切手より特殊切手に多くなっており、更に普通切手に占める割合が高い。特殊切手に多いのはハトが45枚発行されていることによる。しかし、ハトは他の鳥と異なり、鳥類としてではなく、平和、友好のシンボルとして描かれているのがほとんどである。また、特殊切手に偏って発行されていたのがペンギンである。日本に生息しない鳥が南極関係の記念切手、動物園切手として描かれている。日本のペンギン飼育数は世界一というが、切手でも同じく飼育数がおおくなっている。更に、特殊切手で目立つのは絵画、工芸品から鳥が花より多く描かれていることである。このような鳥が描かれた43種、20%の特殊切手は深みのある切手になっている。

どの切手種類においても多くみられたのがタンチョウヅルである。国鳥は日本鳥学会指定でキジとなっているが、切手ではタンチョウヅルといえるのではないかと考えられる。また、過去、タンチョウヅルが日本全国に生息、飛来していたことも浮世絵切手「六十余州名所図会紀伊和歌之浦」等からも判断できて興味深い。



図 10 鳥切手の数 BEST3
ハト、タンチョウヅル、ペンギン

表 4 切手種類別、鳥種類別切手数

合 計		ふるさと切手		特殊切手		普通切手	
発行数	328	発行数	52	発行数	212	発行数	46
発行割合	5%	発行割合	3%	発行割合	5%	発行割合	9%
鳥	種	鳥	種	鳥	種	鳥	種
ハト	48	タンチョウヅル	9	ハト	45	スズメ	6
タンチョウヅル	30	ハクチョウ	4	ペンギン	18	オシドリ	5
ペンギン	19	コウノトリ	3	タンチョウヅル	17	タンチョウヅル	4
ニワトリ	15	トキ	3	オシドリ	7	ガン	3
オシドリ	13	ハト	3	ハクチョウ	6	ホトトギス	3
ハクチョウ	10	ライチョウ	3	フクロウ	6	ヤマドリ	2
スズメ	8	エトピリカ	2	ニワトリ	5	メジロ	2
ガン	7	オオワシ	2	インコ	4	ヤマセミ	2
キジ	7	コノハズク	2	ガン	4	キジバト	2
フクロウ	6	ナベヅル	2	ツバメ	4	コブハクチョウ	2
コウノトリ	6	メジロ	2	コウノトリ	3	タカ	1
トキ	6	ヤマセミ	2	シマフクロウ	3	モズ	1
ホトトギス	5	アビ	1	トキ	3	ヤマガラ	1
メジロ	5	ウ	1	カワセミ	3	イヌワシ	1
ヤマセミ	5	ウグイス	1	クジャク	3	コチドリ	1
その他	137	その他	52	その他	80	その他	10

図 4 切手を飛ぶ鳥たち

鳥		鳥		鳥	
あ	種	あ	種	あ	種
アカガシラカラスバト	1	カラス	3	トモエガモ	2
アカショウビン	1	カルガモ	1	ナベヅル	3
アカヒゲ	1	カワセミ	3	ニワトリ	15
アビ	1	ガン	7	ノグチゲラ	1
アホウドリ	1	カムリワシ	2	ハクセキレイ	1
アマサギ	1	キジ	7	ハクチョウ	10
イカル	1	キジバト	2	ハト	49
イヌワシ	2	キンケイチョウ	1	ハバジメメグロ	1
インコ	4	クジャク	3	バン	2
ウ	3	クマガラ	1	ヒヨドリ	1
ウグイス	3	コウノトリ	6	フクロウ	6
ウソ	1	コチドリ	2	フラミンゴ	1
ウミネコ	1	コノハズク	3	ペンギン	19
エトピリカ	3	コブハクチョウ	2	ホオジロ	1
オウム	1	コンドル	1	ホトトギス	5
オオジシギ	1	サンコウチョウ	1	ホントウアカヒゲ	1
オオジロワシ	1	シジュウカラ	2	マガン	1
オーストンオオアカゲラ	1	シジュウカラガン	2	マナヅル	1
オオセッカ	1	シマハヤブサ	2	ミミヅク	1
オオタカ	1	シマフクロウ	4	メグロ	2
オオミズナギドリ	1	シラサギ	3	メジロ	5
オオルリ	2	シロチドリ	1	モズ	3
オオワシ	3	ズグロカモメ	1	ヤマガラ	3
オシドリ	13	スズメ	8	ヤマセミ	5
オナガドリ	1	セキレイ	1	ヤマドリ	3
オニオオハシ	1	タカ	3	ヤンバルクイナ	2
か	種	タマシギ	1	ライチョウ	5
カイツブリ	2	タンチョウヅル	30	ルリカケス	1
カケス	1	ツグミ	1	ワシ	1
カササギ	1	ツバメ	4	ワライカワセミ	1
カツオドリ	1	トキ	6	不明	3
カモ	2				
		合計		328	

次に、県花とくらべる意味で都道府県の鳥、県鳥を表 4 で探しても何種かの鳥が見つけれない。キビタキ(福島県)、ヒバリ(茨城県)、ユリカモメ(東京都)、コマドリ(愛媛県)、ヤイロチョウ(高知県)、コシジロヤマドリ(宮崎県)などである。キャラクター切手 Donald などよりこれら県鳥を知らしめる切手の発行を期待するのは無理であろうか。

以上、花、鳥切手を整理してみて、自然を愛でるといふ花鳥風月の文化は切手の上にも強く見られると考える。特に普通切手の 30% が花鳥切手であることは他の国の普通切手には見られないことと留意したい。また、1992 年から発行された日本の自然・普通切手・3 色斜帯に描かれた虫を含めた 28 種の美しい普通切手は花鳥風月に風流ともいえるものも加えて感じるの、センスの有無を問われるだろう。

動植物に知識なく、加えて美的見識、感性も養っていない者がとんでもないことを扱ってしまったという反省の気持ち強い。ぜひ、学識ある会員に確認いただき誤りを正していただきたく、紙面に量的に掲載できない切手名と花鳥名の資料を準備したので、連絡ください。

(編集子)



図 11 日本の自然 花、鳥、虫

稲門フィラテリー第15回総会

10月19日(日) 13:00～15:00

場所 大学7号館 205教室

議事 26年度活動・会計報告

27年度活動・予算審議・役員改選

講演 和田文明会員

「国際切手展を参観して」

懇親会 16:00～18:00 高田牧舎

幹事会報告

本53号より幹事会の報告をいたします。

★6月7日(土) 幹事会

- 1 各種稲門会合同会議報告
会の具体的内容が不明、経過を見ていく。
- 2 プロジェクター購入の件
青柳会員から機器長期貸出し申し出あり購入を見送る。
- 3 会報編集の件
会員に周知すべき幹事会報告を会報に掲載する。
- 4 関東郵趣連盟総会報告
加盟団体は31団体、会報回数を年3回にする。
- 5 寄付切手販売の件
寄付切手売り上げは24000円、会の雑収入とする。

★7月5日(土) 幹事会

- 1 総会について
準備：講演会の講師、幹事の推薦を願いたい。
- 2 見学旅行について
現在参加申込者は7名。障害保険に加入実施。

★8月2日 幹事会

- 1 切手教室について
9月の切手教室は大沢秀雄氏の演題「切手が伝える視覚障害」。10,11月の講師を募集。年明けに青柳会員に講演検討いただく。
切手教室講師代を外部講師5000円 会員講師3000円としたことを総会で報告する。

編集後記

編集作業中に新しいカタログを手にした。ますます分厚いものになってきた。来年からは分冊になるという。ぜひ、最近のシートでの掲載をやめて切手を一枚づつ載せてほしいものです。

Scottも老体の身には年々重くなり、日常使用部分は切り取って細分冊にしての作業です。

JPS発行の外国切手カタログは発行停止で、定価の5倍の値段がついてネット古書サイトに見られます。こんなことにも、切手収集はマイナーなものになったことを感じさせます。

お詫びと訂正

会報52号11ページに同じ写真を掲載してしまうという恥じ入るミスをしてしまいました。執筆者長谷部会員と皆様にお詫びいたします。なお、下記写真が掲載されるべき写真でした。また、通しページが誤っていました。併せて、お詫びいたします。



★切手教室 新宿北郵便局

第107回 7月5日

イギリスの城切手 甲斐正三

第108回 8月2日

夏休み 切手の楽しみ 宮鍋益治

第109回 9月6日

切手が伝える視覚障害 大沢秀雄

★稲門フィラテリー常設展 新宿北郵便局

第27回 平成26年6月7日～9月初旬

新宿北郵便局で使用している通信日付印(消印)

第28回 平成26年9月6日～12月初旬

日本で発行されたサッカー切手

訃報

井上武夫会員が4月に逝去されました。
ご冥福をお祈りいたします。

発行日：2014年9月1日

発行：稲門フィラテリー

発行人：磯野 昭彦

〒150-0002

渋谷区渋谷1-11-3 正栄ビル4階

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：吉沢 忠一 青柳 次男

小川 義博

稲門フィラテリー

第 54 号

2014 年 12 月 1 日発行

稲門フィラテリー第 15 回総会報告

稲田 比島志

2 週連続で台風による大荒れの日が続き、総会当日のお天気が非常に心配されたが、幸い前年とは様変わり、雲一つ無い秋の空だった。12 時少し前に、秋の陽が燦々とふりそそぐ大隈講堂前の広場に到着すると、稲門祭に参加する校友達で広場は埋め尽くされていた。

大隈老侯の銅像へ通じるメインストリートの両側は、飲食ゾーン・G l o b a l お国自慢ゾーン・地方物産ゾーン・物販ゾーン（この中に早稲田大学前郵便局が出店）等の模擬店が立ち並び、関係者が声をからしてお客さんと呼び込んでいた。

10 月 19 日（日）13 時いつものとおり 7 号館 205 号室で、19 名の会員が出席して、稲門

フィラテリー第 15 回総会が開催された。

最初に磯野会長から次のような挨拶があった。

①稲門フィラテリー 15 周年記念行事

来年 11 月に稲門フィラテリーは設立 15 周年を迎えるが記念行事をどうするか。10 周年の時は「都の西北展」等色々な行事をやったが、検討を開始する必要がある。

②切手教室用プロジェクターの新規購入を保留する。

③大隈講堂切手の原画を作成した藪野先生が定年を迎えられ、名誉フェロー・名誉教授になられた。

④早稲田大学の近況

旧 3 号館の面影を残した、最新設備の整った、立派な新 3 号館（政治経済学術院）の校舎が完成した。

また、グローバルリーダーの育成と地域社会に開かれた生涯学習の新拠点として、国際学生寮（収容人員 872 名）を併設した中野国際コミュニティプラザが開所した。



紺碧の空のもとホームカミングデーの大隈講堂
右写真の新 3 号館より撮影



9 月 18 日、竣工した新 3 号館
旧 3 号館外観を再現した地下 2 階、地上 14 階、高さ 67.84 m
（大学ホームページより）

参考までに 26 年度一般学生の授業料は文系 80 万円・理系 120 万円になっている。入学金は 20 万円である。

⑤校友会情報

稲門フィラテリーもサークル稲門会の一つに位置づけられている。参考までに、現在校友 60 万人うち会費納入者 15 万人。会費納入者には、「早稲田学報」の送付・図書館等の施設が利用出来る等の特典がある。

⑥郵便局も切手収集の普及活動を推進している。例えば、「郵便友の会」等を通じて「手紙の書き方（20 ページ）」を配布している。

⑦前年度報告したコミック誌「キッテデカ・第 2 巻」（寺沢 大介著）が発行され、好評を博している。

続いて議事に入り、

第 1 号議案（磯野会長説明）

平成 26 年度活動報告および平成 27 年度活動計画

27 年度の活動については、ほぼ前年度どおりであるが、変更点としては、行事関連に 15 周年記念行事の追加。また、分科会関係では、見学旅行の廃止があげられる。

第 2 号議案（石井会計幹事説明）

平成 25 年度会計報告および平成 27 年度予算会計報告については、特記事項はない。予算については、年会費を現在の会員総数 89 名（17 万 7 千円）で算出した。

第 3 号議案（住吉幹事説明）

平成 25 年度会計監査報告
会計監査を実施した結果、適正かつ妥当であると認定した。

第 4 号議案（磯野会長説明）



物販ゾーン・早稲田大学前郵便局

役員改選

全役員をそのまま留任とした。しかし、新しい風を吹き込むために、総務に、岸 浩一会員（昭和 53 年卒）・部会に、荒木 寛隆会員（昭和 41 年卒）を追加で選出した。

以上の全議案が、満場一致で、拍手をもって、承認された。

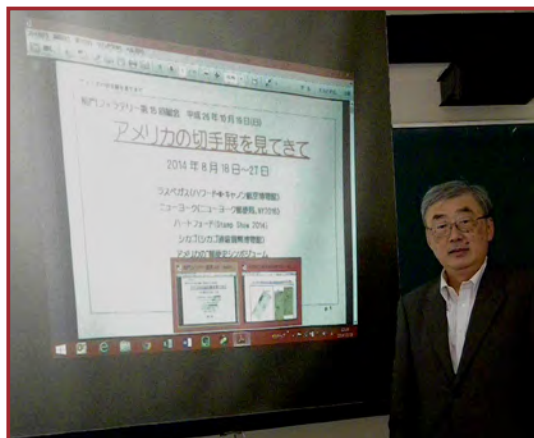
全議事終了後、新任の荒木幹事・岸幹事が登壇し、出席者の前で、力強く稲門フィラテリーのために尽力したいと決意を表明した。

暫時休憩の後、14 時から、和田 文明会員（昭和 53 年卒）が、「アメリカの切手展を見てきて」という演題で講演した。プロジェクターを活用して、豊富な資料・写真を用いて「アメリカの国際切手展」の模様とアメリカの郵趣事情を詳しく紹介した。時間を大幅に超過する熱弁と興味深い内容に、会員全員が聞き入っていた。（講演の内容は、次ページの和田会員の記事を参照して下さい）。

15 時から、高田牧舎で 18 名が参加して恒例の懇親会が開かれた。

諸田幹事の司会で懇親会はスタートした。まづ最初に、全員で元気良くビールで乾杯。早速、会場のあちらこちらで、旧交を温める輪が出きていた。雰囲気盛り上がった所で、司会者の指名により、改めて新任の荒木幹事と岸幹事が自己紹介も兼ねて挨拶をした。高田牧舎自慢の美味しい料理と酒を味わいながら、歓談は続いた。ふと、気がつくとは外は薄暗くなり、秋の夜の気配が漂っていた。

最後に、出席者の中で一番若い岸幹事の本締めで、大盛況のうちに懇親会は、無事終了した。



「アメリカの切手展を見てきて」
講演者 和田 文明会員



10 日間のアメリカ郵趣旅行

和田 文明

8月6日から8日までの韓国・ソウルの国際切手展から帰国後、今度は8月18日から27日まで10日間、仕事の取材を兼ねて、ロサンゼルス(仕事の取材)、ネバダ州ラスベガス(カジノホテルでのカンファレンス)、ニューヨーク(仕事の取材)、コネチカット州の州都ハートフォード(APSのStamp Showの参観)、シカゴ(仕事の取材)の5都市を中継で立ち寄ったロサンゼルスを除きそれぞれ2泊し、駆け足でアメリカ横断の旅をして来ました。

ラスベガスのマッカラン国際空港のロビーには航空ミュージアムがあり、航空郵便(Air Mail)コーナーが設けられていました。ニューヨークでは、2016年に開催が予定されている国際切手展の会場予定のコンベンションセンターと19世紀の郵便馬車などが展示されているニューヨーク郵便局を訪ねました。コネチカット州のハートフォードでは、アメリカ郵趣協会(以下“APS”という)のコンベンションと全米切手展Stamp Showを参観しました。最後に訪れたシカゴでは、郵趣ではないのですが、シカゴ連銀にあるマネー・ミュージアムを見学して来ました。

ラスベガスの航空ミュージアム

カジノの街であるネバダ州のラスベガスでは、巨大なカジノホテルのコンベンションホールで各種イベントが毎年たくさん開催されています。今回も私の仕事関係のカンファレンスと展示会がプラネットハリウッドというカジノホテルで開催されました。ラスベガスから次の訪問先のニューヨークへのフライトのためマッカラン国際空港を利用しましたが、ラスベガスの空港ラウンジにはスロットマシンが至る所に設置されているのに驚きました。そうした空港内に“ハワード・W・キャノン航空博物館”が設営されていました。ラスベガスの開発に貢献した上院議員のハワード・W・キャノンにちなんで命名されています。航空博物館のスペースには1920年代から1950年代にかけて航空機で運送された航空郵便が写真パネルを交えて三つのブースに分かれて展示されていました。アメリカの航空郵趣に関心を持っている私にとっ



(写真1)上 ハワード・W・キャノン航空博物館



(写真2)右 アメリカ航空郵便の展示コーナー

て思いがけない博物館の参観となりました。

2016年のニューヨーク国際切手展

アメリカにおける国際切手展の歴史は長く、第1回展が開催されたのは第1次大戦並びにロシア革命前夜の1913年です。第1回の国際切手展の開催から100年以上経て開催される2016年の国際展(図1)は、アメリカにとって11回目の開催となります。アメリカの国際切手展は、(表1)のようにほぼ10年おきの開催となっています。第1回を除き開催年の末尾が「6」乃至「7」の年に開催されていますが、これは“1776年”はアメリカがイギリスから独立の年であり、“1847年”はアメリカで切手が初めて発行された年で、こうした年にちなんだ周年行事(イベント)の一環として行われているからです。1976年の第7回展の“Interphil'76”は独立200周年イベントの一環として、独立宣言がなされた古都フィラデルフィアで開催されています。第9回展の“Pacific '97”は切手発行150周年を記念して、初めて西海岸のサンフランシスコ市で開催されています。

アメリカにおける国際切手展の開催地は1913年開催の第1回から第5回までアメリカの金融と商業の中心地であるニューヨークで開催されてき



(図1)NY2016のロゴマーク



(図2)国際切手展“World Stamp Show NY2016”

(表 1) アメリカの国際切手展

開催年	国 際 切 手 展	開 催 地
第 1 回	1913 年	First International Philatelic Exhibition
第 2 回	1926 年	Second International Philatelic Exhibition
第 3 回	1936 年	Third International Philatelic Exhibition
第 4 回	1947 年	Fourth International Philatelic Exhibition
第 5 回	1956 年	Fifth International Philatelic Exhibition
第 6 回	1966 年	Sixth International Philatelic Exhibition
第 7 回	1976 年	Interphil '76 International Philatelic Exhibition
第 8 回	1986 年	AMERIPEX '86 International Stamp Show
第 9 回	1997 年	Pacific '97 International Philatelic Exhibition
第 10 回	2006 年	Washington 2006 World Philatelic Exhibition
第 11 回	2016 年	World Stamp Show NY 2016
第 12 回	2026 年	

ましたが、1966 年開催の第 6 回展は首都ワシントン DC で開催された他、1977 年展のフィラデルフィア、1986 年展のシカゴ、1997 年展のサンフランシスコ、2006 年展は再度ワシントン DC で其々開催されています。次回の 2016 年展 (図 2) は、実に 60 年振りにニューヨークで開催される予定です。また、1996 年に開催された国際切手展には戦後初めて日本人コレクターが出品しています。

今回の旅行では、早起きをし、宿泊したエンパイアステートビル近くのベニアホテル (1919 年開業) から歩いて 10 分ほどの場所にあるコンベンションセンターの “Jacob (ヤコブ) Center” に散歩がてら行って来ました。(写真 3)(写真 4) のようにモダンで巨大な建物で、国際切手展の会場として規模や立地に申し分が無いと思った次第です。なお、2026 年の第 12 回国際切手展の開催についても既に準備が始まっています。

ニューヨーク郵便局

ロサンゼルスやラスベガス、ニューヨークで集めた仕事関連の業界誌や各種パンフレット類が重くなってきたので、ホテル近くのニューヨーク郵便局から自宅へ国際航空郵便で送ることにしました。

ニューヨーク郵便局 (写真 4) は、100 年以上前の 1912 年にニューヨークのマンハッタン中心部の 2 ブロック (32,000 平方メートル) の敷地に建造

され、歴史記念物として登録され、ニューヨークのランドマークの一つにもなっています。

ニューヨーク郵便局内には 19 世紀に使われていた郵便馬車 (写真 5) や郵便史の展示コーナー (写真 6) などが設けられていました。また、私書箱は開局当時のものが今も使われている他、当時の窓口も一部保存されていました。

UPS(万国郵便連合) に加盟する多くの国で導入されている外国宛のエキスプレス書類・小包郵便である EMS の取り扱いはア

メリカでは行われておらず、プライオリティエアーメール郵便で送ることになりました。窓口の職員の対応は 1970 年代の一部の日本の郵便窓口の対応のように



(写真 3、4) ニューヨーク中央郵便局の外観と内観



(写真 5) 19 世紀に使われていた郵便馬車

図 3 2016 年開催のニューヨーク国際切手展の開催概要は次の通り

開催場所：ニューヨーク市、Jacob (ヤコブ) コンベンションセンター (マンハッタン中心部)
 開催日時：2016 年 5 月 28 日から 6 月 4 日までの 8 日間
 開催規模：切手展示 64,000 ページ (4,000 フレーム)、郵政・ディラーブース 250 以上
 WEB ページ：<http://www.ny2016.org/>
 2016 年展の HP は翻訳ツールを用いて、英語やスペイン語の他、日本語、中国語 (簡体字、繁体字) 韓国語など 10 か国語に対応している。



(写真6) 郵便史の展示コーナー 東京中央郵便局の3倍もあろうかという巨大なフロアスペースで開いている窓口は僅か四つ程で、利用者も十数人でした。アメリカ郵政はポスタルファイナンスという郵便貯金業務や簡易保険業務は行っておらず、取り扱っているのは現在ではほとんど利用されないポスタルマネーオーダーという郵便為替とプリペイドカードのギフトカードのみです。パスポートの発行業務は、従来から郵便局の重要な受託業務となっていますが、郵便局を訪れた夕方の5時パスポート業務は終了していました。

アメリカ郵政 (USPS) はインターネット時代を迎え、小切手を郵送して公共料金などを決済する従来の慣習は、E ビル E ペイ (電子請求・電子支払) というパソコンやスマートフォンによる電子決済にシフトしています。これまで大量に差し出されていた請求書と小切手送付郵便が大きく減少

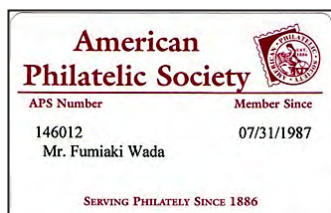
し、急増している小包の需要は、UPS などの宅配業者に押され気味です。こうした状況から、USPS の経営は大きく悪化している旨を伝え聞いていましたが、ニューヨークやシカゴの郵便局の



(写真7) アムトラックの列車



(写真8) 25年の永年会員のバッジ



(図4) APS の会員証

窓口の閑散とした状況みると納得した次第です。

APS の Stamp Show

ニューヨークのマンハッタンから北東にアムトラックの列車 (写真7) で2時間程のコネチカット州の州都であるハートフォード (人口約13万人) で8月21日から24日まで4日間開催されたAPS (会員数約32,000人) の全米切手展 Stamp Show にわたくしの航空郵趣のコレクションを2点出品し、同展を参観して来ました。今回の旅で、唯一の列車での移動です。宿泊したホテル近くのペンシルベニアステーションからハートフォードのユニオンステーションまで2時間10分、インターネットでオンライン予約した割引特価のファーストクラスの横3列シート ゆったりしたシートで、無料のWiFiでインターネットを利用することもできました。

実は、2年前の2012年8月にカリフォルニア州のサクラメントで開催された126回 Stamp Show を参観する予定にしていました。それは、1975年にAPSの永年会員の表彰制度 (25年と50年) が制定され、アメリカ切手と郵便史を収集している私は1987年7月にAPSに入会し (図4) 25年の永年会員として認定表彰され、認定書とバッジ (写真8) が贈呈される予定だったからです。APSでは、入会后25年と50年を迎えた会員を毎年夏 (8月) に開催される Stamp Show 又は冬 (2月) に開催される Ameripex の何れかのイベントにおいて表彰しています。しかし、母の突然の死去により参観を急きょ中止せざるを得ませんでした。今回は2年越しの参観となります。また、アメリカの切手展には、これまで2000年にディズニールランドの街であるカリフォルニア州アナハイムで開催された World Stamp Expo 2000、2006年の首都のワシントンDCで開催された FIP 国際切手展の Washington2006、2010年にアメリカ南部のテキサス州アーリントンで開催された APS 主催の全米切手展 Ameripex2010 以来、4回目の参観となります。

このAPSが主催する Stamp Show はおよそ130年前の1886年9月13日にニューヨーク市で第1回目の収集家のミーティングと切手展が開催され、同時にAPSが設立されました。当時の会費は、年2ドルでした。以降、戦争のため中止された1943年を除き、全米の主要都市で毎年開催され続け、今回で128回目の開催となる伝統ある切手展です。

Stamp Show は入場料無料ですが、コンピューターの展示会などのイベントと同様に、会場受付で全員の登録が必要で、所定のネームプレートの着用が義務付けられています。オンラインで事前登録をすることも可能で、この場合は氏名並びに APS



(写真 9) 短冊が付いたネームプレート

会員である場合はその旨と入会年が印刷されたネームプレート (写真 9) があらかじめ用意され、該当する短冊が付いています。わたくしの場合は、「永年会員」(25 年) と「出品者」(EXHIBITOR) の二つの短冊が用意されていました。審査員などで、四つも五つも短冊をつけている方もいました。会場内のディーラーは、ネームプレートに付いた短冊で顧

客の値踏みを行い、声をかけてきます。「永年会員」(25 年) や「出品者」(EXHIBITOR) の二つの短冊の威力はてき面で、多くのディーラー (切手商) から声をかけられました。

会場は真新しく巨大なコネチカット州のコンベンションセンターで、2011 年日本国際切手展が開催されたパシフィコ横浜の 2 倍はあろうかと思われる国際切手展の開催も可能な会場でした。しかし、アメリカも切手収集家の減少と高齢化は避けられず、会場の四分の一は空きスペースとなっていました。会場で出会った旧知の収集家で、今回の Stamp Show のワールドシリーズに、アメリカ公用切手を出品している知人が『以前ならば、全米から多くのディーラーの出店と多くの収集家によるコレクションの出品により十分埋めることができた』と語っていたのが印象的でした。なお、ユー

(表 2) ワールドシリーズ (チャピオン・オブ・チャピオンズ)

切手展	主催団体	開催地 (州)	開催月
APS Stamp Show	American Philatelic Society		August
Americover	American First Day Cover Society		August
Aripex	Arizona Federation of Stamp Clubs	Arizona	April
Balpex	Baltimore Philatelic Society	Maryland	August
Chicagopex	Chicago Philatelic Society	Illinois	November
Colopex	Columbus Philatelic Club, Inc.	Ohio	June
Filatellic Fiesta	San Jose Stamp Club	California	November
Florex	Florida Stamp Dealers Association	Florida	November
Garfield-Perry March Party	Garfield-Perry Stamp Club	Ohio	March
Indypex	Indiana Stamp Club	Indiana	September
Milcopex	Milwaukee Philatelic Society, Inc	Wisconsin	September
Minnesota Stamp Expo	Twin City Philatelic Society	Minnesota	July
Napex	National Philatelic Exhibition of Washington, DC	Washington, DC	May
National Topical Stamp Show	American Topical Association		May
Nojex	North Jersey Federation of Stamp Clubs, Inc	New Jersey	May
Okpex	Oklahoma City Stamp Club	Oklahoma	October
Omaha Stamp Show	Omaha Philatelic Society	Nebraska	September
Philadelphia National Stamp Exhibition	Association of Stamp Clubs of Southeastern Pennsylvania	Pennsylvania	April
Philatelic Show	Northeastern Federation of Stamp Clubs	Massachusetts	May
Pipex	Northwest Federation of Stamp Clubs	Oregon	May
The Plymouth Show	West Suburban Stamp Club	Michigan	April
Rocky Mountain Stamp Show	Rocky Mountain Philatelic Exhibition	Colorado	May
Ropex	Rochester Philatelic Association Inc	New York	May
St. Louis Stamp Expo	Area clubs	Missouri	March
Sandical	San Diego Philatelic Council	California	February
Sarasota National Stamp Exhibition	Sarasota Philatelic Club, Inc	Florida	February
Sescal	Federated Philatelic Clubs of Southern California	California	October
Southeastern Stamp Show	Southeast Federation of Stamp Clubs	Georgia	January
Texpex	Southwest Philatelic Foundation	Texas	March
Vapex	Virginia Philatelic Federation, Inc	Virginia	November
Westpex	Western Philatelic Exhibitions, Inc.	California	April

ス部門への出品も僅か2点(4フレームコレクションと1フレームコレクション)と低迷していました。

Stamp Show は、全国からコレクションの出品が行われる独自の全米切手展の他に、1968年から“ワールドシリーズ”(World Series of Philately、以下“WSP”という)が加えられるようになりました。これは全米の“WSP”認定の30(表2)もの地方切手展や部門別の専門切手展のそれぞれのグランプリ受賞者のみがエントリーできる部門で、年間の最優秀賞である“チャンピオン・オブ・チャンピオンズ”を審査し表彰します。“WSP”は、アメリカにおける切手コレクションの年間最優秀賞ですが、大リーグ(野球)のワールドシリーズと同様にワールド(世界)シリーズというネーミングを用いています。なお、第11回WSP(1978年)においては、カリフォルニア州の切手展であるWESTPEXで“U.S. One Cent 1851-1861”というアメリカのクラシックコレクションでグランプリを受賞した川良平氏が“チャンピオン・オブ・チャンピオンズ”を日本人として唯一受賞されています。なお、ワンフレームコレクションの“チャンピオン・オブ・チャンピオンズ”は、冬季に開催されるAPSのもう一つの全米切手展であるAmeripexで争われます。

今回のStamp Showには30作品のWSPのコレクションの他、マルチフレーム部門に“ディスプレイ”(8作品)、“イラストレート”(5作品)、“ポスタル(トラディショナル、郵便史、航空郵趣)”(53作品)、“印紙”(3作品)、“テーマチック”(2作品)、“ポストカード”(2作品)、“ユース(青年)”(2作品)、“ワンフレーム”(25作品)の他、“コート・オブ・オーナー”(10作品)、“非競争”(3作品)というアメリカ独自のジャンルに14,000ページおよそ900ものフレームの展示が行われていました。また、マルチフレームは3～10フレームの範囲で出品が可能で、平均7フレーム程でした。

審査員は9名、文献部門の審査委員3人、FIPオプション審査員2名が参加し、審査を行っています。メダルには金、金銀、銀、銀銅、銅の5種類があるのですが、マルチフレームは部門の大半が金メダルか銀メダルのいずれかでした。わたくしのアメリカ航空郵趣の10フレームと3フレームの2作品はいずれも銀メダルでした。今回のWSPの“チャンピオン・オブ・チャンピオンズ”

にはロサンゼルス“SESCAL2013”でグランプリを獲得したアメリカの1851年シリーズの作品が選ばれました。

今回印象的だったのは、“イラストレート”と“ポスタル”の二つのジャンルに1930年代から1960年代に発行された1種類の記念切手を5フレームから8フレームで専門収集したコレクションが7作品も出品されていました。また、同様のコレクションがワールドシリーズのコレクションの中にもありました。これらのコレクションの大半は、その半分をカシュ違いのFDCが占めているのが特徴で、ほとんどのコレクションが金メダルを獲得しています。アメリカでは、これらの作品を手本にして、さらに同様のコレクションの出品を誘引しているのではと思われます。

日本の切手展や国際切手展で、横長封筒のリーフでの斜め貼りの是非が問題になりますが、アメリカでは1890年以降横長封筒の使用が多く、切手コレクションの作り方では横長封筒の斜め貼りを推奨していましたので、今回のStamp Showでも(写真10)のように多くの作品が横長封筒の斜め貼りを行っていました。

文献部門には、カタログ8点、ハンドブック5点、郵趣誌・その他12点が出品されていました。その中で、金銀賞獲得した『USA: Variable Denomination Stamps (1989-2013)』(写真10)は、ドイツの収集家が編集したアメリカインターネット切手のカタログで、わたくしも集めている分野でしたので、早速アメリカのアマゾン・ドット・コムを通じて注文しました。また、“コート・オブ・オーナー”には、アメリカ初代大統領のワシントンが1789年5月に差出した公用郵便カバーや有



(写真10) 横長カバーの斜め貼り



(写真11) 金銀賞獲得した『USA: Variable Denomination Stamps (1989-2013)』

名な宙返りエラー航空切手のワンフレームコレクションが展示されていました。

Stamp Show の4日間の会期中には専門部会や各種委員会など120も各種セミナー、ミーティングが開催されていました。この中には、2026年に開催を計画している国際切手展に関する会合やわたくしも出席した2016年にニューヨークで開催が予定されている国際切手展のプレゼンテーションも含まれています。2006年のワシントン展開催時には2016年のニューヨーク展の開催概要は決定していましたので、近く2026年展の概要も公表されるものと思われます。会場で一番人気であったのは、コレクションの評価・鑑定コーナーで、特に土日は近隣の人々(APS 非会員と思われる)で長蛇の列でした。

今回はコレクションアイテムの入手はほとんどできませんでしたが、パルマレスパーティ(授賞式)(写真12)(写真13)にも出席し、最新のアメリカの郵趣事情に接することができ、有意義なStamp Showの参観となりました。パルマレスパーティは前売り券で50ドル、当日券で56ドル(約5,600円)ですが、切手展が開催されたコンベンションセンターに隣接したオフィシャルホテルであるマリOTTホテルの大宴会場での立食ではなく着座によるコースディナーです。アメリカにおけるパルマレスパーティは、開場45分前から別途有料のワインやウイスキーによる“Cash Bar”レセプションが行われ、本番のパーティは食事のみでアルコールの提供はありません。所用時間はおよそ3時間という長丁場のパーティで、終わりは10時を過ぎてしまいますが、出席したメダル受賞者全員を表彰してくれます。



(写真12) パルマレスパーティにてメダルをプレゼンター役のユースリーダーより授与



(写真13) 受賞メダル(銀メダル)

シカゴ連銀のマネー・ミュージアム

(貨幣博物館)

最後の訪問地であるシカゴでは、宿泊したホテル地区にあったトラベラーズセンターで知ったシカゴ連銀のマネー博物館を見学して来ました。アメリカの中央銀行はFRB(連邦準備制度理事会)のもとニューヨークやボストン、サンフランシスコなど全米12都市に連邦準備銀行(連銀)を置いています。シカゴ連銀はその一つです。連銀の主な業務は、①市中銀行の監督と規制、②金融政策の実施、③決済制度の維持、④財務省証券(国債)の売買です。

シカゴ連銀のビル(写真14)の1階にはマネー・ミュージアム(貨幣博物館)(写真15)。開館時間は連銀の休業日を除く平日の午前9時から4時半までで、運転免許証やパスポートなど写真付き身分証明証の提示が求められるものの、入館料は無料でした。アメリカの紙幣やコイン、小切手、クレジットカードなど通貨や決済システムの歴史が現物と写真パネルを交えて展示が行われていた他、1ドル札で100万ドル(約1億円)のかたまりや100ドル札で100万ドルが詰められたスーツケースなどの展示が行われていました。

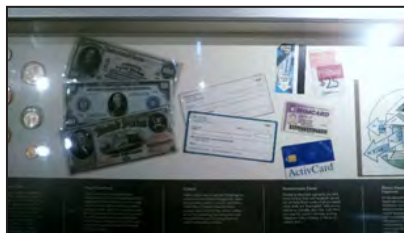
10日間の駆け足によるアメリカ横断旅行でしたが、アメリカの国内切手展の参観や郵便局の訪問など現地の生の情報に触れることができ、有意義な旅でした。2016年5月には、再びニューヨークを訪れ、第11回国際切手展を参観したいと思っています。



(写真14) シカゴ連銀ビル



(写真15) マネー・ミュージアム(貨幣博物館)



米国リトアニア郵趣協会名誉会員と リトアニア郵趣事情

荒木 寛隆

昨年11月24日の米国リトアニア郵趣協会総会で日本人初の名誉会員(図1)に推挙された。総会翌日には米国リトアニア郵趣協会のヴァリアコイス会長(John Variakojis、図2)からメールで知らせを受け、リトアニア国内の旧友たちからも沢山のお祝いメールが届いた。当初は日本でリトアニア作品の切手展出品と現代郵便史を続けてきたご褒美くらいに軽く考えていたが、その後ヴァリアコイス会長から『名誉会員は米国リトアニア郵趣協会設立以来48年間で21名しか推挙されておらず、且つ、2014年9月末時点で存命の名誉会員は5名だけである』と聞いて身の引き締まる思いでいる。

折角の機会なのでリトアニア郵趣団体とリトアニア国内の郵趣事情について述べてみたい。リトアニア人を主体とする郵趣団体はリトアニア国内と米国に夫々別組織としてあるが、リトアニア国内の郵趣活動は低迷している。日本同様切手収集家の減少傾向が続いているようだ。



図1. リトアニア郵趣協会名誉会員ブロンズ製記念額と筆者



図2. 米国リトアニア郵趣協会ヴァリアコイス会長と長年の親友レオナス

1. 米国リトアニア郵趣協会 (LPS Chicago)

ソ連に併合された1940年にリトアニアの郵趣団体「リトアニア郵趣家連合」は消滅してしまった。そこで第二次大戦後シカゴ在住のリトアニア人郵趣家を中心に1946年10月20日に設立されたのが米国の『リトアニア郵趣協会 (Lithuania Philatelic Society, Chicago / 以下LPS Chicago と云う)』である。

20世紀初頭から海外最大のリトアニア人コ

ロニーであったシカゴ市には現在約30万人のリトアニア系アメリカ人が住んでいる。かつてはニューヨーク市やトロント市(カナダ)にもリトアニア郵趣協会があったが、現在残っているのはシカゴのリトアニア郵趣協会だけとなってしまった。米国等海外のリトアニア人郵趣団体が消滅した最大の原因は移民世代の高齢化が大きな要因といえる。

LPS Chicagoの会員総数は現在160名ほどで、米国在住のリトアニア系アメリカ人が主体だが、リトアニア国内の著名なリトアニア人郵趣家の多くがLPS Chicagoに加入している。毎年機関誌『LITHUANIA Philatelic Society Journal』(図3)を発行し、年1回の会員総会と2~3年毎にLITHPEX(リトアニア切手展、累計30回)をシカゴのリトアニア文化センターで開催している。機関紙の記事は英語とリトアニア語のバイリンガルであるが、1997年頃までは90%以上がリトアニア語だったのでリトアニアの友人に英語へ翻訳してもらうなど随分苦労させられた。

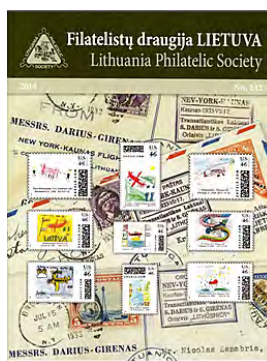


図3 Lithuania Philatelic Society Journal #242



リトアニアの再独立直後から米国内のリトアニア郵趣団体がリトアニアの郵趣団体や郵趣家を物心両面で支えてきた。今でもリトアニア国内での郵趣活動を陰で支えているのは実質的に米国のリトアニア郵趣協会(LPS Chicago)と言っても過言ではない

2. リトアニア郵趣家連合 (LFS) と

リトアニア国内の郵趣事情

リトアニア郵趣家連合 (Lietuvos Filatelistų Sąjungos/ 英 訳 :Lithuanian Philatelic Union、以下 LFS と云う) は第一次独立時代の 1924 年に設立されたが、1940 年のソ連併合により共産党の党組織である『ソ連郵趣家連合』に吸収されて 1940 年 6 月 27 日には『ソ連郵趣家連合リトアニア支部』として再編された。

1985 年に登場したソ連のゴルバチョフ書記長が提唱したペレストロイカ運動の波に乗り、再独立宣言直前の 1989 年 9 月 30 日にリトアニア郵趣家達の会議で『リトアニア郵趣家連合』の再建が決定された。そして、同年 10 月 13 日ソ連郵趣家連合はリトアニア支部の分離、独立を承認した。

1999 年 7 月 31 日にはリトアニア郵趣家連合 (LFS)75 周年切手 (図 4) も発行され、リトアニア国内の切手収集熱は頂点を迎えた。然し、21 世紀に入って国内外のソ連独立諸国切手ブームが去ると共に、海外からの小国リトアニア切手収集熱は一挙に萎んでしまった。再独立後の苦しい経済状況下のリトアニア国民にとっては、切手商売は趣味と云うより「実益」だった。人口僅か 3 百万人余りの小国で「猫も杓子も」切手売買に拘わると云うことこそ異常事態だったが、切手ブームが終わると同時に急拡大したリトアニアの郵趣活動も一挙に衰えたのは無理からぬことと云える。



図 4. リトアニア郵趣家連合 75 周年記念
1999.07.31 発行

現在リトアニア国内で確認されている郵趣状況は次の通りである。

(1) 切手展の開催

① [全国切手展] 当初通信省、その後民営化された Lietuvos Paštas (リトアニア郵便) が主催

して 2 年に 1 度、首都ビルニュスと古都カウナスで交互に開催している。

② [個人切手展] リトアニア郵趣連合主催の切手展は行われていないが、LFS 会員の著名な郵趣専門家達が自分の得意なテーマで個展形式の切手展を毎年何カ所かで開催している。

長年の郵趣仲間のレオナス (Dr.Leonas Veržbolauškas) は満 86 歳になったが、2002 年 10 月にカウナス市の通信博物館で日本大使館の協賛を得て『もっと日本を知ろう』と云う日本切手展 (図 2) 等を開催したり、小中学生向けに切手教室 (図 5) を実施するなどして若年郵趣家層の育成にも努めている。



図 5. 切手教室で講義する友人レオナス

(2) リトアニア郵趣家連合 (LFS) の組織と活動

LFS 会長のウシュプラス氏 (Dr.Eugenijus Ušpuris) は第一次独立時代のリトアニア切手に関しては国際展でも数々の高位賞を獲得している著名な郵趣家である。

2014 年 9 月末時点で LFS の支部は首都ビルニュスと古都カウナスの 2 支部の他にシャウレイ市とクライペダ市にも支部があると云われている。但し、会員数の公表は無い。

LFS 本部や支部の定期的な会合は行われていない。また、ビルニュス市とカウナス市では夫々毎週日曜日に郵趣家を中心にして切手・カバー等の郵趣品、銀行券・コイン、メダル等の交換・売買が行われているが、LFS が主催しているわけではない。

[LFS 機関誌の発行] 1990 年から機関誌『Filatelija(郵趣)』を発行したが、6 号で終わってしまったようで現在は LFS の機関紙は発行されていない。

(3) 郵趣クラブ・リトアニカ (LITHUANICA)

1993 年 2 月創刊以来リトアニア国内で唯

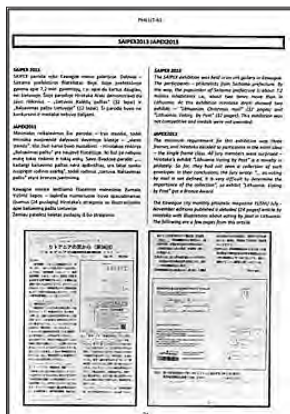


図6 リトアニアの郵趣誌『PHILLIT』最終号

一、英語とリトアニア語のバイリンガル郵趣誌『PHILLIT』（図6）を発行してきた郵趣団体 Philatelic Club “LITHUANICA” も2014年3月の第63号を以って郵趣誌（年3回発行）発行を停止した。同クラブの代表で編集長のヤンカウスカス（Antanas Jankauskas）氏はLFSの会員で第一次独立時代の切手専門家として有名だが、高齢の為に機関紙の発行を継続することが出来なくなってしまった。彼は2012年に第一次独立時代を含めた最初のリトアニア切手カタログを発行した功績を高く評価されている。

ヤンカウスカス氏とも長い付き合いだが、彼の郵趣誌とカタログはリトアニア語の判らない

私にとってはリトアニア郵便史の研究のバイブルでもあったので残念でならない。

総じてリトアニア国内ではLFSとしての組織的な活動は見られず、過去何度かLFS幹部と著名な郵趣専門家達でリトアニアの郵趣活動の活発化と再建策が討議されてきたが目に見える効果は表れていない。

3. 米国以外のリトアニア郵趣団体

米国以外ではドイツにドイツ人主体の「リトアニア郵趣研究会」があり、ドイツ語の機関誌「LITUANIA」を年1回発行している。

4. 最後に

リトアニア郵趣家達との交流は再独立以来25年近くになり、当時50～60歳代だった友人達も古希を遥かに越えてしまった。また、リトアニアの専門家達の研究対象は第一次独立時代（1918～1940年）が中心で、再独立後の現代郵便史を研究している人は極めて少ない。来年はリトアニア再独立25周年（図7）と云う記念すべき節目に当たる。何とかリトアニアだけでなくバルト三国の「デッドカントリー復活25周年切手展」を開催出来ないかと模索している。



図7. 「人間の鎖 (Baltic Way)」25周年

1989年8月23日ソ連統治下のバルト三国で独ソ秘密併合条約50年に抗議してリトアニア、ラトヴィア、エストニアの首都を三国の国民2百万人が手をつないで抗議した。

『人間の鎖』運動は翌1990年3月の再独立宣言への導火線となった。

2014.08.23 発行

幻のエンタィア

長谷部 晃

切手を集め始めた頃は使用済み切手をはがきや封筒から切り抜き水につけて剥がすのが当たり前だと思っていた。封書やはがきが切手とともに重要な収集品であることがわかったのは切手研で入門ゼミで教わってからだった。これまでの6年間に剥がさないでおけば良かったというものもいくつかあった。またその後も「郵便物を大事にあつかう」ことが意味があることを知ったことがある。

(琉球郵便との出会い) 中学2年の時(1955年・昭和30年)だった。高校2年の兄が雑誌の懸賞で当たって雑誌に名前がのった。景品がまもなく来たが、そのしばらく後同姓同名の人から封書が届いた。兄の言うには「雑誌に当選者として名前が載ったので自分だと思ったら後に(埼玉県)とあったので同姓同名の別人がいることを知った。編集部に問い合わせて手紙を書いた」ということだった。この話もおもしろかったが私が興味をもったのは表に貼ってあった切手だった。「甘藷伝来350年記念」とあり「琉球郵便」とあった。当時沖縄がどういう状態にあったかなど全く知らなかった。差出人の住所は「南西諸島宮古郡石垣町」とあった。地図をみて琉球諸島のさらに南西の島々に石垣島があることを知った。兄の説明も「琉球はアメリカの占領下にある」という程度で、日本の郵便制度の枠外にあるらしいということがわかった。兄からこの封筒をもらう約束になっ



1955年発行 甘藷伝来350年記念 17世紀初頭、中国から初めて甘藷を琉球にもたらした人物、野国総管を祭る宮を描く

ていたが、いつのまにか忘れてしまった。切手研に入ったあと探したが見つからなかった。中学2年の年末のころだったのでこの切手の発行(1955年11月26日)の間もない時期だった。幻のエンタィア1号。

(伐折羅大将) 高額の普通切手の図案改正で伐折羅大将が500円に登場したのが1974年11月11日。子供が生まれてまもなく1年になろうという時期だった。親子三人になり洗濯物が飛躍的にふえた。洗剤をよく買いに行ったものだ。その中で抽選で景品が当たるというのがあって妻が応募した。「どうせ当たらない」と笑っていたらホントに特等に当たった。幸運は続くものではないから交通事故に気をつけようなどと言いつつに景品が届いた。小型の箱に入った物で小包の第一種、ちょうど500円の料金で伐折羅大将の切手が貼ってあった。興奮した妻は忙しく封を切ったので「切手の真ん中」を破いてしまった。私が「あ」といったが間に合わなかった。封筒に入った小包で500円切手の一枚貼りなどというエンタィアはめったにない。しかも発行(1974年11月26日)の翌月のことだ。それが無残にも切り裂かれてしまった。妻は私が切手を集めているのは知っていたが、封筒まで収集品になるとは思っていなかったという。破られてしまったはどうしようもない。このときから趣味の実態については家族によく知らせておかなければと思った。無残になったがこのエンタィアは今も保存してある。



1974年発行普通切手
新薬師寺蔵 国宝
十二神将像
伐折羅(バサラ)大将

切手収集は家族の理解が不可欠である。

53号「稲フィラ会員の郵趣関係新刊書と寄稿記事の紹介」に下記資料追加

会員名	表 題	年	誌 名	号	NO.	発行元
榎沢祐一	フランスや関連諸国のブルーの概要	2012	郵趣研究	2	105	日本郵趣協会
榎沢祐一	<INDONESIA2012>FIP セミナーリポート 第4世代のテーマティク収集	2012	郵趣研究	5	108	日本郵趣協会
榎沢祐一	フランスや関連諸国のブルーの 概要 - 補足・訂正 -	2012	郵趣研究	6	108	日本郵趣協会
榎沢祐一	"JAPANESEPHILATELY" 誌掲載記事より ～玉六のヨと小桜 20 銭仮名り	2012	郵趣研究	5	109	日本郵趣協会
榎沢祐一	特集 " テーマティク収集 "" 入門ガイド～発展 の変遷とその魅力～	2013	郵趣	8		日本郵趣協会
榎沢祐一	テーマティク作品のトリートメント	2013	Philatelic Journal			Stampedia, Inc
榎沢祐一	テーマティク収集ってなんだ？	2013	stamp club			Stampedia, Inc
榎沢祐一	テーマティク収集の進め方	2014	stamp club			Stampedia, Inc
榎沢祐一	<対談> 伝統郵趣の始め方 伊藤昭彦 (外国切手出品者の会・会長)、榎沢祐一	2014	The Philatelist Magazine			Stampedia, Inc
榎沢祐一	ベルギー・ブリュッセルの路面電車 輸送カバー(1927年)	2013	Railway Stamps		164	JPS 鉄道切手部会
榎沢祐一	ミニボックス小型印制作体験記	2014	Railway Stamps		174	JPS 鉄道切手部会
坂下泰一	手彫龍銭切手用紙の研究	2014	切手研究会創立 60周年記念論文集			切手研究会
小林 彰	横浜外国人居留地 80,84,85 番専有者の 変遷とその郵便物	2014	切手研究会創立 60周年記念論文集			切手研究会
正田幸弘	ブラジル郵便史コレクションの成長	2014	切手研究会創立 60周年記念論文集			切手研究会
和田文明	マテリアルが語る 75 年前の一大郵便イベ ント特集・全米航空郵便週間 (カラー 7P)	2013	郵趣	5		日本郵趣協会
和田文明	第8回 郵便史シンポジウムと 航空郵趣展 Aerophilately2014	2014	The Philatelic Magazine	春	2	.Stampedia, Inc
和田文明	英国郵便博物館を訪ねて	2014	The Philatelic Magazine	夏	3	.Stampedia, Inc

大隈講堂切手継続販売について (大学周辺郵便局情報)

磯野 昭彦

大隈講堂切手の販売について本年9月、新宿北郵便局は次の様に発表した。

1. 最終販売日を10月10日とする。
2. 但し、10月19日早稲田大学ホームカミングデー
当日の大学構内に開設する郵便局臨時出張所では販売する。

在庫の切手は、10月20日以降ただちに東京支社に返納、処分される予定だった。

しかし、その後、大学周辺郵便局と日本郵便株式会社東京支社との間で話し合いが持たれ、大隈講堂切手販売の予定は、次の様に決まった。

1. 大隈講堂切手販売は平成27年3月25日早稲田大学卒業式当日、大学構内に開設する郵便局臨時出張所で販売する。
2. また、それまでの期間、大学周辺局 (下記)
では大隈講堂切手販売を継続する。

大学周辺局：早稲田大学前、馬場下、早稲田通、
西早稲田一の4局。

なお、新宿北郵便局では予定通り10月10日で、販売を終了した。



2001年10月19日発行
ふるさと切手 大隈講堂
ホームカミングデーに14年目を迎えた。

2014年10月24日、岡田芳朗会員は逝去されました。
岡田会員には稲門フィラテリーに執筆、講演などの御協力を
いただきました。ご冥福をお祈りいたします。

歴史学者が愛でた暦と切手

渡辺 勝正

長年にわたってご指導いただいた岡田芳朗先生の訃報に接し、哀惜の念に堪えない。

先生との出会いは今から50余年前の、私が社会に出て3年目のことだった。印刷会社に勤めていた私に「東京銀行のカレンダー」製作の仕事が回ってきたときのことである。

世界各国を切手で紹介するカレンダーの企画を立てたが、ブラジルの紹介には是非とも、サッカー選手のペレの切手をアレンジしようと考えた。

ペレは1969年、1000ゴールを達成し世界的スーパースターとなった。彼が前人未到の記録を達成した翌年、母国ブラジルではその功績を称え「ペレ1000ゴール達成記念切手」を発行した。のちにペレは20世紀最高の選手として「サッカーの王様」と称される。

ブラジルを紹介するには「ペレの切手」が最もふさわしいと思った私は、この切手を入手するため、切手商や早大切手研仲間の間を探しまわったが、人気絶調のペレの記念切手は即完売で、懸命の努力も徒労に終わった。

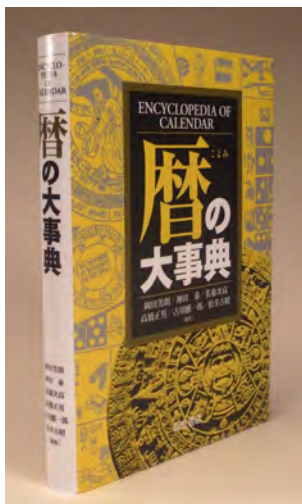


「ペレの切手」の代案を考えざるを得ないと諦めかけたそのとき、この切手を岡田先生がお持ちとの情報を得て、私は会社がある市谷から先生がお住まいの東久留米までハイヤーで向かった。当時、既に暦の研究者、歴史学者として活躍されていた

先生から、その切手を受け取ったあと、時を忘れて先生との切手談義は盛り上がった。気が付くと3時間を優に超えていたが乗ってきた大型ハイヤーはその間、1枚の切手のために、ずっと玄関先で待っていた。今から思えば、なんと

のんびりしたよき時代であったことか。

1988年、私は『武田軍師・山本勘介の謎』を上梓したが、山本勘介を語る上で川中島合戦を外すことはできない。できることなら永禄4年9月9日の川中島合戦のあった日に合わせて現地に行こうと考えた。月の満ち欠けがわかれば、合戦当日の状況解明の一助になるかもしれない。しかし何せ約430年前の出来事である。早速、岡田先生に教えを乞うことにした。



集大成の著作 出版年 2014.7

暦の大事典

朝倉書店 価格 18000 円

「川中島合戦の日、今年の何月何日に当たるのでしょうか？」という私の唐突な電話での質問に対し、先生は少し待ってほしいと電話を保留にしたままで、数分後には「今年は10月27日ですよ」との答えをいただいた。先生の専門分野とはいえ、その迅速さに門外漢の私は感心しきりであった。

先生のご指示通り、暦に導かれて合戦の日当たるその日に、深まりゆく秋の北信を訪れた。半月が沈んだ0時半過ぎ、漆黒の妻上山に登り、霧に包まれた夜明け前の川中島を眼下に眺めながら、静寂の中で戦国時代の光景を想い描いた。陽が昇り、まぶしいほどの輝きを放つ千曲川の川面を見ながら、歴史に触れた旅を終えたことを、今でも懐かしく思い出す。

振り返ると、私の人生の折々の場面で、岡田先生には大変お世話になっていた。

感謝をこめて合掌。

文

化

2014年9月9日
日本経済新聞の最終紙面「文化」の欄に岡田芳朗会員が永年研究されてきた暦の歴史、暦の種類、暦の研究會「暦の會」の活動等を執筆されました。岡田会員には昨年の総会において「南部めくら暦」の講演をお願いしました。講演時、配布された暦の資料は本会報50号に掲載されています。

明治5年(1872年)11月9日、時の政府は太陽暦の採用を発表し、同年12月3日を翌年の1月1日とする形で新しい暦を実施した。この改暦は日本の近代化にとって非常に大きな意味を持ち、その恩恵は現代の私たちにも及んでいる。

さて、それから100年後の昭和48年(1973年)にできたのが「暦の會」である。今は月刊「歴史研究」誌編集長を務める吉成勇氏から、暦



「三嶋暦師の館」で講演する筆者

横に濁点がついてあるのは「シ」すなわち夏至。盗賊が荷を奪う様は「にうばい」、つまり入梅を意味する……という具合。字が読めなくても付がわかるようになってるのだ。当時の農民はこれを覚えて年中行事をおこなった。れっきとした実用的な暦である。以来、会員たちが毎回、様々な研究発表をしてくる。



岡田 芳朗

◇世界の暦を発表し合う「暦の會」40年、年末で例会40回に◇

暦に詰まった先人の知恵

の関係者の集いを作ったかどうかと持ちかけられた。歴史や天文学などの研究者のみならず、カレンダーメーカーや暦に興味を持つ一般人まで、垣根を設けずに多様な人が集まり、語り合う会があれば面白からうと熱心に口説かれ、発足する会の会長に据えられたという次第である。

会の名称は、気軽な集まりにしたいという思いを込めて、「くろ

部めくら暦を紹介した。これは旧南部藩で文化年間(1800年代初頭)から使われていた暦で、マスの中に細かく絵が描

なれていて、芥子の絵の時代は伊豆三嶋大社で作

が地方暦だ。例えば鎌倉

に「日蝕と暦」「わが

表がある」と、こんな暦法

があるのかと会員は驚く。1年を10カ月とする

「中国・秦代の暦」など、過去の発表タイトルを眺めていると、暦にまつわるありとあらゆる

事柄が採り上げられていて、枚挙にいとまがない。

隠れた歴史あふり出す

「日蝕と暦」「わが

表がある」と、こんな暦法



南部めくら暦 稲門フィラ54号
鉢 お重、鉢 矢 芥子に濁点
八十八夜 夏至
「めくら暦」より (編集子)

海外の暦についての発

表がある」と、こんな暦法

があるのかと会員は驚く。1年を10カ月とする

「中国・秦代の暦」など、過去の発表タイトルを眺めていると、暦にまつわるありとあらゆる

事柄が採り上げられていて、枚挙にいとまがない。

隠れた歴史あふり出す

「日蝕と暦」「わが

表がある」と、こんな暦法

★ 日本経済新聞「文化」欄に2004年2月26日小林彰会員が
【横浜洋菓子事始 ―フランス人「パール兄弟」の店の軌跡をたどる―】
を執筆しています。本誌12号に掲載新聞紙面を掲載してあります。

イギリス切手のデザイン

小西 邦彦

エリザベス女王、エジンバラ公ご夫妻は 10 月 30 日、バーミンガム郊外に新築された ISP 社の落成式典に臨まれました。ISP (International Security Printers) は英国切手の大部分をはじめ、欧州・アジア他、世界中の切手を印刷する新進気鋭の会社です。

切手はイギリスにとっては国家の顔のひとつであり、国名の代わりに女王像を掲げています。イギリス切手デザインの最終校閲者はエリザベス女王で、2 年に一度ほど No がでるそうです。

有名な Royal Collection は英国王室に代々受け継がれてきた切手コレクションです。1840 年、世界最初の切手ペニーブラックに描かれているのは 18 歳のビクトリア女王 (1837-1901) です。以来エドワード 7 世 (1901-1910)、ジョージ 5 世 (1910-1936)、エドワード 8 世 (1936)、ジョージ 6 世 (1936-1952)、エリザベス 2 世 (1952-) と王様像の普通切手が発行されています。切手収集に熱心だったのはジョージ 5 世です。最初に出た切手 (図 1) にダメを出します。顔の口髭が見苦しいと剃り、アバラ骨の見えるライオン (左) は大英帝国の落日を思わせると全身を毛で覆わせたのです (右)。



図 1 左の口髭、ライオンのアバラ骨を右のように手直し

1913 年発行の高額 4 種は国王が細部にまで注文を出して生まれた切手史上の名品です (図 2)。イギリスを象徴する女神ブリタニアがシーホース (海馬) にまたがる切手で、ギボンズカタログ評価 3,250 ポンド (約 60 万円) です。王は盾の中の額面を中央下へ、国旗を盾の中へと移しました。このアイデアは 80 年後の 1993 年発行の 10 ポンド切手にも生かされています (図 3)。



図 2 切手史上の名品 1913 年発行
格調高いイギリス記念切手の起源となったもの



図 3 王さまのデザインアイデアを
取り込んだ高額切手

来年、2016 年はシェイクスピア没後 400 年です。生年は 1564 年 (ヒトゴロシ) 没年が 1616 年 (イロイロ)。切手になった人物では世界で 2 番目に多いとか。多分来年は 1 位になるでしょう。(図 4) は 1955 年にシェイクスピアが活躍した劇場「グローブ座」が元の場所に復元されたのを記念した切手です。15 ~ 16 世紀、ロンドン・テムズ川南岸のシャフツベリー通りにはいくつも劇場が並び、多くの観客を集めました。5 種連刷切手にはその代表的な 5 つの小屋が描かれ、シェイクスピア劇に登場する有名人も周辺に配されて楽しい切手です。ちなみに早大演劇博物館 (エンパク) は 16 世紀に存在した「フォーチュン座」を模したもので、坪内逍遙によるシェイクスピア全集 40 巻の完成を記念して昭和 3 年に建てられたものです。シェイクスピア劇は日本でもたくさん上演されています。来年予想される発行ラッシュの中に日本も入ってくれるのを願っています。

イギリスで記念切手の製作着手は発行 3 年



図4 シェイクスピア劇場「グローブ座」復元記念切手



図5 2階建バス 150年記念切手

前です。画家、イラストレーター、写真家等、異なる分野の数名に試作依頼が出て、作品を切手アドバイザー委員が一人に絞ります。私もかつて日本郵便の切手アドバイザー委員を務めました。お役目は切手の題材を検討することで、デザインとは無縁でした。

ずらり並んだ2階建バス15台(図5)。2001年発行の2階建バス150年記念切手です。この切手のデザイナーは、イギリス国中を旅行して、これだけ描くのに一年を要したとのことです。完成度の高さがうかがえます。

来年はまた切手誕生175年の節目の年です。多分ペニーブラックが発行された5月6日に、ペニーブラックと2ペンスブルーを描き、額面だけ改めた記念切手が出るでしょう。175年前は労働基準法など存在しない世界で、切手印刷は過酷な作業でした。すべて人力で、湿らせた切手用紙にスチール凹版のインクを力一杯移し取るという力仕事でした。印刷工の日当

は1ペニー。長時間労働で、疲れたら印刷機の周りでゴロ寝。街でドライジンを押ってつかの間のハッピー。今ならブラック企業です。産業革命は都市人口集中をもたらし、格差、Drug Eater、そしてアル中を生みました。今の日本にそっくりかも。最後は全ての切手の起源となったペニーブラック(図6)でお口直しを。



図6 ペニーブラック 150年記念小型シート
来年は175年記念小型シートが発行されます



イギリス切手の完成度、切手発行の独創性の一面を理解する一助となる書籍を紹介させていただきます。(編集子)

戦間期のイギリスの通信省が展開した広報政策の視覚的側面をできるだけ包括的に見ていきたい。
デザイン史の目的は
デザインの生産と消費のシステム、個人や集団のインタラクション、製造プロセスなどをオブジェクトとともに考察することにあるが、通信省はデザイン史にとって宝の山だといえるだろう。広報資料のみならずオフィスの建築、切手、電話ボックス、郵便箱や郵便局のサインなどはみな、「社会的歴史的現象としてのデザイン」なのである、

モダンイズムとデザイン戦略
イギリスの広報政策
菅 靖子
出版 国立ブリュッケ

表紙文

クリスマス切手

テレビの画面にクリスマスが見られるようになってきた。また、美しいクリスマス切手を張ったカード届くのが楽しみである。しかし、クリスマス切手がどのように発行されてきたか知識を持たないので調べてみた。

単発の記念切手として発行されたクリスマス切手と毎年発行のシリーズ・クリスマス切手とがあるようである。

記念切手としてはカナダで発行された大英帝国を誇示した切手に XMAS 1898 と記されたのが最初で、文字でなくデザインがクリスマスらしく描かれた最初の切手は 1937 年オーストリアで発行された黄道十二星座とバラの切手であるらしい。



We hold a vaster empire than has been・・・と広大な大英帝国を誇る記念切手に XMAS の文字



サソリ座から天琴座まで 12 星座とバラを描いたクリスマス切手

シリーズ切手として最初に発行した国は意外にもキューバで、しかも、最初のサンタクロース切手ではないかと考えられる切手である。その後、50 年代にスペイン、ルクセンブルグ等で発行されて、57 年にはオーストラリアで発行された切手はクリスマス切手発行 50 年記念切手として 2007 年のクリスマス切手に描かれている。また、隣国ニュージーランドも 50 年記念切手を発行している。



Santa Claus — A187

1954, Dec. 15
532 A187 2c dk grn & car
533 A187 4c car & dk grn

SCOTT より



オーストラリア ニュージーランドのクリスマス切手 50 年記念切手



60 年代以降多くの国から発行され、描かれたものも宗教的なものから、クリスマス飾り、プレゼント、雪景色、児童遊び、サンタ、教会、料理等、非常に種類が多くなり興味深いものがある。

ヨーロッパ、南北アメリカ、等の 2000 年以降のクリスマス切手約 1000 種を描かれたものを中心に整理した。キリスト降臨図・その部分図、マリア母子像等、宗教的なものが 40% 程度、プレゼントも含めたデコレーション類が 40% 程度、残りが雪景色をバックにしたもの、民芸品などであった。また、題材も有名絵画、教会ステンドグラス、絵本、児童画等、幅広い領域から相応しいものを選択していた。



キリスト降臨図
2008 年オーストリア



マリア母子像
2010 年チリ



クリスマスリース
2008 年スウェーデン



クリスマスプレゼント
2010 年スイス

整理している中でクリスマス切手になった題材が 2000 年以降宗教的な題材と、クリスマス慣例的な題材との割合が同じくらいで落ちてきて、それまで宗教的題材が徐々に少なくなっていたのがおさまってきたのかと感じられる。この題材の点を国別にみるとキリスト教の宗派が影響していることがかんがえられた。

まず、本山バチカン市国は当然ながら 100% 宗教的題材の芸術性の高い切手である。これに次いで宗教的題材の切手の割合が高いのが意外な国であった。国民の 70% から 90% がカトリック教徒であるアルゼンチンである。バチカン市国に比べると世俗的な



バチカン市国
キリスト降臨図の切手
2006年



アルゼンチン
キリスト降臨図と南米らしい切手
2006年 2012年

中の教会、雪の中の子供等である。

そして興味を持ったのが南半球、夏のクリスマス切手であった。全体にミドリ、青が多く感じられる切手の中、サーフィンのサンタ、ライオンのサンタ等話題になる切手の他に、夏のバカンスの中のクリスマスを感じさせる



2010年 スウェーデン



2004年 フィンランド



2002年ベルギー



2007年 リヒテンシュタイン



南半球 夏のサンタクロース
1977年オーストラリア



2006年南アフリカ



クリスマスはバカンスの季節
2006年 2009年ニュージーランド



切手が注意された。テントの脇にサンタを待つ靴下、海辺のサンデッキチェアを描いたニュージーランドのクリスマス切手である。

また、1961年から宗教色のある1種のクリスマス切手を発行してきたアメリカ、1991年頃よりグリーティング切手のニュアンスを強めて多種類の中にマリア像を1種の発行するようになったのは政教分離の問題を含んでのことであるという。それと時期を同じにして、イスラム教の犠牲祭イード・アルがグリーティング切手で、ユダヤ教のハヌカー祭ハヌカー祭 Hanukkah、アフリカ系アメリカ人の祝日 kwanzaa の切手が発行されてきて、多民族国家のむずかしさがクリスマス切手にも影響していることを考えさせる。今後のクリスマス切手の発行に注意したい。



多民族国家アメリカを映す各種祭の切手
2008年
イスラム教の祭



2007年
ユダヤ教の祭



2009年
アフリカ系の人の祭

稲門フィラテリー見学旅行 「会津への旅」旅行記

諸田 志郎

今年の稲門フィラテリー見学旅行は初めての東北「会津への旅」でした。

9月28日、東京駅集合、参加者は途中合流を含め7名、東北新幹線に乗りし旅はスタートしました。新白河駅で観光路線バス大内宿経由会津若松行に乘換えました。

今年は異常気象続きでしたが、福島は晴天で快適な旅の期待がふくらみました。

白河の市街地を抜けると山道になり那須の連山を北から眺めながらバスは西に進みました。約1時間10分で最初の目的地の大内宿に到着しました。

大内宿の滞在時間は昼食を含め1時間半、あまり余裕はありません。まず昼食をと人気の蕎麦屋にいきましたが30分以上待つとのことで諦め別の店に入りました。

久々の晴天の日曜日、辺鄙な場所にもかかわらず観光客でいっぱいでした。

道路の両側に整然と並ぶ茅葺の家屋が続く宿場町は江戸時代そのままの趣です。

会津西街道と呼ばれ参勤交代の大名行列も通ったそうですが、明治になり国道が開通すると大内宿はさびれたようです。

国指定重要伝統的建造物群保存地区に指定されることとなり、地域の人たちはトタンで覆っ

ていた屋根を元に戻し、また道路の舗装をはがし電柱を撤去したそうです。茅葺屋根を保存するため後継者の育成にも力を入れていることを後で知りました。

再び観光路線バスに乗り会津若松に向かいました。このまま宿に向かう予定でしたが、時間に余裕があるので宿泊地の東山温泉に近い会津武家屋敷を見学することにしました。

会津武家屋敷は会津藩家老西郷頼母邸を復元した観光施設です。1,700石取りの家柄の邸宅は広大でした。藩主および藩の重役しか通さなかった御成の間、客間、部下の執務室そして家族の使用部屋など外から見学できます。邸宅の表門の傍らに頼母の養子西郷四郎の銅像がありました。講道館出身の柔道家で小説「姿三四郎」のモデルとなった人です。全員集合し銅像まわで記念撮影しました。今宵の宿「庄助の宿 瀧の湯」のバスが武家屋敷まで迎えに来てくれ宿に向かいました。

「瀧の湯」には新潟からSL「ばんえつ物語」に乗ってきた高橋さんがすでに到着していました。東山温泉は湯川に沿って旅館が並び会津若松の奥座敷と言われています。すこし汗ばんだ身体を川の流れを眺めながら温泉に浸したのち食事となりました。

食事の後は、恒例のお宝拝見の時間です。

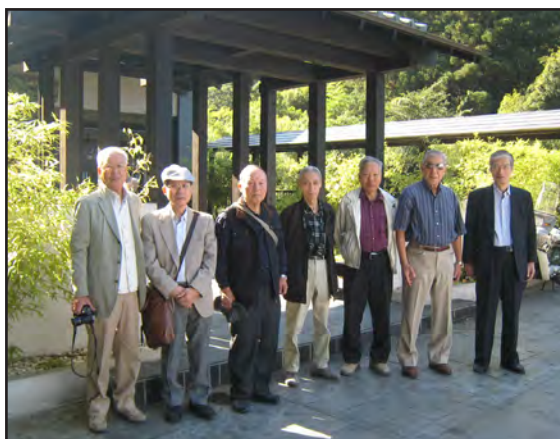
高橋さんは、福島出身で「紺碧の空」の作曲者古関裕而の話および「とき」の続編、すでに生息数が350羽を超えたこと、放鳥も順調にすすんでいることを解説されました。力作写真も提供されました。

小林さんは、横浜フランス局関係書簡新発見の話ほか研究発表の写しを提供され要点を解説されました。多岐にわたる内容のため時間がたらず残念でした。

宮鍋さんは、戦後進駐軍の郵便物検閲を実通便で解説されました。



茅葺屋根の大内宿



滝の湯前にて

坂下さんは、恒例となった岩代国の不統一印のカラーコピーを提供され解説されました。翌日の会津若松郵便局で風景印押印の台紙に使わせてもらいました。

稲田さんは、東京オリンピックの競技別小型印コレクションを披露されました。

諸田は、蕎麦屋の箸袋コレクションを苦労話をまじえ披露しました。

2日目、29日は観光タクシー（ジャンボタクシー）で3時間の会津若松市内観光です。

まず東山温泉に近い御薬園の見学です。御薬園は葦名氏の時代から歴代藩主の別荘とされたところですが保科（松平）氏のときに庭園の一部を薬草園にしたことからこの名がついたのだそうです。約400種の薬草が栽培されているのですが意外なものが薬草とされているのには驚きました。大名庭園も見事でした。

次は滝沢本陣です。もともとは江戸時代に参勤交代のさい藩主が旅仕度を整えるための休息所などに使われていたところです。会津戊辰戦争には会津藩の本陣が置かれ藩主松平容保が陣取ったところです。昨年大河ドラマ「八重の桜」にもたびたび滝沢本陣のシーンがありました。しかし、国指定重要文化財に指定されているにもかかわらず古い民家のようなたたずまいで管理も充分でなく少々がっかりしました。

滝沢本陣を出てすぐ近くの飯盛山入り口をとり市中心部の会津若松郵便局へ向かいまし

た。

毎回同じ状況ですが、おじさんが郵便局の女子係員にここに風景印ここに黒活印を押してくれと依頼する姿は周りからは浮いて見えます。坂下さん提供の若松局の不統一印のコピーが活躍しました。坂下さんは同じ名前の坂下（ばんげ）郵便局へも行きたいようでしたが、タクシーの運転手に時間がかかると言われ諦めたようです。

次はいよいよ会津鶴ヶ城です。

会津鶴ヶ城の歴史は不案内のものがくどくどと説明してもせんないと思いますので省略します。天守閣は会津戊辰戦争後取り壊されましたが、昭和40年市民の願いが叶い再建されたそうです。また平成23年には屋根を幕末当時の赤瓦によみがえらせたそうです。ジャンボタクシーの運転手さんがガイドに変身し城内を案内してくれました。

天守閣内はパスし本丸の石垣を巡り難攻不落の名城と言わしめた城構えをじっくりと見学しました。鶴ヶ城の歴代藩主は、葦名氏、伊達氏、蒲生氏、上杉氏、再度蒲生氏、加藤氏そして保科（松平）氏と有力大名に引き継がれてきました。会津若松市内のあちこちにその足跡が残っています。

市中心商店街でタクシーを降り、昼食と市内散策ののち会津若松駅へ向かいました。

大河ドラマ「八重の桜」の興奮の余韻が残る会津の旅でした。



会津鶴ヶ城

切手は2003年発行ふるさと切手 東北四季物語

2014 年日本切手発行状況

昨年より多少は発行件数、種類とも少なくなったとはいえ、2014 年も発行件数 47 件、420 種類と非常に多くの切手が発行され、購入必要額も 31809 円と昨年同様 3 万円を超えた。これまでの日本切手の発行種類数は今年で 7000 種を超えたことが確実である。小型シート、ペーン、占領地切手等を除いて普通に日本切手と呼ばれるものだけの数で正確さに不安は残るが 7066 種という数になっている。

2014 年発行の切手を種類、料額、発行目的等で整理してみると表 1 の通りとなった。消費税の増税で郵便料額変更にとまなう普通切手が 11 種類と多く発行になったのは例年にないことである。特記すべきは、従来の普通切手のほとんどが販売停止、郵便局の窓口から一斉に消えてしまったことである。来年 2 月の新しい普通切手の 12 種発行、更に、今後の消費税増税に際しての新切手発行に際しては郵便局窓口に注意しなければならないことであろう。

金種別発行は郵便料額変更を考慮してか葉書料金切手が昨年に比べ 5% 多くなっていた。発行内容では昨年同様シリーズ切手が 50% 近くと変わらないが、2014 年だけ発行された切手、昔でいう記念切手が 8 件 57 種類と多く発行された。しかし、その内容を見るとスイス国交 150 年、宝塚 100 年、土木学会 100 年、新幹線 50 年、世界サッカーが 9、10 種類と多種類発行されているのに、OECD 会議、児童虐待会議が 1、2 種類とみじめなくらい少ない。本来、記念切手が持つべき広報という役割は放棄して売り上げ重視の切手発行になってしまったことが見て取れる。この事は発行枚数の点からも推

し量れる。発行枚数を発行目的別に整理したのが表 2 である。平均発行枚数で切手趣味週間等毎年発行切手と、所謂 記念切手はシリーズ切手、グリーティング切手の 60% に満たない数である。また、個別に発行枚数を見てもおもてなし花シリーズが 2 シリーズ平均 1000 万枚発行されているのに対して、児童虐待防止会議 500 万枚、OECD 会議 300 万、国体 50 万

表 2 発行内容別にみた発行枚数 (万枚)

発行内容分類	集計	種類	平均枚数
グリーティング切手	33600	143	235.0
シリーズ切手	39500	175	228.6
国体、切手趣味等毎年発行	3440	28	114.6
所謂、記念切手	7870	57	138.1
総 計	84910	403	210.1
年賀切手	7900	6	
普通切手		11	

という発行枚数から切手発行の広報という役割が薄れていることが明らかである。

2014 年の切手発行で注意されることがいくつかある。一つは印刷機関に新たに外国の印刷会社加わったことである。オランダの JOH..ENSCEDE STAMPS 社が加わり、4 機関で表 3 の様な印刷方式と割合で印刷されていた。JOH..ENSCEDE STAMPS 社は次のように紹介されている。

エンスケデ証券印刷 (Joh. Enschede Security Printing) エンスケデ社は積極的な業務展開を行い、イギリスの切手市場に参入するほか、スイス、中国、香港、シンガポール、タイなどのアジア地域の切手や南アフリカの切手の印刷を手がけている。切手印刷部門だけでなく、銀行券印刷部門でも競争が激化し、経営の伸びは必ずしも順調では無いが、長年の信用と技術力に裏打ちされて、着実にマーケットを確保している。

(図解：世界の切手印刷 日本郵趣協会)

表 1 2014 年日本切手発行状況

	発行状況		料額別種類数			発行内容・分類					
						グリーティング切手		シリーズ切手		その他の切手	
	件数	種類	はがき用	封書用	その他	件数	種類	件数	種類	件数	種類
ふるさと	8	50	10	40				6	30	2	20
特殊切手	37	353	86	263	4	10	143	17	145	10	65
年賀切手	1	6	2	2	2					1	6
普通切手	1	11	3	2	6					1	11
合計	47	420	101	307	12	10	143	23	175	14	102

オフセット印刷が全体の 70% と圧倒的に多い中、この ENSCEDE 社、まだ、7% であるが今後どのように変化する

表3 印刷機関別印刷方式

銘版	印刷方式	件数	合計	種類	合計	%
Cartor Security Printing	オフセット	15	16	147	157	37%
	オフセット・エンボス加工	1		10		
JOH. ENSCHEDE STAMPS	オフセット	4	4	27	27	6%
国立印刷局	グラビア	14	15	86	88	21%
	グラビア・凸版	1		2		
凸版印刷	オフセット	11	14	104	148	35%
	オフセット・ホログラム	1		4		
	グラビア	2		40		



ENSCUDE 社印刷
英国 2002 年発行 1857 年
設置郵便 POST 切手



日本初 ENSCUD 社印刷
2014 年発行
自然との共生シリーズ切手

るか注目される。従来と比較すると国立印刷局の印刷件数、種類ともに昨年よりかなり減っていた。これは普通切手 11 種類を印刷しなければならなかった事情があったためであろうか。昨年、件数、種類ともかなりすくなっていた Cartor 社が印刷を再び増やし、凸版印刷はシール切手を中心に全体の約 40% の印刷を行っていた。

次に、注意されるのが海外宛てはがき用の海外年賀切手（差額用）という切手が発行されたことである。18 円普通切手の販売停止にも対応しての発行であろうが、18 円普通切手の発行も然ることながら、70 円海外年賀切手もしくは、はがきではなぜいけなかったのである



海外宛て年賀はがき用の差額用切手

表4 印刷方式別発行件数割合

印刷方式	集計	%
オフセット	30	66%
オフセット・エンボス加工	1	
オフセット・ホログラム	1	33%
グラビア	16	
グラビア・凸版	1	
総計	49	

表3、4ともに印刷方式と機関の関係から年賀切手の件数は3件としたため合計件数は49件となる。

うか。二つ目はデザイン、サイズの統一性、継続性の無いことである。まず、国体切手、過去、競技デザインを柱にマスコット、競技場、競技用具、競技開催地風景が加わり、今年からは競技開催市町村の花が加わって整理がますます難しくなった。おもてなし花シリーズの発行枚数と考え合せ花切手の人気にこれほどに拘ってしまうかと考えさせられた。次は国際文通週間 70 円切手である。昨年初めて従来の切手と同じ東海道五十三次切手として発行されたのが今年はサイズを小さくし、広重の浮世絵花鳥画切手となって発行され、五十三次完結が遠のくことに加えて、統一性、継続性に疑問を持たせる切手になってしまった。



国体陸上競技開催地
諫早市花ツクシシャクナゲ



国際文通週間
広重作 雪中椿に雀

更に、2つのことが気になった。まずシール切手がグリーティング切手の 90%、全体の 40% 近くを占めてきたことである。半数近くをシートで購入させられることになり、使用の利便性、販売の簡素化は理解するが諸外国に見習った発行、販売は期待できないであろうか。

最後はふるさと切手がここ 4、5 年の 30% 近くに減じたことである。国土緑化、国体、地方自治 60 年だけの発行になった結果である。このようになってみると、ふるさと切手発行開始当初のような地域により密着した切手の真に節度ある発行を期待してしまうのは収集家の夢であろうか。

(編集子)

祝 現役学生入会！

木戸 裕介
人間科学部 4 年
住所 埼玉県入間市

転居

木元淳一郎 住所 千葉県船橋市

稲門フィラテリー役員

会長 磯野昭彦 顧問 花本金吾
アドバイザー 吉沢忠一 小西邦彦
総務 諸田志郎 五十野和男 稲田比島志
岸浩一 木元淳一郎
会計 石井克忠
編集 吉沢忠一 小川義博 青柳次男
部会 宮鍋益治 野島正顕 荒木寛隆 村井悌二
会計監査 坂下泰一 住吉忠男

三村 正光会員 写真展入選

2014 全日本山岳写真展 (2014.9.2 ~ 9.7 於 池袋芸術劇場) で三村 正光会員が入選しました。2 度目とのことです。昨年 10 月白馬の桐池自然園で撮影。



「錦を被う白馬岳」

幹事会報告

9月6日

1. 切手教室について今後どのように運営するか、基本方針を検討する必要がある。
2. 会報編集について 54 号に総会おび見学旅行の記事を予定している。

編集後記

新しい靴に履き替えた。駅のエスカレータで躓き手をついた。靴のせいか、年齢のせいか。わが母は、玄関先で転び、暫くして逝った。昨年、その母の年を越えた。岡田会員の訃報が届く。切手のみならず、暦研究のスペシャリスト。ご冥福を祈る。現役学生入会という明るいニュースも届く。趣味の世界ではマイナーになってしまった「切手収集」。しかし、こうした新旧交代を着実に続ければ、また、「趣味の王」に返り咲けるのではないだろうか。「今でも王だ」と言う声も聞こえるが。

3. 総会について本日総会案内を送付した。講演会講師を和田文明会員にお願いした。演題は「国際切手展を参観して」和田会員、福岡在住なので旅費を会費で負担する。

10月4日

1. 新宿北郵便局より 10 月 10 日をもって大隈講堂切手販売中止する連絡あり
2. 切手教室 2 月は青柳会員、3 月は甲斐会員を予定
3. 稲門フィラテリー設立 15 周年記念事業実施の内容について検討する。
4. 会計報告 9 月末に締切り監査。
5. 見学費用不足した 29000 円、会より補てんする。
6. 新幹事の推薦・岸浩一会員、荒木寛隆会員を追加推薦したい。(総会にて就任)

11月1日

1. 訃報 岡田芳朗会員。渡辺勝正会員の追悼文を会報に掲載する。
2. 切手教室 2 月の講師は青柳会員、3 月の講師は甲斐会員。
3. 総会懇親会について総会出席者 19 名、懇親会 18 名出席

★切手教室 新宿北郵便局

第 110 回 10 月 4 日

昭和切手

宮鍋 益治

第 111 回 11 月 1 日

人生を豊かにする切手収集 印南 博之

★稲門フィラテリー常設展 新宿北郵便局

第 28 回 平成 26 年 9 月 6 日 ~ 12 月 6 日

日本で発行されたサッカー切手

第 29 回 平成 26 年 12 月 6 日 ~ 平成 27 年 3 月上旬

昭和 ~ 平成 未年の年賀郵便切手

訃報 岡田 芳朗 会員

2014 年 10 月 21 日、岡田芳朗様が逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

発行日：2014 年 12 月 1 日

発行：稲門フィラテリー

発行人：磯野 昭彦

〒 150-0002

渋谷区渋谷 1-11-3 正栄ビル 4 階

(株) 英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：吉澤 忠一 青柳 次男

小川 義博

稲門フィラテリー

第 55 号

2015 年 3 月 1 日発行

東欧で巡り合った郵趣仲間

渡辺 勝正

ブルガリア展で初めて見たもの

薔薇の国といわれるブルガリアで、世界切手展が開催されたのは、今から 26 年前の 1989 年 6 月であった。当地での国際行事は珍しかったようで、首都ソフィアの街には切手展のポスターがいたるところに張られ、国を挙げての催しであることを印象付けた。

当時、東欧は共産主義体制の崩壊が間近に迫っていた時期ではあったが、それほどの緊迫感はなく、一見、嵐の前の静けさを思わせる平穏な時が流れていた。

切手展の会場は軍隊の管理下に置かれ、各部署には兵士が配置されて重々しい様相を呈していたものの、会場内は東欧で開催されたこの切手展に多くの収集家が集い、和やかな雰囲気包まれ盛況であった。

私は「牛は友達」と題して出品した。ところが私の作品にスポットライトが当てられているのには驚いた。切手の扱いを知らない兵士たちが、サービスのつもりで当てたのか。監視の目を盗んで私は慌ててライトを消したが、いつの間にかまたライトが当たっていた。ライトを消したり点けられたりを繰り返しながら、会場に飾られた多くの作品を見て回ったが、その中のルーマニアからの 1 つの作品に目を留めた。

それは決して状態がいいとは言えない「モルダビアの牛紋切手」の 108 パラレが張られた作品だったが、私が興味を持ったのは勿論

そんな切手ではない。当時、まだコピー機が普及していなかったのか、明らかにカタログを切り取って貼ったとみられる「ルーマニア切手のリコンストラクション」のポジションの解説に興味を覚えた。



リコンストラクション

ルーマニア切手を集めて久しいが、初めて目にした「ルーマニア切手のリコンストラクション」。私はその「カタログ」を手に入れるため、一刻も早く隣国のルーマニアに行こうと、ブルガリアを後にした。

国際列車の車窓から、たわわに実ったサクランボや羊の群れが醸し出す牧歌的な風景を眺めながら、数時間かけてルーマニアの首都ブカレストに着いた。途中の停車駅ではジプシーと思しき子供たちが「ケント」「ケント」と口々に叫び、アメリカ製たばこをねだる光景を目にした。そして私に向かってカメラのシャッターを切って欲しい、と窓越しに迫って来た少女の眼つきは異様に鋭かった。多民族の中で揉まれながら育った子供たちの逞しさに、彼らの置かれている厳しい歴史を、垣間見る思いがした。

再びルーマニアを訪れて

チャウシェスク独裁政権下のルーマニアの首都ブカレストに到着するや否や、タクシー乗り場には大勢の人がひしめき、知らない者同士の相乗りという場面に出くわした。

東欧で唯一の産油国であるルーマニアでありながら、外貨稼ぎのために石油は輸出され、国内のガソリン不足は常態化していた。

1858年に発行された「モルダビアの牛紋切手」は、オードリー・ヘップバーン主演の映画「シャレード」で一躍有名になった。牛はルーマニアの前身であるモルダビア侯国の古い紋章であり、牛紋を切手に表示したということは、モルダビアが長いトルコ支配から解放されるこ



モルダビアの牛紋切手 81 パラレ

とを願ったことによる。牛切手の中で名品といえば、まずこのルーマニア初期の牛紋切手、特に81パラレの未使用は「国宝級」ともいわれる。(映画用は82パラレに作られていた)

私はこれらの「ルーマニア初期の牛紋切手」を入手したことにより、ルーマニアの切手全般にも関心をもつようになったが、ブルガリアで見た「ルーマニア切手のリコンストラクション」の図を今まで見たことがなかった。

ブカレストに到着すると早速、これらが掲載されているカタログを探すことにした。「フィラテリカ」をキーワードに、片言の英語とジェスチャーを交えて走り回ったが、何の成果も得ることなく、徒労に終わろうとしていた。

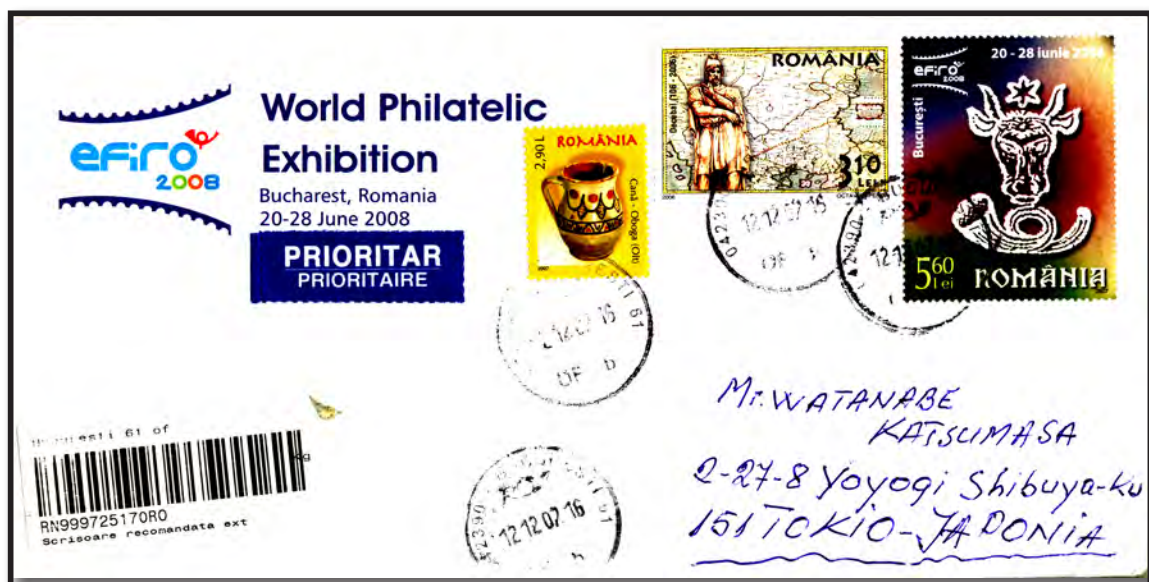
ところが、諦めかけた丁度そのとき「切手収集家の集い」があるとの情報を得ることができ、心が躍った。東洋の日本で自国の切手に興味を持ち、集めていると聞いた収集家たちは、すぐに打ちとけてくれた。しかし、彼らは「ルーマニア初期の牛紋切手」の実物を目にしたことがないという。

結局、私が求めていた「カタログ」を買うことはできなかったが、その夜、収集家のテオドル・メルニック氏から、彼が所有していた「新カタログ」を譲り受けることができた。

ルーマニアではチャウシェスク政権の終焉が迫っていたときであ



映画「シャレード」で使用された切手(映画よりキャプチャー)



メルニック氏から届いた封筒



25年ぶりに再会したメルニック氏

り、秘密警察網が張り巡らされ厳しい監視下のもと、外国人との接触は厳禁であった。特に出版物の受け渡しは危険を伴った。しかし、暮れなずむ白夜の8時、彼は路面電車の停留所でカタログを私に手渡すと、即座に姿を消した。メルニック氏の危険を顧みない無償の友情に感謝しつつ、彼のうしろ姿に別れを告げた。

あれから25年後の昨年6月、杉原千畝の足跡を訪ねて、再びルーマニアへ行った。ホテル

まで会いに来たメルニック氏は、ときに目を潤ませ「ルーマニア郵趣会」のバッジを私の胸に付けながら、25年ぶりの再会を心から喜んでくれた。

そして89歳になっていた彼は自分で車を運転し、白夜の中を帰って行った。

今年、齢90になるメルニック氏はその後も元気で、時々メールを送ってくれる。切手が結ぶこの友情が、いつまでも続くよう願っている。

PhilaKorea2014 参観記

和田 文明

8月6日から8日までの2泊3日で韓国・ソウルを訪ね、仕事の取材を兼ね、8月7日から12日まで開催された“PhilaKorea2014”を参観して来ました。韓国の国際切手展の参観は10年前のPhilaKorea2004、5年前のアジア国際切手展のPhilaKorea2009以来3回目の参観です。わたくしの住む九州はうら盆(8月13日~15日)のため、盆は何かと忙しく会期の前半に参観したため、会期の最終日の12日の夜に予定されていた“パルマレスナイト”という受賞パーティには出席することはできませんでしたが、日本のコミッショナーの計らいにより、会場での開会式(図1)やオフィシャルホテルである“リベラホテル”(図3)でのウェルカムレセプションパーティに出席することができました。

今回宿泊したホテルは、切手展の組織委員会が指定した二つのオフィシャルホテルの一つの“リベラホテル”で、切手展の会場のCOEXから1キロほど離れているのですが、朝夕には会場とホテル間をシャトルバスが運行されていて不便を感じませんでした。なお、この“リベラホテル”には、2009年の韓国郵政創業125年を記念して開催されたアジア国際切手展の時オフィシャルホテルではなかったのですが宿泊したホテルです。

韓国の国際切手展は1884年にスタートした郵便事業の創業と最初の切手(図4)の発行を記念して、「4年」の年に開催され、今回は郵便創業130年、切手発行130年を記念した切手展となります。ちなみに2009年韓国アジア国際切手展は郵便事業125年を記念して開催



(図1) PhilaKorea2014の開会セレモニーとウェルカムレセプションパーティ



(図2) PhilaKorea2014の会場入り口



(図3) オフィシャルホテルの“リベラホテル”



(図4) 日本の印刷局で印刷された
韓国最初の切手
(内藤陽介氏のブログより)

されています。

韓国の郵便制度は開業間もなく甲申の政変により開業からわずか19日で頓挫してしまい、再開は1895年と10年以上のブランクが生じています。

ちなみに、日本の国際切手展も郵便の開業と切手が最初に発行された1871年に合わせて、1971年、1981年、1991年、2001年、2011年の「1年」の年に開催されています。

今回の PhilaKorea2014 には、昨年の JAPEX2013 で金銀賞を受賞し、国際切手展とアジア切手展へのエントリー資格を得ている「The US Avis de Reception 1886-1970」(図5)を5フレーム80ページで国際展に初出品し、大銀賞を頂きました。今回のわたくしの出品作品は国際展初出品であり、ほとんどお金をかけず、手間暇だけをかけて作ったコレクションなので大銀賞の結果に不満はありません。

今回出品したわたくしのコレクションの概要は次の通りで、アメリカにおける国際書留郵便などの“受領通知”(Avis de Reception)を1886年～1920年、1921年～1945年、1946年～1970年の三つの年代に分け展示しています。



(図5) わたくしの出品コレクション

アメリカの国際郵便における郵便物の“受領通知”(Avis de Reception) サービスは、UPUの前身であるGPU (General Postal Union、1847年～79年)の時代である1868年にスイスとの間で、1869年にはドイツとの間で個別の取り決めに従い先行して行われていました。なお、1875年に設立されたUPU (Universal Postal Union、万国郵便連合)によって、1879年からUPU加盟国との間で“受領通知”(Avis de Reception) サービスが拡大されています。

国際郵便における受領通知フォームは、当初ピンク色のReturn Receipt/Avis de Réceptionとフランス語が併記されたフォームが用いられていましたが、1921年から褐色の専用の公用郵便(Official Mail)の葉書のフォームに改められました。なお、1960年にはより目立つ“ピンク”色の専用葉書(図7)に改色されて今日に至っています。こうしたフォームには、差し出し郵便局の引き受けの郵便印と配達局の配達証明の郵便印がそれぞれ押印されています。また、“受領通知”サービスを行う書留などの郵便物には、UPUの公用語であるフランス語の“A.R.”や英語の“Return Receipt Requested”など郵便局の所定の公印(Cachet)が押印されています。

“PhilaKorea2014”で特筆すべきは、第11部門の郵趣文献の展示並びに閲覧コーナーでした。これまで参観した切手展の多くが、郵趣文献の展示・閲覧コーナーはなおざりにされているケースが多い中、“PhilaKorea2014”



(図6) “PhilaKorea2014”の郵趣文献の展示
並びに閲覧コーナー



(図7) 1918年発行のアメリカの宙返り

24セント航空切手

の郵趣文献の展示並びに閲覧コーナー(図6)のようにゆったりとしたスペースを確保し、多くのテーブルといすを配置していました。

今回の切手展では、休憩を兼ねて郵趣文献の閲覧コーナーをよく利用させていただきました。今回の郵趣文献部門には、アメリカから宣教師切手を含むハワイの外国郵便の郵便史の本『Hawaii Foreign Mail to 1870』全3巻が出品されていて、その1,000ページにも及ぶ内容に圧倒されてしまいました。この文献は、大金賞(96点)を獲得しています。

また、レアコーナーには有名な1918年発行のアメリカの宙返りの24セント航空切手(図7)や1850年の英領ギアナ2セント切手貼りカバーなどの珍品が展示されていました。

今回の“PhilaKorea2014”の各種展示の中でわたくしが興味を持ったのは、仕事柄クレジットカードやデビットカードなどのペイメントカードで決済できる各種郵便自販機の展示・実演コーナーでした。こうした試みは多分、



(図8) 韓国郵政のPASS(Postal Automatic Service System)とカードリーダー

韓国郵政の国内向けのPRと国際切手展に参観に来ている外国郵政関係者へのアピール(売り込み)が目的だと思います。2000年にUSPS(アメリカ郵政)主催の切手展World Stamp Expo2000(カリフォルニア州アナハイムで開催)でも、インターネット切手の“Stamp.Com”などのデモンストレーションやまだ誕生して間もない頃のオンラインオークションの“e-Bay”のブース展示や記念のオンラインオークションの実演などが行われていた記憶があります。

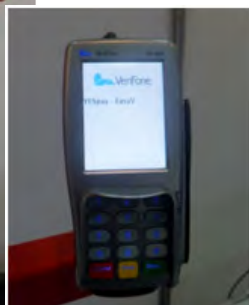
韓国郵政のPASS(Postal Automatic Service System)の“POST cube”(図8)は、郵便物の重量などを図り、料金を算定し、メータスタンプのような切手を発行する機械で、“PASS”の他にも“mini PASS”や“neo PASS”などいくつかのバージョンがあるようで、仕様などが詳しく記載された英文のパフレットを用意していました。PASSの郵便料金の支払いは、硬貨、紙幣、クレジットカード、デビットカードのほか、日本のSuicaのような“T-Money”というコンタクトレスICカードを用いたIC乗車券・電子マネーでの支払いも可能です。係員の美しい女性の方から説明を受け、デモンストレーションで実際にメータスタンプのような切手を発行し、カバー見本を作成することができました。

イギリスのロイヤルポストは、“PhilaKorea2014”にブースを設け、最新切手自動販売機“Post & Go”(図9)を3台設置し、3種類の“PhilaKorea2014”のシール方式の記念切手を実演販売していました。



(図9) 英国ロイヤルポストの切手自動販売機“Post & Go”とカード決済端末機

タッチパネルを操作し、シール





(図 10) “Post & Go” で購入した “PhilaKorea2014” のシール方式の記念切手

切手のデザインを先ず決めて、次いで郵便切手の料金(第1種郵便、葉書、速達郵便など)を決め、購入枚数を指定して、シール切手を購入することができます。今回機械で購入できる最低料金である第1種郵便重量100グラム以下、1枚60ペンス(約100円)を指定し、5枚程購入してみました。

(図10)が実際に購入したシール切手のペーンで、マーチン切手と同様のエリザベス女王のレリーフがデザインされ“PhilaKorea2014 World Stamp Expo”が印字された記念切手です。シール切手には額面の表示はなく、“1st

Class up to 100g”(第1種郵便重量100グラム以下)という郵便料金の内容が表記されていました。料金の支払いは、クレジットカードやデビットカードに限られていて、わたくしは日本のクレジットカード(VISAカード)で支払いました。(図11)はその時の売上票とクレジットカードの買上票です。売上票には、“PhilaKorea2014”の印字がなされています。何人かの切手展関係者が、数百枚単位で大量に購入しているのを見かけました。

今回の“PhilaKorea2014”でちょっとしたハプニングがありました。“PhilaKorea2014”でも会期中日別の特印を毎日2種ずつ用意していましたが、専用の日別の投函郵便ポストが用意されておらず、韓国郵政ブース脇に置かれていた郵便ポスト(図12)にわたくしが10通ほどの日本宛の実通記念カバーを投函すると、係員が慌てて『これは展示物であり、郵便を投函してはいけません』と注意されました。『通常、国際切手の会場には郵便ポストが設置されているが、“PhilaKorea2014”の会場には郵便ポストがない』と申しましたが、係員は『とにかく、郵便ポストを開けて、投函された郵便物は返す』と私に告げ、奥から郵便ポストのカギを持ってきて開けてみると、他の収集家が投函した実弟カバーが大量に出てきて、係員が当惑していました。



(図 11) “Post & Go” の領収書とクレジットカードの買上票



(図 12) 韓国郵政の郵便ポスト

ドイツ普通切手ゲルマニアシリーズ 国名表示 REICHS POST 低額凸版 2 色刷りと 5MK 凹版 2 色刷りの版合わせの難しさ

山田 厚二

まえがき：

ドイツゲルマニアシリーズ (1900-1922) は、各国の普通切手の中でも人気のあるものの一つです。ドイツ本国、その属領、在外局、第一次大戦での占領地、第一次大戦後の領土割譲地域などで発行されました。メインナンバーで 404 種 (注 1) と数えた方がいます。

比較的に安価に集められるものも多いのですが、高価なものもあって、奥は深く、長く収集できるテーマです。

ここでは、2 色刷りの版合わせの難しさから生じたバラエティーについて記してみます。

1. 太字の REICHS POST (Mi#58I~62I)

図 1、2

1900 年に従来の鷲と数字图案から、公募による舞台女優 Anna Strantz-Fuehring をモデルとした女神ゲルマニア图案の新シリーズを発行しました。

国名表示は REICHS POST (帝国郵便) で、



2 色刷りの細字の国名表示

2 色刷りの太字の国名表示

1 色刷りの国名表示

図 1 国名表示

低額は 2pf から 80pf の 10 種が発行されました。この中で 25pf から 80pf の 5 種は、凸版 2 色刷りとなっています。

額面別に刷色が異なる枠の版 (Key Plate)



図 2 太字の REICHS POST

と、下部国名表示、上部左右料額数字、中央女神ゲルマニアの黒の版 (Duty Plate) とからできています。

最初に作成した黒の版は、国名表示 REICHS POST が大きくて、色のついた枠との間が窮屈のように見えます (図 2)。

この国名表示の大きな黒い版は、やはり問題になったのかすぐに作り直されました。従って、正式発行時には、国名表示は細くなっています。この太字の REICHS POST を持つ切手は、試刷りのようなものなので、非常に珍しいもので、ほとんどがスイスのベルンの UPU に送られたのですが、ごく少数、ベルリンの郵便局で販売され、使用されたものがあるそうです。使用局はベルリン W.8 局と W.35 局が知られているそうです。

このシリーズには版欠点が多く、研究もされています。額面別に刷色の異なる枠の版は額面に関係なく同じ版欠点を持つことから、額面別にあるわけではなく、同一の版を使いまわしていることがわかりました。確かに枠の图案は額面に無関係に同じなので額面別に版を作る必要はないですね。

2. REICHS POST 5MK のタイプ違い (#66I,II,III,IV) 図 3, 4, 5

このシリーズの高額は 1、2、3、5MK ですが、最高額の 5MK には、1896 年ベルリン王宮白の間での帝国建国 25 周年記念式典での演説の様子が使われています。中央に立つのは皇帝ヴィルヘルム II 世です。

この 5MK にはタイプ I と II があります。それは何故生じたのでしょうか？

この 5MK は、中央の赤い版と外枠の黒い版の湿式凹版 2 色刷りです。

湿式凹版 2 色刷りでは、用紙を湿らせて、印刷後に乾燥させたため用紙の収縮率に変化が生じました。

また、中央の赤い版が、外枠の黒い版付近ま



タイプ I, III, IV タイプ II
5の左上角が丸い 5の左上角が尖っている

図3 タイプI と タイプII の区別

で詳細に作られた結果、赤と黒の2つの版がうまく合わずに、中央の赤い版と外枠の黒い版とで、それらの重なりや、それらの版の間に隙間が生じました。

それらが、かなりの数生じたので、重なったところは白で加筆修正され、逆に、隙間は赤で加筆修正されています（20面シート全部の5MKが、加筆修正されたものもあります）。これらの修正はシート単位に人手（若い女性）で行われたので、当然非常に手間がかかって面倒なことであり、新しい版が作られました。

最初の版がタイプIで新しい版がタイプIIです。その区別はいろいろありますが、図3に示す料額数字の5の左上角が丸いのがタイプIで尖っているのがタイプIIというのがわかりやすいと思います。

ミッヘルカタログでは、タイプI、II以外にタイプIII、IVが載っています。

タイプIは、白や赤の加筆修正がなされていないもの

のもの

タイプIIIは、赤と白の両方の加筆修正がなされているもの（図4）

タイプIVは、白だけの修正が行われているもの、従って、タイプIIIもIVもタイプIと同じ最初に作られた版です。

カタログ値をみると、加筆修正のないタイプIは、修正のあるタイプIII、IVの3~5倍以上なので、修正するものが多くて大変だったのでしょう。

ちょっと調べたところ当時の5MK（金マルク）は、金で1.79g相当だそうです。今の貨幣価値に直すと、9000円ぐらいですか。やはりかなり高価で、図案が皇帝ですからしっかりしたものを作りたいのでしょうね。

図5に、タイプIII、IVの縦3枚ストリップを含むタイプ違いを示しました。

3. ちょっと表題のテーマとは違うのですが

ゲルマニアシリーズの凸版2色刷りのバラエティーの一つなのでここでご紹介します。（図6）

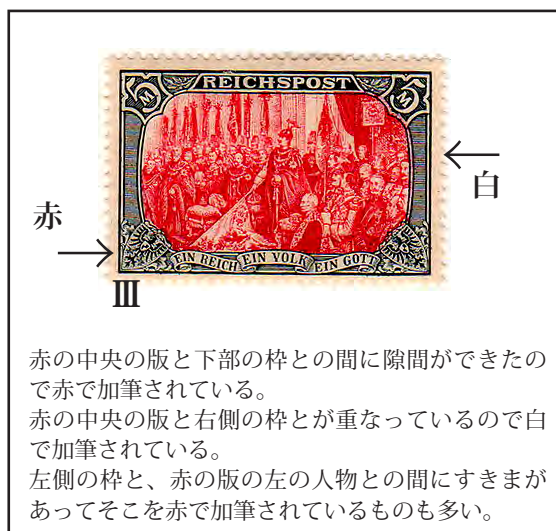
1. の太字のREICHS POSTで示したように25pfから80pfは凸版2色刷りで、枠の版と黒の版からできています。この2色刷りは、国名表示がDEUTSCHES REICH（ドイツ帝国）になっても継続されたのですが、1920年に郵便料金の値上げもあって、刷色の変更に伴い、1色刷りになりました。

しかし、製版と印刷に手間取っているうちに、急な需要に応じるために、とりあえず、2色刷りの旧版を利用して単色！で印刷することになりました。2色刷りの旧版を輪転機で同じ色で！2回刷るものです。

自動販売機用のコイル切手だけがこの方法で作られました（すべてのコイル切手ではありません）。

従って、30、40、50、75、80pfの5種には、この2色刷りの版を単色で2回刷ったもの（Plate I）と、1色刷りの新しくできた版（Plate II）のものがあることになります。

この区別は、図6で示すように、ゲルマニアの王冠がつぶれているものがPlate Iで、はっきりみえるものがPlate IIです。これは、黒の版の後に枠の版が同色で印刷され、ちょうどそ



赤の中央の版と下部の枠との間に隙間ができたので赤で加筆されている。

赤の中央の版と右側の枠とが重なっているので白で加筆されている。

左側の枠と、赤の版の左の人物との間にすきまがあってそこを赤で加筆されているものも多い。

図4 タイプIIIの特徴

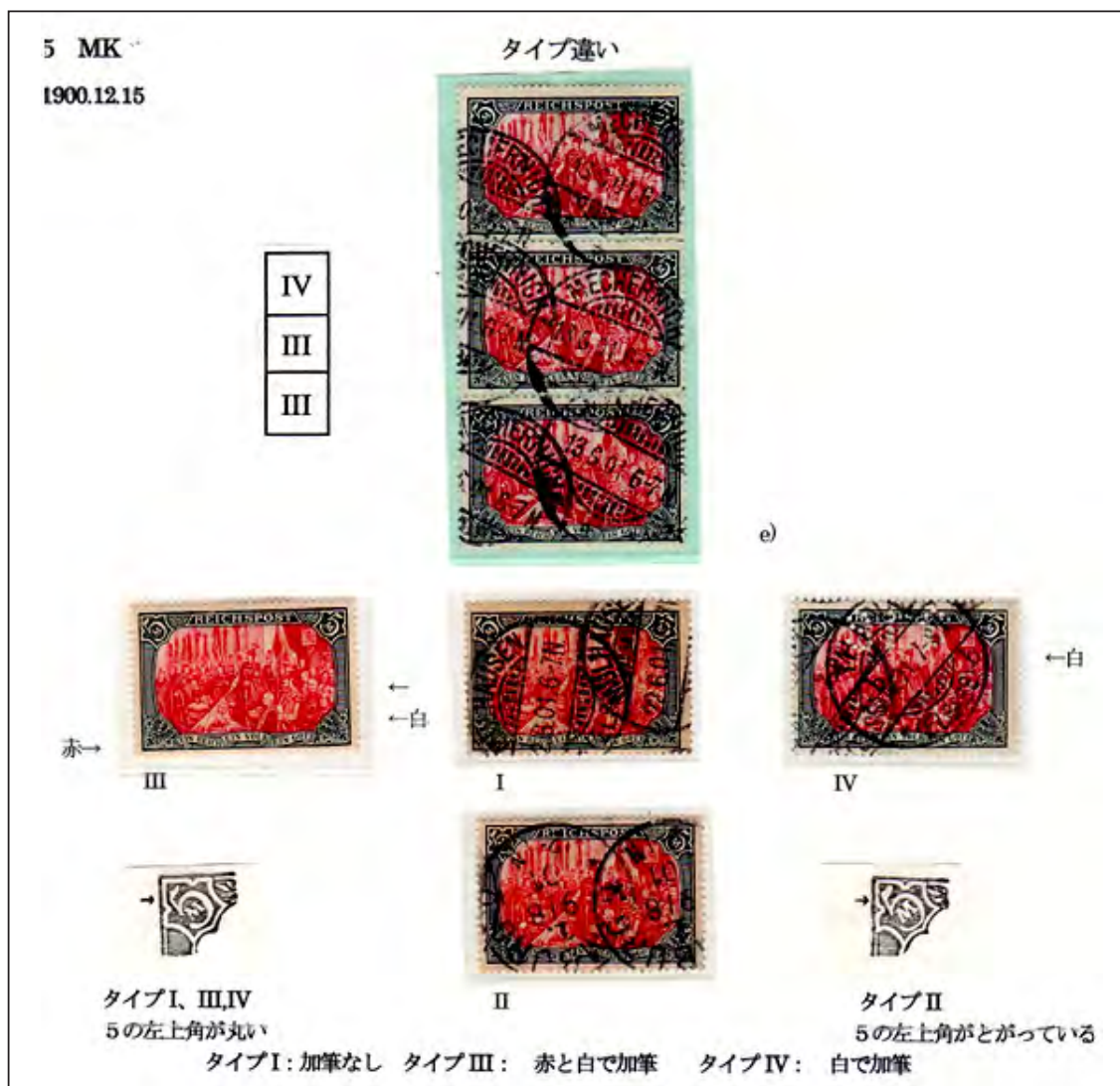


図5 タイプ違い



PLATE I I : 従来の2色刷りの版によるもの。コイル切手のみ作られた
PLATE II : 新しい1色刷りの版によるもの。コイル、シート切手両方作られた。

図6 Plate I と Plate II の区別

れらが重なっている中央の女神ゲルマニアの王冠の部分がつぶれてしまったものです。他には、黒の版の国名表示、料額数字がずれているのも特徴です。

この Plate I の切手は、発行数も少ないので珍しく、特に使用済みは、Plate II の 30 倍ぐらいしています。

参考文献：

(注1) “ゲルマニア・ガイド” 山本晶氏 郵趣 1983年3月号 財団法人日本郵趣協会発行

“100 Jahre GERMANIA” Michael Jaeschke-Lantelme

“REICHSPOST 5MK” GEORG BUEHLER
KOHL BRIEFMARKEN-HANDBUCH DEUTSCHES
REICH 1872-1925

ミッヘルカタログドイツ専門版

推薦図書「キッテデカ 2」

磯野 昭彦

「キッテデカ 1」(2013 年 3 月発行) に続き「キッテデカ 2」が発行された。これも推薦します。

書名 キッテデカ 2 (ビッグコミックス)

著者 寺沢大介、高橋遼州

発行所 小学館

発行日 2014 年 9 月 3 日第 1 刷

発売開始日 2014 年 8 月 29 日

総ページ数 244

本体価格 620 円 + 税

(添付の表紙写真参照)

本書は小学館発行のコミック雑誌「ビッグコミック」2013 年 8 月号～2014 年 8 月号に掲載された作品集

2013 年発行の「キッテデカ 1」については坂下さんから情報でしたが、今回 2014 年発行の「キッテデカ 2」の発売日は小川さんが事前に 8 月 29 日と教えてくれた。31 日に紀伊國屋書店に行き店員に「キッテデカはありますか」とたずねたところ「ハイッ」といってすぐに持ってきてくれた。人気コミックであること間違いなし。

「キッテデカ 1」と比べてみよう。

●あいかわらず、主人公は警視庁特別捜査室所属の筋金入り切手マニアのスチャラカ刑事「前島郵雅 (28)」と新人刑事「宮園密香 (22)」。切手への情熱が難事件解決に役立っていくのである。

●キッテデカ 1 と比べてキッテデカ 2 は内容が国際色豊かになったり、郵便事情を掘り下げるなど幅ひろくなり、かつ高度になったようだ。

・外国切手を事件解決の鍵にしているストーリーがあった。中国の「赤猿の 80 枚つづりのシート」である。このストーリーには、高価といわれている「梅蘭芳舞台芸術小型シート」「毛主席と指示文切手セット」も挿絵とともに記されている。

・切手はその国の国威発揚の面があるとして、宇宙開発競争時代アメリカ・ソ連の宇宙切手が挙げられている。

・郵便自動読取区分機が事件解決の鍵になるというのには驚いた。投函されたはがきに書かれた住所等は不可視バーコードではがき表面に記録され、以後はこのコードで郵便物が仕分配達される。この知識のない犯人が配達後住所を書きかえたことで犯行がばれるというストーリー。

●コンテンツを見ると 10 となっていた。

キッテデカ 2		
CONTENTS		
Sheet 9	サル男君のコレクション	5
Sheet 10	桜切手 20 銭	29
Sheet 11	文化人切手・野口英世	53
Sheet 12	凹版印刷	77
Sheet 13	えび蔵	101
Sheet 14	富士山	125
Sheet 15	カワセミ	149
Sheet 16	扇石	173
Sheet 17	郵便局の樹	197
Sheet 18	切手は不滅	221



●最後のストーリーの題名が「切手は不滅」。これは何を意味するのだろうか……。みなさん、ぜひ読んでみて考えてください。



「キッテデカ 1」

キッテデカ 1 の裏表紙の切手表示が模造等取締法違反を指摘されたか 2 では切手に斜線を入れたようです (編集子)

オランダの切手に“Waseda”が！

甲斐 正三

はじめに

10月のある日、切手の博物館ショールームでオランダの新切手が目に入った。6種の切手からなる小型シートには「オランダー日本」のタイトル、切手にはシーボルトと江戸時代の学者と思われる人物画などが採り上げられている。「外国切手の中の日本」（「郵趣」2009年6月号巻頭カラー特集11ページ）を書いている私には是非欲しい切手である。帰って仔細に見ると、“Waseda University Library Tokio”の文字が読めるではないか。

まだ「郵趣」に紹介されていないので、切手以外の情報はない。「郵趣」編集の方に資料の有無を尋ねたら、日を経ずしてオランダ郵政発行の案内書（英文）と、次号の「郵趣」に載せる記事の原稿をいただくことが出来た。

新切手「オランダー日本」

オランダは、特別な関係のあった国と“The Netherlands and Beyond”のシリーズを発行してきている。2008年に蘭領アンチル、アルバ、2009年：ブラジル、2010年：スリナム、2011年：南アフリカ、2012年：インドネシア、2013年：ベルギー、そして2014年（7月14日発行）が日本である。切手は無額面で世界宛20g以下に適用、印刷は日本切手印刷でおなじみのカルトール社である。

資料には、小型シートをデザインした二人のデザイナーはSimplicity, Clarity, 誰にでも容易に理解出来ることを心がけたと記されている。二人の略歴や経緯についてかなり書かれているが、題材そのものについての記述は少ない。シートは「科学」、「交易」、「芸術」の3分野を2枚ずつで構成され、配列の異なる3種のシートがあるが、切手の6種は同じである。

「科学」：Knowledge は両国の二人の科学者

「大槻玄沢」画：小田海僊

早稲田大学図書館蔵

「シーボルト」

（ライデン・カルチュアセンター）蔵

「交易」：Trade は

「リーフデ号」ロッテルダム海洋博物館蔵

「出島」画：出島絵師の川原慶賀（1824）

ロッテルダム海洋博物館蔵



Waseda University Library Tokio の表示

上記画像、文字部分を補正強調表示（編集子）

「芸術」：Culture (Art)
は有名な画家の有名な作品でない作品

「花魁」画：ゴッホ
(1887)

アムステルダム・ヴァン・ゴッホ美術館蔵
溪斎英泉の浮世絵を模写

「赤い着物の少女」

画：G.H. ブライトナー
(1893)

アムステルダム市立近代美術館蔵

切手は折紙の形の中にデザインされているため、図柄が小さくなっているのは惜しまれる。

大槻玄沢の絵

大槻玄沢の絵が早稲田大学図書館にあるというので、図書館に行って受付で尋ねたところ、所蔵していることはすぐ分った。しかしそれ以上のことは特別資料室に聞いて欲しいと言われたが、あいにく日曜日で資料室は休み、後日電話をして尋ねた。

所蔵していることを確認、絵は掛軸になっていること、国の「重要文化財」に指定されていて普通には見られないこと、近々公開する予定はないこと、オランダ郵政からある機関を通して依頼があり了承したこと、50年位前の館長が洋学図書関係を収集、いろいろな所に依頼していた関係で大槻家から寄贈を受けたことなどを知ることが出来た。

この切手には3人の画家が出てくる。まず大槻玄沢の肖像画を描いた小田海僊である。ところが小田海僊に関する文献・資料が図書館に見当たらない。たった一つ、国会図書館に中国の故事を描く「海僊図譜」があったが、きれいとは言えないマイクロフィルムだけで説明は一切ない。百科事典にも載っていないし、やっと「美術家人名事典」に10行程度載っているのを見つけただけである。



「花魁」ゴッホ



海僊展図録表紙「林和靖図」

その後ようやく、下関市立美術館で1995年に「小田海僊展」が開催されたことを知り、その図録を入手することが出来た。今これが紙で見られる唯一の資料であり、80点余の浮世絵を見ることが出来る。作品の多くは下関はじめ山口県付近と京都にあるようである。

小田 海僊 (おだ かいせん)

天明5年(1785)

- 文久2年(1862) :

江戸時代後期の南画家。
号は別に百谷。現在の



「貴妃鸚図」 海僊

山口県防府市に生まれる。22歳のとき、京都四條派に入門、やがて頼山陽の影響を受け南画に転向。九州で元明時代の古書画の模写などをして研究を重ねて独自の画風を確立した。40才のとき萩藩の御用絵師となり、江戸に2年滞在の後、晩年は京都で活動。清楚な画風に特徴があり、山水画、花鳥画、人物画を得意とした。高野山や京都御所の障壁画などの大事業を手掛け、今は大徳寺に眠っている。

当時の代表的な文人画家として人気があった

にもかかわらず、明治～昭和期になると人気が凋落していったが、その理由は不明である。

切手に出てくる他の二人の日本人画家について簡単にふれたい。

溪斎 英泉(けいさい えいせん)

寛政2年(1790) - 嘉永元年(1848) : 江戸時代後期に活躍した浮世絵師。濃艶な女性画(春画含む)を得意としたが、名所絵、役者絵など幅広い分野の絵を描き人気浮世絵師となった。100点を超える艶本を発表していて、一昨年、日英交流400年を記念する「春画展」



「木曾街道六拾九次」から「馬籠驛」



「雲竜打掛の花魁」 英泉

がロンドン大英博物館で開催された時、英泉の絵も展示されている。

保永堂(「東海道五拾三次」でヒット)が企画した「木曾街道六拾九次」のうち24点を描き、47点は広重が描いている。何気なくページをめくっていると、どの絵をどちらが描いているか私には見分けがつかない。

その他に「源氏物語絵尽大意抄」を入門書として、挿絵、文章、和歌を一人で著している。多彩な人と感心する。



「大はしあたけの夕立」 広重



「亀戸梅屋敷」 広重

浮世絵がゴッホに与えた影響は有名であるが、浮世絵を模写したのは3点、その一つが英泉の「雲竜打掛の花魁」、この切手である。あとの2点は広重の「亀戸梅屋敷」と「大はしあたけの夕立」である。

川原 慶賀(かわはら けいが)

天明6年(1876) - 万延元年(1860) :

出島絵師の川原慶賀は江戸時代後期の長崎の画家。出島の出入絵師として独占的な権限を与えられ、多くの絵を描き出島のオランダ人に、またオランダ人家族や生活風景を描いて長崎の人々に喜ばれた。

特筆すべきはシーボルトとの出会いである。日本の博物学調査を目的とし、出島のオランダ商館に医師として赴任したシーボルト(文政6年:1823来日)の在日中の6年間、頼まれてパートナーとなり、その目となり多くの絵を描いた。文政9年、江戸参府(11代将軍家斉に謁見)のとき特に選ばれてその旅に同行し、道中また江戸滞在の間にも、多くの絵を描いている。「出島絵師:川原慶賀」(ねじめ正一著)を読むと、そのあたりの雰囲気がよく伝わってくる。読みやすいし非常に面白い。

動植物、風景、生活・風俗、職業・職人、人



シーボルト生誕100年記念

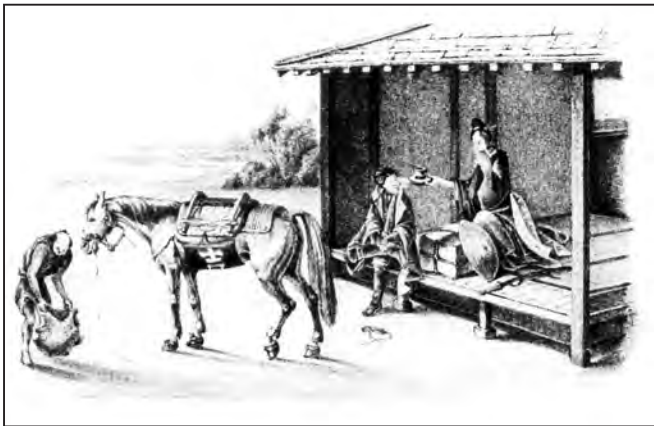
物・肖像、花鳥山水など多岐にわたり膨大な絵を描き、それらは全て当時の日本、日本人の生



「そのぎ像」(楠本お滝) 慶賀



「長崎湾図」. 慶賀



「人足と旅人」 慶賀



「汐汲みの娘」 慶賀

活を知るためのきわめて貴重な資料と聞く。

そのほとんどはシーボルトの収集品と共に、オランダ・ライデン国立民族学博物館はじめ、ミュンヘン民族学博物館など海外に収蔵されている。日本に在るのはわずか 50 点ほど、そのため日本ではなかなか見る機会がなく、あまり知られていなかったが、江戸参府 150 年の 1976 年、日本で「ライデン国立民族学博物館所蔵シーボルト・コレクションを中心とした浮世絵展」が開催されてから一般に知られるようになった。「シーボルト『日本』図録」の頁をめくり、細密画のような数十枚の絵を見た時、これが浮世絵師と言われる人が描いたのか、とその驚きと言ったらない。調べれば調べるほど、少し頭が混乱してくるような感じである。

日本で初めて植物の分類がなされ、アジサイに日本人妻“おたき”の学名をつけたが、今は公式の学名ではないらしい。

切手のシーボルトは軍装のように見えるが、

これはオランダ陸軍の軍医大佐であったからかもしれない。もとはドイツ・ヴュルツブルクの生れで、生誕 200 年の 1996 年、日本とドイツから切手が発行された。

この稿を書いている 1 月、ライデン・シーボルトハウス（博物館）で「川原慶賀：カメラを持たない写真展」が開催中と知ったが、簡単には行けない。慶賀の絵を是非見たいと願うが、その機会は巡ってくるのだろうか。

参考文献

小田海僊展図録

下関市立美術館

シーボルトの眼—出島絵師：川原慶賀— ねじめ正一
集英社

シーボルトと町絵師慶賀 兼重護 長崎新聞社
黄昏のトクガワ・ジャパン シーボルト父子の見た日本

ヨーゼフ・クライナー

日本放送出版協会

シーボルト『日本』図録（全 3 巻） 雄松堂

グレナダ切手画像は森下幹夫氏提供

早稲田大学と新潟県

高橋 仁

毎年行われてきた稲フィラ見学旅行会が、残念ながら昨年をもって打ち切りとなってしまい、これまで、ほとんどの旅行に参加してきた筆者にとって、皆さんにお会いする機会がひとつ減ってしまった。

この旅行会では、二度にわたり新潟を訪れ、早稲田大学ゆかりの先人を訪ねていただいた。2003年の旅行会1回目に「前島密」と「相馬御風」、さらに2006年には「市島春城」と「會津八一」である。これらの人たちのその後の話と、新たに「岡田紅陽」、「吉田東伍」について紹介してみよう。

<前島 密>

消費税増税で封書が82円、はがきが52円になり、増税分の2円切手に前島の肖像使用を推す声もあったと聞く。しかし、前島の「通信料増徴論者に警告ス」という草稿があり、「郵便は低料金が望ましいと訴えた前島にふさわしいかどうか」との論もあって取りやめになったのかも知れない。尚、前島の肖像は2月2日に新1円切手として発行された。

前島記念館には2003年の旅行会で訪れ、また、横須賀市にある前島の墓所には、2007年の三浦半島旅行の折、お参りしたことを思い出した方もおられよう。



前島密肖像



前島密墓所

<相馬御風>

新潟県の地方紙「新潟日報」の題字脇に「文化の記憶」という欄があり、新潟の文人の作品が一日一作ずつ紹介されている。

2013年4月1日からは「相馬御風」の連載が始まった。「良寛」、「秋艸道人（會津八一の雅号）」につづく3人目となる。初日に掲載された作品は早稲田大学校歌「都の西北」の冒頭であった。さらに、2013年10月14日には、「都の西北」にまつわる短歌が載った。

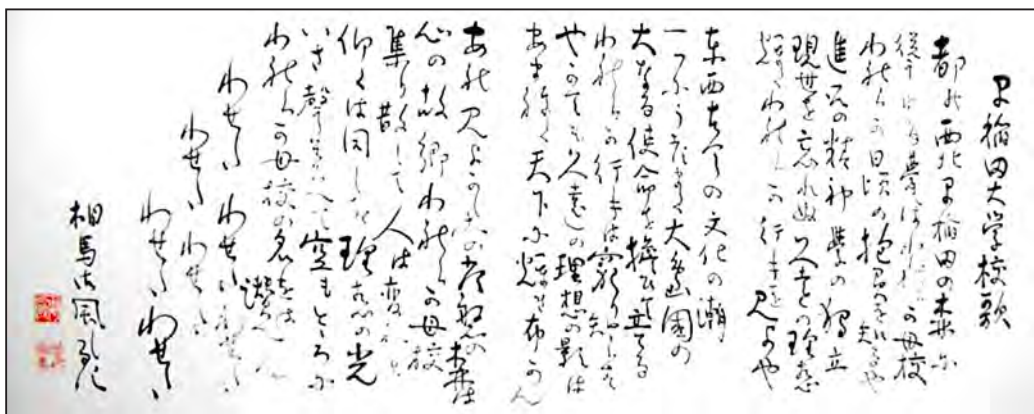
連勝の 早稲田健児が うたふなる
校歌の声は われを泣かしむ

御風は、六大学野球のラジオ放送を楽しみにしていて、校歌「都の西北」が流れてくると、涙ぐんで聞いていたという。

今年の3月、出身地糸魚川市を北陸新幹線が通り、糸魚川駅の発車メロディーには、御風が作詞した童謡「春よ来い」が採用される。この歌は1995年発行のふるさと切手「ヒスイの里と相馬御風」に描かれている。



「春よ来い」が描かれた切手（上）



相馬御風直筆の「都の西北」



新潟日報の「都の西北」

<會津八一>

稲フィラ見学旅行で訪れたことのある「新潟市會津八一記念館」が老朽化したため、2014年8月1日（八一の誕生日）、新潟日報メディアシップ5階に移転オープンした。その落慶法要は、薬師寺管主が導師を務め、法隆寺官長、東大寺長老、中宮寺門跡、興福寺貫首、唐招提寺長老など名刹の名僧が参列され、八一との深い縁を感じさせた。尚、同年11月には、法隆寺境内に奈良県内20基目となる八一歌碑が建立された。

また、新潟市會津八一記念館主催、早稲田大学會津八一記念博物館共催の写真コンテスト「會津八一の歌を映す」が実施されており、浅井慎平校友が審査委員長を務め、今年で8回目を数える。その趣旨は、八一の歌をテーマに撮影されたものでありながら、ただ視覚的になぞるのではなく、その歌をモチーフに心に響

く心象風景を映像化するというものである。全国からプロ、アマを問わず応募があり、筆者も第1回目から応募して数回の入選を果たしたものの、まだ奨励賞までは届いていない。簡単ではないと思われるが、これからも挑戦を続けたいものである。ちなみに入選作品には、八十一ゆかりの老舗の、商品名を八一が揮毫した品（清酒、漬物や菓子など）が贈られる。



写真コンテスト募集要項



入選賞品
(今成・山家漬)

<市島春城>

2010年に図書館入口正面に春城の銅像が建立された。これは早稲田大学が初代図書館長・春城の功績をたたえ、生誕150年を記念して作成した。同時にもう一体を作成し、春城家の本家である新発田市の市島宗家へ寄贈された。市島邸は大隈侯が宿泊したことがあり、稲フィラ旅行会でも訪ねていただいた新潟を代表する豪農の館である。



市島春城像



市島家邸宅

春城は随筆に「自分の粗末な家から二人の博士を出したことは喜びです」と語っている。一人は會津八一であり、もう一人は後述する吉田東伍で、在京中の生活の支援を行った。

＜岡田紅陽＞

1000 円札の裏面に描かれている富士山。この絵の原画は、紅陽が 1935 年に本栖湖から撮影したモノクロ写真の「湖畔の春」という作品である。

富士山を「富士子」と呼び、38 万枚余の写真撮影したといわれる紅陽は本名賢治郎、新潟県十日町市の出身。早稲田大学法律科に進んだが、在学中から写真家への道を選んだ。切手の原画としても、国立公園切手など多数その写真が採用されている。山梨県忍野村に「岡田紅陽写真美術館」がある。



紅陽撮影の国立公園切手

＜吉田東伍＞

独力で「大日本地名辞書」を 13 年かけて書き上げた吉田東伍は、新潟県阿賀野市で生まれた。生誕地に「吉田東伍記念博物館」がある。2006 年の旅行の折、宿泊先の咲花温泉へ向かう途中に近くを通ったのであるが、見学を提案しなかったことが悔やまれる。

東伍は「学校はわかりきったことしか教えてくれない」と中退を繰り返し、学歴を問われると「私は図書館出」と答えるほど図書館へ通った。1 日図書館にいと、メモを取らなくても、1 週間分の原稿を書くことが出来るほどの記憶力があったという。親戚の市島春城に早くからその才能を認められていて、東京専門学校の講師となり、その後早稲田大学の教授、理事を務めた。

ところで、2008 年、稲フィラ旅行会で滋賀県を訪れたとき、あちこちから「琵琶湖周航の歌」が聞えてきた。ご存知のとおり旧制三高(現京大)のボート部の歌である。部員の小口太郎が一片の詩を作ったところ、部員たちは当時学生の間で愛唱されていた「ひつじぐさ」というメロディーに乗せて歌い、「琵琶湖周航の歌」が誕生した。原曲「ひつじぐさ」を作曲したのは東伍の二男・吉田千秋である。因みにヒツジグサは睡蓮の一種。



吉田東伍



吉田千秋「ひつじぐさ」

53,54 号「稲フィラ会員の郵趣関係新刊書と寄稿記事の紹介」に
下記資料追加（2014 年分）

会員名	表 題	年	誌名	号	NO.	発行元
甲斐正三	優勝当日に発行された記念切手	2014	スリーホークス	9	259	三鷹郵趣会
甲斐正三	ブルターニュへの旅 (II)	2014	スリーホークス	10	260	三鷹郵趣会
荒木寛隆	リトアニアの窓から（第 44 回）	2014	川越 YUSHU	8	271	JPS 川越支部
荒木寛隆	町田趣味に切手展 リトアニアの窓から（第 45 回）	2014	川越 YUSHU	9	272	JPS 川越支部
荒木寛隆	リトアニアの窓から（第 46 回）	2014	川越 YUSHU	10	273	JPS 川越支部
荒木寛隆	JAPEX 2014 ボランティアスタッフ奮戦記	2014	川越 YUSHU	11	274	JPS 川越支部
荒木寛隆	リトアニアの窓から（第 47 回）	2014	川越 YUSHU	12	275	JPS 川越支部
桑野博	[1] コンベンショナル製版 1.2.3. 実用版定常変種と 製造面 50 円弥勒菩薩象 (1976 年シリーズ) 65 円はにわの馬 (1966 年シリーズ)	2014	呉ポスト	10	59-10	呉郵趣研究会
桑野博	グラビア普通切手・製造面分類の基礎知識・動植物 国宝図案シリーズ（その 3）	2014	呉ポスト	11	59-11	呉郵趣研究会
桑野博	[1] コンベンショナル製版 1.2.3. 実用版定常変種と 製造面 50 円ソメイヨシノ（シート II 6 番）計数 番号との関係 410 円摩耶天人グラビア普通切手： 製造面分類の基礎知識・動植物国宝図案シリーズ（そ その 3 つづき） グラビア普通切手：製造面分類の基 礎知識・動植物国宝図案シリーズ（その 4）	2014	呉ポスト	12	59-12	呉郵趣研究会
正田幸弘	1861 年 Southern Letter Unpaid 印	2014	フィラ関西	10	151	関西郵趣連合
西村寿一郎	第一次国立公園切手大屯新高阿里山、次高タロコの 原画写真	2014	切手研究	11	459-60	切手研究
鎌倉達敏	旧大正毛紙 5 銭切手の印面変種	2014	菊・田沢切 手部会誌	11	54-55	JPS 菊・田沢 切手部会

小林 彰

原宿駅前の切手屋

岡田芳朗

原宿駅前の高田クラブという一風変わった名前の切手屋に初めて訪れたのは昭和一八年の初冬、早中一年生の時であった。その頃、原宿は、駅前に二、三軒明治神宮参詣客を目当てにした土産物屋が並ぶだけの静かなお屋敷町であった。原宿は早中と渋谷の自宅の途中だから、道草にはもってこいであった。

潤いの少ない戦時中の中学生の生活のなかで、小生にとって切手集めは唯一の息抜きであったから、毎日のように原宿駅で途中下車をするようになった。

原宿駅前の一角は幸い戦災にもあわなかったが、戦争が終ると練兵場に米軍キャンプができたため原宿の町にも変化がみえてきた。

坂下会員からご子息が卒業した早稲田中学・高校の校友誌に昨年 10 月亡くなられた岡田会員が切手収集の思い出を綴っていることを紹介されました。なつか

小生の切手趣味はますます熱を帯び、早中切手研究部を発足させ、一時は学校をやめて切手商になろうかと思うほどであった。もしそうになっていたなら、本当に人生の道草を喰っていたかも知れない。

結局、切手収集は生涯の道楽になってしまったが、この道草は多くの友人を作ってくれたし、二、三の本まで書くことになった。

小生の原宿通いは渋谷から転居したために、東京オリンピックの頃で終わってしまった。その後時々訪れるたびに、原宿の街の変化は目を見張るばかりで、道草時代のおもかげは、ほとんどかき消えてしまった。

（早中高校校友会会報 NO.85）

しい時代に想いを巡らしていただけたらと転載させていただきます。

●文中の高田クラブは現在のフクオ Stamp の親族が経営していた切手店。稲門フィラテリーには早中の卒業生が現在 3 名潜伏中とか。（編集子）

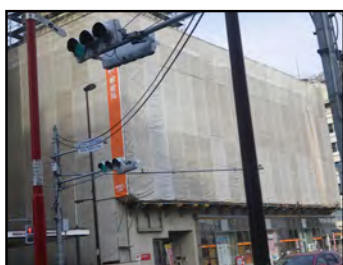
横尾勝彦会員 JR全線完全乗車

稲門フィラテリー 47号に「切手から切符へ」を寄稿された横尾会員が念願のJR全線乗車したと連絡を受けました。昨年5月最後に残った広島県の可部線を乗車して完全乗車。8月の土砂災害の前の線路を乗車できたとのこと。今後は、第3セクター路線を楽しむそうです。

新宿北郵便局外壁改修工事

昭和51(1976)年6月21日開局の新宿北郵便局は40年近くにもなり、外壁が相当痛んできたようで、平成26年12月から改修工事がはじまった。

工事は主に外壁のタイル部分張替補修、目地



補修や塗装など。外壁を囲む足場を全周に設け、安全ネットで覆っている。工事完了は平成27年3月になるという。(磯野)

★稲門フィラテリー常設展

第29回 新宿北郵便局

平成26年12月6日～平成27年3月6日

昭和～平成 未年の年賀郵便切手

第30回

平成3月7日～6月上旬

新デザインになった普通切手12種

★切手教室

新宿北郵便局

第112回 2月7日

切手収集とネットオークション

青柳 次男

第113回 3月7日

エリザベス女王の普通切手

甲斐 正三

編集後記

原稿が寄せられず、発行に不安を持ち、会員皆様へ寄稿のお願いMAILを送付、翌々日には複数の原稿が着信、うれしい悲鳴、ページ構成検討が求められることになりました。さすが、稲フィラと、会員皆様の懐の深さ再認識し、お心遣いに感謝です。どのような内容、長さでも結構です。お待ちします。

ふと、通算ページを見た、次号で1000ページを迎える。これからは身の丈にあった会報にしないと息切れするかと感じる昨今です。

ご存知でしたか弾丸切手

戦争中に発売された戦時郵便貯金切手が、愛称で弾丸切手と言われた。切手といっても割増金付郵便貯金の債券で郵便としてはもちろん使用できない点で台紙に印刷された二宮尊徳の郵便貯金切手とは異なる。



雑誌に載った広告 切手でなくやはり債券の仕様

幹事会報告

12月6日

1. 会報には住所変更等、個人情報には載せない。
2. 15周年の切手展の開催は人員、その他の準備体制がとれないので、今年度には開催しない。

2月7日

1. 3月14日関東郵趣連盟総会に磯野会長出席。
2. 本日の切手教室、インターネットオークションに興味ある方が多く23名出席、『郵趣』で知った参加者複数。今後も多くの方に興味あるテーマを検討していく。
3. 会報55号 予定通り3月発行の見通しが立つ。56号原稿、5月連休を目安に投稿をお願いする。
4. 長く切手教室の開催準備等に協力いただいた葛飾郵趣会の原口様今回をもって勇退。感謝を申し上げる。

発行日：2015年3月1日

発行：稲門フィラテリー

発行人：磯野 昭彦

〒150-0002

渋谷区渋谷1-11-3 正栄ビル4階

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：吉澤 忠一 青柳 次男

小川 義博

稲門フィラテリー

第 56 号

2015 年 6 月 1 日発行

花の都の切手街

小林 彰

はじめに

1950 年代頃までは、ニューヨークのナッソー通り Nassau Street、ロンドンのストランド通り Strand Street、そして、パリのドゥルオー通り Rue Drouot が世界 3 大切手街と言われていました。

1930 年代、ナッソー通りには 60 数軒の切手商があり、偽造・変造の宝庫とも言われていたのです。しかし、マンハッタンの中心部ウオール街と交差するナッソー通りに聳え立つビルのテナント料は高騰し、大方の切手商は郊外のロングアイランドやニュージャージーに移転してしまいました。現在は 1 軒の切手店もなく昔日の面影を垣間見ることすらできません。過去の栄華を記憶に遺すため、1988 年に Herman Herst Jr. 著 “Nassau Street” が刊行されました。

ロンドンの中心街にあるストランド通りは旧ローマ帝国時代には、シルチェスター道路 Route Silchester の一部で 13 世紀に命名されました。スタンレイ・ギボンス Stanley Gibbons 社の本店以外には数軒の切手商が散見される

だけ。とても切手街とは言えません。

ドゥルオー通りはどうでしょう。ここには現在、数十の切手店が軒を連ねており、また、ドゥルオー通りに交差、並行するいくつかの通りにも切手商が店を構えています。ドゥルオー通りからモンマルトル大通り Boulevard Montmartre を隔てた向こう側にパノラマ横丁 Passage des Panoramas があります。近年はこの横丁にも切手商が進出してきて、現在はドゥルオー通り周辺一体が大切手街となっているのです。

また、ここから徒歩で 30 分弱のマリニエ大通り Avenue Marigny に接するガブリエル大通り Avenue Gabriel では、毎週木曜、土曜、日曜と祝祭日には青空切手市場 Marché aux Timbres de Paris が開かれます。



花の都の切手街地図



〔図-1〕 ドゥルオー通り（一方通行出口）

ドゥルオー通り

ドゥルオー通りは 18 世紀初頭に建設が始まりました。時の陸軍師団長・アントワンヌ＝ドゥルオー Antoine Drouot 少将が通りの名前の由来です。道幅 10m、総距離数 2km。パリ 9 区でオペラ座 Opéra Garnier から徒歩 20 分ほどのところ。最寄駅は地下鉄 9 号線または 3 号線のリシュリユー・ドゥルオー Richelieu-Drouot。地上に出ると目の前はオスマン大通り Boulevard Haussmann で、角にマクドナルドがあります。そこを左折したところからドゥルオー通りが始まるのです〔図-1〕。

そのマクドナルドから 15m ほどのところに老舗のロビノ Robineau の店があります。今は亡き先代の社長とはよく郵趣談義をしたものです。また、日本でも著名な収集家アンドレ＝ローラン André Roland 氏を紹介してくれたのも先代社長で 1992 年のことでした。同店ではフランス関係の貴重な郵趣文献を入手できました。フランス

の一番切手の発行は 1849 年。それ以前の飛脚時代から 1960 年までの郵便料金の変遷を克明に記載し絶版となっていた稀購本や稀代の切手の偽造・変造者スペラッティの署名入り古書などでした。

最近、新進気鋭の切手商メノッチ Richard Menozzi 氏がロビノを拠点に入札を行っています。龍 1 銭と仏切手との混貼りカバーに加え、7 通のデグロン君カバーが、8 通とも初出、この 5 月の入札に出品される

と話題になっています。

ロビノの店を通り過ぎてさらに進むと、ドゥルオー会館が目に入ります〔図-2〕。フランス語では Hôtel Drouot と言います。他界された著名な郵便史・郵趣文献研究家がウィリアムス兄弟の「切手の話」を 1960 年頃翻訳出版されましたが、文中で「ドゥルオー・ホテル」と誤訳されていたことを思い出します。以下余談。フランス語の Hôtel にはいわゆる宿泊目的のホテルのほか公共建造物という意味があります。パリで Hôtel de Ville と言えば、都市ホテルではなく「パリ市庁舎」のことです。



〔図-2〕 ドゥルオー入札会館



〔図-3〕 会館内の入札立会

このドゥルオー会館は別名「入札会館」とも言われ、書画骨董品や古書に加え、時には切手の入札も行われます〔図-3〕。何度か入札に立ち会ったことがあります。とても収集家個人、ましてや外国人が参加できる雰囲気ではありません。

入札会館から数軒先にはイヴェール Yvert & Tellier カタログの発売元シャンプイオン Théodore Champion 社のアンテナショップがあります。そこからさらに数軒過ぎたところが日本人にも馴染みのルーメ Roumet の店です。創業者は世界で初めて入札方式で切手の販売を始めたことで知られています。1 世紀も前のことでした。店を構えてはいませんが店頭販売はせずすべて入札です。毎回、分厚い豪華な入札誌を発行しています。郵趣文献を扱っている店は多くはありませんが、同店の在庫は豊富です。20 年前に初めて同店を訪れて以来、現在まで文献の入手に努めています。ルーメ社長や支配人とは昵懇の間柄です。

道路の反対側には日本

でもよく知られるベール Behr の支店があります〔図-4〕。本店はオペラ大通り Avenue de l' Opéra ですが、10 年ほど前にこちらに支店が開設されました。かつて本店では、先代社長ベルナール Bernard 氏から 1862 年発行の目打付ナポレオン三世から 1875 年の第三共和国のセレスまで、各シリーズのタイプ分類や色調の違いを実物を参考に教えてもらいました。

1979 年には、同店で初めて在横浜フランス局のカバー 3 通を入手しましたが、これが横浜局の郵便史に取り組むきっかけとなりました。当時、まだ高校生だった子息 パルカル Pascal 君と雑談中に、サール Raymond Salles の名著「フランス船舶郵便」を話題にしたところ、彼が使っていて書き込みのある第 1 巻から第 7 巻までを贈呈してくれました。現在も郵便史の貴重な文献として大いに参考にしています。そのパルカル君は立派に成人し、三代目社長として先代以上に積極的に活躍しています。ただ、対象が以前よりさらに高級品志向になったので最近足が遠のいています。



〔図-4〕 ベールのドゥルオー支店



〔図-5〕 パノラマ横町

ドウルオー通りをさらに進むとモンマルトル通り rue Montmartre に合流します。その先のラファイエット通り rue La Fayette を横切るとシャトーダン通り rue Chateaudun にぶつかります。この通りにはシネ Sinais の店があります。シネも日本のフランス切手収集家の間ではよく知られた切手商で、店頭と入札での販売を手がけていました。フランスも収集人口の減少に直面しており、すでに入札を中止し、近々廃業すると噂されています。



〔図-6〕 絵葉書専門店

パノラマ横丁

パリ中心街にはビルとビルの谷間に、日本語で言えば横丁あるいは小路と名の付く細長い通路があちこちにあります。どの横丁も衣料品店、書店、レストランなどが窮屈そうにひしめき合う商店街となっています。パノラマ横丁で切手店が見られるようになったのは15年ほど前のことでしょうか

か〔図-5〕。ローラン氏に案内され足を踏み入れたのが最初でした。パノラマ横丁はテレビの旅番組の中で紹介されていましたが、切手店の説明はありませんでした。著名な切手店としてはジャン＝ピエール Jean-Pierre の店が思い浮かびます。また、絵葉書の専門店もあります〔図-6〕。数年前に訪れたとき、明治・大正時代の横浜市街の写真絵葉書を10数枚手に入れました。

パレ・ロワイヤル Palais Royal 界限

1区にあるパレ・ロワイヤル Palais Royal には中庭に面して回廊があり、その一画に商店が連なっています。ドウルオー通りから徒歩40分、オペラ大通りの端にある古典劇の常設館コメディ・フランセーズ Comédie Française に隣接しています。ヘップバーン主演の映画「シャレード」で犯人が逃げ込んだ劇場です。切手店が2軒あります。一番奥まったところに、フランス郵便の著名な研究家でフランス切手の鑑定でも有名なブルン Brun 氏の店 Brun et Fils がありました。1920年代から現在までに発刊された郵便・郵趣文献が山積みされています。今は筆者自ら崩れ落ちそうな山の中から興味ある文献を勝手に探しています。同店で入手した文献は100冊ほどになるでしょうか。当初は腕が抜けるほど多数の文献を抱えて持ち帰っていましたが、最近は宅急便で自宅に送ってもらいます。なお同店は郵趣文献、郵便料金の変

遷や郵便規則体系などの専門書、も数多く出版しています。パリのみならずフランスで最大の文献取扱店かも知れません。今年になって9区への移転通知をもらいました。新店舗を訪問するのを楽しみにしています。

シャンゼリゼ大通り

世界的に有名なキャバレー、リド Lido はシャンゼリゼ通りに面していて、地下鉄1号線のジョルジュ・サンク Georges V 駅の目の前です。そこからシャンゼリゼ大通りを少し下ったところにあるアーケード・ビル La Galerie Point Show 1 階突きあたりにルノン Renon の店があります。ルノンに限らず、ショーウインドに陳列されている切手やカバーは実物ではありません。盗難と日焼け防止対策で、すべてコピーです。以前は店頭販売だけでしたが、現在は入札誌も発行しています。シャンゼリゼ大通りにはルノンの店だけしかありません。高額のテナント料が原因だと推察します。

青空切手市場

パリの青空切手市場が賑わったのは一昔前の



[図-7] パリの青空切手市場

話です。出店者の大部分は店を持たない切手商で、屋根と外壁はビニールシートで覆われます。正面に商品載せる机を置くだけで、客用の椅子さえありません[図-7]。屋台です。屋台が並ぶのは正確にはマリニー大通りに交差するガブリエル大通りでシャンゼリゼ大通りをさらに下ったところ。現在は5月中旬に「マリニの4日間」「4 Jours de Marigny」と銘打ち特別市を開催し集客に努めていますが、出店切手商も訪問者も激減し往年の賑わいはありません。10年ほど前、マダガスカル駐在中にパリに出て、ローラン氏と一緒に青空市場を訪れたことがありました。近くの喫茶店に入ると、ローラン氏の友人でセミプロの青年が休憩していました。彼は店も屋台も持たずに商売しているのです。ローラン氏が「ムッシュウ小林はマダガスカル在住で出張でパリに来た」と紹介してくれました。青年は、「ちょうどマダガスカルが独立した1962年以降の切手の纏まったコレクションがある。フランスには独立前のマダガスカル切手の収集家はいるが、独立後の切手には誰も興味を示さない。手元にあるコレクションはフランスでは価値がない。マダガスカル在

住なら独立後の切手にも関心がある」と言って、未使用の切手と小型シートがマウントに収められた40リーフほどを贈呈してくれたのです。1枚の抜けもありませんでした。予期せず、コーヒー代だけでマダガスカル切手を手に入れたのです。青空市場では時にはこのような幸運に恵まれます。

青空市場が盛況だった時代には、収集を止めようとしている人、掘り出し物を見つけようとしている人、一攫千金を夢見る人、切手やカバーなどを安価に買おうとしている人などが、はち切れそうな鞆を抱えて市場に集まって来たのでした。

パリの切手店の特徴

パリの切手店は次のようにランク付けできません。独断と偏見で。① 屋外からショーウインド越しに照明の明るい店内が見渡せ、郵趣品は無造作あるいは乱雑に山積みされている。入口の扉は開けっ放しで、気兼ねなく中に入れる店。② 扉は閉まっているが施錠されていない。店内には切手類が雑然と置かれていて、退屈そうにしている店主らしき人のみ。ベルを押すことなく、ドキドキせずに入れる店。③ 切手類はショーウインドに陳列されている他には見当たらず。扉は施錠されているのでベルを押さぬと開かない。店主と夫人らしき2人だけが中にいて無表情で迎えてくれる。多少の緊張を覚える店。④ 扉は2箇所で施錠されている。二重扉のこともある。店内は薄暗く、ベルを押すと、分厚いレンズの老眼鏡をかけた婦人が顔も上げずニコリともせずジロツと入口を上目遣いに一瞥し、直ぐに視線をピンセット持つ指先に戻す。と同時に解錠の音が空しく響き、入店する気が失せる店。① 初心者相手 (10%)、② 初・中級者相手 (50%)、③ 中・上級者相手 (30%)、④ 最上級者相手 (10%)。ただし、どの店でもアルバムやストックブックを勝手に取り出すことはできません。希望を具体的に言わない限り何も見せてくれませんし、露骨にいやな顔をされるだけでしょ。

余計な在庫を持たない入札だけの店や、切手の収まったリーフやストックブックすべてを書庫に保管している店がある一方、店内に在庫品が足の踏み場もないほど雑然と積み上げられている店もあり、好対照です。

営業は通常、月曜日から金曜日の10時30

から18時までで、12時から14時は昼休みです。祝祭日は休業。支配人など数名の店員がいる切手店では、店主や社長は間仕切りのある奥の部屋か地下室に閉じこもっていて、余程の馴染み客か、一度に100万円以上の高額な買物をする客でない限り、挨拶に顔を出したり、自室に招じ入れてくれることはありません。老舗の有名店や高級品主体の切手店ほど第一印象が悪いのが花の都の特徴です。

おわりに

パリ市内は東京23区に比べ、面積・人口・地下鉄路線距離などが小規模です。しかし歴史、文化や伝統では東京は比肩できません。筆者は1972年に初めてパリを訪れて以来今日まで、業務出張主体ですが、100回以上も足を運んでいます。東京以上に土地勘があるかも知れません。

東京では秋葉原の電器街や神保町の古書街が有名ですが、切手、骨董品、古銭などの収集品では同業者が同じ地域に集まっている例を知りません。新宿南口近くの雑居ビルの1フロアに9社が出店している新宿切手センターがありますが、切手街とは言えません。

パリは違います。クリニャンクール Porte de Clignancourt の常設「蚤の市」Marché aux puces は別格としても、ドゥルオー通り周辺は切手街、サン・ミシェル大通り Boulevard St. Michel 界隈は骨董街、ヴィヴィエヌ通り rue Vivienne は古銭街として有名です。

筆者は世界3大切手街と言われたニューヨーク・ナッソー通りは1度、ロンドン・ストランド通りは数度散策したことがあります。パリ・ドゥルオー通りには何度か数えられぬほど足を運んでいて、殆どの切手店を覗いています。

この経験から、紙面の都合もあり、筆者の良く知る切手店に的を絞って紹介し、合わせ切手店の雰囲気にも触れました。花の都パリの切手街や切手店の一端でも垣間見ていただければ幸いです。

ドイツ普通切手ゲルマニアシリーズと 日本普通切手田沢シリーズとの相似点

山田 厚二

外国の普通切手を集めていると、何となく日本切手にも似たようなものがあることに気が付きます。そこでドイツの普通切手のゲルマニアシリーズと日本の田沢切手との似たところをまとめてみました。

ただ、これらの相似点は私の全くの主観であって、特に根拠のあるものではありません。正しくない記述もあると思いますが、どうぞお許してください。

ドイツゲルマニアシリーズ（1900-22）は、各国の普通切手の中でも人気のあるものの一つです。ドイツ本国、その属領、在外局、第一次大戦での占領地、第一次大戦後の領土割譲地域などで発行されました。

日本田沢切手（1913-37）は、数多くのバラエティーのあるシリーズです。用紙の違い、旧版と新版、目打ちの違い、切手帳など様々な分類がされています。支那加刷、軍事加刷もあります。

1. 発行の経緯（図案の公募）

どちらも図案が公募されました。

ゲルマニアシリーズ：1897年1月に、皇帝 Wilhelm I 世の生誕 100 年を記念して、祝祭の行列が行われました。そこには、冠を戴いた戦争の女神としての GERMANIA を、当時の著名



図 1-1 Anna Fuehring

な俳優である Anna Strantz-Fuehring（1866~1929）が擬人化されて登場しました。（図 1-1）。これを皇帝がたいそう気に入られ、新しい普通切手の図案として考慮にいられたことになりました。

また、この図案が、ドイツ人の民族意識の高揚に最

も適していると政治政策上信じられました。従来の対称的で、固定した、活気のない？紋章の図案と真逆にある、この GERMANIA の図案は、偽物切手を作るのを防ぐ効果があるとされました。

実際の切手の図案は公募され、Anna Strantz-Fuehring のポートレートから作られた Paul Eduard Waldruff の図案が採用されました。もちろんこの実際の図案にはさまざまな批判がありました。GERMANIA の胸像が大きすぎて枠に窮屈である、王冠の十字架が屋根を突き刺しているなど。

Paul Eduard Waldruff は採用された図案とは別の図案も作っていました。それが、時々エッセイとしてオークションに出品されています（図 1-2）。しかし、それはゲオルグゲベル商会の印刷機械見本市で配布されたと言われています。ゲルマニアの印刷にはその会社の印刷機が使われました。



図 1-2 印刷見本

田沢切手：（以下は日本郵趣協会発行の日本郵便切手名鑑 No.5 田沢（上）を抜粋して全面的に引用しています）

1912 年（明治 45）7 月 30 日明治天皇がご崩御され大正天皇が即位されました。新天皇の即位を機に普通切手のデザインを一新し、菊切手の国粋主義的な図案をもっと無難でおとなしい図案にしようと考えたのでしょうか、逓信省は初めて図案を懸賞募集することにしました。郵便事業一般への PR も兼ねていたのでしょうか。

その募集は、1913 年（大正 2）1 月 23 日付きの官報で発表され 3 月 15 日の締め切り日までに 577 点の応募がありました。1 等は東京印刷局員 田



図 1-3 田沢昌言の原図 他に壱圓もある

沢昌言氏の作品でした（図 1-3）。なお賞金は 200 円だったそうです。

印刷開始は 7 月 3 日で第 1 回発行分の 1 銭 5 厘と 3 銭が刷り始められました。1913 年（大正 2）8 月 31 日に 1 銭 5 厘と 3 銭が発売されました、その日は大正天皇のご誕生日です。

ゲルマニアも田沢も、どちらも公募で穏やかな図案に変えたのが面白いですね。

2. 透かし無しから透かしありへの変更

どちらも郵便用偽造切手の発覚ですぐに透かしありの切手が発行されました

ゲルマニアシリーズ：1902 年 9 月 23 日に、Chemnitz に住む印刷工 August Schulz、木版師 Paul Meerstein 他数名が逮捕されました。罪名は郵便切手偽造です。家宅搜索の結果、20 面のシートが 658 枚、5 面のシートが 70 枚見つかりました。1902 年の初頭から作りはじめたようですが、最初は国名表示が REICHSPPOST の偽造切手を作りました（図 2-1）。しかし、国名表示が REICHSPPOST の切手は 1902 年 12 月 31 日には使用禁止になってしまうので、国名表示を DEUTCHESREICH とした偽造切手を作りました。

この偽造切手は 2238 枚使われたようです。Chemnitz 郵便管理局で 1021 枚、Leipzig 郵便管理局で 1047 枚、Dresden 郵便管理局で 20 枚、残りはその他で、この偽造切手には 2 種類



図 2-1 偽造切手
ReichsPost

のタイプが存在するそうです（図 2-2）。この偽造切手によって 1905 年には、偽造防止のために透かしありの切手が発行されました。1900 年 1 月 1 日国名表示 REICHSPPOST 発行
1902 年 4 月 1 日国名表示 DEUTCHESREICH

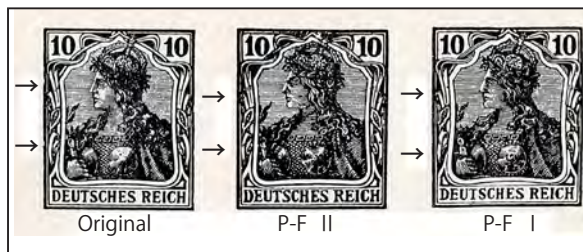


図 2-2 偽造切手 Deutsches Reich

透かしなし発行

1902 年 9 月末 郵便用

偽造切手発覚

1905 年 10 月 国名表示 DEUTCHESREICH

透かしあり発行

田沢切手：（以下は日本郵趣協会発行の日本郵便切手名鑑 No.4 菊を抜粋して全面的に引用しています）

1913 年（大正 2）9 月横浜元町局の窓口局員が、差し出された書留書状の 10 銭の菊切手の色が薄いことに疑念を持ち、差出人が購入した売りさばき所から買って、真偽鑑定に出しました。その結果偽物と判定されました。主犯の鈴木某、共犯の写真師小川某、印刷業江間某、他売りさばきに関係した 2 名が逮捕されました。

1913 年（大正 2）7 月から 8 月にかけて、額面 1 万円分を印刷したとのことでした。発見が早かったものでほとんどが未使用のまま当局に押収されたそうです。（図 2-3）この菊の偽造切手の発覚によって、透かし無しの白紙から透かしありで繊維をすきこんだ毛紙に変更され、1914 年（大正 3）5 月 20 日に 11 種の額面が発行されました。

発覚から半年ですからゲルマニアと比べて素早いんですね。

1913 年（大正 2）8 月 31 日

大正白紙 1 銭 5 厘、3 銭発行

1913 年（大正 2）9 月

菊 10 銭、20 銭の偽造切手発覚

1914 年（大正 3）5 月 20 日

大正毛紙 11 種発行



図 2-3 菊 10 銭、20 銭の偽造切手

3. 臨時の加刷、添刷切手の発行

正規の切手の不足により、臨時切手が発行されました。

ゲルマニア：ヴィネータバイセクト（図 3-1）：

1901 年 4 月 17 日巡洋艦ヴィネータ号はブラジルのレシフェに到着し、艦船郵便 No.1 の消印が押されたヴィネータバイセクトがドイツに発送されました。

何故このような暫定切手が作られたのでしょうか？

1901 年 1 月 27 日に停泊中のアメリカ NewOrleans でドイツ皇帝 Wilhelms II 世の誕生日の祝典が開かれました。そこにはこのヴィネータ号の乗組員はほとんど出席しました、そこでの祝典が雑誌や新聞に掲載されました。

その後、トリニーダッドの Port of Spain でそれらの新聞や雑誌を受領した乗組員たちはこの新聞や雑誌をドイツの親類に送りたいと考えました。

しかし、印刷物料金の 3pf の切手は艦船郵便局では通常不要なので装備していません。

そこでヴィネータ号の經理主計は 5pf 切手を縦に半切し、印刷物用である旨の表示をすることを提案し結局、艦長がそれに同意して、3pf を添刷したこのヴィネータバイセクトが 600 枚（3 シート）作られました。

ヴィネータバイセクトが到着してから、ベルリンの海軍軍用郵便局では、この扱いについて、いろいろ検討した結果、既発行分は承認したようですが、1901 年 6 月 28 日にそれ以上の発行は禁止され、その後すべての艦船郵便局に 3pf の切手が装備されました。

このヴィネータバイセクトは、元々フィラテリックな性格を持っています。本来の印刷物送付用の帯封だけでなく、はがきや封書に貼られ

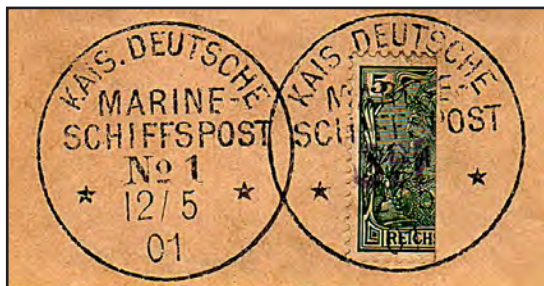


図 3-1 ヴィネータバイセクト

たものがあることや、祝典の新聞などを送ってしまえばもう不要なはずなのにその後も使われて消印されています。

以前はミッヘルカタログでは #67 というメインナンバーをつけられていたのですが、今は、格下げされ #AI となっています。

田沢切手：青島軍事（図 3-2）（日本郵便切手名鑑 No.5 田沢（上）、JAPEX2013 記念出版田沢型切手発行 100 周年大正切手を抜粋して全面的に引用しています）

軍事加刷された切手は、軍事郵便証票と呼ばれ、下士官と兵士のみに月に 2 枚、無料郵便を示す証票として渡されました。1921 年（大正 10）4 月から、無料の軍事郵便をやめ、軍事切手を使うことになりました。下士官と兵士には軍事切手が支給されるはずですが、日独戦終了後の、山東半島の青島守備軍には、この証票の交付が遅れたために、青島郵便局にて支那加刷の切手に木製の印を使って臨時の証票が作られました。1921 年 4 月から 5 月山東半島各地の部隊で使われました。その後、正式な軍事切手が交付されたのでこの使用は終わりました。

ゲルマニアのヴィネータバイセクトがフィラテリックな要素をたくさん持っているのに比べこの青島軍事は、すぐに発行が中止されており、よく管理されていますね。



図 3-2 青島軍事

4. 印刷機

田沢切手も同じドイツの会社の印刷機が使用されました

ゲルマニア：ドイツでは輪転印刷機は、郵便局の業務軽減のためのコイル切手用に作られ

ました。実用となる輪転印刷機は 1911 年初めに Darmstadt の Gandenberger 印刷機械製作所 (Georg Goebel) で作られました。当初は当然コイル切手だけであり、1914 年になって 100 面シート用の輪転印刷機が作られました。

国名表示 DEUTSCHES REICH 透かしありの戦時版からこの輪転印刷機が使用され、戦時版には Walzendruck (円筒版) と Plattendruck (平台版) の両方があります。その円筒版と平台版とは耳紙で区別されます (図 4-1)。



図 4-1 円筒版と平台

田沢切手：(以下は日本郵便切手名鑑 No.6 田沢(下)を抜粋して全面的に引用しています)

1924 年 (大正 13) 8 月末に、ドイツのゲーベル社から凸版 2 色刷り輪転印刷機が納入されました。この輪転印刷機に対応するために新たな原版が作られました。素版 (10 面単位の電胎版) は、版胴にとりつけるために版胴の円周に沿って湾曲させなければなりませんが、印面は縦方向にわずかに伸びるので、従来の印面寸法ではおさまりきれなくなるおそれがあります。そのために旧版の印面寸法をわずかに縮小した新版が作られました (新大正毛紙)。

この輪転版を新版ゲーベルと呼び、平台版を新版平台と呼んでいます。これらは、印面寸法で判別されますが、耳紙付きでは容易に判別されます (ゲーベルは上部耳紙を目打ちが貫通していない、下部耳紙に孔がある)。

田沢切手では、おおよそ、旧版では、印面寸法が 19x22.5 ミリ、新版ゲーベルが 18.5x22.5 ミリとされて、それが両者の判別に使われています。

しかし、ゲルマニアでは、印面寸法の違いについてはミッヘルカタログを含めて、どこにも記述はありません。実際に耳付きのゲルマニアの印面寸法を測定すると、平時版 (平台のみ) も戦時版 (輪転版も平台も) もおよそ 18.5x22.2 と同じで違いはありません。

5. コイル

どちらもこのシリーズからコイル切手が作られました。

ゲルマニア：1908 年から 09 年ごろ、郵便局の業務の軽減が図られ、5,10pf 切手の自動販売機が大量に設置されました。そこで、途中に印刷されていないような切手の無いロール切手が大量に必要になりましたが、平台版ではそのようなことはできないので、自動販売機用に縦一列ずつの切手を貼りあわせたものが作られました。このコイル切手用に Walzendruck (円筒版) の印刷機が作られたのは 1911 年初めました。

ドイツではコイル切手は非常に普及しました。コイル切手のほうがシート切手よりたくさん発行されたためにシート切手のほうがカタログ値が高いものがあります (図 5-1)。ドイツのコイル切手は 4 方に目打ちがあるため、11 枚つづりか、Endstreifen (リードペーパー) 付きのもの (図 5-2) でないと判別はできません。もちろん連刷されているコイル切手はその限りではありません。



図 5-1 シートから

田沢切手：(以下は日本郵便切手名鑑 No.6 田沢(下)を抜粋して全面的に引用しています)

輪転印刷機はコイル切手の製造に適していたのですが、毛紙コイルは、1 銭 5 厘と 3 銭のみが、1933 年 (昭和 8) 11 月 1 日に東京中央局の新庁舎落成祝賀式の際に、その式典招待者のみに販売するという変則的な形を取られました。結局、一般



図 5-2 コイル切手

には普及せずに 1937 年（昭和 12）ごろに姿を消したらしい。

ドイツではコイル切手のために輪転印刷機が作られたほどなのに、日本では普及しなかったのは、日本では切手やはがきの販売を自動化して、そのための人手を減らす必要がないほど当時は人が余っていたのでしょうか。

6. 切手による代用貨幣

どちらも貨幣代用切手として使われた。

ゲルマニア：第一次大戦の末期から金属が不足し新しい貨幣の铸造が出来ないような状況になり、特に少額貨幣が不足したようです。そこで、南北戦争末期のアメリカで実施された代用貨幣を参考にして、切手による代用貨幣を作りました。丸い紙でパックしてカプセル状にするか、台紙に貼るかは特に定めはないそうです。

私蔵の丸い紙でパックされたものには裏面に広告が入っています。私蔵の台紙に貼られたものは小銭用の表示、ケルン市だけで通用の表示、たくさんの広告が付けられています。（図 6-1）。



図 6-1 貨幣代用切手

田沢切手：（以下は日本郵趣協会発行の日本郵便切手名鑑 No.6 田沢（下）を抜粋して全面的に引用しています）

特別郵便切手台紙（図 6-2）は、名目上は貯金の預入や振替の払い込みなど郵政関係の業務に使用することになっていましたが、ドイツと同様に第一次大戦での少額貨幣の不足によって、切手を補助貨幣に代用する商業者の団体の便宜的な処置を公式に取り入れたものである。一般に通用する貨幣代用切手とすればおお

ごとなので、台湾と朝鮮だけで発行されました。

台湾総督府発行の切手台紙は、1917 年（大正 6）9 月 4 日と 1918 年（大正 7）11 月 28 日の 2 回発行されました。朝鮮総督府では、1917 年（大正 6）12 月 21 日に発行されました。

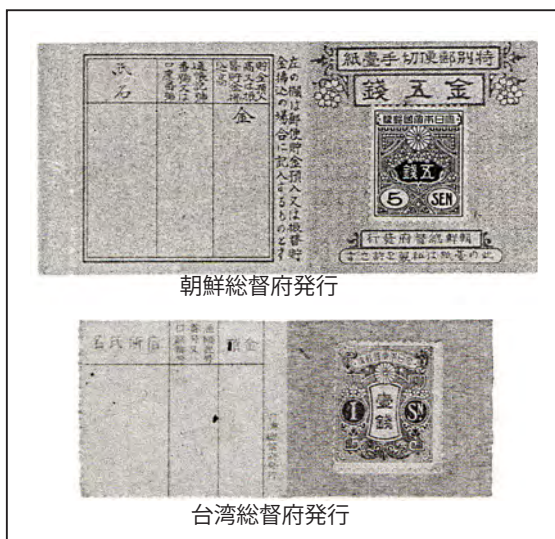


図 6-2 特別郵便切手台紙

参考文献：

100 Jahre Germania

Michael Jaeschke-Lantelme
KOHL-BRIEFMARKEN-HANDBUCH

DEUTSCHES REICH 1872-1925
ヴィネータバイセクト 山田厚二

ドイツ切手部会報 第 156 号 2004 年 12 月
郵便切手による代用貨幣 山田厚二

ドイツ切手部会報 第 155 号 2004 年 10 月
ドイツ普通切手 ゲルマニア (3) 山田厚二

切手研究 第 337 号 昭和 59 年 10 月 31 日

日本郵便切手名鑑 No.4 菊切手 日本郵趣出版

日本郵便切手名鑑 No.5 田沢（上）日本郵趣出版

日本郵便切手名鑑 No.6 田沢（下）日本郵趣出版

JAPEX2013 記念出版田沢型切手発行 100 周年

大正切手 日本郵趣協会

日本切手専門カタログ戦前編 日本郵趣協会

神話に魅せられて

野島 正顕

神話に魅かれています。

日本神話は、ご承知の通り 8 世紀初めに大和朝廷によって編まれた古事記と日本書紀に綴られる天地創造から高天原、出雲、日向を舞台とする神々の話です。

神話への興味は、中国の史書、魏志倭人伝に記される倭の女王卑弥呼と卑弥呼の宮殿があった邪馬台国に関心があることがきっかけとなりました。

倭人伝によれば、2 世紀ころ倭国が大きく乱れ、困った王たちが協議して卑弥呼を女王に立てると鎮まった。卑弥呼は独り身で宮室にこもり、弟が補佐したという。

一方、記紀神話の主役は皇祖神のアマテラス。高天原に住むアマテラスも独り身で、スサノオという弟がいた。スサノオの乱暴に怒って岩屋に身を隠したとき国中が暗闇となり、困った神たちが集まって対策を講じた。

状況が倭人伝の卑弥呼と似ているのである。

帝国憲法で天皇を神聖化した明治以降、記紀神話は国民教育に広く使われた。記紀には作偽があり史実とは言えない、と論じた早大の津田左右吉の著作は発禁処分を受けた。

皇国史観から解放された戦後は、反動から津田説が大勢となり、記紀神話は史実と無縁の古典と見なされるようになった。

ところが、考古学上の大発見があった。1984 年、出雲の神庭荒神谷遺跡で銅剣 358 本、銅矛 16 本、銅鐸 6 個が出土。1996 年にはひと山越えた加茂岩倉遺跡で銅鐸 39 個が発見された。

弥生時代の祭器と見られる貴重な青銅器である。鑄造時には黄金色に輝いているという宝器が大量に埋納されていた。しかも、それまで銅



2008 年 地方自治法施行 60 周年記念
島根県 加茂岩倉遺跡 出土

剣、銅矛は北九州で、銅鐸は近畿地方を中心に出土していたが、これらは両文化圏の特徴を備えている。

この一連の発見で、弥生時代の出雲に大きな勢力があったことが明らかとなり、記紀神話の三分の一を占める出雲神話は何らかの史実を伝えているのではないかと注目されるようになった。

大量の銅鐸が発見された山腹は、出雲国風土記にオオクニヌシの神宝が置かれた伝承が記される付近という。この埋納が記紀神話の主要なテーマであるオオクニヌシの国譲りと結びつくことになれば、弥生時代末期の大きな変革を伝えることになり、それは倭人伝が記す 2 世紀の倭国の大乱と、それに続く卑弥呼登場の時代と重なってくる。

2000 年には出雲大社の境内から杉の大木 3 本を束ねた直径 3 メートルにおよぶ巨大な柱を立てた跡が 3 か所発見された。神話はオオクニヌシが国譲りの際に大きな宮殿を所望したと伝えるが、これが誇張された伝説と言えなくなった。

話は外れるが、出雲大社の権宮司の千家国麿



1991 年 ふるさと切手
吉野ヶ里遺跡

さんと高円宮家の典子さまが結婚された。オオクニヌシを祀る出雲大社は古来出雲国造が奉祭しており、始祖はアマテラスの子で国譲りの交渉に遣わされたがオオクニヌシに心服して出雲に住んだアメノホヒである。

大和王朝に連なる平成の女王が出雲国造家に嫁いだことは、アマテラスを同じ祖神とすご結婚といえる。

アメノホヒのあとに派遣され、オオクニヌシから国譲りの承諾を得たタケミカヅチは出雲の浜に現れた。海路、九州方面から来たとしておかしくない。

これらの神話に史実が投影しているとする、神代に続く神武天皇の東征も現実味を帯びてくる。ここに、邪馬台国が何処にあったかを解明する手がかりが見出されるのである。

神武天皇の实在や東征を疑問視する歴史家も少なくない。しかし、大和朝廷が正史で自分たちのルーツを語るのにあえて九州からの遠征を記しているのである。しかも天孫ニギをはじめ日向三代の系譜には、辺境のクマソやハヤト



1940 年国立公園切手
霧島国立公園
高千穂の峰



2012 年 ふるさと切手
地方自治法施行 60 周年記念
宮崎県 西都原古墳群

の姫たちの血が重ねて入っている。東征伝はそれなりの史実を伝えていると見るのが自然である。

書紀によれば、大和に入った神武天皇の即位は紀元前 660 年の 2 月 11 日。明治政府はこの日を紀元節と定め、昭和 15 年には紀元 2600 年の祝典が催された。しかし、年代が確かな古墳時代から平安時代に至る歴代天皇の在位年数は平均 10 年という。これを当てはめて遡ると、神武天皇の即位は 3 世紀末と見られる。

九州からの東征が 3 世紀末とすると、皇祖神アマテラスが住んだ高天原は 3 世紀、弥生時代終盤の九州にあったとしておかしくない。

翻って、倭人伝による西暦 248 年前後に没した卑弥呼は 3 世紀前半に活躍しており、卑弥呼＝アマテラスとしても時代が重なる。高天原は邪馬台国を指すと言えるわけで、邪馬台国は九州にあったと見ることができる。

もし邪馬台国が畿内にあれば、神武が畿内を侵攻したときに卑弥呼と出会うことになるが、



1940 年 特殊切手
紀元 2600 年記念 金鷄



1989年 特殊切手
国宝切手 金印

東征伝に卑弥呼は登場しない。

一方、奈良の纏向遺跡の発掘が進展して大型建物群の跡が続々発見されている。

これこそ卑弥呼の宮殿ではないか、と邪馬台国畿内説は勢いを増した。近くにある箸墓古墳は卑弥呼の墓である、と断じる専門家もいる。

箸墓古墳は、大和王朝の成立期に畿内から列島各地に広がった定型的な前方後円墳の最初の巨大古墳とされる。巫女伝説を持つ7代孝霊天皇の皇女ヤマトトヒモソヒメの陵墓として宮内庁の管理下にあるが、確かに卑弥呼が眠るに相応しい風格を備えている。

もし箸墓古墳が卑弥呼の墓とすると、魏の皇帝から倭の盟主として倭王の金印を授けられた卑弥呼は、とりもなおさず大和王朝の女帝となるが、記紀の皇統譜に登場する女帝は15代応神の母、神功皇后か33代推古天皇まで待たねばならない。大和王朝と卑弥呼の間には深い闇が横たわる。

大和朝廷に皇位のシンボルとして伝えられた三種の神器も興味深い。神話によればアマテラスは天孫降臨に際してニニギに、八咫の鏡、草薙の剣、八咫瓊の勾玉を授けたという。

北九州の弥生時代の王墓から鏡、剣、勾玉のセットが副葬品として出土する。畿内の出土は古墳時代に入ってからである。これは天皇家のルーツが九州との見方の裏付けになる。

三種の神器のうち八咫の鏡は、尺度の咫（あ



1981年 普通切手
人物画象鏡



1989年 特殊切手
国宝切手 神人車馬面象鏡

た)の呼称から大鏡が想像されるが、北九州の弥生後期の王墓から直径46センチを超える巨大な銅鏡が出土している。

卑弥呼は鏡を好み、朝貢した魏の皇帝から100枚の銅鏡を下賜された。

メディアでも報じられたが、卑弥呼の鏡との説がある三角縁神獣鏡を3Dプリンターでコピー復元して太陽光を壁に反射させたところ、何と、背面の文様が写し出される魔鏡現象が確



1929年 特殊切手
神宮式年遷宮記念



2014年 ふるさと切手
地方自治法施行60周年記念
三重県 五十鈴川と伊勢神宮宇治橋

認された。製造に高度の技術を要するという。卑弥呼はもっぱら鬼道に仕えたと伝えられるが、この魔鏡現象も使ったのかも知れない。八咫の鏡は、アマテラスがニニギの降臨に際して授けたあとアマテラスの御神体として朝廷の宮中に祀られ、その後ヤマトヒメによって伊勢に皇大神宮が創建され遷された。アマテラス＝卑弥呼であれば、卑弥呼ゆかりの鏡である。

二種目の草薙の剣もロマンを秘めている。出雲に渡ったスサノオがヒノ川に住むヤマタノオロチを退治したとき、その尾から見つけ出されアマテラスに献上された剣である。

オロチノ尾を斬ったときスサノオの剣の刃が欠けたというから鉄剣であろうか。古来、ヒノ川上流は砂鉄を原料とするタタラ製鉄が盛んで川面が緋色に染っていたという。

剣はその後アマテラスより天孫降臨の際ニニギに下賜され、八咫の鏡と同じ経緯を辿り、伊勢のヤマトヒメより、東国遠征の折に立ち寄ったヤマトタケルに授けられた。

ヤマトタケルはこの剣を帯びて東国で活躍したが、そのあとオワリの国のミヤヅヒメに預けた。剣を置き残して闘ったヤマトタケルは敗れて命を落とした。以来剣は尾張の熱田神宮に祀られている。

三種目の八咫瓊の勾玉は崇神天皇期に天理の大和神社に遷されたといわれる。瓊（に・ぬ）は玉を意味するが逸話がある。

ヒスイの勾玉は縄文人や弥生人に珍重され北海道から沖縄まで列島各地で出土するが、原石



1995年ふるさと切手
ヒスイの里と相馬御風

の産地は忘れ去られていた。

神話によれば、艶福家のオオクニヌシはコシの国のヌナカワヒメのところに通った。このヌナカワヒメのヌは玉を指す「瓊」であると注目したのが、早大校歌の作詞者で講師を経て郷里の糸魚川に帰っていた相馬御風である。

御風は、ヌナカワとは地元を流れる姫川ではないか。姫川を探せばヒスイが見つかるに違いないと示唆した。これが長年不明であったヒスイ産地の再発見に結びついたという。

日本神話は、しり、くそ、ほと、まぐわい、と素朴で荒唐無稽な話が臆面もなく語られる。しかしドラマチックでリズムがあり、文字のなかった時代の遠い記憶が人から人へと伝えられた口承のパワーがある。

神話に惹かれると言っても原典に触れる能力は勿論ない。現代語訳や解説書を読んで表面をなぞるだけであるが、神話には古代のミステリーが満ち溢れていて推理の楽しみは尽きない。

参考文献

- 古事記 益田勝実 岩波書店
- 古事記 島崎晋 廣済堂
- 古事記の起源 工藤隆 中公新書
- 口語記 古事記 三浦祐之 文芸春秋
- 現代語古事記 竹田恒泰 学研
- 現代語訳 日本書紀 福永武彦 河出文庫
- 日本の歴史 神話から歴史へ 井上光貞 中央公論社
- 吉野ケ里と邪馬台国 松本清張 NHK出版
- 倭王卑弥呼と天照大御神伝承 安本美典 勉誠出版
- 日本神話120の謎 安本美典 勉誠出版
- 天皇家のふるさと日向をゆく 梅原勉 新潮社
- 葬られた王朝 古代出雲の謎を解く 梅原猛 新潮社
- 加茂岩倉遺跡と古代出雲 佐原真編 雄山閣

国際展「副」コミッショナー体験記

～ 切手展は出品書類が大事 ～

榎沢 祐一

■はじめに

筆者は昨年12月開催されたMALAYSIA2014で出品者でありつつ、内藤陽介コミッショナーのもと、副コミッショナーを務めた。仕事の都合で、全日参加とはならなかったが、副コミッショナーとしての一通りの行事には、参加した。その中で、鑑賞者や出品者以外の立場で出品物に対峙する機会を頂き、出品者としても気づくところが多かった。

国際展に参加したことが無い方には、運営側から見た国際展やコミッショナーの仕事の一端を、出品者の方には作品が、正當に評価されるためのちょっとしたコツを本稿で紹介したい。(国際展だけでなく、国内展にも役立つと考えている)

■コミッショナーの仕事・筆者が副コミッショナーになった経緯

「コミッショナー」とは、日本語では分かるようで分からない言葉であるが、一言で言えば、切手展のコミッショナーの仕事で一番重要な仕事は、出品物の運搬である。そして、コミッショナーは、開催国(今回はマレーシア)のゼネラル・コミッショナー(コミッショナーの長1名と、サブで2名程度)と各国のコミッショナー(原則1人ずつ)で構成される。

高額で、かさばる作品を切手展に運ぶことは、切手展を成り立たせるために、必要不可欠な仕事である。筆者は、仕事の都合で会期中前半の4日間の滞在であったので、作品運搬に関わることは無く、運搬の業務内容を本稿に書けないのがもどかしいが、その他の業務を担当した。すなわち、作品展示が間違いなく行われているかの確認や、審査員、エキスパート・チーム(偽物などを審査する「鑑定団」)と出品者のコミュニケーションの仲介、会期中に開催されるパーティ参加券を手配など出品者に便宜を図るといった業務であった。

筆者が副コミッショナーを務めることになっ

たのは、コミッショナーの内藤氏より、全出品者に副コミッショナーの募集案内を頂いたのが、きっかけである。出品数が多い国は、作品数が多いので、副コミッショナーを付けることができるという通知が内藤氏に連絡され、それを受け、全出品者に対して募集があった。内藤氏は特に審査員も兼務していたから、特に審査を行う会期中前半の4日間はコミッショナーの業務を物理的に行うことが難しい。そこで、審査期間中に行われる各種の会議参加者の代理と言う意味も込めて、私が務めることになった。

私が担当していた会期中の多くは、コミッショナー・ルームと呼ばれる部屋で、待機する時間が長かった。と言うのも、東南アジアで開催される国際展では良くあることだが、時間が南国基準なので、計画通りに進まないからである。

ただ、コミッショナー・ルームには、昼食やティータイムのスイーツなど、時間に応じて、常に美味しいものがあるので、待ち時間は退屈ではない。各国とのコミッショナーと、つたない英語で、談笑したりもした。拘束時間は長くあるが、常に目が回るほど忙しさではない。しかし、ひとたび業務のために呼び出されると、



図1 コミッショナーの仕事の空き時間に、現地テレビ局からインタビューを受ける筆者。会場には、現地のマスコミが、いくつか取材に来ていた。

頭をフル回転させて現場対応力が問われると言った印象の仕事であった。

■意外に単純な「鑑定」

一番、印象的だったのは、会期3日目に行われた「偽物鑑定」の日である。当日朝にエキスパート・チームから指示を受けた国のコミッショナーは、ほぼ終日を切手展会場の中で過ごすことになるのであるが、今回は日本、つまり私は、その対象となった。

エキスパート・チームから偽物のマテリアルが含まれると指摘された作品まで行って、該当のリーフをコミッショナー自ら作品から外して、エキスパート・チームに引き渡す。午後遅くに、その返却（展示）作業に立ち会う。偽物の鑑定と言うと、さぞかし専門的な見地から調べるイメージがあるが、私が見ていても出品者の初歩的な対策で対応できると思われた点が2点あったので、紹介したい。

1点目であるが、粗雑な言い方をすると、戦前のカバーで消印がタイしていないものは、鑑定書を付ける癖をつけた方が良いということだろう。消印がタイしておらず、鑑定書がついていないマテリアルは、どの対象であれ、ほぼ全てチェック対象に該当していた。

2点目は、テーマチック作品で顕著であったが、原画準備段階のスケッチが、鑑定の対象として指摘を受けていた。原画であれば、公印の押印さえあれば、鑑定書まで無くても、正統性は客観的に「証明」されるが、準備段階のスケッチを本物であるか否かを鑑定する団体を探すのは非常に難しいかもしれない。こればかりは、まずは購入段階で注意をするか、「原画」の入手に努めるということが数少ない対策法であろう。

■国際展の楽しみ

夜は、1つのパーティに参加した。「ウェルカム・パーティ」と言うパーティである。どの国際展でも開催されるその名の通りの歓迎パーティである。審査員、コミッショナー、出品者にかかわらず、参加券を持っている人は立場を超えて参加できる。今回は、会場そばのオフィシャル・ホテルからバスに乗って、たどり着いたホテルで開催された。イスラム教徒が相当数を占

める国であるので、お酒は出て来ない。下戸の筆者にとっては、これがイスラム圏の国際展に気軽に出品したくなる理由であるが、その代わりのドリンクは、お冷では無く、日本に帰ってからも未だに正体が分かっていない赤色の人工的な甘さの水であった。料理は、各国に配慮し、どの国の人も楽しめる工夫がされている。これは、どの国際展でも、同様であろう。（他にも「パルマレス」と呼ばれる受賞者を表彰するパーティがあるが、今回は、このパーティが行われる日の午後に、筆者は日本へと帰ったので、参加が叶わなかった。）

この場では、内藤コミッショナーのご令嬢と、お話をすることがあった。実質、彼女は、内藤コミッショナーと一緒に、日本人から送られてきた作品群のチェックや梱包を行ったそうなので、影のコミッショナーと敬意を込めて呼びたいが、フォーマットの記入について、私も含め、出品物に間違いが多かったため、作業が煩雑であったと言う指摘があった。

そこで、出品者の方に向けて、硬いお話にお付き合い頂きたい。



図2：本展では、ウェルカム・パーティの他、開会式がパーティを兼ねていた。パーティでは、民族音楽の披露が行われることが多い。

■出品書類が、なぜ大事か？

近年、国際展に出品する人が増えている。しかし、作品の品質を向上させる以前の問題として、出品にあたっての申込書の記入、出品用封筒の記入、タイトルリーフ、シノプシス（作品の概要説明書）と言った出品時の添付書類の表現の違いで、印象が変わっている作品もあると聞く。

切手展の場合、「クリティーク」の場で審査員から作品の改善点を指摘されることがあるが、

出品書類は作品の魅力を伝える大切な資料であるにもかかわらず、審査の対象物ではないので、審査員から、まず指摘されることはないだろう。また、国際展の現場をつぶさに見ない限り、出品者は、出品書類の不備により、現場でどのようなトラブルが起こっていたのかを、知る機会が無い。

そこで、どうすれば、このような目に見えない「トラブル」を避けられるかを示唆したい。また、このことは、審査対策というだけでなく、切手展の運営者(現地スタッフ、コミッショナー)の負担も軽減し、皆が幸せに展覧会の運営を進められる基礎になると痛感した次第である。

■出品申込書の書き方

FIP 展(世界対象の国際展)と FIAP 展(アジア対象の国際展)で、それぞれ共通のフォーマットなので、あまり間違える要素は少ないと思われるが、それでも、ここで間違いやすいポイントを述べておきたい。

【1】作品の以前のタイトル

以前の出品時から、タイトルを変更した場合は、明確に書きたい。筆者は出品のたびに、タイトルを変更しており、最初は「都市交通」(テーマティク部門)だったものが、現在は「路面電車」に変わっている。タイトルの変更は不利になるというよりも、専門性が高まったタイトルになれば、審査員の心象も良くなる可能性がある。なので、毎回じっくり考えた方が良いでしょう。

これは、自身が研究テーマを定義づけするテーマティクや郵便史だけでなく、伝統郵趣でも同じことであると感じる。例えば、現代郵趣作品で「平成切手」は、どう英訳すれば良いだろう? 恐らく「平成」と言う元号の区切りは、外国の審査員にとって、意味が分かりづらいだろう。戦略的な名づけ方を検討したい。

【2】受賞歴

「国内展」には、FIAP 展も含まれる。つまり FIAP 展での受賞歴は国際展ではなく、国内展での受賞歴の欄に記入する必要がある。実際、FIP 展では、各大陸展(アジア地域に属する日本であれば、FIAP 展)で初めて大金銀賞以上を受賞し、FIP 展に 8 フレームで初出品する作品については、本当にその価値があるかどうか

調査を行っている。一口に国際展と言っても、FIP 展と FIAP 展の違いは、大きいと考えた方が良いでしょう。

また、あまりにも前の受賞歴を記載しても意味は薄いだろう。国際展の出品資格の期限は 5 年であるから、さかのぼるとしても、5 年前までの記録を記載する程度で良いでしょう。

余談として文献部門については、日本語の文献が不利と言う話を筆者の近くではよく聞かすが、これは、PHILANIPPON2011 の FIP 会長テイ氏の発言を受けてのものであろう。筆者が情報を得る限りは全くその通りである。文献自体が、日本語に加えて、英語でも書かれていれば、この問題は解決するだろうが、そうとは、いかない場合もあるだろう。文献部門では、英語での解説文の添付が 2011 年のインド展から必要になったので、特に日本語記載の文献の出品者は確実に添付されたい。

■出品封筒の書き方

各国の切手展により封筒のフォーマットが違うとは言え、記載されている内容は大きく違いは無い。しかし、今回のマレーシア展では、私も含め、出品者の英語の理解の問題で、記載事項を間違えている例が多かったと聞いている。この際に、今後出品者になる方の便宜を考え、紙面の限りを考え、間違いやすい項目に絞り、記載したいと思う。

Exhibit Number : 出品番号。フレーム番号は、出品締切り前から切手展の公式 WEB サイトに公表されている。4 桁の番号で示されることが多い。

Number of Frames : フレーム数。自分の作品の総フレーム数を記載する。

Frame Number : フレーム番号。「Number of Frames」と混同しやすい。拙作でも修正されているが、自分の作品の中で何フレーム目か?ではなく、切手展運営委員会から付与される番号である。出品番号と同様に、切手展の公式 WEB サイトに出品締切り前から公表されている。

No. of Sheets : 封筒に入っているリーフの数。

筆者は、このフレームでダブル・リーフを1枚使用したので、15と書くべきである。16と記載することが殆どであろう。

Mounting Plan：リーフの展示場所の指示書。手前味噌な例だが、ダブル・リーフを使っている場合は、写真の通り、その位置を分かりやすく示すのが良いだろう。この位置が示されていないと、いくらリーフに番号を記載していても、適当な場所に展示されたのが本展であった（日本からの出品物については現地スタッフに要請して、すべて直した）。また、左下には、リーフ番号を記載したい。

Mounting Plan は、中でも重要な項目である。シングル・サイズ以上のリーフ（ダブル・リーフなど）は、どこに展示するかを明確に示さないと、ページ数が書いてあっても、本当に適当な場所（本展ではフレームの一番下の列に固めて置かれていた）に展示されると思っていた方がよい。

蛇足であるが、シングル・サイズ以上のリーフの扱いは、郵趣家の議論が尽きないテーマである。ただ、実践的に言えば、ボランティア精神を発揮してコミッショナーを引き受けて下さる方の考えにより、受け入れの可否は決まるので、これに従う以外に道は無い。そこで、シングル・リーフしか持ち運びを認められない場合に、ダブル・リーフが必要なマテリアルを展示する方法を、テクニク論的に申し上げたい。その方法はとても簡単であり、今回は、シングル・リーフに大型マテリアルのコピーを貼り、シングル・リーフを2枚繋ぎ合わせると言った代替策で、大金賞を受賞していた作品があった。

■タイトルページとシノプシス

筆者は、これまでにFIP展に3回、FIAP展に1回出品しているが、出品時の資料として、明確に、シノプシスが必要だと指定されたことは無かった。しかしながら、タイトルページの他に、シノプシスがあると、審査員の「作品理解」にとって有益だと言われる。ここで言う「作品理解」であるが、あくまでも、過去の出品との比較、と言う意味においての「作品理解」と

捉えるのが適当と考える。つまり、シノプシスを見ないと作品の意味内容が分からない作品では本末転倒であろう。あくまでも作品が主である。したがって、まずは、タイトルリーフが分かり易く、充実しているのに勝つことはない。

シノプシスは、作品内容を補完する役目ではなく、以前と比べて、自身の作品がどう向上したかを示し、審査員の視線を、少なくとも前回の点数を基準に検討してもらうための参考資料程度と考えた方がよいだろう。

審査員には事前にタイトルページのコピーなどが送付される場合があるようであるが、場合によっては、運営のミスにより、シノプシスとはかく、自分の作品だけタイトルリーフのコピーが事前に審査員に行きわたっていないということもあり得る。現場に展示されたリーフを読んで、理解できるタイトルリーフを作成することが何よりの対策であろう。ちなみに筆者は一度も、国際展にシノプシスを提出したことは無い。

■まとめ

出品者に対する注意喚起のような文章が長く続いたが、このような悩みごとばかりを会期中考えていたわけではなく、総じて、楽しい時間を過ごした思い出深い国際展であった。国際展は日々進化していくので、これらの考え方も、2～3年もすれば、また変わっていくかもしれない。ただ、時代を経ても、国内展と全く変わらない大切な視点としては、「出品前に作品概要が審査員に正しく理解されること」、そして「出品者の意図通りに作品が正しく展示されること」、この2点に尽きるのではないだろうか。

出品書類のルール of 順守や表現方法の向上は、出品者個人が有利になるだけでなく、全ての関係者にとって、切手展を良いものにすること間違いのないだろう。そう思ったのは、国際展（特に展示）を支える人の多さにも改めて気づかされたからである。また、出品はしなくとも、一度、行ってみると、郵趣の醍醐味の大きな部分を味わえるのが、国際展だと筆者は思っている。

我らの大隈講堂

黒川 清知

1952 年創立 70 周年記念歌として作られた学生歌、名曲「早稲田の栄光」(詩・岩崎 巖 曲・芥川也寸志) の第 2 番の歌詞に“♪ふり仰ぐ時計の塔に、青春の眸は澄みて・・・♪”とある。大隈講堂は早稲田のシンボル、あの時計塔から 1 日 6 回奏でられる鐘の音を聴きながら私たちは学問にサークル活動にと青春を謳歌してきた。

脚本家内館牧子氏は随筆で「私は個人的には、安田講堂より大隈講堂の方がずっと好きだ。安田講堂は重厚な建築物にしか見えなかったが、大隈講堂は言葉を持っているような気がするのだ。むろん講堂がしゃべるわけではないが、大隈講堂は喜怒哀楽を内在して誰にもわからない言葉で語っているような気がしてならない。私が今迄に見た建築物の中で、言葉を持っていると感じたのは大隈講堂と、バルセロナ郊外のコロナ・グエル教会堂の二つだけである」と書いている。(2000・11 週刊朝日)

画家(芸術院会員)の藪野健名誉教授によると他大学の建築物、とくにシンボリックなものは、安田講堂を含めて左右対称なのに対して、大隈講堂は時計塔を端にしたところが素晴らしい魅力であり、また大隈講堂の真正面に大隈侯の銅像がないこともすごいことだと言われている。

かつての新国劇の名優島田正吾のひとり芝居「白野弁十郎」が、2000 年 10 月大隈講堂で演じられた。95 歳の島田は場内を埋め尽くした

観客と一緒に「都の西北」を大合唱、広い講堂は感動のるつぼと化したという。

すっかり定着してつとに有名になった「島田正吾のひとり芝居」は、大隈講堂がよく似合う。ここには島田自身のドラマがある。

日本の演劇史に大きな足跡を残した島田の師匠、新国劇生みの親沢田正二郎は早稲田の出身。その沢田が 1929 年に急死、路頭に迷う島田たちに公演の場を提供したのが早稲田、この時島田は沢田の当たり役「白野弁十郎」を演じている。

今回島田は満員の観客を圧倒、カーテンコールでの新国劇、早稲田、沢田への熱い思いがさらに感動を呼んだ。そしてまたひとつドラマが厚みを増した。(2000・11 朝日記事より)

その新国劇は 1987 年に 70 年の歴史を閉じ、また島田も今は亡い。

大隈講堂を描いたはがき等数々ある。1953



筆者が描いた記念絵葉書



Google の画像で確認すると 62 度の角度で銅像に向いている



大隈講堂を描いた記念絵葉書より

年早稲田祭参加第4回早大切手展の記念絵葉書は大隈講堂のペン画（恥ずかしながら黒川画く）1957年10月、切手研特製・早稲田祭記念マンガ絵はがき第1号の横山隆一画伯の「フクちゃん」には大隈講堂が背景、このほか加藤芳郎「まっぴら君」（1960）トシコ・ムトー「小さな恋人」（1961）根本進「クリちゃん」（1963）などが大隈講堂を背景にしている。

また官葉では1986年10月祝第33回早稲田祭のテーマで新宿北郵便局発行の官製はがき



1986年早稲田祭官製はがき
新宿北局発行

また郵便局の風景印には、新宿北、早稲田大学前、新宿馬場下の各局に採用されている。

集配局の新宿北局の平成22年10月15日に使用開始された風景印は、藪野健名誉教授のデザインによるもの、それまでの風景印は図柄がおかしい（例えば北局集配エリア外の図柄な

5種類ある。その1枚に大隈講堂が画かれている。なおほかには演劇博物館、本部1号館、都電早稲田停留所、国電（JR）高田馬場駅前が画かれている。

大隈講堂は早稲田のシンボルだけあって、例えば進学塾の新聞折込広告などに写真が載っている。

また郵便局の風景印



大隈講堂が描かれた
現在使用中の風景印
左 ふるさと切手
『大隈講堂』発行記念
小型印

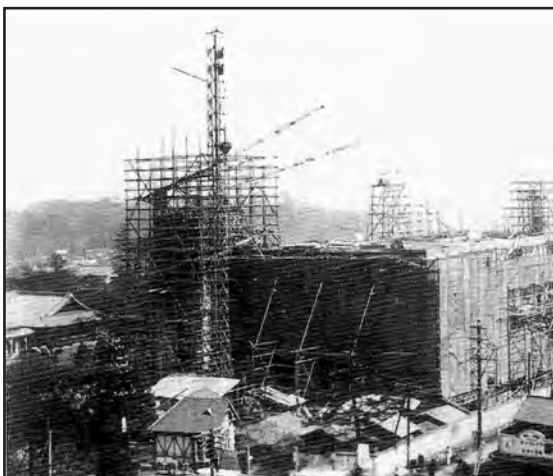
ど）またスタンプそのものの劣化が激しいなどの理由で、図案改定を稲門フィラテリーが提案し改定された。

長年の悲願であった大隈講堂の切手（原画藪野名誉教授）が2001年10月19日に発行された。郵政事業庁（当時）の発表文に「大隈講堂は（中略）昭和2年建造当時の面影を色濃く残しています。（中略）デザインは秋の青空の下に、そのそそり建つ大隈講堂と時計塔を、油絵の重厚感あふれる画風で画いています」とある。

この画の時計塔の針は1時25分をさしている。大隈重信が「人生125年説」に由来の講堂の高さを125尺にしたのはよく知られていること、藪野名誉教授は当時の奥島総長と相談の上1時25分にしたそう。（この経緯などは稲フィラ会報41号で磯野昭彦氏が詳しく書いている。）

大隈講堂は正式には「早稲田大学大隈記念講堂」また学内では「早稲田大学21号館」と表記される。

設計者は理工学部建築学科の佐藤功一教授、佐藤武夫教授（音響工学）構造設計者は内藤多伸教授（構造学、東京タワーの設計者）施工は戸田組（現戸田建設）構造形式は鉄骨鉄筋コンクリート、建築面積は1225.9㎡、地下1階、地上3階、高さ125尺（約38m）着工1926年（大正15年）2月11日、竣工1927年（昭和2年）10月20日で今年で米寿を迎える。この講堂は「演劇にも使える講堂」として、傾斜した客席、拡声器を使わずにすむ音響設計



* 建設中の大隈講堂



* 大隈講堂の竣工を祝う正門前商店街



* 開館式 1927年10月20日 作品として、高い価値がある。そして佐藤功一教授の代表作といわれている。因みに建築費は公募の寄付金(200万円)で賄われた。

2006年、創立125年(2007.10.21)の記念事業に向けて外観はほとんど変えずに外壁と内部を改装、多機能型文化ホールとしてのリニューアル工事を行い、2007年9月に終了した。

講堂内部は1階637席、2階484席、地下



* アメリカから運ばれた鐘の搬入



* 講堂の天井は太陽系を模した採光窓を
中心に大宇宙を表現

の小講堂300席、天井は宇宙を表現した楕円形の採光窓がある。太陽と月と9つの星をあしらった太陽系を表し、講堂の内と外との「世界の融和」を象徴している。外壁のタイルは約19万枚で、信楽風の手作りの焼き物である。塔上の鐘は、日本初の大小4つの鐘でウエストミンスター宮殿と同じハーモニーを奏でる。

1999年に東京都選定歴史的建造物に選定され、また2007年12月4日、国の重要文化財(建造物)に指定された。

講堂は大学主催の行事、講演会等のほか学生サークル主催のイベント、毎年10月に開催されるOB、OGの祭典「稲門祭」、そして付属、系属校の入学式、卒業式などに利用されている。

ここで講演を行った外国の首脳たちは、アメリカのロバート・ケネディ司法長官、ビル・クリントン大統領・中国の江沢民主席・胡錦濤主席などである。

ある慶応OBが「早稲田には大隈講堂があって羨ましい、慶応にはあのような大きい講堂がない」とぼやいていた。

門がない大学、そんな開かれた大学、内館氏が言うように「言葉を持っている」大隈講堂が厳として多くの学生、OB、OGを見守ってくれていることに限りない愛着と誇りを持とう。

この一文を稿するにあたって、磯野昭彦会長に一方ならぬご協力を頂いたことに深く感謝する次第である。

.....
*の説明付写真は PICTORIAL HISTORY OF WASEDA UNIVERSITY
WASEDA 125 1882-2007 より

大隈講堂でオペラを

渡辺 勝正 会員の監修でオペラ

『杉原千畝・人道の桜』

が 5 月のリトアニア公演を終わり凱旋公演されます。

7 月 26 日 (日)、場所は「大隈講堂」です。

当 56 号掲載の黒川会員の文章で大隈講堂の知識を深め、大隈講堂への思いを新たにされた方もおられるのではないのでしょうか。このオペラを機会に、大隈講堂を再認識し、その思いを更に深めて頂ければと思います。



リトアニア凱旋帰国公演

オペラ 杉原千畝・人道の桜



杉原千畝 (1900~1986)

「命のビザ発給」から75年目にあたる今年、創作オペラ「杉原千畝・人道の桜」が、杉原の母校・早稲田大学の大隈講堂で上演される。

在野精神を貫いた杉原を称えるオペラ「人道の桜」は、杉原と亡きユダヤ人への鎮魂歌曲であり、生けるものへの応援歌である。



リトアニア杉原千畝桜公園の桜

私のしたことは外交官として間違ったことだったかもしれないが、私には頼ってきた何千人もの人を見殺しにすることはできなかった。大したことをしたわけではない。当然のことをしただけです。

杉原千畝



早稲田大学構内の杉原顕彰碑 (14号館側)



カウナス日本領事館前のユダヤ人

総指揮・作曲 = 安藤由布樹 脚本・演出 = 新南田ゆり 監修 = 渡辺勝正
 出演・杉原千畝 = 女屋哲郎 幸子夫人 = 新南田ゆり 下宿屋の女主人はる = 赤澤 舞
 ユダヤ人サラ = 鈴木理恵子 ユダヤ人ニシュリ = 草刈伸明 合唱 = 人道の桜合唱団
 * 特別ゲスト = リトアニア 少女合唱団ウグネーレ

日時 2015年7月26日 (日) 15時開場 16時開演 (18時終演予定)

会場 早稲田大学・大隈講堂

入場無料 (先着1000名)

主催・杉原千畝研究会 協力・早稲田大学
 杉原千畝関連図書及びプログラム、DVD等、会場にて販売

お問い合わせ 杉原千畝研究会 (大正出版) TEL. 03-3374-3321

臭活の終活

小川 義博

私には切手の他に興味を持つものがある。40 年程前、まだ和式便器が主流の頃、工作上、障害児にやさしいトイレを考えていて、なんとトイレ、厠について知識、資料を持たないことを痛感させられた。そこで、厠の資料を臭集しだした。そのうち、資料を自宅の厠のカレンダー用に利用することを始めた。うんちく厠カレンダーと称して身近な方に使用をお願いし、ひんしゅく厠カレンダーと評されながら 20 年近く続けてきた。受け取りを渋る方もいれば、年末に催促くださる方も増え、切手収活よりも臭活が主になってしまった。しかし、体調も考慮しこの臭活を終了することにした。多くの稲フィラ会員にご迷惑をおかけしたお詫びと、永年、励まし、資料収集に協力していただいたことに感謝、臭活の内輪話とその終活内容をお伝えしたく、キーボードに向かった。



ひんしゅくカレンダーの一例

厠関係の資料収集はやはり書籍から始まった。40 年前、今のようにトイレが話題になることは少なく厠を研究する人も少なかった。国学院大学李家正文教授の書籍が一般書の草分け的存在で、その後多くの書籍に引用されている。神保町を散策しては、探したが多くは見つからず苦労した。そのうち、すずらん通りの三省堂の向かいに小さなキントト書房なる古書店に巡り合った。横歩きでないと動けない狭い店内には他の店では見向きもされないような書籍が集

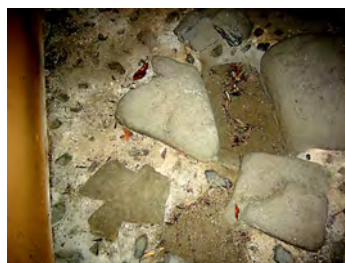
められていて多くの資料を得られた。そのうち、新刊本も多く発行されるようになった。特に、衛生陶器メーカーの出版した書籍には興味深い本が多く見られた。TOTO、INAX の出版書籍である。これら厠関係の新刊本等を集めてくれた書店を見つけ、そこで洋書も手に入れられ、知識が大きく広がった。京橋にあった INAX のショールーム内の書店である。いつの間にか我が厠の書棚は香り高い書籍で埋まっていった。このように文字情報から知識を膨らませてたことが厠カレンダーの製作になり、カレンダーに必要な印刷に耐える視覚情報の収集に力が入る結果となり、友人、知人、そして稲フィラの皆様に厚かましくも協力をお願いすることになった。

視覚情報の写真を厠の名所を巡って撮ることが始まった。目黒の雅叙園、横浜三溪園、川越本丸御殿、有名ホテル等をめぐった。それでも変質者的外観、何度か質問をされることもあった。京都の思い出は忘れられないこと



松琴亭の待合所の外腰掛

が多い。桂離宮を訪れた時、付き添いの衛視の目を盗み、松琴亭の待合所の外腰掛脇の砂雪隠の木戸のかけ金具を外して、雪隠内部を撮影したことである。石組みにあった枯れ葉が風情を増していた様に感じた。



外腰掛の脇の砂雪隠

別の京都行、京都博物館の蒔絵展で偶然ベルサイユ博物館に残る豪華なトイレボックスを目にした時、その香が呼んでくれたかという思いであった。その折り、東福寺の東司を撮り、たまたま東寺の骨董市に遭遇。そこで美しき染付便器発見（朝顔）、配送料込みで約 10 万円。これをぜひ厠オタクの我が玄関の傘立てにという強い思いが

生じた。同伴していた妻の拒絶反応がなければ今頃、来訪者のヒンシュクを買っていただろう。今でもこれには未練が残る。染付には思い出がもう一つある。美しき染付便器の万華鏡に始まる美しい便器の展覧会である。常滑市にある INAX のタイル博物館の特別展の展示である。日頃は日陰者が美しく、所狭しと飾られ、輝いていた光景は忘れられない。



未練が残る類似品

自分の写真だけではとても十分でないので、書籍、TV、インターネットから見つけていった。ある程度廁の知識を持っていると見過ごしてしまう場面に廁関係の事柄を見つけられる。シェークスピア時代の映画で階上から黄金色の液体が降り注ぐ場面がある。ほんの一瞬である。これは、"頭上に注意!!" の声とともにおまる（チャンバーポット）を空にしているのである。

また、アガサ・クリスティー作、20 世紀初頭に活躍するベルギー南部フランス語圏（ワロン地方）出身エルキュール・ポアロの映画にポ



映画「恋に落ちたシェイクスピア」の一画面
通りを歩くと頭上から・・頭上に注意！・・



名探偵ポアロ「ヒッコリーロードの画面」
起床後 洗面台とビデを間違えたか・・

アロの自宅に宿泊した英国人相棒が朝、ビデで洗顔する画面が数秒流れる。ビデは英国では一般的なものでなかったことを教えてくれる。このように TV を見ていると、なんとなく廁が放送されるのを感じ、録画セットをして、画面キャプチャーしてるから不思議である。更に最近、新しい製品、話題性のある便器、トイレなどを知る上で、ネット検索は欠かせないが、数時間で消されるちょっと危ないサイトに紛れ込んでしまう危険を感じている。

このように資料収集に苦労している中、励みになったのが、友人知人からの情報、資料の提供である。稲フィラにも援助いただいた方が多く、マダガスカル、ウェールズ、トルコ等のトイレ画像を、小林、池山、宮鍋会員等からいただいた。故人となった野球の市川会員の思い出も強い。ドイツアウトバーンでの広告付き便器の情報をいただき、明治村への稲フィラ旅行の折には勝手知ったる地元、隠れた廁を案内いただいた。稲フィラ 29 号 18P の明治村に残る幸田露伴の旧宅「蝸牛庵」の廁写真にその思い出を元気な姿に映した。また、稲フィラ 26 号に切手を愛した「一鉄鋼マンの軌跡」を執筆された故田中会員。編集のやり取りの MAIL の中で廁カレンダーをいただいてもらえることになり、お送りした。そのカレンダーを資料に奥様が横浜外人クラブで話題提供して非常に好評を得て高い評価をいただいたお礼に、良き香を放つ高級菓子折をいただき恐縮したありがたき経験もした。

切手を交換してきた海外の友人からの資料も貴重であった。Amazon.com UK の検索では引っかけられない英国地方出版社に廁のようなテーマの出版物が多く発行されていることを知り、改めて英国の文化度を考えさせられた。



反対もある、日本でペットの落し物の扱いが問題になっていた頃、dropping という単語が多く記された手紙が届いた。語学力の無さ、この意味が正に鳥獣の落し物であることに気がつくのに時間を要した。街路のペッ

Amazon.com UK になく、友人送付英国地方出版本



道端に置かれたペット用
汚物収納袋提供ポスト



「良い飼い主で幸せ」と
書かれたペット用
汚物収納袋

トの落し物対策に悩んで、日本ではどうしているかという問いかけであった。こちらの飼い主の責任による解決策を伝えても理解を得ることはできず、当時、街角に見られた標語の書かれたプレートの写真を送る必要があった。パリあたりではペットクリーナーを装備したオートバイを巡回せねばならないほど落し物状況がひどいとは知っていたが、オーストリアも同じ状況かと驚かされた。その頃、フランス在住の姪から上のような写真が送られてきた。行政サービスがここまで必要な社会の存在を再認識した。

10 年程前、自分のように表面的で軽薄な興味で厠に向かっているのではなく、真剣に後進国の環境衛生問題、災害時の排泄物処理、エコトイレ等を考えている方々の存在を知り、参加する機会を持った。早大探検部 OB が活動している日本トイレ協会と日本下水文化研究会という団体である。後援会への参加、機関誌の購読等であった。そんな中でトイレを持たない人々が 30 億人も劣悪な衛生環境での生活を強いられ、大理石の豪華な地下鉄でもトイレを設置しない国、汲み取り式の次が水洗式で浄化槽の技術を持ち合わせないで衛生環境が改善しない国々、

乾燥地域に水洗式を普及する先進国を知ることが出来た。また、低開発国の都市部のスラムで下水の普及に尽力している方、排泄物の有効活用を研究する糞土師の方の活躍を見聞するにつけ、自己嫌悪的気分になってきた。

その頃から、足回りが自由でなくなっ

たこともあり、切手収集と同じく終了としようかと考えていた。最後の今年のひんしゅく暦を手にしたこれら会の方から、この暦は資料としてユニークなので使用後も保存しているという話をいただいた。更に、週刊文春で始まった連載記事に情報の一部を提供したら、下記のようなトイレ探検隊員に任じられた。しかも隊員番号があこがれの 48 である。

ブタもおだてりゃ木に登るの例え、我が PC・HD に溜っていた資料を汲み取り、まとめてもいいのではと考えてしまった。暦部分を除き、編集し直し 200 ページを自宅で印刷、製本してみたが気に入らず、印刷屋に持ち込んでしまい、販売を考えない自費出版？してしまった。

この出版過程で 2 つのことを勉強した。1 つは印刷費用より、編集費用が馬鹿にならないことである。この点、稲フィラの編集幹事をさせていただき多少編集作業を憶えたことで助かった。高画質 PDF File だけを印刷屋に持ち込めたことである。2 つ目は、こんなに値段が違っていいものかと呆れるぐらい業者によって異なったことだ。ネットで 10 社程度当たったが、出来はわからぬが 3 倍以上も費用が異なっていた。

あと残った終活は、これも切手と同じ、集めた資料の扱いである。300 冊近い良き香を放つ書籍と約 3000 になっている DATABASE 化してある電子画像 File である。これは前述したどちらかの団体に取捨選択いただき、処分をお願いできそうである。



週刊文春

トイレ探検隊員証

自費出版本「厠うんちく暦臭 流れ消えた香と歳月」
気がかりは国会図書館の書庫で周囲の本から
ひんしゅくを買っていないかということ



日本下水文化研究会誌

大隈講堂切手の郵便局販売が終了 —卒業式当日の臨時出張所販売が最後—

早稲田大学大隈講堂切手が平成 13 年 10 月 19 日に発行された。この切手の人気は凄いもので、5、6 回も増刷された。しかし、消費税増税に伴う額面変更ができないこともあって、昨年平成 26 年夏日本郵便東京支社は販売中止を決定した。販売は平成 27 年 3 月までとなった。

毎年、早稲田大学ではホームカミングデーや卒業式の日に郵便局臨時出張所を開設し大隈講堂切手を好評販売してきた。平成 27 年 3 月 25、26 日卒業式当日も臨時出張所が開設された。この日が大学構内での郵便局臨時出張所による大隈講堂切手販売の最終日となった。

26 日は、大学構内での郵便局臨時出張所による大隈講堂切手販売の最終日となり、早稲田大学前郵便局長や新宿小滝橋郵便局長などが、朝早くから 1 号館横に設けられた臨時出張所前で、来校者に声をかけ、着飾った卒業生



大隈講堂切手を卒業生に紹介

も多く買い求めていた。当日午後には大隈講堂切手完売となったためか臨時出張所は閉鎖されていた。

(記 磯野)

稲門フィラテリー 送付先機関と登録状況

会報「稲門フィラテリー」は毎号、下記の 6 機関に送付しています。これら機関で稲門フィラテリーがどのように登録され、利用者に案内されているかをネットで調べてみました。

印刷博物館ライブラリー (トッパン)、通信総合博物館図書資料 (郵政博物館?)、早稲田大学大学史資料センター、切手の博物館、早稲田大学図書館、切手文化博物館 (神戸) の中で図書室を確認できるのは大学図書館、切手の博物館、印刷博物館です。切手の博物館は開架図書 PDF から自分で探す。大学図書館は会報名を入力検索で配架場所までの確認で終了。

驚いたのが印刷博物館です。会報名入力で、送付した 37 号～55 号までが表紙の記事名と共に表示、号をクリックすると全記事名、執筆者名が表示される。更に、氏名入力で執筆頂いた号がすべて表記されます。

また、「切手」で検索すると他の図書館にない、印刷、デザイン、インク業界紙など普段目に出来ない印刷物に載った切手の記事を知ることが出来ます。非常に貴重な検索システムを持つ図書室です。ぜひ、一度下記をクリックしてみてください。丁寧な記録と扱いには感謝したくなると思います。

<http://www.libblabo.jp/toppan/AllSch.htm>

印刷博物館 ライブラリー

(編集子)

早稲田大学正門の階段が消えた！！ ——スロープ化される——

早稲田大学正門といえば、左右に伸びる 7 段 (昔の写真では 8 段) の階段を誰もが思い浮かべる。平成 27 年 3 月 26 日卒業式に行ってみて驚いた。みごこの階段がなくなり、スロープ化されていた。昨年 11 月から数か月かけてスロープ化工事がされたという。その左側に

あった車両用通用門はそのまま残されていた。

このスロープの高い位置には、毎年生協や校友会や郵便局臨時出張所などのテントが開設されているが、今年は傾斜があるため販売作業がやりにくそうだった。

(記 磯野)



1935 年 9 月完成時の門扉のない正門

PICTORIAL HISTORY OF WASEDA UNIVERSITY
WASEDA 125 1882-2007 P59 より



2015 年 3 月卒業式当日の正門

大学闘争で設置された門扉は設置継続 編集子

会費納入のお願い

年会費（年¥2000.）27年度分（26.10.1～27.9.30）未納の方は下記口座にお振込みください。

郵便振替払込

00110 = 0 = 560458 稲門フィラテリー

尚、26年度分未納の方、あわせて納入してください。 会計

関東郵趣連盟 2014 年度総会出席報告

1. 開催日、場所 2015 年 3 月 14 日
曳舟文化センター
2. 出席者：日本郵便株式会社関東支社
加盟団体（56 名予定）
稲門フィラテリー（磯野出席）
3. 議事
 - ① 来賓挨拶 日本郵便株式会社関東支社
 - ② 関東郵連昨年度活動・会計報告と次年度計画
 - ③ 関東郵趣連盟表彰 4 名
 - ④ 第 1 回郵便制度史展案内 平成 27 年 4 月 10～12 日 切手の博物館
4. 交流会：1 リーフ展、チャリティーオークション、盆回し、など（記 磯野）

幹事会報告

3月7日

- 1 各種稲門会合同会議
稲フィラの対応方針 積極活動はしないが、稲フィラの存在を訴える努力はすべき
- 2 切手教室予定について 4 月、講師 池内昇氏 演題「身近で見られる蝶」6 月、講師 福元勝治氏 演題「貝の切手と消印」

編集後記

「天照大神の切手が出るよ」。「図案は？」。「黒一色らしい」。「ナニッ？」。「真っ暗闇の天岩戸の中だからだそう」。「エーッ！」。「愛称も決まっているらしいよ。ペニー・ブラックに対抗して（テンテル・ブラック）だって」。5 月の心地よい風の中の午睡で、こんな夢を見ました。最近、天照大神を、「テンテルダイジン」と読む学生がいるそうです。稲フィラの読者の中には????????? 当号の掲載記事で復習しましょう。

3 新宿北郵便局常設展について

テーマは「新デザイン切手」

展示の効果か新宿北郵便局では旧普通低額切手は売り切れ。 次回は、「ボーイスカウト切手」を予定。（7 月に山口市で第 23 回世界スカウトジャンボリーが開催）

4月4日

1. 関東郵趣連盟総会について
2. 墨東郵趣連合 27 年春の集い 5 月 5 日
3. 慶応郵趣会の会報 入学式に記念カバーを作成・販売する記事あり
4. 稲門フィラテリー 15 周年記念はがきを作成、会員に配布提案 未決定
- 5 通信博物館について 通信博物館資料センター、市川市の行徳郵便局舎に移転し、名称は「郵政博物館」に変更された。

★稲門フィラテリー常設展

新宿北郵便局

第 30 回

平成 27 年 3 月 7 日～6 月上旬

新デザインになった普通切手 12 種

第 31 回

平成 27 年 6 月 6 日～9 月上旬

ボーイスカウト切手

★切手教室

新宿北郵便局

第 114 回 4 月 4 日

身近で見られる蝶

池内 昇（外部講師）

第 115 回 6 月 6 日

貝の切手と郵便印

福本 勝治（外部講師）

発行日：2015 年 6 月 1 日

発行：稲門フィラテリー

発行人：磯野 昭彦

〒150-0002

渋谷区渋谷 1-11-3 正栄ビル 4 階

（株）英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：吉澤 忠一 青柳 次男

小川 義博

稲門フィラテリー

第 57 号

2015 年 9 月 1 日発行

FEPA(欧州郵趣連盟) LONDON2015 参観記

和田 文明

5 月 14 日から 22 日まで、FEPA(欧州郵趣連盟) 認定の欧州国際切手展 LONDON2015(図 1)(図 2) の参観を兼ねて、ロンドン、ローマ、パリを仕事の取材で廻って来ました。アジアやオセアニア、アメリカで開催された国際切手展は幾度となく参観してきましたのですが、フィラテリーの本場である欧州の国際切手展を参観するのは今回が初めてです。FIP(Fédération Internationale de Philatélie、国際郵趣連盟)傘下の大陸連盟には、1968 年に設立された FIAF(アメリカ郵趣連盟) と 1974 年に設立された FIAP(アジア郵趣連盟)、1989 年に設立された FEPA(欧州郵趣連盟) があります。今回は FEPA(欧州郵趣連盟) 認定の欧州国際切手展なので、FIAP(アジア郵趣連盟) に属する日本のコレクターである私は出品することができませんでしたが、自分のメダルを気にすることなく、欧州の優れたコレクションをじっくりと見

表 1 ロンドンで開催された国際切手

ペニーブラック発行 1840 年

	切手展	開催年	
第 1 回	London 1890	1890 年	50 周年記念展
第 2 回	London 1897	1897 年	
第 3 回	London 1906	1906 年	
第 4 回	Jubilee International 1912	1912 年	
第 5 回	London 1923	1923 年	
第 6 回	APEX Air Post, 1934	1934 年	
第 7 回	Stamp Centenary, 1940	1940 年	100 周年記念展
第 8 回	London 1950	1950 年	110 周年
第 9 回	London 1960	1960 年	120 周年
第 10 回	PHILYMPIA 1970	1970 年	130 周年
第 11 回	LONDON 1980	1980 年	140 周年
第 12 回	Stamp World London 90	1990 年	150 周年記念展
第 13 回	Stamp Show 2000	2000 年	160 周年
第 14 回	LONDON 2010	2010 年	170 周年
第 15 回	LONDON 2015 EUROPHILEX	2015 年	175 周年記念展



図 1 LONDON2015



図 2 LONDON2015 の会場である
ビジネスデザインセンターの入口

ることができました。

表 1 のように、1890 年以来、ロンドンでは今回の切手展を含め 15 回もの国際切手展が開催されています。1890 年の第 1 回 LONDON

展は 1840 年にイギリスで世界最初の切手“ペニーブラック”が発行されて 50 年を記念する切手展として開催されています。第 2 次大戦中の 1940 年には、“ペニーブラック”が発行されて 100 年を記念する切手展をヒットラーの空襲の中、開催しています。その後、FIP の認定を受けた国際切手展を 10 年毎に開催しています。今回の国際展は、1840 年にイギリスで世界最初の切手“ペニーブラック”が発行されて 175 年を記念する切手展で、FIP の認定



図3 “ペニーブラック” no

ではなく後援で、FEPA(欧州郵趣連盟) 認定の規模の小さい欧州国際切手展として開催されています。会場は、ビジネスデザインセンターで会期はFIP国際展より短い5月13日(火)から16日(土)までの4日間開催されています。LONDON2015はFEPA(欧州郵趣連盟) 認定の欧州国際切手展で、1,600フレームの競争展示と20フレーム特別展示で、2000フレームを超えるFIP認定の国際切手に比べると規模は大きくありませんでしたが、ヨーロッパのトラディショナルや郵便史を中心に展示コレクションの質は極めて高く、遠く日本から参観した甲斐があり、満足しております。文献部門は活発で、123点もの出品が行われ、別途専門の展示会カタログ(図4)も用意されていました。ディラブースもイギリスのギボンズなど120もの切手商などが軒を並べていました。入場料は原則無料なのですが、5月13日の開催初日のみ10ポンド(約1,800円)を徴収してしまし

た。一種の入場制限かと思われます。

LONDON2015では、興ざめな空きフレームは私が知る限りなく、この点でも感心させられました。切手展目録(図4)は、アジア展でよくあるよう

に開催日に間に合わなかったり、作成できても一般に提供されないなどということはなく、LONDON展ではきちんと開催に合わせて準備され、5ポンド(約950円)で販売されていました。目録とは別に、文献目録(図5)や20フレームの特別展示カタログ、商業誌の“STAMP & COIN MART”のLONDON展特集号が無料で配布されていました。会場横にはヒルトンホテルがあり、昼食や休憩に利用しました。

LONDON展では、イギリスのロンドンロイヤルフィラテリックソサエティや2016年アメリカで開催されるFIP国際切手展New York 2016、英国郵便博物館、FEPA(欧州郵趣連盟)などのブースが設けられていました。ロンドンロイヤルフィラテリックソサエティでは会報、FIP国際切手展New York 2016のブースでは記念シールやブリテン、FEPAでは各種パンフレットその他、FEPAの会報(直近3冊)、2017年5月にフィンランドで開催されるFIP国際切手展“フィンランディア2017”のブリ

テンやパンフレットなどを頂いて来ました。私の国際切手展の参観の楽しみの一つがこうした郵趣関連団体が無料で参観者に提供してくれる機関誌やパンフレットの類を貰うことで、今回のLONDON展でも大量の機関誌やパンフレットを頂きました。その後の仕事の取材先であるローマやパリに持って行くのはしんどいので、会場近くの郵便局(ロイヤルポスト)から自宅に送る羽目になりました。沢山のオークションカタログ



図4 LONDON 展目録

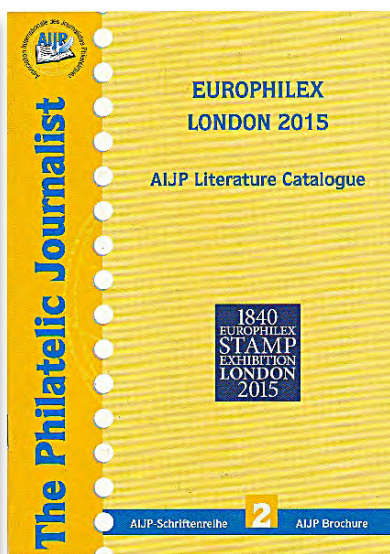


図5 LONDON 展の文献目録



図6 マーチン切手のエリザベス女王のレリーフ



図7 “ペニーブラック”と切手商のSPINKのカラーリング広告がほどこされたロンドンタクシー（会場入り口で撮影）

も無料で提供されていましたが、重量も重く頂くのをお断念したのは残念でした。

LONDON2015では、名門の郵趣クラブである“モンテカルロクラブ”(Club de Monte-Carlo)のメンバーによる20のフレームやディスプレイにより、1839年に作成されたペニーブラックのエッセイや1840年5月6日に差出された最初期使用の郵便封皮のマルレディカバー、1840年5月15日にアメリカ宛に差出された最初期の外国向けのペニーブラックとブルーペンスの混貼りカバー、1911年2月18日の世界初の航空カバーなどの珍品や名品、歴史的資料の特別展示が専用の展示ルームで行われていました。こうした名品コレクションの展示内容は、無料の目録(全40ページ)(図8)にその全てが詳しい説明付きでオールカラーで収録されていて、来場者に配布されていました。この目録を5部程頂き、帰国後知

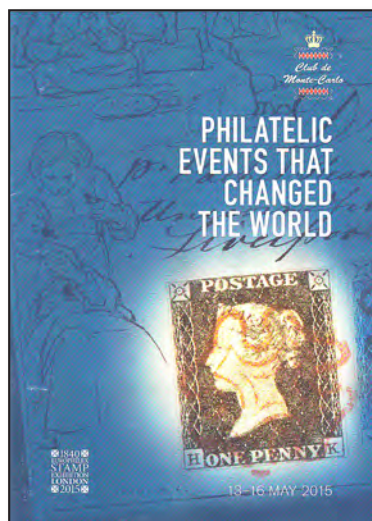


図8 モンテカルロクラブ特別展示目録



図9 1847年発行のモーリシャス POST OFFICE のプリンティングプレート

人に進呈しました。この目録は、私にとってもLONDON2015 参観の良い記念品となりました。また、この特別展示は、LONDON2015のHPでも見ることができます。

この他に、LONDON2015ではアメリカの南北戦争期の郵便史のコレクション“Confederate Stamp Alliance”の特別展示が、特別スペースにおいて40フレームで行われていました。スティブン・ロス氏の「水路と南軍のメール」など有名な南北戦争の郵便史コレクションが含まれていました。また、LONDON2015の主催者と大英図書館、ロイヤル郵趣協会などが協力し、発行から80年後に再発見された1847年発行のモーリシャス POST OFFICE のプリンティングプレート(図9)の特別展示も行われていました。



図 10 GRAND PRIX D' ドヌール (Best in Show) を受賞した郵便史コレクション

PALMARES

LONDON2015 の審査結果は、グランプリ・ド・ヌール (Best in Show) は、イギリスのジェームズ・ピーター・ゴフ氏の郵便史コレクション “The UPU and Its Impact on Global Postal Services” (図 10) が獲得しました。グランプリ・ナショナルは、イギリスのアラン・ホリオーク氏の “Secured Delivery Leading to the Introduction of UK Registration of Internal, External and Transit Mail 1450-1852” の壮大なイギリス郵便史のコレクションです。GRAND PRIX D' ドヌールと GRAND PRIX NATIONAL の何れもが郵便史のコレクションでした。

欧州国際切手展である LONDON2015 にはアジア関連の作品は少なかったのですが、フ



図 11 朝鮮半島の郵便史コレクション

ランスの Chou Ming Fu 氏の満州国やフランスの Bernard Lochon 氏の日露戦争の軍事郵便史の優れた郵便史コレクション (図 11) が出品されていました。また、私がかねてから注目し、そのコレクション集 (本) も購入していましたイギリスのモータンのコレクションで今回も大金賞を獲得しているイギリスのトニー・ウォーカー氏のマーチン切手の 8 フレームの専門コレクション “The Pre Decimal Machin Definitives of GB” (図 12) を、実物のコレクションをまじかにじっくり拝見することができました。



図 12 “The Pre Decimal Machin Definitives of GB”



図 13 展示会場



図 14 展示会場にて

夜景シリーズ切手の発行

今年も郵便会社は新たに5つのシリーズ切手を発行するという。ばかばかしいが年間のシリーズ切手を数えてみたら、なんと16シリーズもあります。新シリーズの中に夜景シリーズというものが発行されます。以前から日本切手に夜景切手が多い気がしていたのでシリーズ発行の前に夜景切手を整理、検討しました。

まず、夜景切手の定義が難しいので夜を思わせる切手を集めると約130種が拾えました(アニメ、メルヘン調切手等除外)。その内容を整理すると建造物等のライトアップ、花火、祭、パノラマ、電飾等の順に切手に描かれ、人の手が加わった夜景がほとんどで、演出されてない夜景、自然光だけの夜景を感じさせるものはあまり無いようです。

切手の種類で見ると、夜景が観光誘致で意図されているので、当然のことながらふるさと切手に多く、5%を夜景の切手が占めました。発行別では地方自治法施行60周年の新潟県の5分の3(以降3/5の様に表記)、旅の思い出シリーズ長崎県の4/10、観光スポットが豊富な東京、京都でさえ、4/20、3/10が夜景であり、如何に夜景が観光、地域PRに重視されているかを感じました。さすがに記念切手には少ない



函館港夜景

が夜景の目立つ発行があります。日本開港150周年記念切手です。26種発行されているうち12種が夜景です。函館は5/8、長崎



左 東京タワー 浅草寺 兼六園
ライトアップ規模 大 中 小



大曲花火



能登キリコ祭り



神戸ナリエ

は4/8と夜景の港と納得。これらの切手と大いに関連するのが水面です。夜景切手の30%近くの切手に光の反射効果を入れた水面が描かれています。特に、パノラマ、ライトアップに多く描かれています。また、夜景切手に占める祭の存在は無視できません。全体で約120種の祭切手のうち36種は夜の情景であり、更にふるさと祭シリーズ53種では21種が祭の夜景でした。



ライトアップと水面
長崎 眼鏡橋



花火と提燈
秩父夜祭

夜景切手の中に注意される切手が2種類ありました。その一つは意図された光のない・少ない夜景を描いたもので、雪夜の静けさ、夏の川床での涼しさを感じさせる切手です。二つ目は発する光のない夜景を描いたもので、月夜の静けさ、夜の森の静寂さを感じさせる切手です。この他、有名画家の作品、光る生物などが夜を思わせる切手になっていますが少ない様です。



雪夜の静けさ 川床の涼しさ 月夜を感じる 森にコバケの声
世界遺産s 旅の風景s 琵琶湖の夜 鳳来寺山の夜

新シリーズに祭り、港パノラマ夜景等、二番、三番煎じで食傷気味の夜景でない新たな切り口の夜景切手を期待するのは無理でしょうか。

例えば、光る生物が描かれた生活情景、夜を描いたすぐれた絵画、夜に演じられている芸能、夜間の交通手段等、新たな切り口での夜景切手を僥越とお叱りを受けるのを覚悟し考えてみました。



ホタル、ウミホタル、クラゲ、キノコ、ヒカリゴケの風景、静かな夜を描いた絵画、薪能、農民歌舞伎、夜間の産業現場、そして月夜の棚田風景、投光する灯台などを期待するのは？



こんな切手は・・・

(編集子)

スペイン、EA（エア）村 滞在記

鳥谷越 明子

再びスペイン

6月半ばから2週間、再びスペインを訪れた。8年前に「バックパッカー二人旅」で、司馬遼太郎の「南蛮の道」をご一緒に辿った温子（ながこ）さんを訪ねる旅だった。

8年の間に温子さんの生活も大分変わった。8年前はスペイン北部のゲルニカで日本料理のタベルナ（食堂）を開く傍ら、そこからバスで3－40分のビスケー湾を見渡す絶景の丘陵地に3000坪の土地を購入し、長年夢だった日本野菜を中心とした農業をぼつぼつ始められた頃だった。4－5年経つと農園での野菜や花作りがメインとなり、2足のワラジの片方、タベルナを断念せざるを得なくなった。3年前には、農業に専念するため、住居もゲルニカから農園に近いEA（エア）村に移られた。8年前、まだ原っぱ同然だった丘陵地が立派な「サクラ農園」に変身した様子、で

きれば農園で少しお手伝いをしながら、EA村での温子さんの新しい生活を拝見し、かつ年一度のサンファン祭りを見物するのが今回の旅の目的だった。

EA村

EA村はスペインバスク地方、ゲルニカからバスで1時間、人口僅か800人の村である。ビスケー湾に注ぐ美しい入り江と山々



ビスケー湾へ続く美しい入り江

村のシンボル ローマ橋

に囲まれた石造りの村で、村を分ける川には古代ローマ橋や、古い教会のある典型的なプエブロ（村）である。EAの他、ナチチュア、ベダロナの美しい丘陵地の3区域からなるEA村はアグロツーリズムと言われる観光と農業を一体化させていて、新しい建築物には規制が厳しい一方農業への支援は大きいそうだ。とはいえ、800人の中の労働人口の殆どはゲルニカや大都市ビルバオで職をえているよ

うだ。

カタルーニャ地方と同様、独立色の濃いバスク地方はパイソバスコと呼ばれ、独自の言語や文化も健在だ。サッカー王国スペインであるが、バスク人はスペイン代表チームのレアルマドリッドは大嫌い。しかし、バスク人だけで構成し、しかも100年以上一部リーグの座を守る地元ビルバオアスレチックスは彼らが誇りとするチームだ。



小さな村に2週間の滞在中、
昼間見かけるのはフビラオと呼

ばれる定年退職者ばかり。反骨精神をアピールするフビラオは必ず黒いベレー帽をかぶっている。そのほかチョイワルオヤジ風のフビラオは昼間っから、バールでビノ（ワイン）を片手におしゃべり。道端の木陰のテーブルには少しおしゃべりした夫人同伴のフビラオたちが数組のんびりピンチョとビノである。同じテーブルを囲んで座る南米系の女性たち。彼女たちは一体何者？家族かしら。温子さんによれば、彼女たちはフビラオ老夫婦と同居する南米からのねえやさんだとか。年金でねえやさんを雇ってのんびり暮らせるスペインのフビラオ達って、やっぱり優雅だなあ。老夫婦たちは1-2時間すると、「エグノーン」とあいさつを交わしてシエスタのため立ち去った。

働き者、温子さん

ところで温子さんは彼らフビラオと同世代乍ら村一番の働き者である。

サクラ農園で1日中農作業に勤しむ温子さん。農園で作る日本野菜、クリカボチャ、枝豆、トウモロコシ、ナス、トマト、オクラ、大根、青梗菜、その他数々の花の種はすべて日本のタキイ種苗からのお取り寄せである。初めは馴染みの薄かった日本野菜も今で

初めての農作業開始。 足には地下足袋

は市場（メルカド）で大人気だそう。最近では鶏も7羽飼っている。自給自足とエコロジーを志す温子さんは畑でとれた大豆で豆腐や味噌を作ったり、へちまを育ててたわしまで作っている。温子さんを助けるのは同じく自給自足、エコロジーを志し、おまけに大の日本びいきのイケルさん一家だ。力仕事から農作業、草刈り、イノシシ除けの塀作り、豆腐作りもみんな彼の協力があつてこそ。

農閑期の温子さんとはいうと、日本料理教室を開いたり、折り紙教室で日本文化を紹介したり、日本語を教えたり、バスク語を習ったり、近くの幼稚園で「桃太郎」等の日本昔話をスペイン語でお話したりと大忙しである。最近ではイケルさんの奥さんのナイアラさんと一緒に日本の布草履作りに精を出している。靴生活のヨーロッパの人々には外反母趾を患う人が多く、部屋の中では是非この布草履をはいて足を休ませてほしい、とこれも立派な志である。村を歩けば「ナガコ、ナガコ」と呼び止められ、村の人達の信頼と尊敬を一身に受けていることが良く分かる。

初の農作業

さて、EA村到着の翌日、温子さん、同行の晴子さん、私の3人は早速ナチチュア地



鶏に餌をやる温子さん ノルマの卵、しっかり産んでね。

区にあるサクラ農園へ向けて出発。EA から、4つ目のサクラ農園のバス停まで、真っ青な海を見下ろしながら、緑の丘陵地の間を縫って絶景コースを走る。途中の幼稚園にはイケルさんの作った小さな鯉のぼりが風を受けて元気に泳いでいる。バス停を降りて目に入る巨大な2棟の温室。ペルゴラ（東屋）、農具小屋、イノシシ除けのフェンス、鶏小屋、野菜畑、花畑、ブルーベリーやイチゴ畑・・・「原っぱ」から「サクラ農園」への変身、成長ぶりに目を見張る。7羽の鶏が大喜びで羽をばたつかせて歓迎してくれた。

晴子さんは恵泉園芸科で鍛えたその道の



爽やかなバスクの風を受けながら花束作り

ベテラン。ド素人の私も、日本からお取り寄せの地下足袋をお借りしていざ出陣。温子さんの指導の下、枝豆、トウモロコシの育苗箱への種まき、カボチャの定植、すでに定植されたナス、トウモロコシ、枝豆、トマト、カボチャへの水やり、お花の手入れ、鶏のえさやりなどである。

種まき後の私の仕事は専ら畑の水やりと鶏のオヤツのカタツムリの収集である。湿った草原や畑の下に潜む害虫のカタツムリをかき集めて鶏に与えるのであ

る。金網の穴から放り込むと待ちかねた強い一羽が飛び上がってそれをゲット。くわえて駆け出すその一羽を6羽が一直線になって追うカタツムリレース。レースが何度も繰り返され、手元のカタツムリはあっという間に鶏のお腹の中へ。お腹のカタツムリは卵に変身、毎朝おいしいオムレツとなって私たちを楽しませてくれた。

花束作りと花売り「娘」

今回の大きな仕事は農具小屋一杯に吊り下げられたスターチスの花束作りだった。午前中の農作業が一通り終わると、ペルゴラで気持ち良い風に吹かれて持参のランチ。デザートはそばのブルーベリー畑から口いっぱいブルーベリーをほおぼる。ランチの後はバスクの青い空を見乍ら思い思いのデッキチェアでシエスタ。一休みの後は花束作りである。色とりどりのスターチスを見栄え良く組み合わせる。白とピンクを中心に、アクセントにちょっと青を加えて。去年は黄色一色の注文もあったわ、と温子さん。大きい花束は2ユーロ、小さめの花束は1ユーロ。3人とも自分好みの色合いの



ベルゴラでくつろぐ「はちみつ屋さん」
イナチオ（左）とイケルさん（右）

花束作りにすっかり夢中。気付けば帰りの夕方のバスの時刻だ。と言ってもまだ日は高く、午後8時でやっと夕方らしくなるスペインである。

こんな数日が続いた後、農具小屋には花束も大分たまってきたので、いよいよゲルニカのメルカードと温子さんの家の近くの路上で花束販売開始。路上の木陰の下にバスケットを広げその中に花束を並べると花束は光り輝くようだ。すぐに、「ナガコ、ナガコ、ケボニート！」と女性たちが集まり、花束はどんどん売れていく。ある夫人は広口の花器



路上での花束売り

を持ってきて、きれいに活けてほしいとの注文である。待ってました、とばかりに園芸科出身の晴子さん。見事に美しく花を活けて件の夫人は大喜びだった。

メルカード（市場）にトド現る

翌日はいよいよゲルニカのメルカード開催日。毎週月曜日、大きなドーム型の屋根の下に沢山の売り台が並べられ、近郊の農産物が続々と到着する。野菜、果物、花や野菜の苗、生花、チーズやはちみつ、衣料品、小物類等が所狭しと並べられる。温子さんは数年前

から長さ2メートルほどの売り台の許可を市からもらっている。

私たちは花束を抱えてメルカードに到着した。同業者にチラッと目をやると、ある、ある、スターチスの花束が。テキは一色づつにまとめ、透明の包装紙できれいに包んでいた。

いくらなのかなあ、と気になりつつ指定の売り台へ。少し緊張しながらそれぞれが準備に取り掛かると、突然、晴さんが私の所へ飛んできて「ねえ、ねえ、トドっていくつなの？」「エッ？ トドって全部って事よ」何と初めての女性のお客サマが「トド」のご注文。

これにはさすがの温子さんもビックリ。持って行った30束以上の花束が即時完売。早々とメルカードを切り上げた私たちはゲルニカの中央にある花の公園前のパールへ直行。屋外のパラソルの下で食べきれないほどのピンチョとビノで「完売」を祝して「乾杯！」その日は一日中トドの興奮に酔いしれていた。



浴衣姿のイケルさん一家

イケてるイケルさん

今回の旅のもう一つのお楽しみはイケルさん一家の浴衣姿である。1年ほど前、温子さんが布草履の制作を始められたと知って、家にある端切れや、裂いて使ってもらいたい浴衣をそのままお送りしたことがあった。日本びいきのイケルさん夫妻が試しに浴衣を羽織ったところとても良くお似合いとの事である。そこで今回、帯と腰ひもを持参した。

滞在中のある日、EA村のベダロナ地区にあるイケルさんのお宅を訪問した。丘陵に小規模ながら美しい畑が広がり、鶏とウサギを飼っていた。ウサギ小屋には5羽のうさぎ。「うわー、可愛い！」と駆け寄ってみたが、なんとウサギは食用だという。ヨーロッパの人達はウサギの肉が大好物だとか。「な～んだ。食べられちゃうのネ」と私たちはガックリ肩を落とした。

いよいよイケルさんとナイアラさんの浴衣の着付けだ。がっちりタイプのイケルさんとほっそり美しいナイアラさん。着付けの終わったお二人。「ウワ～！素敵。カッコいい！」ナイアラさんはなまめかしくも美しい。娘のタラちゃんには温子さんがネットで購入した

愛らしい浴衣。浴衣姿の3人はまるでモデルさんの様だった。3人の浴衣姿にほれぼれしながらみんな乾杯！思い出に残る楽しいひと時だった。

サンファン祭り

スペインには名だたるお祭りが沢山ある。たとえば、パンプローナの「牛追い祭り」、ブニユルの「トマト祭り」、バルセロナの「メルセ祭り」、バレンシアの「火祭り」、セビージャの「花祭り」等々である。

その中の一つがサンファン祭りだ。6月に行われるお祭りで主にビーチで大きな焚火がたかれ、花火が打ち上げられる。サンファンには火、土、空気、水の4要素があり、特に火を焚いて環境や生活を清めるのだそうだ。必要ないもの、欲しくないもの、たとえば元カレの指輪なども火の中へ放り込んで焼き尽くしてしまうというのだ。ビーチが目の前の温子さんのお宅。どんなお祭りなのかワクワクしながらその日を待った。

農作業を早めに切り上げて戻ると、ビーチにはイワシ（このお祭りではイワシを焼く）や肉を焼くおいしそうな匂いが漂っている。ビールやワインを片手におしゃべりする数



サンファン祭りの燃える炎

人の輪が沢山出来ている。子供たちはビーチで大はしゃぎ。シャワーを浴びてビーチに出ると残念ながらイワシは売り切れだ。パールで求めたビノとピンチョを持って浜辺に陣取った。

トリキティシャ（アコーディオン）とアルボカ（角笛）で奏でられるバスク民謡に合わせて踊る人たち。日本の盆踊りのようなゆったり感はなく、両肘をピンと張って足をピンとはねながら踊るバスクの踊り。あっ！得意満面でトリキティシャを弾くのは先日サクラ農園で会ったはちみつ屋のイナチオじゃない？ ヘエ～、こんな特技があったんだ。午後10時ごろ、やっと暗くなった夜空に花火が打ち上げられる。わが町、両国の隅田川花火大会には及ぶべくもないが絶え間なく海の上に打ち上げられる美しい花火に歓声が沸き起こる。花火終了と共に今度はビーチに積み上げられた木材に火がつけられた。小さな火は大きな炎となってビーチ全体を照らし出した。炎を取り囲む人々の顔が輝いて見える。欲しくないもの、必要ないものを全部放り込み、焼き尽くして清める炎。



「ワークキャンプ」の3人トリオ 晴子さん（左）と温子さん（右）

75年の人生のほこりや垢や、加齢現象による体の不具合も全部炎の中に放り込んでしまおう！代わりに大豆やトウモロコシの発芽から学んだ生命力や鶏たちの元気なハングリー精神をとりいれよう。夜中の12時を過ぎてもまだ立ち去り難い人々のざわめきが残っていた。

旅の終わり

私たちは中学高校時代を同じ学び舎で学び、遊び、悩み、様々なことに熱中し、ともに楽しい学生時代を過ごした仲間である。その後60年近く、それぞれの人生を積み上げ

ながら、今また、日本から遠く離れたスペインの地でワークキャンプのように元気に働き、笑い転げ、美味しいものを沢山食べながらさらに友情を深めることができた。

「今度はカボチャや枝豆も売りたいわ！」「ウン！待ってる。一緒に売りましょ！」

もう一度メルカードで「トド」のお客さまを待つ日が必ずやって来ると信じて晴子さんと私、帰路についた。「老化しない友情」を確かめあう旅であった。



トドの現れたメルカード 準備中の温子さんと晴子さん

切手からドイツを考える

小川 義博

稲門フィラテリー 51 号にオーストリア切手を通してわが国との比較文化笑論を記させていただいた。読み返して、民族、言語、文化面であまり違いが無いと考える隣国ドイツの切手と相違が視られるか調べたく、ドイツ切手を整理してみた。前回、整理対象を 2010 年頃までに発行された切手にしたため、商業主義、営利目的の発行が本来の発行の目的を検討する障害になったと感じた。そこで、今回は西ドイツ切手発行開始の 1949 年からベルリンの壁崩壊 2 年後の 1991 年までのドイツ、オーストリア切手を整理対象とした。また、適宜、わが国のデータも参考に加味した。

発行数を図示すると両国ともほぼ同じ推移を見せ、この期間を見る限り、日本もまだ異常な発行数は示すことが辛うじて無いようである。

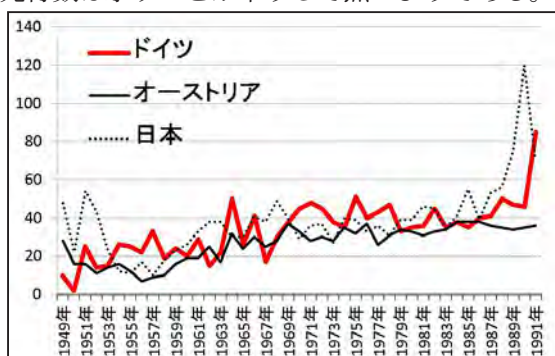


図 1 3ヶ国の切手発行の推移

切手の外観はオーストリア切手よりも小型で、印刷が凹版主体でなく、オフセット、凸版、グラビア印刷が多く、両国の切手に明らかな差異を感じる。発行された切手を分類するとかなり異なっていた。図 2 に見るようにドイツ

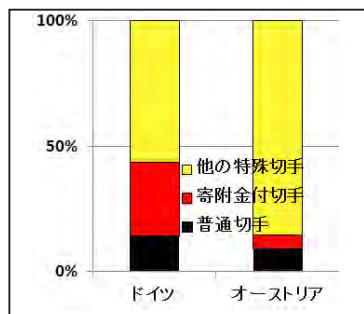


図 2 切手の種類の割合

が 30% の切手を寄附金付切手として発行しており、また、普通切手の発行割合も多くなっていた。さらに、寄附金付切手を発行目的別に整理したのが表 1

表 1 寄附金付切手の発行

ドイツ	
発行内容	数
* 社会福祉	168
* 青少年育成	125
オリンピック	38
* クリスマス	34
* スポーツ振興	33
郵趣	21
建築物保護	6
その他	4
宗教	2
合計	431

*は毎年 4 種程度発行

オーストリア

発行内容	数
切手	45
義捐金	5
復興	4
合計	54

日本

発行内容	数
オリンピック	22
疾病対策	2
障害福祉	4
博覧会開催	6
文化財保護	3
合計	37

の切手展に加えて郵趣関係の事項で寄附金付切手を発行していたのが異なっており、切手収集を広い視野で援助していく姿勢を感じる。国際郵趣連盟会議、使用済み切手回収 100 年、国際郵趣文献展等、他の国には見られない記念切手が発行されており、切手収集の社会での位置付けの広さ、歴史を感じる。



国際郵趣連盟会議記念切手



国際郵趣文献展覧会記念切手

また、普通切手発行種類が表 2 のようにドイツは多く、郵便料金の変更が影響しているであろう。また、表 2 のように特定人物が 40% の普通切手に描かれていたことが注意される。

これより先はオーストリア切手について指摘した右記の事項に従い整理、ド

表2 普通切手発行内容

ドイツ

内 容	数
ホイス大統領シリーズ	31
建築物シリーズ	28
産業技術シリーズ	23
ハインリッヒ大統領シリーズ	21
城シリーズ	21
著名な女性シリーズ	18
名所シリーズ	18
ホルンシリーズ	17
著名人シリーズ	16
事故防止シリーズ	11
数字図案	1
合 計	205



ドイツ普通切手

オーストリア

内 容	数
建物シリーズ	34
美しきオーストリアシリーズ	28
民俗衣装	24
修道院シリーズ	15
合 計	101

日本

内 容	数
花・貝・文化財	29
第1次円単位	18
昭和すかしなし	17
第1次ローマ字入り	15
第3次ローマ字入り	15
第2次ローマ字入り	12
第4次ローマ字入り	12
第2次円単位	10
産業図案	9
合 計 コイル等除く	137

イツ切手と比較検討する。

○周年発行切手が多い ○宗教関係切手が非常に多い
○人物に関する切手が非常に多い ○自然だけを描いた風景切手が非常に少ない ○博物館、美術館、展覧会、大学等、学術文化に関するものが多い ○勤労者、労働組合に関連する切手が多い

○周年発行切手が多いか

周年切手は一見オーストリアより少なく387種、全体の26%となっていたが、普通、寄附金切手(6種のみ周年記念)を除いた特殊切手の実に半数47%が周年切手であり、オーストリア44%とほぼ同じ割合であった。この周年切手の内容を整理したのが図3である。ドイツは特定個人の生誕、死去周年が周年切手の半数とオーストリアより高く、宗教関係の切手が多いこと、科学、技術立国らしく発明発見、竣工関係が多くなっていた。注意されたのが地方、都市に関する周年切手の割合が少なく、大きく異なっていた。これは両国の成り立ち、歴史、地理的な問題が影響していることを感じる。オーストリアがドイツより、団体、制度、運動に関係する切手が多いことはこの時代、国有化関連切手が見られることと関連付けて、オーストリアが社会民主主義国家として成り立っていたことによるのであろう。また芸術作品、文化施設の切手がオーストリアより少ないことは人物切手の人物の活動分野を整理した図4で音楽、文学等に活躍した者の生誕、死去切手が少ないことと関連付けてみる必要がある。

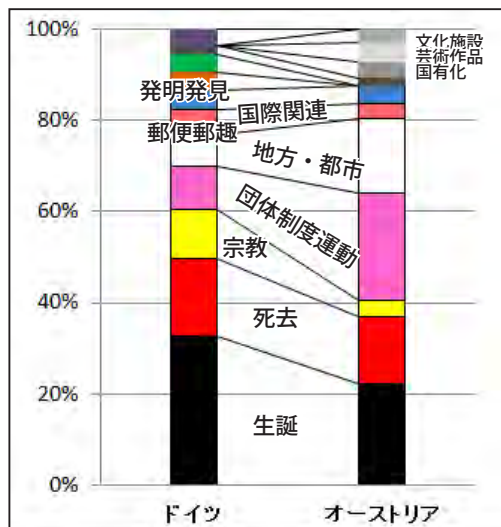


図3 周年切手の内容割合

次に、周年の年数で比較すると、国の成り立ちの経緯からであろうか、ドイツが表3の様に500周年以上を記念する切手の割合が高くなっていた。ここで注意されるのがドイツの1周年切手と1000周年以上の切手の存在であった。1周年切手は表4のように、トーマスマンを除き、ナチス政権下のユダヤ人の精神的指導者レオ・ベック、戦後、アメリカ合衆国が推進したヨーロッパ復興援助計画提唱者の米国国務長官ジョージ・マーシャル、ドイツ復興の父アデナウワー(生誕100年切手もある)、そしてケネディーと、発行の背景に政治的なものを感じる切手が多い。

次に、1000年以上の切手の内容は表5(次ページ)のように宗教的なものを除くと都市に関するものであり、オーストリアと同じ地方、地域、都市を大切にする傾向を感じるが、

表3 周年別発行数割合

周 年	ドイツ	オーストリア
1～100年	49%	63%
～200年	20%	21%
～500年	18%	5%
～1000年	10%	11%
～2000年	3%	0%

表4 1周年発行切手

トーマスマン死去1年
ユダヤ教律法学者ベック死去1年
米国政治家マーシャル死去1年
ケネディー死去1年
アデナウワー死去1年
ベルリンの壁崩壊1年 2種

ドイツはより狭い地域、都市が持つ意味の強い社会かと考える。都市の周年切手はわが国でも発行されているが、創都、遷都、開府に関するもので中央集権の視点であり、かなり性格を異にするものである。

表5 1000周年以上発行切手

リュネブルグ市 1000 年
アシャフェン 1000 年
トリア市中央市場 1000 年
ブックスフェーデ市 1000 年
フェルン市通貨鑄造権 1000 年
ヴァルスローデ市 1000 年
メルスブルグ市 1000 年
マインツ大聖堂 1000 年
詩人修道女カタリナ死去 1000 年
レヒフェルトの戦い 1000 年
オスナブリュック市 1200 年
ワット・デュレン修道院 1200 年
ヘルフェスト市 1250 年
ブレーメン司教座 1250 年
殉教伝道師死去 1300 年
聖ベネディクト生誕 1500 年
マインツ市 2000 年
トリアー市 2000 年
ノイス市 2000 年
アウスグブルグ市 2000 年
ボン市 2000 年
シュパイエル市 2000 年
ブドウ酒醸造 2000 年



アデナウワー死去 1 年



マインツ市 2000 年



ブドウ酒醸造 2000 年

○宗教に関係する切手が多いか

オーストリアに敬虔なキリスト教信仰を感じる切手が多かったが、それにも増してドイツ切手にもそれを強く感じる。しかし、その内容は異なる。オーストリアは大聖堂、修道院等の建築、内部装飾、司教管区、司教監督区、司教区に関係するものが多かったが、ドイツは聖職者、キリスト教宗派の大会、会議に関係するものが多く、明らかな違いを感じる。宗教のハードとソフトと、両国では異なる側面を切手にしており、知識のない身にはこの意味することは宗派の存在、割合だけなのか判らない。

○人物に関する切手が非常に多いか

人物切手はオーストリアで 18% と高かったが、ドイツは更に 24% と高い結果であった。これは普通切手の大統領シリーズ等の人物 86



世界聖体大会



カトリック教会会議

種(普通切手の 41%)が影響しているかと考え、普通切手を除いてみたが 20%、更に、ドイツ切手を考えるとき考慮すべき寄附金切手を除いた特殊切手に限ると 33% もが人物を特定できる切手であった。

どのような活動分野の者が切手になっているか難しいが、整理したのが図 4 であり、非常に異なっていた。まず、ドイツでは政治家が非常に多く切手になっていることであった。これは普通切手に政治家として大統領をシリーズにしたことがおおきいが、このシリーズを除外しても政治分野が最も多い結果であった。政治に次いで社会活動家が多くなっており、反ナチ活動家、社会福祉活動・医療福祉活動家が切手に描かれていた。他に目立つのはやはりオーストリアより音楽関係がかなり少なく、合わせて他の芸術領域の切手が少ない傾向がみられた。

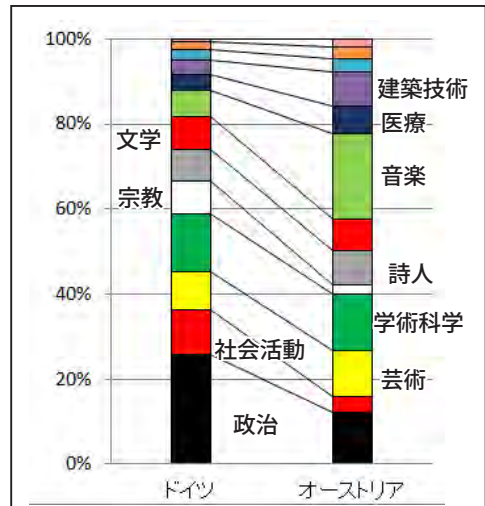


図4 切手になった人物の活動分野

さらに、人物切手全体で大きな差を 2 点感じた。第 1 に女性が多く対象になっており、約 13% が女性でありドイツでの女性の地位の高さを感じると同時に、女性問題、団体に関する切手とあわせて、さらなる女性の地位向上に意を注いでいる社会を感じる。この辺りからも、現女性首相の活躍もうなづける。第 2 は人物の時代、国籍を問わず対象としていることである。ダヴィンチ、ミケランジェロの生誕記念にはじまり、フランス、チェコの政治家、ノルウェー探検家まで、幅広い視野で選択され、オーストリアと明らかに異なっていた。これは国際社会での立場、そして地理的な位置がこのような人物切手を生む背景であろう。



反ナチ白バラ抵抗運動女性
活動家ソフィー・ショル



著名な女性シリーズ
女権拡張運動家
ザロモン



代表作品で生誕 500 年記念
ダヴィンチ



ミケランジェロ



フランス政治家
モネ



ノルウェー探検家
ナンセン

また、ナチという歴史の重荷を負っていることも多くの人物切手が示している。

○自然だけを描いた風景切手が少ないか

オーストリアでは建物が入らない自然風景の切手が少なかったが、ドイツ切手は建物が入った自然風景の切手でさえも見つけることが難しい。しかも、デザイン化され、凹版、凸版印刷した風景のものが多く、オーストリア、日本に見るような写実的に自然をグラビア・オフセットで描いた切手は無く、自然を描いた絵画作品の切手 1 枚だけであった。これに対して建築物、産業関連構築物が非常に幅広く切手になっていた。このようにみてくると、両国の自然風景に対する見方にやや相違を感じるが、両国ともわが国の自然風景を愛でる文化とは異なるものを感じる。特に、1969 年から 73 年に発行された観光目的切手が注意された。自然風景がほとんど描かれてない都市の景観 13 種の切手はわが国の自然風景を主とした観光目的の切手と比較し、興味深い切手である。もう一方の自然対象である動植物はドイツがオーストリアより多



ドイツ北海の景勝地？ヘルゴラント島が 2 枚の切手になっている。(凸版・凹版)



垂直に押された岩の形成を楽しむ Externsteine 自然保護区の切手 (凸版印刷)



1969 年ヨーロッパ自然保護年切手 (凹版・オフセット印刷)



1978 年発行ドイツ印象派切手 やっと見つけた見慣れた風景を描いた切手も絵画切手の 1 枚 (グラビア印刷)

く切手になっていたが、気になるのは 3 分の 2、90 種近くが福祉目的の寄附金付切手であり、トピカル収集を念頭に販売促進を意図したと考えるのは過ぎたることであろうか。



ブレーメン市

アーヘン市

コッハム市



ハンブルグ市

ザールブリュッケン市

ゴスラー市

4 年間に 13 種発行された観光切手のうちの 6 種

○博物館、美術館、展覧会、大学等、学術文化に関するものが多いか

オーストリアは学術文化に関わる施設、催しの切手を多く発行していたが、意外にもドイツは少かった。特に、会議、展覧会等の催し物に関する切手の発行がオーストリアの半分にも満たない。しかも、表6のように発行切手の内容に明らかな差がみられた。オーストリアは国内での職業、産業、学術団体の会議に切手を発行していたが、ドイツは国際会議関係以外は郵便・郵趣関係と宗教関係の会議であった。そして宗教の会議も諸宗派の会議に切手を発行していたことが両国で宗教事情が異なることを感じさせる。

更に、差があるのが展覧会に類する催しの切手発行である。オーストリアが美術を中心とした芸術展、州、市単位の地方展を中心に多くの切手を発行しているが、ドイツは半分にすぎず、その7割が切手展であり、美術展がまったく発行されていない。

○勤労者、労働組合に関連する切手が多いか

社会民主主義国家としてスタートしたオーストリアが労働環境、労働組合に関する切手が多いのに対して、ドイツは少なく、労働災害防止を含む事故防止を訴える普通切手が発行されて

表6 郵便・郵趣、宗教関係の会議、展覧会切手

	ドイツ		オーストリア	
	28		81	
会議	郵便・郵趣	8 29%	郵便・郵趣	9 11%
	宗教	6 21%	宗教	2 2%
展覧会	35		61	
	郵便・郵趣	26 74%	郵便・郵趣	21 34%



カルヴィン派
世界会議



ルーター派
世界会議



カトリック会議
世界会議



ハンブルグ国際切手展



第10回国際青少年切手展



普通切手 4種
事故防止シリーズ

労働組合誕生100年

いたことに加え、労働組合結成の記念切手の発行も少ないと感じる。

以上、隣接し、同一言語、歴史を共有するこの二国、国際的な位置付け、経済力等の違いから異なる面が切手に見られることは想像したが、それだけで、宗教を背景とした異なる文化的側面を切手に見ることができた。

更に、ドイツ切手を整理し、オーストリアとわが国にはない2つのことを感じた。

☆ドイツ切手は社会生活の広い意味の安全、安心に関わる切手が多い。

切手発行目的に安全、保護、保障、防止、予防、撲滅、救助、救済、愛護、養護等を含むものが約90種もある。内容を見ると、人権、自然、災害、事故、弱者、疾病、文化財、未開発国、内外難民等、幅広い対象が切手になっているのが特記される。これら特殊切手に加えて、福祉、青少年福祉目的の切手が毎年8種ずつ300種近くも発行されていたことを考え、ドイツの切手発行の目的には社会、個人生活に対して幅広いセーフティーネットの大切さを訴えることを重視していると考ええる。

上記に類する切手で、飢餓救済、海難救助、難民救済などを複数年にわたり周年記念切手と



道路交通法改正
交通安全



環境保護



アムネスティ協会
人権擁護



救護活動



交通災害救助



飢餓救済年



麻薬使用防止



ガン予防



救済事業 25 年



養護施設 150 年



動物愛護

ライ病撲滅

して 10 年ごとに発行しており、わが国の外交条約を中心とした周年切手と比較し、切手発行にかなり異なる面を重視していると考え。

☆ナチスドイツの負の遺産を払拭、未来に活かそうとする姿勢が切手になっている。

誰もが感じているように、戦後のドイツの宿命、ナチの犯罪行為に対する謝罪と反省を表す切手を数多く発行してきている。さらに、その反省から、平和と民主主義の大切さを訴える国の姿勢を切手に反映していると明確に感じさせる。また、ナチに対して抵抗運動をおこなった活動家を追悼する切手も多く発行している。そして過去の多くの犠牲を教訓とし、民主主義の意味を多くの切手に表現していることは、わが国と非常に異なるものを感じざるを得ない。

この拙文のため切手を見直し、大きな見落としを 1 枚の切手に気がついた。さすが切手収



1933 年政権についたナチス政権下 1938・11・9 に起きた反ユダヤ主義暴動「水晶の夜」50 年切手、炎上するシナゴグを描く



大学講義前にヒトラー敬礼を強制されたことに抗議する宗教家が 1934 年にパルメンの会議で「イエス・キリストは神の言葉である」と宣言した文を記す 50 年記念切手



ナチス政権 (1933 ~ 1945 年) 12 年の迫害と抵抗を記す切手。有刺鉄線は迫害、白いバラは抵抗を表す。



ゲルデラー反ナチス活動家。ヒトラー暗殺計画に失敗して処刑



シュタウフェンベルク伯爵、予備軍参謀長時ヒトラー暗殺計画に失敗して処刑



民主主義の根本思想を記した切手
ドイツの憲法・連邦共和国基本法第 20 条の規定より
国家秩序の基礎
法治国家 三権分立 主権在民



民主主義の根本
連邦ラック州
自治体「ルド」の
協力を表す組紐



民主主義の根本
男女同権
ジェンダーシンボル



民主主義の根本
投票
平和 理解・協調

集を大切にする国と感じていた紙付切手が描かれた 1988 年発行「使用済み切手回収 100 年記念」切手にである。切手の「BRIEFMARKEN FOR BETHEL」の BETHEL という文字に目が止まった。1968 年久しぶりに春を迎えたチェコ・プラハへのソ連軍侵攻をベルリンで知り、国境への思い、その意味を再認識した翌日に訪れた「障害者の市 (町、医療福祉施設)「BETHEL」を思い出した。明治の中ごろに、もう使用済み切手を福祉作業へ利用し、資金獲得に活用していたのである。再度、他の切手を調べ直し、改めてドイツの切手発行の姿勢



切手回収 100 年記念
BETHEL の文字とロゴマーク

を考えた。他に 4 種の切手に BETHEL を見つけた。明治政府誕生の 1867 年に開所した BETHEL100 周年切手 (3 代目 BETHEL 施設長ボーデルシュヴィンクを描く) とその施設長生誕 100 年切手、そしてその父の 2 代目所長を描く寄附金切手、2 つの戦火と迫害から施設、子供たちを守り抜いた親子が 3 種の切手になっている。



ボーデルシュヴィンク親子
開所 100 年切手



3 代目施設長



2 代目施設長

もう 1 種は BETHEL 施設内郵便局の切手である。広大な敷地内の街並みの中の建物である。広大な墓地に、死亡した利用者、職員の無数の墓標が整然と並んだのを目にした時の何とも言い表せないショックを思い出させる。そこに感じた宗教の持つ圧倒的な力をこれら切手だけでなく、切手発行全般に感じるドイツ切手であった。



BETHEL 郵便局

年をとルーペ

青柳 次男

少し膝を曲げ、幾分腰を落とした格好で歩く2足歩行ロボット・アシモ。そのアシモが黒いスーツを身にまとい、私の前を歩いている。雑踏の中を、ゆっくりと、両手を広げ気味に。そのすぐ後ろについてしまった私は、急いでいるのに、なかなか追い越せない。前方にエスカレータが迫ってきた。よし、ここで追い越せる。きっと左側によるだろう。ところが、アシモは、両手を大きく広げたまま、エスカレータの両手摺をしっかりと握った。どうしよう。咄嗟にアシモの右腕の下をくぐり前に出て、前方が開けたエスカレータの右側を歩いて登り始めた。その時、アシモがしわがれた声で、「オニイサン危ないよ」。

「危険ですから、走ったり、歩いたりしないで下さい」エスカレータの付近には、必ずこのような注意書きがある。その業界によると、1970年代から注意を喚起しているらしい。しかし、いつのころからか、エスカレータの片側を空ける悪しき？慣習が形成され、私もそれにどっぷりと浸かっている。アシモ風の老人は、私に、そのことを注意したのかもしれない。エスカレータの左右、どちら側を空けて利用するか。日本国内をくまなく調査した論文がある。それによると、米原を境に東は、右側を空け。西は、左側を空ける。左側を空けるのは、関西でも大阪圏だけで、岡山、広島は右側を空け、九州も右側を空ける。その理由は、はっきりしないらしい。

話が逸れてしまった。アシモの右脇下をくぐるほど急いでいたのは何故か。たいした理由はない。事務所に出る前に、前日のTV番組で紹介されたルーペ専門店を訪ねたかった。最近、多少時間的余裕ができたため、昔の切手少年の頃を思い出し、収集品の整理を始めた。

でも、寄る年波には勝てないのか、健康診断では、両眼とも視力は1.0なのに、小さいものが良く見えないし、二重に見えてしまう。手元にある「虫眼鏡」を始め、数種の拡大鏡を試しても、「帯に短し襷に長し」、で全く気に入らない。そんな時にTVでルーペ専門店が紹介され

た。場所は、錦糸町。変わりましたね錦糸町は。最大の変化は、建物の間に、デーンと東京スカイツリーが覆いかぶさるように威容を見せていること。小さな専門店のドアを開けると、中には当然のこと、大小のルーペがいっぱい。「どんな用途にお使いですか？」店員さんが寄ってくる。「切手を調べたいんですが」「そうしたお客様も良くお見えになります。切手も用意してありますから」と言いながら、ハンガリー切手とお勧めのルーペを持ってくる。ルーペの必要がないハンガリー切手を、無理やり拡大してみながらの品定め。できるだけ倍率の大きいルーペを一つ購入した。がしかし、満足できず、その後、デジタル顕微鏡なるものまで入手し、つい先日は、透かしを調べたくて、フジカラーLEDビューアーも手に入れた。ところが、調べる対象の切手が少ないことに気が付いた。今後は、この問題の解決にとりかからねばならない。

私の年齢の平均余命は、約10年。その間、「オニイサン」と言われるような気持ちで、用意した機器を使い続けたい。それなのに、わがカミサンは、こう言った。

「馬鹿ね。「オジイサン危ないよ」って言われたのよ。」

どうも、耳まで悪くなっているようだ。



専門店推奨？ルーペ



デジタル顕微鏡



LEDビューアー

磯野さんのなぞ解決せず

かねてより、磯野会長が解決したいという懸案「マンガ サザエさんの名字「磯野」は福岡に住んでいた叔父の住宅の表札を見て発想したのではないか」がひょんなことから朝日新聞に関心を持たれ、取材されて5月の紙面に詳しく報告されました(下記紙面)。残念ながら、作者 長谷川町子氏が亡くなっており、さらに生前「磯野」名の由来を聞いた関係者はなく、また、記録した資料もなく、懸案を解ける確実な情報は得られなかったようです。

サザエさんは早稲田大学切手研究会の早稲田祭記念カードにも登場し好評を得ました。また、

磯野会員は名字由来を調べる中で得られた磯野家の家系を会報10号に紹介しています。



1962年早稲田祭記念カードより

年月
日
発行

2015年(平成27年)5月16日 土曜日

フロントランナー
サザエさん「磯野」のなぞ

サザエさんをさがして

「磯野」のなぞ

わたしの出身高校の大先輩に、磯野昭彦さん(77)という方がいる。磯野さんは名前の縁もあって、「サザエさん」の大ファン。サザエさんの詳細な家系図を作成するなど、サザエさん研究家でもある。その磯野さんが、先日、興味深い話を聞いた。

磯野さんのおじは戦前から福岡市西部の西新に居を構え、近くは長谷川町子さん(一時住んでいた。長谷川さんは最年少、近所の百道海岸をしばしば散歩し、そこで漫画の登場人物サザエ、カツオ、ワカメなどめええなかったという。

福岡で育った長谷川さんは、長じて漫画を描き出すが、戦争がはじまってからは1944年、一家で福岡・西新に避難、46年まで過ごした。この間に「サザエさん」の連載の地元のタリクニニで始めた。

「あつちの話を描きます」と、福岡市・西新商店街連合会長の鳥巣順さん(69)は、磯野さんの推測を語った。

さて、今回の掲載作は、タリクニニに49年3月に載った。しかしその頃、作者は東京に再上京してゐる。同美術館に聞くと、上京後も作

海にちなんだ名前を思いついた、と長年、鮮魚店を営んでいた鳥巣さんは、西新の海手側の住宅地で、磯野さんという家があったことを記憶しており、その奥さんとも顔見知りだった。すでに磯野・長谷川家とも縁が深かったが、案内してもらって、両家の跡は目と鼻の先だった。「ごく近所ですから、町子さんが磯野宅を知らなかつたはずはありまじい」。

「ここから当時の百道海岸までは10分もからない。海水浴場として知られた百道海岸は1980年代に埋められ、福岡タワーやドーム球場が建てられた。海岸線は今、よかとこ通りという大通りだ。2007年に、その通りの一角の「磯野広場」に、「サザエさん発案の地」の記念碑が建てられた。

長谷川さん(69)は、この「磯野」の由来の真相は? 同美術館の川口厚一館長は「作品はもとよりフイクションだし、本人が書き残してはいない以上、何ともいえない」と慎重だ。

(取材 佐藤 郎)

ご近所さんから拝借したか

に、肯定的だ。地元生まれ育ち、著者は新築的にフクニニにサザエさんを掲載していたという。朝日新聞タリクニニ連載が始まったのは49年だ。当時のフクニニを福岡市総合図書館のマイクロフィルムで確認した。今回の掲載作とほとんど同じだが、サザエの服とタリクニニが微妙に違う。同美術館によると、長谷川さんは単行本にする際、内容は変えずに新たに描き直すことがあったという。なお、本欄の掲載作は、原則として「よりぬきサザエさん」などの書籍を引用している。

フクニニの「サザエさん」と掲載作でひとこ、明らかな違いがあった。フクニニには玄関に「いその」

1948年3月11日タリクニニ
©長谷川町子美術館

長谷川町子さん描き下ろしの絵本『サザエさんえほん』を約40年ぶりに復刊しました(全9巻、税込各860円)。ご注文は書店、ASA、<http://publications.asahi.com/>まで。

稲門フィラテリーが日頃、切手教室や常設展でお世話になっている新宿北郵便局は昭和 51 年(1976 年)開局、まもなく 40 歳を迎える。この間、大きな地震だけでなく自然劣化等により建物は相当に痛んできた。また、諸設備も古くなり改装が望まれていた。昨年末から約半年かけて大きな改修改装工事が行われた。

1. タイル貼外壁の改修 建物外壁全面がタイル貼であったが、よく見ると汚れが多く、一部欠損やひび割れが発生しており、タイル落下になりかねないとして局舎を安全ネットで囲んだ上で全面大改修が行われた。新築ビルのように美しい外観の新宿北郵便局に生まれ変わった。

このため、郵便貨物車輛用荷物積降場所屋根裏にあったツバメの巣がなくなってしまい、永年通ってきたツバメは諏訪神社の方に引っ越ししてしまったようだ。

2. 全トイレの改装 開局時はきれいだったトイレは和式のため、時代の流れにそぐわないものになっていた。便器だけでなく手洗い場などすべてを新品に取り換え見違えるようになった。

3. 局舎内照明を LED 化 節電が叫ばれる時代、主要個所の照明は LED 化され、お客様にとっても局員にとっても、明るい気持ちいい新宿北郵便局となった。常設展が行われている特設展示コーナーの照明も明るくなり、展示物が映えるようになった。

4. 新宿北郵便局の表札ともいえる外壁袖看板の色が郵便レッドに 今まで見慣れたオレンジ色(正式にはゆうびんきょくオレンジという)が、レッド(正式にはゆうびんレッドという)となった。日本中の郵便局ではまだまだゆうびんきょくオレンジが使用されているがそのうちにゆうびんレッドになっていくそうだ。

これは平成 24 年に郵便局株式会社が郵便事業株式会社と合併し、郵便局株式会社が消滅したことによる。



稲門フィラテリー総会

日時：2015 年 10 月 18 日 日曜日

午後 1 時半より 3 時まで

総会後の講演

池澤克就氏

「上海駐在で見た中国の文化と郵趣」

場所 11 号館 604 教室

今年は旧商学部跡地に建てられた 11 号館 604 教室になります。

★稲門フィラテリー常設展 新宿北郵便局

第 31 回 6 月 13 日～9 月上旬

第 23 回世界スカウトジャンボリー大会

第 32 回 9 月 5 日～12 月初旬

日本郵便の父 前島 密

★切手教室

新宿北郵便局

第 116 回 7 月 4 日

終戦直後インフレ時代の切手から見た復興

宮鍋 益治

第 117 回 8 月 1 日

GHQ による郵便検閲

野口 喜義(外部講師)

第 118 回 9 月 5 日

20 世紀の数学

神辺 貴昭(外部講師)

編集後記

編集姿勢がお叱りを受けてしまった。前 56 号の大隈講堂切手販売終了の記事に大隈講堂切手をふるさと切手でなく記念切手として販売している写真についてです。郵便局員が記念切手として声かけをしているのを見過ごした稲門フィラテリーにです。実に、細かい指摘です。編集担当として不注意を反省します。

発行日：2015 年 9 月 1 日

発行：稲門フィラテリー

発行人：磯野 昭彦

〒150-0002

渋谷区渋谷 1-11-3 正栄ビル 4 階

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：吉澤 忠一 青柳 次男

小川 義博

稲門フィラテリー

第 58 号

2015 年 12 月 1 日発行

稲門フィラテリー第 16 回総会報告

村井 悌二

総会当日は絶好の秋日和、キャンパスの銀杏はまだ色づかず、青々とした葉が日の光を浴びて目に眩しい。

今年のホームカミングデイは、早稲田記念会堂が解体工事の為大隈講堂で式典が行われた為、本部キャンパスはメインストリートだけでなく左右の道も、多くの校友と模擬店で真直ぐに歩けない程の賑わいであった。

10 月 18 日（日）13 時からの総会は 7 号館が使えず、11 号館 604 号教室で 20 名の会員が出席して、稲門フィラテリー第 16 回総会が開催された。

最初に磯野会長から次のような挨拶があった。

- ①稲門フィラテリー 15 周年の記念事業は幹事会において行わないことを決定。
- ②関東郵趣連盟の活動報告及び連盟の行事等への参加への勧め。
- ③今年のホームカミングデイに郵便局臨時出張所開設がなく残念。
- ④郵便用電子秤はバッテリーの寿命を考えて使用を。
- ⑤切手教室「サザエさんと郵便」宣伝
- ⑥10 月 16 日付日本経済新聞に PFC ニュースが載り「手紙文化が若い小学生にまで広がり、PFC 会員数が増加している」と伝えている。ここ数年、切手女子活発、コミック誌「キッテデカ」人気、冊子手紙の書き方なども若者の切手人気は深まっている。

続いて議事に入り、

第 1 号議案（磯野会長説明）

平成 27 年度活動報告及び平成 28 年度活動計画

27 年度の活動については、ほぼ計画通り行われたが、稲門フィラテリー 15 周年事業については検討するも、最終的に中止と決定。

第 2 号議案（石井会計幹事説明）

平成 27 年度会計報告及び平成 28 年度予算報告については、特記事項はない。予算については、年会費を現在の会員数 87 名（17 万 4 千円）で算出した。

第 3 号議案（住吉幹事説明）

会計監査を実施した結果、適正且つ妥当であると認定した。

最後に、繰越金及び会員の減少に関連して、磯野会長から積極的な会の活動の見直しは、20 周年に向けての大きな課題として考えていく必要があるとのコメントがあった。

暫時休憩の後、14 時から池澤克就会員（平成 9 年卒）が「上海駐在で見た中国の文化と郵趣」という演題でプロジェクターを活用して、中国での苦労話を交えて①仕事編②生活編③文化編④郵趣編の 4 部構成で講演。我々の常識外の中国の情報に会員全員時間も忘れ聞き入った。



中国地図を示しての池澤克就会員の講演

15時から、高田牧舎で21名が参加して恒例の懇親会が諸田幹事の司会でスタート。元気よく乾杯。会場のあちらこちらで話の輪が



年ごとに立食は・・・・・・

でき、時間が経つのも忘れる程であった。最後に浅草出身の住吉幹事の三本締めで大盛況のうちに懇親会は無事終了した。



住吉幹事（左2人目）の音頭で三本締め

総会講演要旨

上海駐在で見た中国の文化と郵趣

池澤 克就

はじめに

私は2013年4月から2015年3月までシステムエンジニアとして上海駐在を拝命し、家族3人共々、二年間の上海生活を送りました。それまでも、上海を始め、蘇州や大連、福州、広州などへ出張として一週間ほどの渡航を経験したことはありましたが、駐在は今回が初めてでした。

出張で一時的に滞在するのと、生活の拠点をその地に置くのとではまったく異なる体験であり、10月18日、稲門フィラテリーの総会で「上海駐在で見た中国の文化と郵趣」と題して上海生活の雑感を講演させていただきましたので、その内容を踏まえ、駐在生活のあれこれをまとめてみたいと思います。

1 交通

上海は、東京から空路でわずか2時間50分、直線距離では東京～沖縄間と変わらないほどの近さです。日本と中国では一時間の時差はあるものの、何度も往復していると国内の移動の延長といった感じでそれほど時間の障壁は感じられません。

むしろ、中国は国内の移動に時間がかかります。仕事の拠点であった上海から、北京や広州へはそれぞれ空路で2時間20分ほどですが、国内線の飛行機は2時間3時間の遅延は当たり前、また空港からの移動も、タクシーの長蛇の列に並ぶこと一時間、やっとタクシーに乗っても、そこからさらに一時間乗車といった感じで、タクシーが道に迷ったりなどすると一社の顧客訪問にまる二日かかってしまうこともよくありました。

飛行機の遅延は、天候不順によるもの、便の混雑、そして軍事的な理由によるものがあるようですが、結局納得のいく説明もないというのが実態で、私は最大7時間の遅延を経験しました。

国内の移動には比較的小型機を使うことが多く、国際線よりも冷遇されていて、滑走路の遙か遠くまでバスで移動してタラップを使って搭乗というパターンが多かったように思います（写真1）。

自宅は上海市内の日本人向けマンションでしたが、そこからオフィスまでは地下鉄を利用していました。現在、上海市内には1号線



写真 1 国内線の搭乗

から 13 号線まで地下鉄が網の目のように張り巡らされており、市内の移動は非常に便利になっています。上海には、浦東空港と虹橋空港の二つの空港があり、市内からは真逆の両端に位置しているのですが、この二つの空港も最近になって地下鉄で直結され、だいぶ便利になりました。

上海市内の移動はもっぱらタクシーですが、近年タクシーが不足気味で、特に雨の日と金曜の夕方などはなかなかタクシーがつかまりません。ようやくつかまえても、行き先を尋ねられ、近距離の場合は乗車拒否にあうことも少なくありません。タクシーによっては、トランクに大きな荷物を詰めると、別料金でチップを要求されることもあります。たまに日本に帰国してタクシーに乗ると、顧客を大切に扱うマナーの良さに感動すら覚えます。

上海から蘇州や常州への出張には新幹線を利用します(写真 2)。中国の新幹線は、外国籍の人が切符を購入するのに非常に不便なルールとなっています。すなわち、窓口に並んでパスポートを提示し、チケットにパスポート番号と氏名を印字してもらうのです。この窓口がいつも混雑している上に、一列ではなく並列に並んでいるため、突然サービスを停止する窓口から一斉に人が割り込んできたり、と何かと混乱します(写真 3)。

交通の要所となる駅周辺には物乞いが多く、地下鉄の車両の中にもコインをいれた紙コップをジャラジャラいわせながら金をせびる物乞いが一人一人回ってきたりするのも、



写真 2 新幹線和諧号

日本ではまず見かけない光景でした。大富豪が高級車を乗り回す一方、片隅では日々の食料にも困る人たちが大勢ひしめいている。貧富の差が激しく、生活レベルにも大きな隔たりのあるというのが上海の実態です。

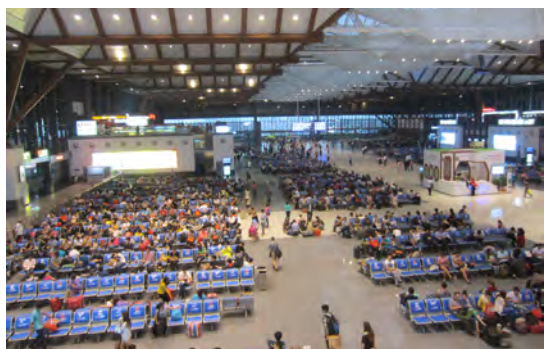


写真 3 新幹線上海虹橋駅

2 生活

上海で二度冬を過ごしましたが、冬の大気汚染は年々悪化の一途をたどっており、日によっては北京よりも上海の方が悪いのではと感じるほどでした。車の排気ガスだけではなく、近郊の工場から排出される煙、そして市内では暖房手段としてまだ石炭が多く使われており、その煤煙も空気汚染に拍車をかけているようです。

冬になると、朝起きてカーテンをあけるのが憂鬱になります。写真 4、5 はともに住んでいたマンションからの同じ窓からみた景色です。夏の晴れた日には写真 4 のようにクリアな景色も、冬の大气汚染がひどい日には写真 5 のように一面モヤで覆われたようになり、10 メートル先もまともに見えないといった



写真4 晴れた日の景色



写真5 冬の日の景色

惨状でした。このような日は、マンションを一步出るとツンとする臭気が鼻をつき、いくらマスクをしても喉が痛くなります。冬は写真6のようにビルの高層階は常にモヤに覆われたような日が続き、天気の良いのか悪いかわからない状況でした。

娘が通っていた日本人学校でも、大気汚染のひどい日には外で遊ぶのを禁止するなど、日常生活にも支障が出ていました。たまに日本に帰ってきた折に、青空がとても眩しく写ったのを覚えています。

コーヒーショップのスターバックスは街中で見かけます。有名な観光地である豫園の中にも、古い建物をそのまま利用して、しっかりスターバックスが営業しています(写真7)。牛丼の吉野家やすき家、マクドナルド、ケンタッキーなどもよく見かけました。ケンタッキーによく似た髭の老人をトレードマークにした店もあり、場所によってはケンタッキーと並んで営業していたりするのも中国ならではの光景です(写真8)。

上海は物価が中国で一番高いと言われており、買い物にしても中国だから安い、という



写真6 大気汚染の町並み

常識が通用しません。日本と同じレベルの生活を送ろうと思うと、むしろ日本で暮らすよりもコストがかかる印象です。日本食を扱うスーパーもいくつかあり、何かとお世話になりましたが、日本から輸入した食材は日本の数倍の価格設定で、それでもどうしても日本食が恋しくなり高くて買ってしまうことが多々ありました。写真9は日本食スーパーで売られている、日本から輸入されたウイスキーですが、サントリーの角瓶が158元(約3,000円)と日本の三倍近く、しかもなぜかトリスの方が高く売られていたりします。



写真7 豫園にあるスターバックス



写真8 ケンタッキーの類似店



写真9 日本食スーパー

今回の駐在では、妻と娘も日本を離れ、ともに上海でくらししました。最初の一年、娘は日本人向けの幼稚園へ、二年目には上海日本人学校に入学しました。上海日本人学校は多い時は全校生徒が2,000人を超えたと言いますが、その後学校が二箇所に分れ、娘が在籍していた当時は全校生徒が1,300人ほどでした。ただ、最近生徒数が減っているそうで、私が3月に帰任した折には全校生徒で200人ほどが日本に戻ったと聞きました。それだけ駐在員が上海を離れる傾向にあるのかもしれませんが。

学校は行きも帰りも全員バス通学で、マンションの前から校門の中まで専用のバスで通っていました。治安の関係上、小学生が一人で歩いて通学するようなことはありませんでした。私が駐在している期間に反日デモが騒がれたことはありませんでしたが、それでも闇の世界では人身売買が行われているとも聞かされており、決して安心できる環境ではないことを常に感じながらの二年間でした。



写真10 上海のポスト

中国の生活で避けて通れない問題がトイレです。最近は整備が進んできたとは言え、都心の小綺麗なレストランでもトイレが汚く、紙がない、鍵が壊れている、といったことはよくありました。ウオッシュレットの普及もまだまだで、日本の整備されたトイレに慣れていると中国での生活に苦労します。とにかく綺麗なトイレがある施設を経験的に頭に叩き込み、トイレトペーパーは常に持ち歩くことで対応するしかありません。

3 郵趣

中国の郵政のカラーは緑色です。街中で緑を見かけたら、たいてい郵便に関連する施設や車両です。写真10は上海のポストです。形状は丸型で、少しレトロなデザインなので、歴史的な建物のそばに設置されていても、あまり違和感がありません。

私のオフィスから徒歩5分くらいの場所に郵政博物館があり、入館も無料なので何度か足を運びました(写真11)。博物館は元郵便局の局舎ですが、現在も一部が郵便局として営業しており、鉄柵が並んだ窓口が現役で活躍しています。このような歴史ある建物は、いつまでも残して欲しいものです。館内には、かつて中国各地の郵便輸送に活躍していた郵便車(写真12)の現物展示もあります。世界のポストの展示には、しっかりと日本の赤いポストも並んでいました(写真13)。

中国での切手収集について、少し触れておきます。



写真11 郵政博物館



写真 12 郵便車



写真 13 世界のポスト

中国では、中国切手が安く簡単に手に入るのではないか、と思いがちですが、実態はそうではありませんでした。そもそも郵便局の窓口で記念切手を販売しているところに遭遇したことはありません（タイミングによるのかもしれませんが）。純粹に手紙を出すための切手を売ってくれるだけ、といった感じです。収集家向けには、別途、局の片隅にコレクターズアイテムを並べたショウケースが設置されていたりします。

また、いわゆる切手商を何箇所か探してまわりましたが、全般的に中国切手は日本で買う方が安く手に入るようです。モノはあっても相場が高騰しており、ふっかけられます。また、コレクターズアイテムとしては、切手よりもコインや紙幣を扱っている店の方が多い印象でした。

日本人はガツガツお金を追い求めることは慣む感覚がありますが、中国人は信頼できるよりどころとして「現金」を非常に好み、給

与の額も友人知人どうしで堂々と情報交換し、少しでも給与が高い会社があればあっさり転職してしまう傾向にあります。切手よりも直接的な金銭価値が感じられる「コイン」や「紙幣」にコレクターの視線が向きがちなのも、そうした中国人の気質に因るところがあるのかもしれません。

さいごに

二年間の駐在で感じたのは、日本がとても過ごしやすく、物価も安く、人の温かみが感じられる国である、ということでした。外国に住むというのは、自国を外から見る視点を持てることでもあります。日本という国で安心して暮らせることに、改めて感謝しなければならないと感じている次第です。

ところで、上海には、早稲田のOBが集まる「上海稲門会」なる団体があり、下は復旦大学への交換留学生から、上は駐在 40 年越の重鎮まで、総勢千人以上が在籍していると言われています。私も定例会（飲み会）には何度か参加しました（写真 14）。最後は必ず「都の西北」の大合唱です。そこで知り合った早稲田のOBとは帰国後も交流が続いており、早稲田の絆の強さを改めて感じています。

今回は書ききれませんでした。駐在中にめぐった魯迅や孫文ゆかりの地なども、いずれ会報で紹介できればと考えています。



写真 14 上海稲門会

荒木会員リトアニアの philatelic website に登場

リトアニア切手研究を通じリトアニア郵趣会と親しくされている荒木会員のコーナーがリトアニア郵趣会 philatelic website に登場しました。

荒木会員の思いを紹介します。



活動が評価されたのか、ヨーロッパ展でリトアニアモチーフを沢山使用したことが感謝されたのか、リトアニアの郵趣会の philatelic website に荒木コーナーが特設されたり、ヨーロッパ切手展のニュースが載ったりしています。遠く離れたユーラシア大陸の反対側で、リトアニア郵趣をする輩がおり、リトアニアの郵趣記事を書いたり、切手展に出品してくれるのが嬉しいのでしょう。

荒木コーナー

<http://lituanica.eu/HA.htm>

バルト三国再独立 25 周年記念切手展ニュース

<http://lituanica.eu>

大隈講堂切手の薮野健画伯が

日経の「交遊抄」に

早稲田大学大隈講堂切手の原画作者薮野健画伯（早稲田大学栄誉フェロー、名誉教授）が 10 月 24 日の日本経済新聞の夕刊「交遊抄」に楽しいお話を載せました。御本人から交遊の様子の写真が届きました。（磯野）

写真左から薮野画伯、松尾画伯、山田監督



交遊抄

上野の杜の
日本芸術院に
は様々な分野
から会員が集
い、語らいつ
始まる。日本画家の松尾
敏男さんと映画監督の山
田洋次さんとは、映画を
語り始めると話が
終わらず、場所を
移し、あるいは松
尾さんの家を訪問
しては続きに及
ぶ。80代のお二方
と70代の私がまる
で少年のように語
り合う。

80代の映画少年

薮野 健
前年、芸術院の帰
りに「一緒に仕事
がしたいね」と話
していたが、それ
を山田監督が実現させた
ことにびっくりした。
細をうがち、鮮やかに魅
らせ、つい聞き入ってし
まう。若い頃、その道に
進むのかと悩んだほど、
映画は玄人はだし。お宅
には膨大な作品コレクシ
ョンもある。一方の山田
監督は、本業とはいえ、
マイナー作を含め新旧の
作品を美によく見ておら
れる。毎回必ず新しい話
をされ、我々の反応を楽
しんでいるようだ。
12月封切りの監督の最
新作「母と暮せば」
も話題の一つ。舞
台の長崎は松尾さ
んの出身地だし、
私もイメージ監督
で参加した。原案
は作家の井上ひさ
しさん。亡くなる
前年、芸術院の帰
りに「一緒に仕事
がしたいね」と話
していたが、それ
を山田監督が実現させた
ことにびっくりした。

切手文化博物館から

2015年5月16日、切手文化博物館（神戸市）で10周年記念展特別講演会が開催されました。当会会員で切手文化博物館主任研究員の橘喬一さんが「**金井コレクション墨六の現状について**」と題して講演しました。

講演は稲門フィラテリー会報 44 号、金井宏之顧問追悼特集号に掲載された橘さんの「金井・日本手彫切手の思い出」を補完する内容を含んでいます。橘さんのご厚意で講演会のレジュメが提供されましたので、その一部を掲載します。

また、2015年2月14日、大阪市で金井宏之コレクション「日本手彫切手」JAPEX2014大金賞を祝う会が開催されました。その際、出席者に配布されました図録を橘さんより提供されました。図録の冒頭に**金井コレクション「日本手彫切手」の龍100文に関する解説の訂正文**があります。橘さんの了解を得ましたので参考に掲載します。

(諸田)

平成 27 年 5 月 16 日切手文化博物館 10 周年記念展特別講演

金井コレクション「墨六」の現状について

橘 喬一

「墨六」リコンストラクションの経過

第 1 段階

各カナの 40 枚の図案違いを調査。判明したものから順番に、左上から貼り込む。
何枚収集して、何枚未収かが一目でわかる。

第2段階 市田左右一『墨六』発行後

I-No.(市田番号)順に貼り込む。

未収の I・No. が一目で判明する。

(添付資料 1 参照)

第3段階 リコンストラクション(再構成)にむけて

1.K-No.(金井番号)を新設。

No. は pos.No. とする。

2. 市田『墨六』の「各仮名シートの復元用資料」
(以下「復元用資料」添付資料2 略)にて推定されたポジションに切手を貼り込み、:K-No.を付与する。

3. 空いているポジションにI-No. の若い順に切手を貼りこむ。

添付資料 1

Japan

1874 6 Sen Purple brown, Native paper
with Syllabic

Syllabic "ro" The study of Plating

All stamps are different.Exact positions of the original sheet are yet to be decided, as only new discoveries or studies in future will make it possible.





添付資料 2

Japan

1874 6 Sen Purple brown, Native paper with Syllabic

Syllabic "ro" The study of Plating

All stamps are different. Exact positions of the original sheet are yet to be decided, as only new discoveries or studies in future will make it possible.

I-22 ニ K-9(pos.9)

I-23 ニ K-17(pos.I 7)

I-35 ニ K-25(pos.25)

以上の作業により、リコンストラクションシート

リコンストラクションシートに一步近づける。(添付資料 2 参照)

第 4 段階 現在、作業中

未収のポジション (I-No.) を購入。耳紙付、ペアを新たに購入、確認できた場合、切手の入れ替えを行い、K-No. を付け替える。結果、下記のとおり確定した。

の完成に向かってる。

参考文献

『墨六』

和紙紫褐色六銭切手明治 7 年 1 月 1 日発行

市田左右一著

昭和 43(1968) 年 5 月刊行

稲門フィラテリー会報 44 号記事内容

金井・手彫コレクションで最も力を入れて集めた「墨六」では、(イ)～(リ)、(ヌ)(ル)、(ヲ)12 仮名のうち、未使用単片では、現在未発見といわれている(ヌ)のみ「欠」で、未発見といわれている(ル)は「既集」(ある)、

使用済、エンタイヤーとも完揃です。 40 ポジションでは、(イ) 2 欠、(ロ) 1 欠、(ハ) 6 欠、(ニ) 完揃、(ホ) 完揃、(ヘ) 3 欠、(ト) 1 欠、(チ) 1 欠、(リ) 2 欠、(ヲ) 7 欠、(ヌ) 19 欠、(ル) 21 欠、合計 63 欠。実に、約 87% の既集率です。(417 / 480)

上記を補完する内容

	欠	単欠	小計
イ	2	0	2
ロ	0	0	0
ハ	5	2	7
ニ	0	0	0
ホ	0	1	1
ヘ	1	2	3
ト	0	2	2
チ	0	1	1
リ	0	1	1
ヲ	7	3	10
	15	12	27
	欠	単欠	小計
ヌ	16	1	17
ル	17	3	20
	33	4	37

和桜 墨六 欠ポジション集計

全体

小計		未集率	既集率
欠	48	48/480 = 10.00%	432/480 = 90.00%
欠+単欠	64	64/480 = 13.33%	416/480 = 86.66%

イ～リ+ヲ

小計		未集率	既集率
欠	15	15/400 = 3.75%	385/400 = 96.25%
欠+単欠	27	27/400 = 6.75%	373/400 = 93.25%

ヌ、ル

小計		未集率	既集率
欠	33	33/80 = 41.25%	47/80 = 58.75%
欠+単欠	37	37/80 = 46.25%	43/80 = 53.75%

単欠とは、配置図にはないが、コレクションの他の部処 (未使用、プロック、群 [マルティプル]、エンタイヤー等) には「ある」ものを指す。

龍 100 文第 2 版未使用シート

橘 喬一

金井宏之コレクション『日本手彫切手』第1巻「20. 龍 100 文第 2 版シート」の項で、「龍 100 文第 2 版は、ここにある 1 シートしか現存していないので、金井コレクションは、龍文切手のシートを揃えている唯一のコレクションになる。」と解説しています。しかしながら、この龍 100 文第 2 版のシートは、もう 1 シート知られており、現存 2 シートということになりますので、この解説文を訂正いたします。

龍 100 文第 2 版のシートは、2 シート現存します。ひとつは、この金井コレクションに収納されているシートです。

これは、1962 年 2 月にロンドンの Robson Lowe のオークションにかけられた

Robret S. Levy "JAPAN" コレクションの Lot.18 のシートです。このシートの 26 番切手は、龍頭腐食洩れ（龍頭ブローケン＝リタッチ前）でした。そこで、このステージのシートはユニーク (unique) だと言いつた表されておりました。

もう 1 シートは、1970 年 (昭和 45 年) 3 月 16 日、New York で H.R Harmer N.Y が行った F. J. Peplow "JAPAN・未使用シート・オークション" の Lot.4 に出品されたものです。このシートは、龍頭修正後 (リタッチ) でした。この時のカタログは、バーナード・ハーマーから金井が頼まれて我々が日本語訳をしたもので、日英両語になっています。

これにも英文には "unique sheet" とありま



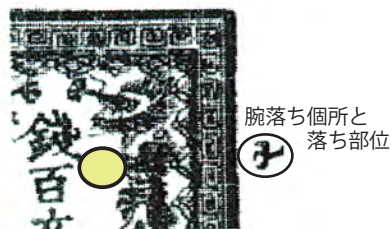
龍 100 文 和紙無目打 第 2 版 格子縞紙

したが、現に金井コレクションに1シートありましたから、日本文には『(但し、修正前は1シート実在する)』と入れました。このシートも、この時のオークションで日本人が落札して、日本に里帰りしています。

下図は、その第26番の拡大図です。このポジションでは、①龍頭損傷なし、②龍頭損傷、③龍頭修正の3つのステージが知られていました。市田左右一博士の『龍切手』では、先ず「腐食洩れの激しかった26番の龍頭付近」が損傷しており、「再刻修正は相当早期に行われ」、修正後のものは未だ滲みも少なく一見図案が完全」で、やがて修正箇所が露わになったとしてきました。すなわち、②龍頭損傷、①龍頭損傷なし、③龍頭修正の順番です。

③の龍頭修正は、36番の雷紋が損傷していて後期印刷に間違いはないのですが、2008年のジャパンスタンプのオークションに26番と36番の一部を含む12枚ブロックを貼ったカバーが登場しました。①龍頭損傷なしの状態、36番の雷紋も完全な初期印刷でしたか

ら、オークショナーの鯛道治氏は、①龍頭損傷なし、②龍頭損傷、③龍頭修正の順番にステージを訂正したのです。龍200文1版の3ヶ所のリタッチのように、最初は損傷がなく、やがて損傷が進み、最後にリタッチされたということになります。ちなみに、②龍頭損傷のステージは、金井コレクションのシートの他には、使用済が単片2枚記録されているだけです。



18番右龍第2腕落ち



26番右龍頭部損傷

金井コレクション

旧ペプロウコレクション



26番 龍頭損傷



26番龍頭修正



36番 雷紋正常



36番 雷紋修正



「日本手彫切手」JAPEX2014 大金賞を祝う会で配布された図録

2015 年日本切手の発行状況

2015 年は収集家にとっては非常に腹立たしく、収集の対象をかなり吟味していくことを強いられた年になったのではないかと考える。その理由に大きく 3 つのことがあげられるのではないだろうか。第 1 は切手の質の低下に加えての乱発、濫造である。年間 60 件 566 種発行というおそらく世界に例を見ない状態である。過去にカリブ海の島国、アフリカの新興国の切手発行を非難、嘆いていたことを恥じる立場になってしまった。第 2 は発行枚数をなぜか非常に少なくして購入を難しくした切手帳、レターセットの発行である。しかも、これらは必要としない付属物の購入も強いる誠に商魂たくましくものである。第 3 は地域限定という販売が始まったことである。過去のふるさと切手は各地域の中央局であれば購入できたが、かなり狭い地域でしか購入できず、地域外では通信販売を利用するしかないのである。

このような問題を感じさせた 2015 年の 566 種も発行された切手を分野、発行目的・意図で整理したのが表 1、2 である。総数で昨年より 142 種も多く発行され、この数値は過去 15 年を振り返っても異常に多い増加

表 1 分野別発行状況

発行分野	件数	種類
ふるさと切手	16	119
特殊切手	42	431
年賀切手	1	4
普通切手	1	12
合計	60	566

表 2 目的別発行状況

発行目的	件数	集計
グリーティング	14	243
各種シリーズ	27	224
記念切手	7	29
年賀切手	1	4
普通	1	12
毎年発行	4	28
料額変更	6	26
合計	60	566

* 上記表に小型シート含まず

である。内容を見ると、昨年、落ち着いた発行になったかと感じられたふるさと切手が料額変更、地域限定という今までにない形での発行があり倍増したこと、初めてグリーティング切手がシリーズ切手より多く発行されたことの 2 点が注意された。

また、記念切手が半減していることも注意されることである。

急激に増えたグリーティング切手にいくつか目につくことがある。発行件数は少ないが発行された切手の種類と枚数が多い。全体の件数では 23% であるが、種類では 43%、発行枚数は 48% と切手の半数はグリーティング切手が占めているといえる。問題となるのはグリーティング切手に占めるシール式切手である。全体の半数以上を占めるようになってしまったシール式切手（種類の 56%、発行枚数の 72%）がグリーティング切手の 95% を占めていることである。切手の半数がシートでしか購入できなくしている元凶である。希望の切手を買える目打ち式のグリーティングは干支切手 10 種、海外グリーティング（差額用）2 種に過ぎない。

また、その意匠がアニメキャラクターにますます偏ってきたことをどのように考えるか、改まった挨拶状に使用できるグリーティング切手の存在が求められているように感じる。また、大きさについても、せめて国土緑

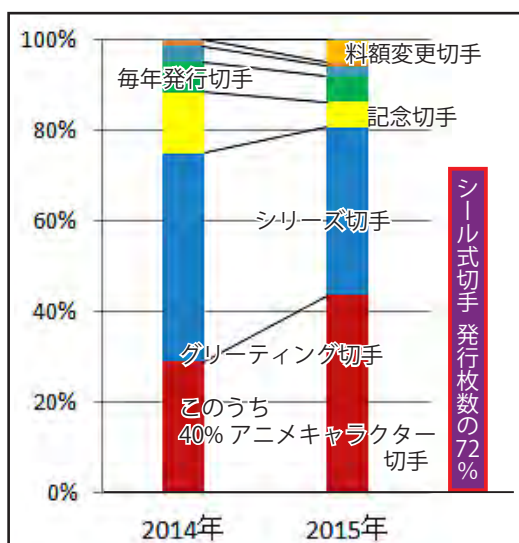


図 1 発行目的別発行枚数割合の比較とシール式切手割合

化切手程度があってほしい。以上述べた一部を図示すると図 1 のようになる。

また、グリーティング切手は他の目的の切手と比較すると 52 円切手が多く、グリーティング切手の 40% が 52 円切手であり、これは発行された全 52 円切手の 68%になる。シール式切手が多いことを考慮し、はがきに使用する切手の選択肢を狭めてしまっていると考ええる。

次に、記念切手を見ると件数も種類数も少なくなつて、記念事項の重さと種類数はどうも比例しないような感じがする。一方、一種類当たりの切手発行枚数を見ると表 3 に示す

表 3 一種類での切手の発行枚数(万枚)

	通 称	枚数
年賀	年賀平成 28 年用 52 円	2165
	星の物語シリーズ 第 2 集 * の 3 種	900
	おもてなしの花シリーズ 第 3,4 集 82 円	600
記念	津波防災の日制定	600
	夏のグリーティング	600
準記念	国際文通週間 90 円	500
	ディズニーマジックグリーティング	450
記念	日韓国交正常化 50 周年 *	420
準記念	国際文通週間 110,70 円	400
	野菜とくだものシリーズ 第 3,4,5 集	400
	おもてなしの花シリーズ 第 3,4 集 52 円	400
準記念	切手趣味週間 *	390
	ほっとする動物シリーズ 第 3 集	360
年賀	年賀平成 28 年用 82 円	360
	ふみの日にちなむ郵便切手	350
記念	ハナミズキ寄贈 100 周年 *	300
記念	青年海外協力隊発足 50 周年	300
	グリーティング切手 ピーターラビット	300
	グリーティング切手「ムーミン」	300



結果であり、改めてグリーティング切手の発行枚数の多さがわかるのと記念切手の 1 件当たりの種類数、発行枚数、更に、意匠を発行目的に照らして、どのように決められているのかを考えさせられる。

このようにグリーティング切手=シール式切手が非常に多くなったことが印刷関連に影響がみられた。それは印刷方式と印刷機関の変化である。切手の「美の壺」の一つとされた純粋な凹版切手が消えてしまった日本切手はオフセットとグラビアだけになってしまった中で、グリーティング切手の前述した 12 種だけがグラビアで残りすべてがオフセットであるため表 4 のように全切手の 76%がオフセットになってしまった。そこで印刷機関と印刷方式を整理したのが表 5 である。過去に比べると凸版印刷会社が種類数で 50%、印刷枚数で 60%と切手が発行されてから初めて一民間機関が切手印刷の過半数を占めた年になった。これは、非常に多い印刷量を国立印刷局が新規普通切手の印刷と合わせては負いきれなかったからか、従来からシール切手を主に印刷してきた凸版印刷会社の実績からか、図 2 に見られる今後の動きに注意していきたい。

次に、販売数を非常に制限して発行した小型シートとノートレターセットに組み込まれ

*同一シート内で枚数の多いものを記す

表 4 切手の種類と印刷方式

印刷方式	オフセット	グラビア	総計
ふるさと切手	68	51	119
特殊切手	364	67	431
年賀切手		4	4
普通切手		12	12
全 体	432	134	566
	76%	24%	

表 5 印刷方式と印刷機関の割合

印刷機関	発行件数			発行種類数			発行枚数(万枚)	
	合計	オフセット	グラビア	合計	オフセット	グラビア	合計	割合
Cartor Security Printing	13	13		131	131		25800	23%
JOH ENSCHDE STAMP	3	3		16	16		2500	2%
国立印刷局	22		22	134		134	17205	15%
凸版印刷会社	22	22		285	285		67532	60%
合 計	60	38	22	566	432	134	113038	

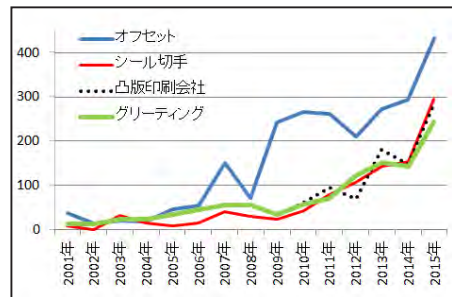


図 2 印刷方式、機関、切手の種類数の変化

た限定版グリーティング切手発行の問題である。両者とも2～3万シートという信じられない発行数、希少価値を狙い、投機的な動機の切手収集再来を意図したものであろうか。来年にはまた本年と異なる切手帳の発行が発行数を少なくして予定されているようで、大



発行予定枚数を2万から3万枚に変更した切手帳の小型シート。2000円の小型シートのために5000円の出費を強いられた。



郵便会社 HP の新着切手情報一覧には掲載なく、切手とは扱わないのか、新着切手で探すことはできない

図3 発行枚数の制限と付属物付発行、販売のシート量発行と限定発行で収集家を悩ますことが続くのであろうか。これも民営化による影響かと思うと複雑な思いである。

最後に、地方版切手の発行とその地方限定販売方法が収集家を悩ませ、今後に不安を感じさせた問題である。料額変更という切手26種(封書料額変更に対応14種、旧はがき料額から封書料額に変更12種)とグリーティング切手地方版の地方限定販売である。地方限定販売は一つの地域振興策にでもなるかと少しは理解しても、グリーティング切手地方版の発行の方は非常に問題を感じる。1種類の地方限定版切手を手にするために不必要な9種類の切手を購入しなければならないという発行なのである。つまり日本のシート式切手のシートのみでの販売方法という問題がこのグリーティング切手地方版に大きな形で現れたのである。具体的には38種類のシール



キティと牧場



キティとフルーツ

沖縄版と北海道版グリーティング切手

上のような地方独自の切手は52円、82円1種ずつ13地方から26種が発行された。

7種10枚切手の上のようなシートが13の地方から発行された。上の1種4枚は13の地方毎に異なるが、下の6種は13地方のシートで同じ切手が配されている。

図4 地方版グリーティング切手

切手を手にするのに260枚のシール切手を購入する必要がある(図4)。今後もこのようなキャラクター意匠のシール式切手を無駄に手にするかと思うと切手収集意欲は消えていく。こうなると過去の咲き乱れた雑多のふるさと切手が懐かしくなるから不思議である。

このような色鮮やか過ぎて非常に美しすぎる切手をすべて1枚ずつ購入可能として幾らの小遣いを用意したらよいのか。実に42627円が必要である。これに小型シートのための切手帳5000円、グリーティング切手地方版を手にするため重複し不要な切手のため14874円、限定版1080円で合計63581円となるが、この額にはこの他に重複する切手(例えば星の物語シリーズ切手の重複6枚等)の金額は含まれてなく、切手帳、地方限定切手購入に利用せざるを得ない通信販売の利用費用なども考慮すると優に7万円を越すかという金額になる。このような状況ではとても収集家が増えることは考えられない。

ここまで問題にした数でなく質ともいえる



図5 昨年と名称が変更された18円切手

面に変更が見られた。昨年、海外年賀切手（差額用）として発行された18円切手2種が海外グリーティング（差額用）になったことである（図5）。これはクリスマスMAILを考慮してのことと考えるが、なぜか発売終了は1月末に延ばされたのに、発売開始は年賀切手と同じ10月末のままである。クリスマスMAILを視野に入れたなら、販売開始を年賀切手より早めてしかるべきであろう。

また、特殊切手に92円切手が初めて発行された。今後も発行されるのか、今年初めて登場のハッピーグリーティングという切手30種のうちの10種である。今後、92円の特殊切手の発行が増えていくか全体の発行数の中で注意してみていく必要がある。ちなみに、本年の発行種類では特殊切手の2%で

ある。他は、はがき用55円がやや多くなり29%、封書用82円が68%、発行枚数でも総枚数11億3000万枚のうち、ほぼ同じ結果で、それぞれ29%、69%という発行状況である。

このようにいくつかの問題を感じる切手発行の中では是非改善を期待したいのがシール式切手の発行方法の改善と対象の拡大である。具体的にはシール式切手の発行を普通切手にも拡張、コイル式シール切手、希望枚数購入可能シール式特殊切手等のあり方をも含めて検討されてしかるべきであろう。多量の郵便物を扱う事務所等で取扱いが便利であるため、シール式切手を利用していると耳にする。利用者の立場を考えるなら、より利用しやすいコイル式のシール式切手等が一日も早く用意されることが望まれる。

さらに、キャラクター人気に頼った切手意匠が目立つグリーティング切手を諸外国のグリーティング切手と思われるもの（図6）と比較して大人のグリーティングの手紙に相応しいものが発行されることを期待したい。

以上のような切手発行の現状では生活防衛を考慮し、自ずと厳しく吟味した切手の購入と、使用済み切手収集等へシフトしないと切手を楽しめない時代になってしまったと考えざるを得ない。（編集子）



図6 諸外国のグリーティング切手に類してるかと考える切手

花本金吾先生 瑞宝中綬章を受章

稲門フィラテリーの発足に力を貸して頂き、初代の会長をも務められた花本金吾会員（早大名誉教授）が瑞宝中綬章を受章されました。長年の外国語教育への業績が認められたことを心からお祝い申し上げます。

★稲門フィラテリー常設展 新宿北郵便局

第33回 9月5日から12月初め

日本郵便の父 前島 密

第34回 12月5日から 2016年3月初め

昭和～平成 申（猿）年の年賀郵便切手

★切手教室

新宿北郵便局

第119回 10月3日

小型シートを考える

小川 義博

第120回 11月7日

サザエさんと郵便 ーどうして磯野なのー
磯野 昭彦

幹事会報告

6月

1. 稲門フィラテリー15周年記念企画案 記念官製はがき 稲フィラ会員に配布 他案。実施自体も含め検討継続

2. 会報掲載会員他誌へ執筆記事紹介は本年より自己申告を掲載する。

7月

1. 稲門フィラテリー15周年記念企画検討継続

2. 会報4P単位での発行は原稿不足の現状から困難で、2P単位の発行も考慮要

8月

1. 15周年記念事業は周年の数から行わず、20周年に実施することにする。

2. 総会時の講演を池澤会員に依頼する。

9月

1. 総会報告資料の提案、次回決定

10月

1. 総会報告資料、会計報告等 検討決定

2 退会員 2名

11月

1. 総会報告 出席者19名懇親会出席21名

2. 34回常設展(28年3月)

テーマ未定アイデア募集

121回切手教室 講師募集

3. 稲門フィラテリーの今後を検討する必要がある。

紙面の都合で報告が遅れました。お詫びします

稲フィラ会員執筆の郵趣関係書と会報等の寄稿記事をお知らせください。

本年、郵趣関係の会報等に寄稿されました方は下記の内容でお知らせください。会員に周知したくお願いします。

寄稿記事 連絡依頼事項

今回から、ご本人の意思を確認する意味から、ご本人からお知らせいただいたものを掲載します。

会員名	誌名	月号	NO.	表題	発行元
-----	----	----	-----	----	-----

編集後記

先日、何年かぶりで郵便局の窓口で懐かしい言葉を発した「記念切手、1枚ください」。津波防災の日制定の記念切手である。小さな喜びも束の間。編集作業の終わりの日、シリーズ切手に切手帳の発行を知った。32年ぶりの単色凹版切手である。キッテ女子の小引き出しをキャラクターシール切手でにぎやかにし、今度は、凹版切手で老年切手マニアの年金から余分な出費を強いる新たな商魂たくましく新規上場企業の商品が郵便店舗に並ぶようだ。

発行日：2015年12月1日

発行：稲門フィラテリー

発行人：磯野 昭彦

〒150-0002

渋谷区渋谷1-11-3 正栄ビル4階

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：吉澤 忠一 青柳 次男

小川 義博

稲門フィラテリー

第59号

2016年3月1日発行

抜刀隊とフランス軍事顧問団

小林 彰

・抜刀隊

作詩：外山正一、作曲：シャルル＝エドアー
ル＝ガブリエル＝ルルー。

(一)

我は官軍我敵は 天地容れざる朝敵ぞ
敵の大將たる者は 古今無双の英雄で
之に従う兵は 共に剽悍決死の士
鬼神に恥じぬ勇あるも 天の許さぬ反逆を
起こしし者は昔より 榮し例あらざるぞ
敵の亡ぶる夫迄は 進めや進め諸共に
玉散る剣抜き連れて 死ぬる覚悟で進むべし

(二)

皇国の風と武士の 其身を護る霊の
維新この方腐れたる 日本刀（やまとがたな）
の今更に
又世に出づる身の誉れ 敵も身方も諸共に
刃の下に死ぬべきぞ 大和魂ある者の
死ぬべき時は今なるぞ 人に後れて恥かくな
敵の亡ぶる夫迄は 進めや進め諸共に
玉散る剣抜き連れて 死ぬる覚悟で進むべし

(三)

前を望めば剣なり 右も左も皆剣
剣の山に登らんは未来のことと聞きつるに
此世に於て目のあたり 剣の山に登るのも
我身のなせる罪業を 減ぼす為にあらずして
賊を征伐するが為 剣の山もなんのその
敵の亡ぶる夫迄は 進めや進め諸共に
玉散る剣抜き連れて 死ぬる覚悟で進むべし

(四)

剣の光閃くは 雲間に見ゆる稲妻か
四方に打出す砲声は 天に轟く雷（いかずち）
か
敵の刃に伏す者や 弾丸（たま）に碎けて玉
の緒の
絶えて墓なく失する身の 屍は積て山をなし
其血は流れて川をなす 死地に入るのも君が為
敵の亡ぶる夫迄は 進めや進め諸共に
玉散る剣抜き連れて 死ぬる覚悟で進むべし

(五)

弾丸雨飛の間にも 二つなき身を惜しまずに
進む我身は野嵐に 吹かれて消ゆる白露の
墓なき最後遂るとも 忠義の為に死ぬる身の
死にて甲斐あるものならば 死ぬるも更に怨なし
我と思はん人たちは 一步も後へ引くなかれ
敵の亡ぶる夫迄は 進めや進め諸共に
玉散る剣抜き連れて 死ぬる覚悟で進むべし

(六)

我今茲に死ん身は 君の為なり国の為
捨つべきものは命なり 假令ひ屍は朽ちぬとも
忠義の為に捨る身の 名は芳しく後の世に
永く伝えて残らん 武士と生まれた甲斐もなく
義もなき犬と云はるるな 卑怯者となそしられそ
敵の亡ぶる夫迄は 進めや進め諸共に
玉散る剣抜き連れて 死ぬる覚悟で進むべし

[詩も曲も既に著作権消滅]

・ 作詞者と作曲者

1887 (明治 10) 年に起きた西南戦争において、田原坂の戦いで明治政府軍は西郷軍による拔刀斬り込み攻撃に苦戦していた。その原因は、明治政府軍は徴兵された平民が多かったため、刀による白兵戦に対応できなかったことによる。そこで、警視隊（西南戦争の際に、東京警視本部、すなわち警視庁、が編成した部隊）から剣術に秀でた者を選抜し、百余名をもって拔刀隊が編成された。拔刀隊による白兵戦の活躍により、田原坂の戦いが攻略された。

抜 刀 隊 外山正一 作詞
ルルー 作曲

楽譜 1 ルルー作曲「抜刀隊」
〔堀内敬三著『定本日本の軍歌』より〕

この後、外山正一がこれを題材とした「抜刀隊の詞」を発表した。なお、外山正一 [図-1] は 1848 (嘉永元) 年生 ~ 1900 (明治 33) 年没で明治時代の教育家・文学者・社会学者・政治家。1882 (明治 15) 年、同僚の矢田部良吉、井上哲次郎と共に「新体詩抄」を発表。従来の和歌・俳句と異なる新時代の詩の形式を模索し、近代文学に多大な影響を及ぼした。

外山は「新体詩抄」に自作の「抜刀隊」を載せる。「敵の亡ぶる夫迄は 進めや進め諸



図-1 外山 正一

共に 玉散る剣抜き連れて 死ぬる覚悟で進むべし」という終わりの 2 行を繰り返す独自の詩形である。これは外山が米国留学時に親しんだ南北戦争の軍歌の形を踏襲している。後、陸軍軍楽隊教官のフランス人シャルル＝ルルー Charles Edouard Gabriel Leroux [図-2] によって曲が作られた。この曲は「扶桑歌」「陸軍分列行進曲」として編曲され、旧陸軍から現在の陸上自衛隊にまで受け継がれている。因みに、陸上自衛隊の観閲式の分列行進にはこの曲が演奏されている。また、この行進曲は 1943 (昭和 18) 年に明治神宮外苑競技場で挙行された学徒出陣壮行会の分列行進に使用されたことでも有名。これらの模様は Youtube で視聴できる。



図-2 シャルル＝ルルー

さて、作曲者シャルル＝ルルーである。彼は前任のギュスタヴ＝シャルル＝ダグロン Gustave Charles Désiré Dagron の後を受けて、フランス第3次軍事顧問団の一員として軍楽隊指導のため1884（明治24）年に派遣され、草創期の日本陸軍・軍楽隊の指導に当たった。

・フランス軍事顧問団

フランス第1次軍事顧問団（1867～1868）は徳川幕府に対する西洋式陸軍の訓練のため派遣された。顧問団の一部は、明治政府成立後も幕府側に加担し、戊辰戦争に参加した。

黒船来航後の安政元（1854）年には、老中の阿部正弘による改革で軍政改正掛が置かれ、幕府は軍の近代化を推進した。井伊直弼が大老に就任すると、西洋式軍備の導入は一時停滞したが、文久2（1862）年、幕府陸軍が創設された。しかしながら、海軍が安政2（1855）年7月に創立された長崎海軍伝習所においてオランダ海軍の直接指導を受けていたのに対し、陸軍は西洋式装備は導入したもの、オランダ陸軍の操典類の翻訳に留まっていた。

慶応元（1865）年5月、外国奉行・柴田剛中がフランス、オランダに派遣される。薩摩藩と関係を強めつつあった英国との交渉は成功しなかったが、7月にフランスに入った柴田らは同国との横須賀造船所建設と軍事教練に関する交渉を行った。顧問団派遣はナポレオンⅢ世の承認を受け、同国外務大臣がフランス政府の同意を伝えてきた。顧問団一行は1866年11月19日にマルセイユを出航、1867（慶応2）年12月8日に横浜に到着し、駐日フランス公使レオン＝ロッシュ Léon Roche とフランス東インド艦隊司令官ピエール＝グスタヴ＝ロゼ Pierre Gustave Rosé 提督の歓迎を受けた。

顧問団は陸軍大臣 ジャック＝ルイ＝ランドン Jacques Louis Randon の権限で選ばれ、各分野の専門家からなる士官6名、下士官9名の15人で団長はシャノワーズ Charles Chanoine 参謀大尉。後に4名が追加派遣された。士官：ブリュネ Jules Brunet 大尉、デュブスケ Albert Dubousquet 中尉、メスロー Edouard Messelot 中尉、デシャルム Augustin Descharmes 中尉、ジュールダン Claude Gabriel Louis Jourdan 大尉。

2015年5月にジュールダンのデグロン君を始め、多数のカバーや書簡がパリで入札にかけられた。これら書簡のコピーを入札前に手にすることが出来た。その1通を紹介する。
[仏文判読・和訳：筆者]。

「1874年5月12日 於江戸 妹ベネディクト Bénédicte 宛

君宛に新たに手紙を認めている。最後の最後に全体を見直すという習慣を改めるのはひじょうに難しい。時は過ぎて戻らず。思いやりのある人たちは繰り返し真実と読み物になるような情報とを混ぜ合わせている。私はマルクリー Charles Antoine Marquerie 大佐が4ヶ月以上前に離日したことを思い出すことができない。我々は彼のパリからの知らせを受け取った。旅行で疲労し彼は身を引くこと、引退を考えている。参謀本部の佐官連はミュニエ Charles Claude Munier 中佐が後任になると予想しているようだが、我々には詳細は分からない。いずれにせよ、陸軍省と外務省では必要手続きを終えることを特に急いではいなかったが、首尾よく署名に至れば彼は契約満了となる。また、我々は彼がさらに3乃至4年の任務を両省から要請されたかどうかは分からない。日本人はいつも任務継続に反対するが、継続する意思がまったくない国で

は、各大臣は前任者が行ったことを踏襲しない。一切、信用していないのだ。日本の諸大臣は批判の対象になっている内閣総辞職後の政治空白期に身を置いている。台湾への派兵は清国の敵視姿勢および欧米の輸送の名を借りて軍艦派遣に対する防御の結果として長崎で決定された。兵士はほぼ全員が反旗を翻した。というのは、誰も出征しようとはしなかった。その時、2 艦だけをアモイに派遣した。それは台湾の（1 字不明）副知事と和解しようとするためだった。レジャンドル Réjandol 將軍は江戸に戻り、3 分間、意見の違いを説明した。その後も政府は電報でやりとりしたが、明確かつ詳細な解決には至らなかった。政府は警察官と外国人との関係を比べてみても、引き続き外交団と緊迫した関係を創り出していた。英国公使館の秘書兼通訳の使用人を許可なく解雇したため、日本政府に外交特権違反とヨーロッパ 8 閣僚が署名した宣誓書を提出した。無礼な使用人、日本女性、を解雇するよう要請し、代えて男性使用人を採用する必要があったのだ。数日前、宮城の後方に建てられた新英国大使館の護衛官が 12 名ほどの警察官に逮捕され、殴打された。パークス Harry Parks 公使閣下は外務大臣に対し、不当逮捕に断固抗議し、皆、その成り行きが如何に相成るか、分かっている。政府は警察官に対し、外国人に関する規則の遵守をより厳しくするように指示することは明白で、同国人に適用されるので、外国人にとっては（1 字不明）の手続きで（1 字不明）をしなければならないのは残念なことだ。低階層の使用人が抗議するのは難しく、緊迫した報告をするだけで一件落着だ。

内務関係は最良の状態とは言えない。閣僚はことある毎に、休みもせず業務遂行し、その都度、辞表を提出する。とにかく、国は無

政府状態で機械のようだ。閣議の内容は事前に省と協議して決定されるが、どのように進行させるのだろうか。責任の所在がどこにあるのかまったく分からない。しかし、君の周りに起こること、君には、関心のある・なしに関係なく、繰り返し言わねばならぬことを失念していた。私は君たち皆の傍にいて、生活を共にしたいと思っている。今、君はデュモン Dumon 夫人となり、城主の奥方として城の春を謳歌するのに忙しいのではないか。私もその城を熟知したいものだ。というのは、君は自分がそこにいることを知らせるために足音をたてて歩いて行くだらう。

私の怠慢で申し訳けないが、君と母上に宜しくと殴り書きで言う時間しかない。ところで、時間厳守という軍律の厳しさを教えた日本人将校からは期待されているのだ。

ガブリエル Gabriel にもマルグリット Marguerite にも特に言うことはないが、夫君には宜しく伝えて欲しい。

兄、A. ジュルダン」

第 2 次軍事顧問団は幕末に派遣された第 1 次顧問団に続き、1872 年 5 月に日本に到着した。団長はマルクリー中佐だったが、病弱のため、しばらくしてミュニエ大佐に交代した [図-3]。顧問団は士官 9 人、下士官 14 人、軍楽隊責任者ダグロン、獣医師 1 名および職人 2 名で構成されていた。著名な団員の一人にクレットマン Louis Kreitmann 工兵大尉がいた。彼は後にエコール・ポリテクニク Ecole Polytechnique の学長になるが、日本で 500 枚もの写真を撮影しており、現在パリのコレージュ・ド・フランスの日本学高等研究所 Insitut des Hautes Etudes Japonaises に保管されている。なお、クレットマンの子孫が 10 年ほど前に横浜開港資料館で遺品を展



図-3 ミュニエ大佐

示したが、その中にデグロン君カバー1通が含まれていた。

ミュニエ大佐のデグロン君カバーは30通ほどが知られてる。その内の1通を紹介する[図-4]。なお、同カバーには書状

は内包されていない。

また、同顧問団にはルボン Félix Frédéric Georges Lebon 砲兵大尉がいた[図-5]。彼は当初、永田町の元彦根藩邸内の教師館に居



図-5 ルボン砲兵大尉

住したが1874年に砲兵本廠に隣接する小石川の元水戸藩邸の宿舎に移転した。その後、1873年6月にオルセル Jean Marie Orcel 砲兵大尉とカルチエ A. Cartier 砲兵下士官が来日しルボンを補佐した。

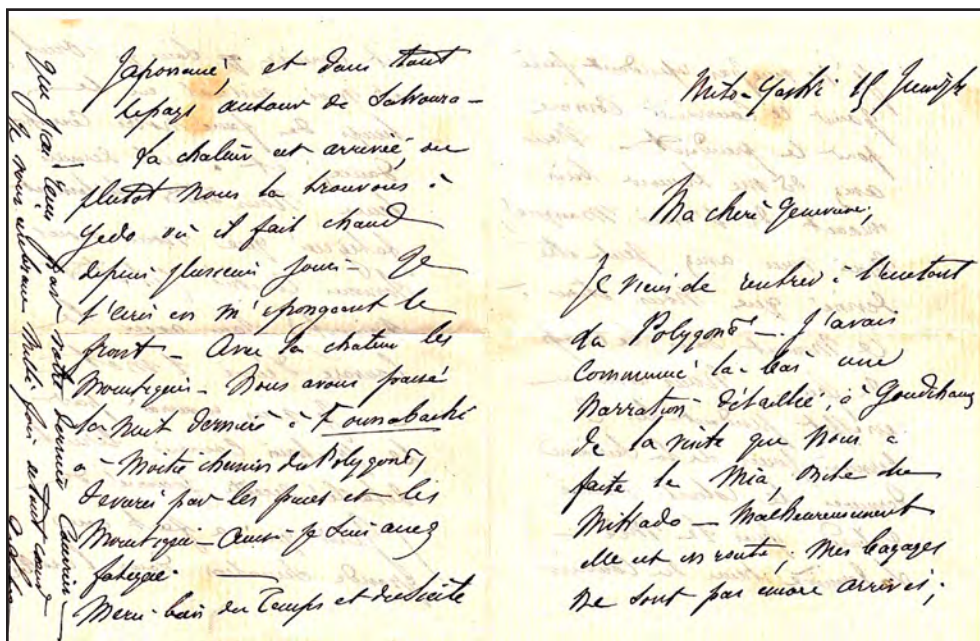
習志野にはルボンの指導で砲兵演習場が建設された。ルボンの契約は3年間であったが、2年間延長された。しかし、任期中の1876年7月に辞任し帰国した。他方、1912年9月、明治天皇の大喪に当たり、フランス共和国大統領名代として中将に昇官していたルボンが参列した。

ルボンは滞日中に故国の母 Félix と姪のジュヌヴィエーヴ Geneviève 宛に多数の書状を書き送っている。また、逆方向の母親からルボン宛の書簡も残されている。なお、ルボンのカバーには書状付もかなりある。一般書状として差し出されたものの他にいわゆるデグロン君方式で出状された書簡も多く、約30



図-4 ミュニエ大佐差立母親宛てデグロン君カバー

日本切手剥脱



図ー6 ルボン大尉差立ジュヌヴィエヴ宛書状

通が知られている。その内の1通の文面は下記の通り [図-6]。[仏文判読・和訳：筆者]。

「1874年6月15日 於水戸屋敷

姪ジュネヴィエーヴ宛

今しがた、射撃場から戻ったところだ。射撃場では課題の作文を始めていた。宮（有栖川宮）が我々に遣わした帝の御車は現在途上にあり我々の荷物は残念ながら未だ到着していない。しかし、私は前便のように本便では努力をしたくない。君はそれを失敗したと思っているに違いない。しかし、君は多分、現在、我々は撃ち合いをしていると想像しているのだろう。確かに先週は週末にかかる3日間、先ずミュニエ大佐がやって来たとし、続いて有栖川宮が姿を現した。

郵便船の最終便までに、オルセルと私は手紙を認める時間がなく、また、この時刻に我々は急激に疲労を覚え、1語も書く元気なく、眠りに就いてしまった。夜中の12時だった。次の便で、6月7日の騒ぎの詳細を書き送ろう。この日は佐倉地方で日本の砲兵隊が一大

事件を巻き起こしたのだ。

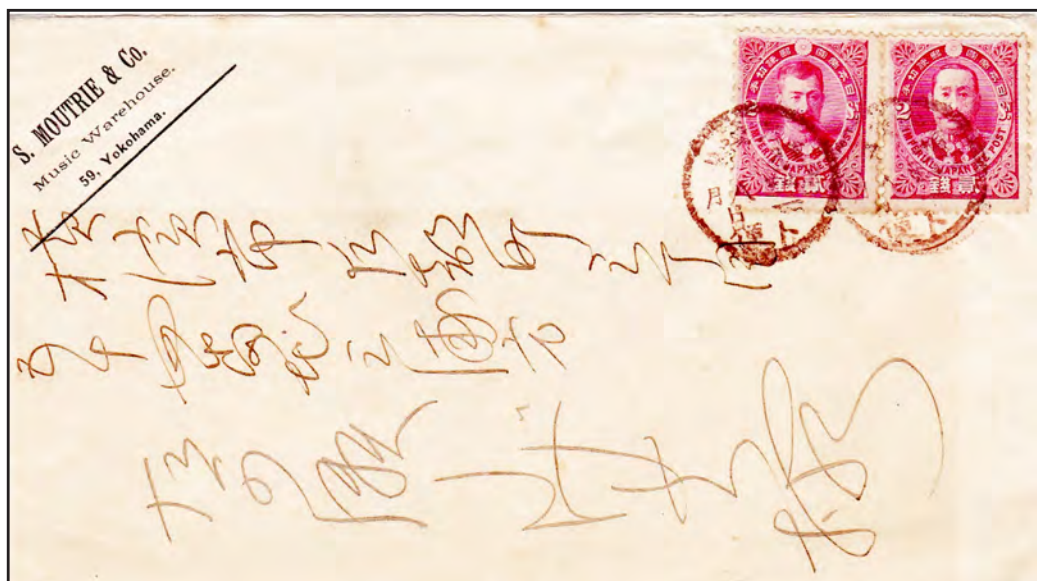
暑さに来だ。より正確に言えば、数日来、江戸は猛暑に見舞われている。額の汗を拭いながらこの手紙に筆を走らせている。暑いと蚊が飛翔する。昨夜、我々は射撃場からの中間点にある船橋に逗留したが、蚤と蚊に襲われた。だから、ひじょうに疲れた。

君の最新の書状を受け取った。それに時間を割いてくれたことに感謝する。

G. ルボン」

有栖川宮熾仁は [図-7] は1835（天保6）年、熾仁親王の第一王子として京都で誕生。17歳の時、仁孝天皇の第八皇女・和宮と婚約していたが、和宮は公武合体の政略のため婚約を解消し第十四代将軍・徳川家茂に降嫁した。1868（明治元）年、戊辰戦争が勃発すると、東征大総督となり江戸城を接收。維新後は、兵部卿、元老院議員などを歴任し、1877（明治10）年の西南戦争では征討総督を務めた。

軍事顧問団が故国に送る書状には、通常の書状およびデグロン君方式の他、フランス国



〔図-7〕日清戦勝記念切手 有栖川宮 2 銭（右）と北白川宮 2 銭（左）貼付カバー



図－8 CORR D'ARMÉES YOKOHAMA 軍事印押印ジュールダンカバー



YOKOHAMA 軍事印

内便と同じ料金で扱われる軍事郵便があった。これには軍事郵便印 CORR. D'ARMÉES YOKOHAMA が使用された。同印の押されたジュールダン大尉差立カバー〔図-8〕。ただし、このカバーは軍事印が使用されているに拘わらず、通常料金 1 フラン分の切手が貼付され

ている。

軍事印の誤用と思われる。

第3次軍事顧問団のメンバー5名は1884年から1889年まで滞日した。第1次、第2次顧問団は日本陸軍の近代化に大きく貢献したが、第3次顧問団が派遣された頃には、日本はドイツ帝国の軍事制度に関心を持ち始めていて、2人のドイツ人顧問も受け入れていた。

一方でフランスは著名な軍事技術者であるルイ＝エミール＝ベルタン Louis Emile Bertin を派遣することにより大日本帝国海軍に多大な影響を及ぼしていた。ベルタンは日本海軍最初的大型艦の設計を担当し、一、二番艦はフランスで建造されたが三番艦「橋立」は横須賀海軍造船所で進水した。

第3次軍事顧問団のメンバーは ジョセフ＝キール Joseph Kiehl、エチエンヌ＝ド＝ヴィラーレ Etienne de Villaret 中尉、アンリ＝ベルトー Henri Berthaut 中尉、アンリ＝ルフェーヴル Henri Lefèvre 歩兵大尉、ルイ＝エミール＝ベルタン。そして、軍楽隊指導のためシャルル＝ルルーが第3次顧問団の一員として来日したことは既に述べた。

・おわりに

政治的ではなく、情動的に右翼である筆者は戦闘機や軍艦が大好きだ。大日本帝国海軍の軍艦の絵葉書を収集しているほどだ。

海外駐在時には防衛省から大使館に派遣されている武官の方とは麻雀などを通じて親しくお付き合い願ひ、尖閣諸島など防衛のため、偵察機で隣国の戦闘機や輸送機などの動向を監視したり、領空侵犯の戦闘機

にスクランブルをかけるなど、生々しいわが国防衛の現状を伺って興奮したものだ

また、陸上自衛隊の観閲式や海上自衛隊の観艦式を Youtube で時々見ているが、決まって「抜刀隊」の演奏に合わせ分列行進し、あるいは「軍艦行進曲」に送られて護衛艦や潜水艦が出航している。血湧き肉踊るのだ。

最近、「抜刀隊」の作曲者がフランス人のルルーであることを知り、いっそう興味をもった。在横浜フランス郵便局関係のカバーを集め始めて既に40年近くになるが、その中には軍事顧問団としてわが国に派遣された軍人の発着カバーも少なからずある。

この機会に「抜刀隊」とフランス軍事顧問団メンバーの書簡とを組み合わせて紹介させていただくことにした。ところで、ルルーのカバーは所有していないので、現存していれば是非入手したい。関連情報をいただければ幸い。

参考文献：

リチャード＝イステムズ著・矢田部厚彦訳

「幕末明治日仏関係史」ミネルヴァ書房 2010
竹本知行著

「幕末・維新の西洋兵学と近代軍制」

思文閣出版 2014

佐藤賢一著

「ラ・ミッション」

文芸春秋 2015

松本純一著

「フランス横浜郵便局」

星雲社 2008

小村公次著

「日本の軍歌」

学習の友社 2011

メトロポリタンプレス編

「軍歌・校歌集」メトロポリタンプレス、2014

Wikipedia；

「フランス軍事顧問団」(1867-1868) (1872-1880) (1884-1889)、

「外山正一」、「陸軍分列行進曲」

小型シートを考える

小川 義博

2015 年 2 月、年金生活者の小遣いには高額な普通切手帳を割り切れぬ思いで求めた。2 種の小型シートのために浪費を強いられたような気分がまだぬぐえないで残っている。ふと、切手帳、小型シートをじっくり整理してこなかったことも考えて、この機会に小型シートをすこし検討し、多少なりとも気分を逸らせればと考えた。この文を書いている間に更にバカげた信じられない切手帳に名を借りた小型シートの発行を知った。爆買いをしていただける外国人の嗜好に合わせた北斎も嘆くであろう、金ぴかの 8000 円という切手帳とは名ばかりの 2 枚の小型シートである。営利目的発行に邪魔されない今のうちにと、意を強くし記した次第である。

小型シートとは何であろうか。切手研究用語集（郵便文化振興協会）には「1 枚の切手、あるいは数枚の切手を組み合わせ小型の《シート》として特別に印刷したもの。わが国では 1934 年（昭和 9）4 月に発行された通信記念日制定記念の小型シートが最初。郵政当局が＜組合せ郵便切手＞と呼ぶこともあった。スーベニア・シート。」と記され、更に、スーベニア・シートは「記念切手発行と同様に記念に発行された＜小型シート＞のことで、耳紙に文字や図案が入っているものがほとんどである。」と記されている。最近、多くの変則的なシートを目にするとすべて小型シートになってしまう。そこで、日本切手カタログ 2 種で調べたが、かえって混乱を増してしまう結果であった。2 種のカタログでシート記載の違いを整理すると表 1 のようになった。ここでは慣れ親しんだ分類であること、グリーティ

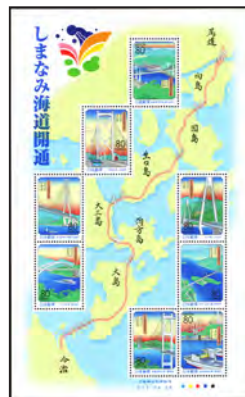
表 1 カタログによる小型シートの分類の違い

通称	種類	発行年	切手商組合発行カタログ	郵趣協会発行カタログ
年賀昭和 11 年用	年賀切手	1935 年	小型シート	20 枚シートと記載
貯金切手	普通切手	1941 年	小型シート	シート自体記載なし
しまなみ街道開通	ふるさと切手	1999 年	小型シート	シート自体記載なし
高齢者向け切手	特殊切手	1996 年	記載なし	グリーティング切手として小型シートと記載
グリーティング切手	約 36 種		記載なし	5 種類各 1 枚構成シートを小型シートと記載 一部 10 種も小型シートと記載
レターシール付き 普通切手 ファミリーペーン	普通切手	1994 年	ファミリーペーン	小型シート

郵趣協会発行カタログのふるさと切手ページに誤りの小型シートの記載あり除外した



高齢者向け切手は小型シートで、年賀 50 年は小型シートにあらず



しまなみ海道開通切手シートサイズは普通であるが小型シート

ング切手の扱いに違和感があるので切手商組合発行カタログの分類で検討していきたい。ただし、切手商組合発行カタログで小型シートと記されたのは通信記念日制定記念のみであり、他はカタログ番号右に S/S と記されたものを小型シートとした。また、国際切手展 2011 の売価 1200 円 (500 円切手 2 枚) シート、および 2014FIFA ブラジル大会記念の 3 種のシートには S/S は記されていないが小型シートとし、今回の普通切手シートと合わせて整理、検討対象にした。整理すると今回の切手帳 2 種を含めて 217 種が発行されている。この 217 種は 2 つの考え方で小型シートと分類されているようである。①所定の発行枚数を印刷するシートとは別に、少数種類、枚数で印刷されたシート。②他に見られない意匠の切手が印刷された小型のシート。そのほか目打ちの有無等では特に考慮なくとも①で分類できるようである。しかし、

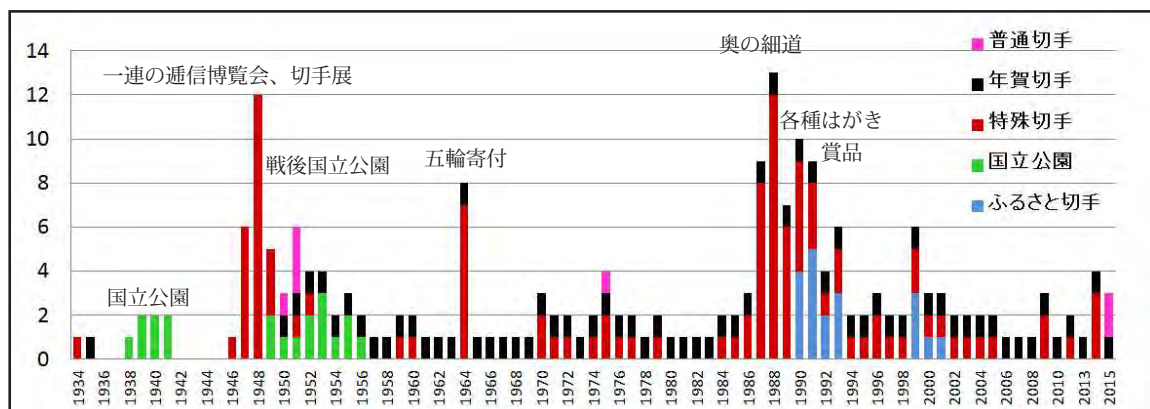


図1 小型シート発行の推移

説明がつかないものもあり、意匠、形状で決めていく方向で良いのではとも考えたい。

切手の種類別では小型シートの本来の姿である記念切手と同時に発行したものが多く、次いでは65年間も発行され続けてきた年賀切手シートである。この年賀シートが景品として続いていることは他国に例を見ないものであろう。

次に、小型シートの発行の推移を示したのが図1である。1934年芦ノ湖航空切手4種で通信記念日制定記念として初めて発行された小型シートからばらついた発行推移の中、終戦直後、五輪開催、切手乱発初期の三時期に多く発行されていることがわかる。

特殊切手に限って、発行内容別にその割合を示したのが図2である。注目せざるを得ないのが奥の細道小型シートである。発行数は国立公園切手の全小型シート数と同じである。シリーズ40種の切手すべてを20枚の小型にしている。この小型シートの発行目的、理由は何であった

のか、疑問を持たざるを得ない。時の総理が俳句集を出すまでの俳句好きであったからなのであろうか。

内容分類で切手展・趣味週間、通信博、郵便事業、そしてふみの日を郵政関係とすると36%になり、多少、発行者の手前味噌的な小型シート発行の感を受ける。このようにみると、今後も小型シートは郵便・切手展関連、五輪・万博等の世界的催し物、そして皇室関連の3つの記念切手が主になっていくのであろうが、加えて営利目的発行を危惧せざるを得ない。

次に、小型シート構成を見ると表2のように1～20枚構成と幅がある。一部、例外を除き2枚を主として5枚までの切手で構成されており、10枚以上のものを小型シートと位置付けるかは疑問があろう。発行形状を見ると表3のように国立公園小型シートが半数近く無目打ちであり、他の小型シートはほとんどが目打ちありで発行されていた。無目打ち小型シートは1989年の奥の細道小型以来発行されてなかったが、今回の高額普通切手で四半世紀ぶりに発行されたことになる。次に、タトウ等の有無でも国立公園小型はすべてタトウに入れられて発行され、他は万博、五輪、ご成婚に例外的

表2 小型シート構成する切手数

切手数	ふるさと切手	国立公園	特殊切手	年賀切手	普通切手	総計
1			17		5	22
2	1	7	60	38	2	108
3	10		12	5		27
4	7	13	8	20		48
5			6	2		8
8	1					1
10			1			1
15			1			1
20				1		1
総計	19	20	105	66	7	217

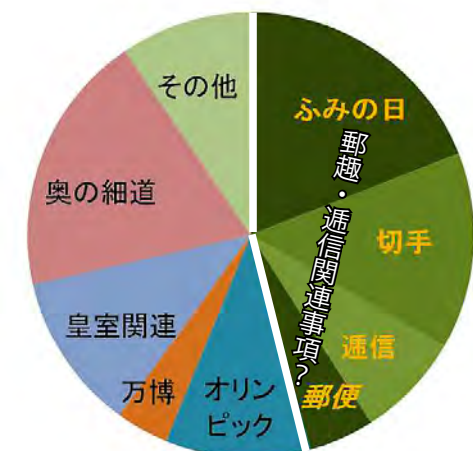


図2 発行内容別特殊切手小型シート発行割

表3 小型シートの発行状況

種類	発行数	目打ち		売価表示		
		なし	あり	タトウ表示	シート表示	表示なし
特殊切手	105	43	62	* 6	10	89
年賀切手	66	1	65			66
国立公園	20	9	11	** 20		
ふるさと切手	19		19			19
普通切手	7	1	6			7
合計	217	54	163	26	10	181

* 台紙、半透明袋売価表示はタトウ表示を含む
 ** タトウ1部に2枚の小型シートの発行あり



今回の小型シートより売価が約3000円と高額であったと考えられる通信記念日制定記念小型シート

に発行された感である。更に、売価表示と売価について、売価表示はタトウ付き小型の場合は表示されるが、シートのみでは額面より高い場合表示されるが、非常に少ない。売価を整理すると表4の様になり、額面より50%以上高い売価であるのは終戦直後に発行されたタトウなしでの売価表示ある郵便開始75年、日本国憲法の2種の小型シートである。価格としては今回の2000円小型シートが最高額でなく、貨幣価値の点からは、最初に発行された通信記念日制定シート77銭であろう。1934年の郵便料金(はがき1銭5厘)から換算すると約2700円になり、発行枚数が2万枚というのも理解できる。

表4 切手種類別小型シートの売価

小型シート 売価	額面販売	約額面 + 額面 10%	約額面 + 額面 20%	約額面 + 額面 30%	約額面 + 額面 50%	額面 × 2	賞品	賞品か 額面販売	入場券付 ・切手帳	合計
ふるさと切手	5						4	10		19
国立公園		5	7	8						20
特殊切手	89	3	3	1	1	1	6	1	1	105
年賀切手	1						64			66
普通切手	5								2	7
合計	100	8	10	9	1	1	74	11	3	217

珍しいタトウと考えたいものがある。1950年のトラ年賀小型シート用に郵政省が有料でタトウだけを発行したものである。図4のように日専カタログに記載された、8頁のもであり、今回の8000円小型シート切手帳より手の

FDG(N5, 各局)		50,000
N5A	並製多色刷り(売価10円)	4,000
専用タトウ	木版(売価50円)	6,000
(50.3.1)	並製多色刷り(非売品)	7,000

年賀切手の小型シートは、お年玉つき年賀はがきの未等賞品として作られた。一般販売されていない。ただしN5Aの専用タトウは別売り。

1950年 郵政省発行専用タトウの日専記述部分



専用タトウ 1P/8Pの意匠



専用タトウ 3P/6Pの意匠 2P 7Pは無地



専用タトウ 4P/5Pの意匠 シートは別

図4 木版専用タトウの内容 表紙と裏表紙

込んだものである。

また、戦前の国立公園小型シートのタトウには戦後の小型シートにある公園説明以外に、天皇の歌、古代の文書等が載せられ、また、英語ではなくフランス語が使用されているのが時代を反映していて興味深い。

発行枚数については公表されている 129 種を整理する表 5 のようになる。注意されるのが賞品として発行された小型シートの多さである。年賀はがき以外に 1986 年から 1989 年にかけてカモメール、サクラメールの賞品として発行された、ふみの日、切手趣味週間の小型シート 6 種と、年賀はがき 4 等賞品として 1991 年から 1993 年に発行されたふるさと切手 9 種の小型シートと年賀小型シートと合わせてその多さに驚かされる。博覧会、皇室関連の小型シートが多く発行され、それに関連して年代によってかなりの違いが生じている。

表 5 発行内容別小型シート発行枚数

発行内容	種類	発行枚数		
		平均	最大	最小
博覧会	4	838	1300	350
皇室関連	12	726	2000	15
五輪関連他	11	304	1500	130
その他	16	215	1100	3
奥の細道	20	175	200	150
ふみの日	16	119	200	60
郵政関連	25	106	800	2
ふるさと切手	5	73	150	38
国立公園	20	16	30	4
全体	129	214	2000	2

以上、小型シートを整理検討して感じるのは、発行に対する明確な考えがあるのかないのか、あるなら、どこまで貫かれているか残念に思われる小型シートの存在である。奥の細道シリーズの多くの小型シート、1989 年から 1993 年にかけてのはがき販売促進に利用されたふるさと切手等の小型シート、そして最近の高額小型などである。また、カタログ上でも小型扱いをぜひ統一してほしいものである。

諸外国の小型シート

このようにわが国の小型を整理してみて、諸外国の小型の発行状況を知りたくなった。しかし、どう調べれば小型シートの発行状況がわかるか悩んだ。常識的には切手と同じく SCOTT を見ればよいのだが、日本の整理の仕方とは異

なっており、これがかなり難しいことがわかった。日本の小型シートがどのように表示されているか整理したのが表 1 である (SCOTT2006 年版)。

画像から整理できるものでなく、老眼にはやさしすぎる細かい文字表示から判断せねばならないのに加え、表示内容も異なり、明確に Sourvenir Sheet と表示されているのは半数にも満たない。このような理由から SCOTT を利用するのはあきらめ、UPU のサイトの国、地域の発行切手リストを洗い出して整理した。

表 6 日本小型シートの SCOTT での表示

表示内容	数
Imperf.,pair	1
Issued Sheets of 切手数	1
miniature Sheet of 切手数	3
Sheet of 切手数	28
Sheet of 2 lottery prize	74
Sourvenir Sheet	86
Sourvenir Sheet 画像表示	5

このサイトでは Sourvenir Sheet という表示はなく、『miniature sheet of 切手数、デザイン数』と表示され、シート余白に図柄が印刷されたシート、多種類切手構成シートはすべて miniature sheet として表示されている。この表示ではわが国の 2013 年発行 431 種切手のうち miniature sheet でない sheet で発行された切手は年賀切手 2 種だけであった。この表示に従い 30 の主な欧米諸国と地域の 2002 年～2014 年までに発行された切手と miniature sheet 発行数、および miniature sheet に印刷された切手数を整理したのが次ページの表 7 である (UPU の記録範囲で整理を行ったことに厳に留意いただきたい。30 の国と地域で約 1500 種の miniature sheet。ドイツ、オランダ、アイルランドは記録なし、わが国は前述の理由で除外)。

まず、発行される切手に対してどのぐらいの頻度で miniature sheet が発行されているかを見ると、平均で 6.0% と約 20 種切手が発行されると miniature sheet がその中に含まれているという感じである。切手発行数と miniature sheet 数の相関係数は 0.87 と高く、切手を多く発行すれば miniature sheet の数も多くなるという常識的な結果がみられた。強いて言えば、

表7 miniature sheet 発行状況とシート印刷切手数

国 名	期 間	発行 切手数	発行 シート数	シート 割合	構成切手数			
					最大数	最小数	平均	S D
アイスランド	2002-2013 年	402	26	6%	5	1	1.8	1.1
アメリカ	2002-2012 年	1632	43	3%	40	2	12.2	6.7
イギリス	2002-2014 年	1678	51	3%	10	4	4.6	1.5
イタリア	2003-2014 年	917	29	3%	12	1	4.1	3.4
オーストラリア	2002-2014 年	1508	77	5%	10	1	4.4	2.4
オーストリア	2002-2012 年	670	39	6%	10	1	2.9	2.2
カナダ	2002-2014 年	976	97	10%	8	1	3.4	1.6
クロアチア	2003-2014 年	597	29	5%	8	1	1.9	1.5
スイス	2002-2014 年	635	22	3%	5	1	2.2	1.4
スウェーデン	2002-2013 年	694	24	3%	8	1	2.6	1.5
スペイン	2002-2014 年	1273	113	9%	16	1	2.6	2.3
スロバキア	2002-2014 年	347	29	8%	6	1	1.8	1.3
チェコ	2002-2014 年	472	23	5%	5	1	2.4	1.5
デンマーク	2002-2014 年	467	36	8%	8	1	3.3	2.1
ニュージーランド	2002-2014 年	1222	88	7%	26	1	6.5	5.8
ノルウェー	2004-2012 年	553	15	3%	3	1	2.1	0.6
ハンガリー	2002-2014 年	1274	119	9%	25	1	5.5	6.4
フィンランド	2002-2012 年	616	49	8%	8	2	3.8	1.6
フランス	2002-2014 年	2404	147	6%	14	1	5.3	2.9
ベルギー	2002-2011 年	1137	93	8%	25	1	5.5	3.8
ポーランド	2002-2012 年	609	46	8%	13	1	3.2	3.1
ポルトガル	2002-2014 年	1615	152	9%	12	1	2.1	2.1
モナコ	2002-2013 年	597	23	4%	8	1	3.3	2.1
リトアニア	2002-2012 年	438	24	5%	6	1	3.0	1.5
リヒテンシュタイン	2002-2011 年	335	6	2%	8	1	5.2	3.0
ルーマニア	2002-2014 年	1381	125	9%	12	1	2.4	2.0
ルクセンブルグ	2002-2014 年	482	14	3%	9	1	2.9	2.1
* グリーンランド	2002-2014 年	269	2	1%	2	2	2.0	0.0
* フェロー島	2002-2014 年	412	38	9%	10	1	5.6	3.3
* 南極豪州切手	2008-2014 年	79	9	11%	5	2	4.1	0.9

ポルトガル、カナダ、スペイン、ベルギー、ハンガリー、ルーマニアの国々がやや miniature sheet の発行が多い国と位置付けられそうである(図6)。ここで気になるのがシール切手(self adhesive miniature sheet)の影響であるが上記6ヶ国ではカナダに多く発行がみられるだけで影響してないと考えたい。加えて miniature sheet の発行数の推移をみると集計年の幅が統一されてなく正確さに欠けるが各年の平均発行数をみると図7の様に今回の対象国と期間の中では徐々に増加していることが見られた。

次に、1枚の miniature sheet を構成する切手の数をみると、1種から4種が大半であるが、年々種類の多い miniature sheet が多くなってきているようである。各国別に1枚の miniature sheet を構成する切手数の幅、平均、

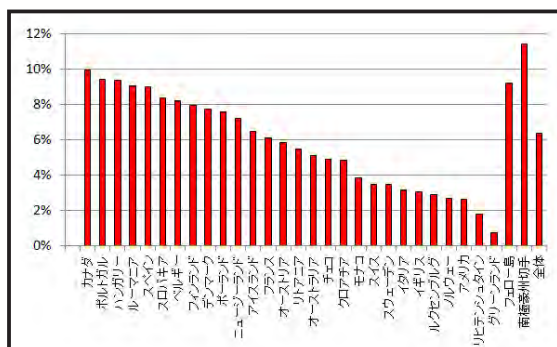


図6 対切手 miniature sheet 発行割合国別比較

バラツキ・標準偏差(SD)を表7に示したが、比較しやすいように平均切手数と切手数のバラツキをグラフにしたのが図8である。

平均切手数が多い国がSDが大きくなるのは当然であろうが、これはUPUが普通に小型シー

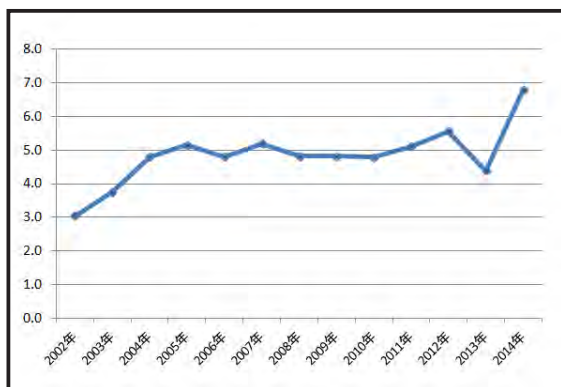


図7 miniature sheet 発行数の推移

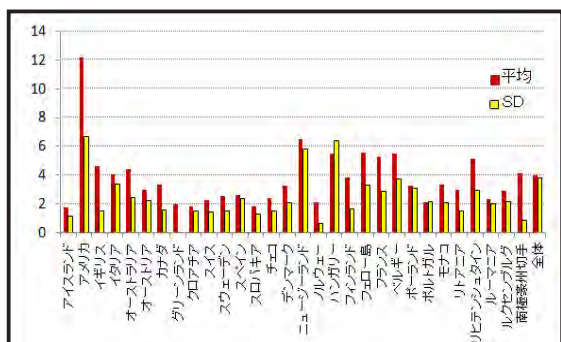


図8 miniature sheet を構成する切手平均枚数とSD

トと考えられるものから、わが国では常態化してしまっただけで、余白に意匠を印刷した多種切手シートまでを miniature sheet と同じ扱いにしているためもある。より具体的にみるため、図4で棒が長い国、中間、短い国のアメリカ、ニュージーランド、スペイン、アイスランドの切手枚数の割合を図示すると図9のようになる。アメリカは10以上の多種類構成シートが主体、ポルトガルは単一切手構成シート主体、そしてニュージーランドは10種以下複数切手構成シート主体ということがわかる結果であり、わが国を図示するならばほとんど単色の棒という結果

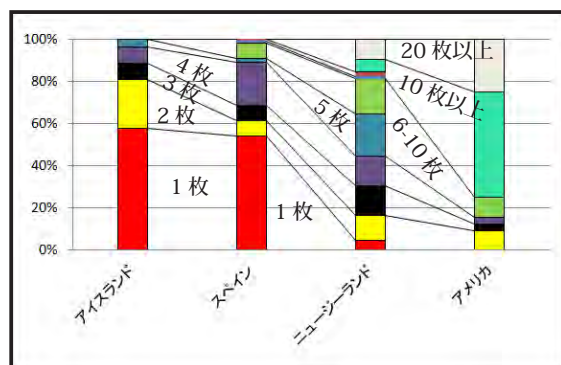


図9 miniature sheet を構成する切手平均枚数

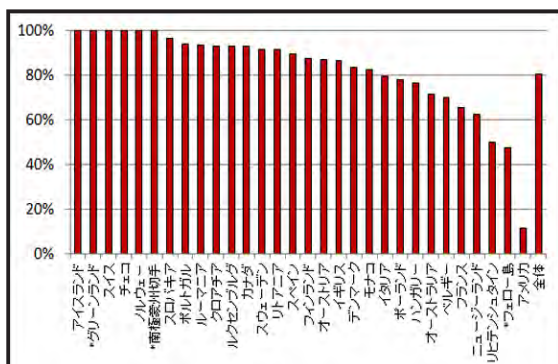
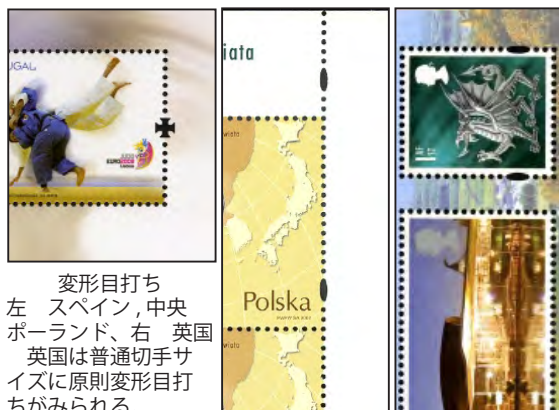


図10 5枚以下の切手の miniature sheet の割合

になるであろう。この3ヶ国だけでなくすべての国の miniature sheet の構成傾向を見るために1—5種切手構成割合を国別に比較すると図10のようになった。ほとんどの国が1～5種類構成の miniature sheet、一般的な小型シートを発行していた。特に、ポルトガル、アイスランド、スペイン、スロバキアは半数以上が1枚切手の小型シートであった。反対にアメリカ、イギリス、フィンランドは1枚切手の小型シートは少なく、イギリスは8割が4種切手構成の小型シートであった。反対に10種以上切手構成 miniature sheet (意匠部分付多種類切手、以後、意匠シートと略記) は全体としては少ないが、アメリカが異常に多く、わが国同様、他の国々と異なる切手形態であることがうかがえる。わが国の意匠シート発行と関連しているシール切手シートを整理した。スロバキアは単独切手をシール式シートにしていたのは珍しく、フィンランド、イタリア、カナダ、デンマーク等はアメリカとわが国と同じく意匠シートでグリーティング切手風のシートが発行されており、フィンランドが2008年以降少数切手構成シートも含めてシール式シートに移行しているように、徐々にシールへの傾斜が進んでいるようである。これには変形切手の発行が増えてきたことも影響している。

今回のわが国で初めて普通切手小型シートに印刷されたシリアル番号が諸外国にみられるか調べてみると、4ヶ国にみられた。どの国もすべてのシートにみられるわけでは無いようであった。ハンガリー、スペイン、ポーランド、ベルギーに番号が印刷されていたが、これが印刷番号を意味しているかは調べられなかった。小型シートを調べていると変形目打ちを単片切手よりも強く印象付けられる。イギリス、日本



変形目打ち
左 スペイン、中央
ポーランド、右 英国
英国は普通切手サ
イズに原則変形目打
ちがみられる。

にみられる楕円以外に目立つたのがポルトガルの十字軍十字架目打である。この変形目打ちの有無も番号同様、明らかな理由の判断は付きかねる。

最後に、1000 円を超える理解できないわが国の小型シート（切手帳？）の料額を考える参考になればと、1500 余種の小型シートから高額のものを探した。最高料額はアメリカの Washington 2006 Expo の 8\$, イギリス 2011 年発行 Aerial Post の 2 £ 78+1St ぐらいが眼につくぐらいで 2000 円を超える料額、売価の小型シートは無く、わが国のように極端な営利を感じるものは無かった。

外国の美しい、変わった小型シート、miniature sheet をご覧いただき、今後急増する危惧を感じる小型シートを考えて頂きたい。

本考察に当たり、小西邦彦会員、宮鍋益治会員、慶應大学 OB 郵研三田クラブ 谷口吉太郎氏から貴重な助言をいただきました。深く感謝いたします。本稿は第 119 回切手教室の内容、レジュメに追加、訂正をしてみました。



今回、最も高額と考えられた 8 \$ のアメリカ小型シート



2002 年ベルギー
歴史的建物
表示が sheet of 10 designs



2002 年ベルギー
Christmas and New Year
miniature sheet of 10 of 10 designs



2012 年スイス Brown long-eared Bat



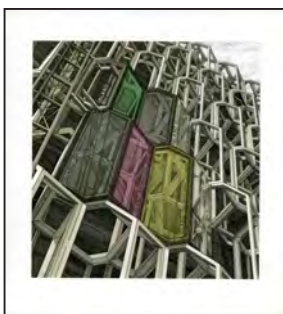
横 10cm の大型変形目打ち切手



2007 年フィンランド International Polar Year



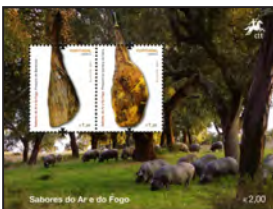
切り取り方で切手の
イメージが大きく変わる



すべて形の異なる 5 種切手で構成
されたのシールシート
2011 年アイスランド Reykjavik エガートル竣工



2007 年フランス Givenchy's
Heart 毎年有名ブランドの
heart が発行される
Chanel, Givenchy, Ungaro
Lanvin, Hermes, Baccarat 等



2013 年 ポルトガル
Flavours of the Air & Fire
ドングリで美味しいイベリコ豚の
生ハム切手

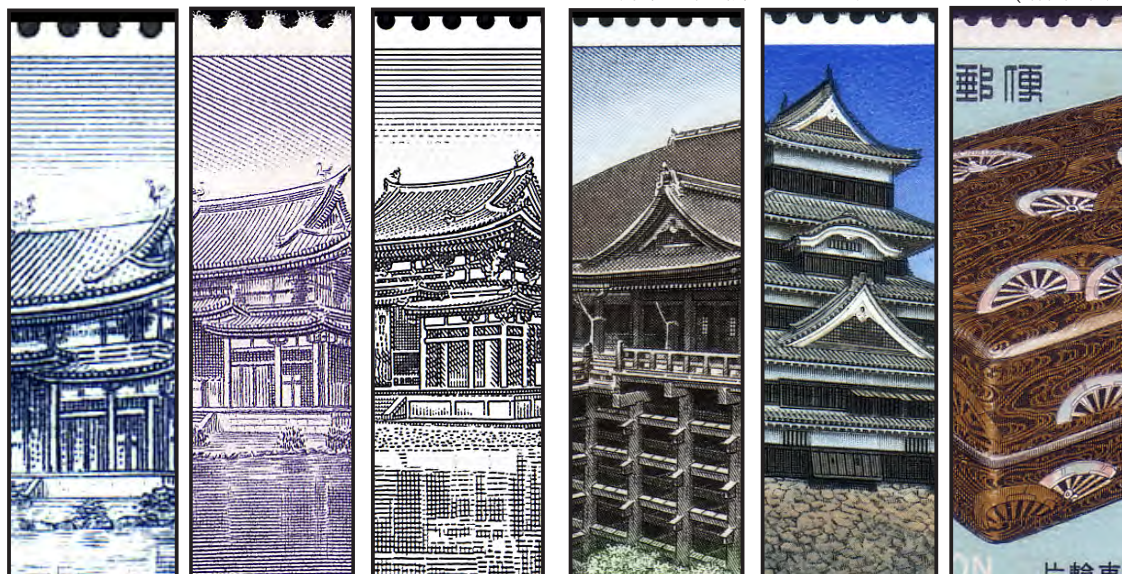


2014 年 スペイン
Spanish Cuisine イベリア半島
には料理を扱ったものが多い

凹版切手を楽しむ

32年ぶりに凹版の単色切手が発行された。発行方法に問題を感じるがそれはさておき、この機会に凹版切手を虫の目で凹版切手をならべてみた。日本記手には9つの方式で凹版

を使用して、約500種の切手が発行されているが、凹版だけの切手は190種程度に過ぎない。凹版切手と言えばスラニア、そしてスウェーデン、チェコ、オーストリーの切手。こちらも虫の目で覗いた。各国とも彫刻者名を切手に記載している。(編集子)



小型シート	普通切手	凹版 建物シリーズ	国宝シリーズ	グラビア・凹版 国宝シリーズ	グラビア・サンメル 凹版 国宝シリーズ

普通切手 30 円平等院は普通切手 24 円と同一版とみられた。

清水寺、グラビアが？と思われたが、空を見ると松本城と異なり一つの差が判るが、他は難しい。



サンメル凹版 国宝シリーズ	階調凹版 政府印刷 100 年	彫刻者 SLANIA スウェーデン HOUSA チェコ	彫刻者 TOTH オーストリア GANDON フランス

貴重な資料発見

諸田 志郎

年が明け松の内にと郵政博物館見学と浅草寺のお参りに出かけた。

博物館見学の後、ミュージアムショップをのぞき古い書籍等を引き出し目ぼしいものがないかと探していると、学生郵便切手会と書かれたB 6判の小冊子を見つけた。書名は「切手趣味講座」発行は昭和22年12月25日、目次は掲載のとおり、帰ってからじっくり読もうと迷わず購入した。

小冊子は逓信省主唱で展開された「切手趣味の週間」の一行事として逓信博物館で11月1日から3日にわたり開かれた「切手趣味講座」の内容を学生郵便切手会の会員がまとめたものであった。このとき、北斎1円の「切手趣味の週間記念」切手が発行されたのは承知のとおり。

小冊子は逓信博物館の山下武夫氏が序文を寄せられ、また装丁は加曾利鼎造氏が手掛けしている。講演は三井高陽、吉田一郎、逓信省郵務局業務課長久保威夫の三氏を講師に行われた。

各氏それぞれ異なった視点から話され当時の郵趣の動向が垣間見られるが、久保氏の話

は切手発行に対する逓信省の方針がのべられ国立公園切手の発行再開を示唆し、その後の大量発行の方向がうかがえる。

聴講の申し込みは80名を超え、毎回50名ほどの出席があり大半が学生であったとのことである。

この中に、橘喬一会員もいたとのこと、吉田一郎氏の講演を聞いた際、龍48文切手が回覧され手に取って初めて実物を見たと回顧している。小冊子にも切手を回覧し話をされたと記載されている。

学生郵便切手会はこのとき発足後1年余であり会員を募集している。三井高陽、吉田一郎、小島（勇之助）三氏が顧問についている。

早稲田大学の学生も会員になっていたが、この人たちが中心となり早大切手研究会は昭和24年3月に創立された。

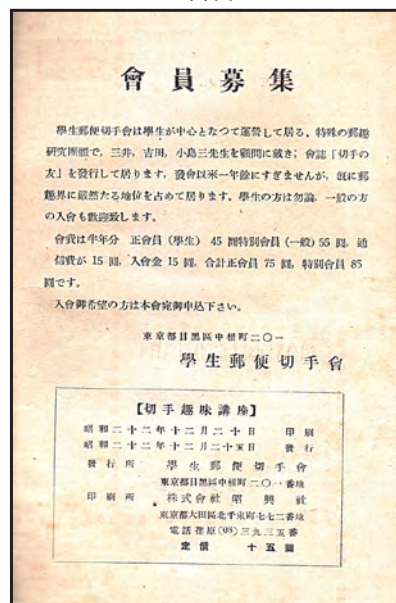
この小冊子は、私のお宝になりそうだ。



表紙

切手趣味講座目次	
序にかへて	逓信博物館 山下武夫氏…1
郵便切手の性格	日本郵便切手会会長 三井高陽氏…3
郵便切手の種々相	切手文化会世話人 吉田一郎氏…9
郵便切手並に切手趣味に対する逓信省の見解	逓信省郵務局業務課長 久保威夫氏…12
あとがき	18
装幀 加曾利鼎造氏	

目次



奥付部分

週刊文春に香りが

青柳 次男

まだSL全盛の頃、上越線で従弟たちの住む田舎へ遊びに行った。田舎の家は、南面に広い庭、東側には水田が広がり、その先に上越線の線路が走っていた。水田と庭の境には、大きなリンゴの木が何本もあり、時々、私達の口を楽しませてくれた。しかし、夜は怖かった。漆黒の闇の中に、上越線の信号の明かりが微かに見えるだけ。満天の星空ではあるものの、星明りなど足元を照らす役にも立たない。そんな中、生理現象は抑えがたく、トイレに行きたくなる。でも、トイレは屋外。水田と庭の境のリンゴの木の下。布団の中で決心がつかない。そんな時に限って夜行列車が通過する。客車と貨物列車では、線路の通過音が違う。ガタガタ、ガタガタ。これは客車で、編成がせいぜい7～8輛程度。ゴトン、ゴトン、と重たい音は貨物列車。貨物列車は貨車の編成数が多いた

め、このゴトン、ゴトンという音が長く続く。水田を挟んでいるものの、その音が布団の下から伝わってくる。ゴトン、ゴトン。腹に響く。ガマンの限界。漆黒の闇の中に足を踏み出す。方向もわからない。頼りは、あの力オリだけ。やっとのことで思いを遂げたものの、今度は、戻れない。

リンゴの木の下のトイレは、叔父の力作。一応、大小に分かれていたが、〇〇カクシもアサガオも木製。ただ板を打ち付けただけ。しかし、今考えると、システマティックでエコにできていた。肥溜めの上にトイレの小屋があり、溜まったものはそのまま畑の肥料になる。この使い勝手と力オリでは、屋内に設置できないのも仕方ないことではある。田舎に行きたくなかった理由の一つではあるが、今はあの力オ

りとともに非常に懐かしく思い出す。従弟に言わせると、彼らも怖かったらしい。

叔母の訃報に接し、そんなことを思い出していた時、週刊文春のページが目に残った。2016年1月21日号。トイレ探検隊の記事だ。トレタン48号〇川隊員が紹介されている。〇川隊員は、稲門フィラテリーの会員でもあり、トイレに関するウンチクは、水に流されることなく益々積み重なり、いまやウンチクに埋まって生活しているとも言われている。その〇川隊員が、現代のトイレ博士？としてその研究論文とも言えるべき廁力レンダーとともに紹介されている。同博士は、最近、切手を集めることを止めたと言っておられるが、どうも、切手もカミですから、別の用途に使ってしまったのではないかと噂もでている。その真偽のほどは、同記事に紹介されていない。ともかく、ここにご紹介する。



48号〇川隊員による刻苦本勵の集大成！
『廁うんちく暦臭～流れ消えた 香と歳月』

ところで日本で最初にトイレについて体系的に考えた人。つまりトレタンの元祖みんないな人物は、広島県出身で、朝日新聞記者や出版局編集長などを歴任した李家正文博士だ。博士は、一九三二年にかわやこう『廁効』を上梓したのを手始めに、新聞記者をしながらトイレに纏わる膨大な著作を発表し、名実共にトイレ博士の異名を取った。

このようなトイレ研究家は、今の世の中にいるのだろうか？ いるんです。その一人が、東京・文京区の48号〇川義博隊員（73歳）。48号のトイレへの飽くなき探求と執着ぶりを尻って、いや知って戴きたい。『廁効』まずは、自宅にお邪魔してびっくりポン！ 本棚は洋の東西を問わずトイレ関連書籍が並び、トイレを拝借すると当然のように、ここにもトイレ本が鎮座している。私が注目したのは、48号が趣味で作っている『廁うんちくカレンダー』だ。古今東西トイレに関わる写真や絵画を書籍、ネット、テレビから収集し、これを元に自ら作成している。「国立民族学博物館で昔の立派な木製便器を目にしてからトイレに魅せられてしまいました。以後、トイレに飾るカレンダーを探して

いるときに、うんちくが書かれて、ゆっくりながめられるものがよいと思い、自分で作り始めました」と48号。出来上がったものは、自分とごく一部を知り合いの間にだけ、ブルジョワジーならぬ、「スカトロジスト（糞尿好き）」の秘かな愉しみを決め込んで配布している。その集大成が、昨年四月に完成した『廁うんちく暦臭～流れ消えた 香と歳月』と題するB5判・全二〇六ページ総天然色本だ（上写真）。ここには、二〇〇〇年から十五年に及びカレンダーに収めた、姫路城からリヒテンシュタイン城、モンゴルの大平原から宇宙船と、人類のあらゆるトイレに関するうんちくが、すべて掲載されている。

第15回「東京五輪2020 おもてなしトイレ編」近日公開に向けて、ガンバレ、トレタン!!

長谷川八千代さん 100 歳を祝う

(故長谷川正純氏のお母さま)

磯野 昭彦



早大切手研究会OBの長谷川正純氏は平成10年12月13日逝去しました。長谷川正純氏は早大切手研究会50周年記念事業実行委員の一員として、特に記念誌「早大切手研50年」の編集委員に参加、

超一流の編集能力を発揮されていました。平成11年11月11日発行を目指していましたが完成を待たずして亡くなられてしまいました。

長谷川正純氏は早大切手研究会50周年記念とともに、平成10年はご自身の切手収集50周年記念であることを重ね合わせて、自分の「切手収集50年」記念カバーを作成、前橋中央局風景印を押印し、切手収集仲間へ贈呈されました。この切手収集の始まりは昭和23年小学4年の11月お母さまに連れられ前橋局(現前橋中央局)で見返り美人切手を買ってもらった日だという。このことから長谷川正純氏が早大切手研究会50周年記念事業に情熱を燃やしていたことが窺い知れます。

長谷川正純氏は早大切手研資料をきちんと整理保管していて、記念事業に多くの資料提供をしてくださっていました。切手の博物館、新宿北郵便局で開催する早大切手研究会50周年記念展には、著名漫画家13名の早稲田祭記念絵はがきを提供してくれることになっ

ていたのですが、突然の他界のため自宅のどこに保管しているかわからず、展示中止に追い込まれそうになっていました。しかし、お母さまに協力いただき、やっと段ボールから取り出していただきました。早稲田祭記念絵はがき13種を完全に所有していたのは長谷川正純氏しかいませんでした。

このように、長谷川正純様のお母さまによる蔭の応援でようやく切手の博物館での記念展を開催できました。なお、新宿北郵便局展示の早稲田祭記念絵はがきは、故佐藤隆之氏と磯野所有のものを合わせて13種を揃えました。

お母さま八千代様は、切手の博物館の早大切手研究会50周年記念展にお見えになり、展示を観るだけでなく売店にあった記念誌を数冊お求めになって嬉しそうに帰られました。その上品なお姿は忘れられません。また、長谷川正純氏を切手収集の道に導いたことも忘れないようにしたいものです。

この正月、そのお母さまから「昨年100歳を迎えて表彰されました」という元気なお姿の写真付年賀はがきをいただきました。早大切手研究会OBのみなさまにぜひ報告したくなり、ここに寄稿いたします。



幹事会報告 2月6日

1. 今年役員改選期となっている。交代の検討と新幹事候補の推薦を幹事全員で努力する。
2. 花本先生の叙勲祝いを10月の総会時に行う。
3. 切手教室
4月講師 木村正裕氏（外部講師）
「ムーミン切手」
6月講師 安西修一郎氏（外部講師）
「切手が語るスペイン現代史話 - 内戦勃発80年」
4. 関東郵趣連盟総会 3月12日に台東文化会館で開催。会代表として荒木会員出席。
5. 切手教室 プロジェクターが必要講師が多く、性能アップ機器購入を検討要
6. 会員募集対策として、総会案内時に早大切手研究会O.B.O.G.に稲門フィラテリー活動状況報告を同封し入会の勧誘をしたい。

7. 会の活性化について 返信に近況報告欄を設け、まとめて会員に配布し効果が得られた経験など参考に検討。
8. 3月5日（土）21時TBSテレビ
「世界ふしぎ発見」番組で金井氏のモーリシャス切手のコレクションが取り上げられる。

★切手教室

新宿北郵便局

第121回 2月6日

アメリカ初日セレモニープログラムと特印
豊田 謙氏（外部講師）

第122回 3月5日

バーコード切手 本間 秀雄氏（外部講師）

★稲門フィラテリー常設展 新宿北郵便局

第35回 3月5日から 6月初め

アニメを描いた絵入りがき

2015年 稲フィラ会員執筆の郵趣関係書と会報等の寄稿記事

会員名	表 題	誌名	年・月号	NO.	発行元
小林彰	日仏郵便史 1860 - 1899・開港から 条約改正まで	The Philatelist Magazine	2015 12	9号	スタンペディア 株式会社
小林彰	在横浜ペイル兄弟洋菓子店 「ペイル兄弟次男ウジェンヌの書簡」	切手研究 464号	2015 12	464	切手研究会
荒木寛隆	リトアニアの窓から 第48回 2015・1・1 ユーロ通貨導入 他	川越 YUSHU	2015 2	277	JPS 川越支部
荒木寛隆	リトアニアの窓から 第49回 リトアニアの盲人郵便	川越 YUSHU	2015 3	278	JPS 川越支部
荒木寛隆	リトアニアの窓から 第50回 第33回アジア国際切手展 TAIPEI2015 (1)	川越 YUSHU	2015 5	280	JPS 川越支部
荒木寛隆	リトアニアの窓から 第51回 第33回アジア国際切手展 TAIPEI2015 (2)	川越 YUSHU	2015 6	281	JPS 川越支部
荒木寛隆	リトアニアの窓から 第52回 蝶切手の図案エラー発見	川越 YUSHU	2015 8	283	JPS 川越支部
甲斐正三	切手でたどるラインの流れと ロマンチック街道	郵趣	2015 2		日本郵趣協会
鎌倉達敏	震災切手大阪印刷版の版別分類	Stampedia Philatelic Journal	2015 年誌	通巻 第5号	スタンペディア 株式会社

編集後記

「稲門フィラテリー」を校正してきましたが、知識の不足と高齢による注意力低下のためか、なかなか及第点がとれませんでした。

最近、特に右目の緑内障が進んだためか、細かい字を見るのがつらくなり、本号をもってどなかにボタンタッチしたいと思います。遅ればせながら、日本語の難しさを痛感しました。今後、本誌にますます名文が載ることを期待します。
(吉澤)

発行日：2016年3月1日

発行：稲門フィラテリー

発行人：磯野 昭彦

〒150-0002

渋谷区渋谷 1-11-3 正栄ビル 4階

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：吉澤 忠一 青柳 次男

小川 義博

稲門フィラテリー

第 60 号

2016 年 6 月 1 日発行

懲りずに 神楽・まつり・そして神楽

池山 眞彦

忍び寄る加齢の恐怖におののきながら、ひたすら平常心を装い、ただ乱れ衰える頭脳回路の復元を願いつつ備忘録として密やかに記したもので、このたび編集長の熱意と恫喝に絆され、苦渋の選択を決断した代物ゆえ、随所に欠落のある実に身勝手な戯言であることを御了解願いたい。

小生の高校時代唯一の記憶遺産、人文地理とは「性と色」の学問である。すなわち「地域性と地方色」。日本列島の地理的地勢的特性から生まれた、自然との共生を源流にもつ特異な文化。その深淵に潜む力強く美しい伝統。経済最優先に翻弄され続け、振り返ることの大切さを忘れかけていたときに出会ったのが伝統芸能（歌舞伎、文楽、能）の原点を成す民俗芸能の数々でした。

遅々として進まぬ神楽巡礼ですが、出会ったときの感動を稚拙な筆の中から若干なりとも感じとっていただければ幸いです。

平家落人の里 五家荘樅木神楽

おどまかんじんかんじん（おいらは乞食みたいなもの・・・）過酷な労働と搾取、極貧の生活の厳しさを歌詞に残した五木の子守唄。川辺川ダム建設と村の再生に論争が続くなか、時は今も刻々と経過して行く。既に村の中核部は山の南緩斜面に移転され村落としての機能は立派に果たしているにもかかわらず、秋の陽光に照り輝く新興村里の不気味な



寂寥感は一切何なのだろう。村の入り口には、五木の子守唄の歌碑が往時を物語っているものの、故郷を放棄した人々にとっての新しい生活再建が今後如何様にして形成されるのか、胸を締め付けられる思いがする。五木川と名前を変えた錦秋の深い谷筋を更に 30 数キロ遡る。

宮崎県との県境にある秘境五家荘樅木集落は平家落人たちの隠れ里伝説を伝える最奥の集落である。林道沿いに数本の「奉納 樅木



神楽」と書かれた陣旗がはためいているが、深まる秋の静寂、本当に祭礼なんかあるのだろうかと言ってしまう。楽しみにしていた山の料理をゆっくり味わう余裕もなく、そそくさと裸電球の外灯だけを頼りに漆黒の山道に出る。山の彼方からかすかな笛、太鼓の調べが聞こえ、点々と電球の流れが中腹まで伸びている。明日の樫木天満宮大祭を前に神々への感謝を込め舞が奏せれる「御夜」といわれるプログラムが深夜まで続く。高千穂神楽がルーツだと言われる。高千穂から椎葉、更に川を遡って大字向山、そして山ひとつ隔てた熊本県樫木、時空を超えた長い交易ルート、情報ルートを通じて定着した神楽なのだろう。今、那須大八郎と鶴富姫との悲恋物語の現場にいることの不思議さにしばし酔う。

当夜の舞台には椎葉村大字向山日添から3名の青年が険しい山道を越えて参加、激しく優雅な神楽を舞った。現代に繋がる交流の現場に接し、感無量であった。真新しい神楽殿と秘めやかな飾りの中で舞われる神楽は200年以上の歴史を持ち直面、神楽面あわせて13番舞われる。

心のこもった料理や焼酎をゆっくりと味わい、村人達との会話を楽しんでいると長い年月をかけて培われた五穀豊穡を感謝し祈念する人々の気持ちが伝わり神楽にかける愛着がひしひしと伝わってくる。

気がつくやうに舞台の裾で神楽を楽しんでいた数名の美少女軍団が消えていた。幕間から次



の出番に備え真白な直垂、袴、立烏帽子すがたの緊張した面持ちが覗く。実に初々しい。神楽は深更まで続くが、その間子供による舞が4番含まれており、古いも若きも地域一体となって伝統を受け継ぎ守り抜くすがたがじつに尊くうれしく思えてくる。

現在は御多分にもれず近隣の葉木神楽、本屋敷神楽、岩奥神楽と同様、厳しい過疎化の中で保存会の方々の懸命なる努力と学校での必須授業化を通じ、生まれ育った地域の伝統文化に対する愛着を培っており、この時期になると、昔教壇にたった先生方や都会で働く若者たちが多数戻ってきて、自ら舞を披露したり旧交を温めたりほのぼのとした雰囲気漂う。

多様化した現代社会の中で、次代につながる新しい文化が確実に築きあげられる過程を垣間見たような気がする。心の中で長い年月をかけて醸成される文化の萌芽が具現化、定



着するまでのさりげない日常生活がどっしりと息づいているようだ。

聖地巡礼 鷺宮神社催馬楽神楽

東北大震災の惨禍とその後の混乱に疲れ、多少なりとも心身の憂鬱を癒さんものと生命輝く清明の季節、東武浅草駅から久喜市の鷺宮神社に向かう。近づくにつれ車窓を流れる田園風景の中にブルーシートが架けられた家々が目立ち始め、この地まで及んだ大震災の巨大な脅威が胸を打つ。降り立った鷺宮駅には人の姿もまばらで、駅前の明るい商店街を辿り菜の花の咲き乱れる小川を越すと、鳥居の向こうに霞む花の雲。普段通りの穏やかな春の一日。

源頼朝も武運長久を祈ったという関東最古の大社、そして関東神楽の源流といわれる土師（ひじ）一流催馬楽神楽をもつだけに、森閑たる空気に覆われた古色蒼然たるイメージの鷺宮神社だったが……。

ところがビックリ仰天。鳥居の前で町の職員らしき人がチラシを配っている。2007年



頃漫画及びアニメ「らき☆すた」が大ヒット。登場人物の居住する神社のモデルとなって以来、キャラクターの絵馬奉納やコスプレ姿での聖地巡礼が続き、今や町おこしの神社として隆盛の絶頂に……。

さすがに春季祭は花見の親子連れやお焚きあげの達磨をかかえた地元の人達が次々に参拝に来ており、ブームの浮ついた華やかさは欠片もない。

「催馬楽とは元来各地に存在した民謡、風



俗歌に外来楽器の伴奏を加えた歌謡。」のことであるがこの神楽は記紀の神話を題材にした一種の舞踊劇として、当日は12段の内6段が奉納された。

手に杓子、扇、鈴をもった「ミソキ」を主題にした2人の巫女舞、宝冠を冠した素面の巫女2人と翁の面をつけた3人がそれぞれ手に五十鈴、鏡、大幣をもって舞う「天岩戸」神話、更には端神楽と称し巫女姿の女の子が手に幣をもって段と段の間に神楽殿を履き清める舞。いずれも白や緋色、紫色などの伝統的な衣装に身を包み、小学生から中学生ほどの女の子たちが華麗に舞う。

圧巻は「八州起源浮橋事之段」で烏帽子に五十鈴と日輪を手にしたイザナギ、宝冠に五十鈴と三日月を手にしたイザナミによる「国生み」の神話を、舞台の中央に設置した太鼓橋風の天の浮橋のまわりで荘厳に舞う。





舞台にかぶり付きの姿勢で見ていると、イザナミの舞方は女性であった。

元来、伝統的には神官をはじめとして男性中心の舞方、囃し方であったが、ここでは老若男女を問わず広く関心のある人々が中心的な担い手となっている。神楽殿の前には地元の小学生が陣取り、熱心に舞を楽しんでいた。神社や町で開催される伝統芸能講座には、神楽に関心のある若者や女性が毎回大勢参画して楽しみながら次の世代への橋渡しを実践しているとか。

アニメ「らき☆すた」放映前には9万人の初詣参拝客が放映後は40万人を超える参拝客が毎年続き、2014年には47万人にもなったという。

極めて現代的なアニメと伝来の重要無形文化財の融合、単なる「クールジャパン」ではなく新しい町おこしのあり方を提言した具体例としても貴重な存在になったようだ。



奥三河 テーホヘテホヘ 御園の花まつり



第二東名高速道路の部分開通によって取りつきが比較的容易となったのを契機に、かねてより訪ねたいと思っていた奥三河の花まつりに出かけた。三河の豊橋から信州の飯田に至る国道151線は古くから人や物資の重要な輸送路であり、この地域一帯は静岡を加えた三遠南信地域と呼ばれて、花まつり、雪まつり、霜月まつりなど伝統ある民俗芸能の宝庫である。北上する街道の左右に交錯する「まつり街道」の看板にところが踊る。

山深い奥三河に不釣り合いな御園の地名、伊勢神宮所有の荘園で供餞を献納するための領地だったようで現在はそばと茶の産地として生計を成している。紅葉の鮮やかな山道を辿り御園へ、旧小学校の校庭に設けられたお旅所には火が灯り、神寄せの湯釜には既に湯がたぎり、五色の切り紙で飾られた舞庭では青年が撥を手に鶴のように一本足で大きくはばたいて舞っていた。受付でお見舞いを奉納





すると供物のお礼として夜食のおもてなし券と花まつりの湯のみを授けてくれた。

花まつりは熊野の山伏や白山の聖によって伝えられ、11月上旬から3月にかけて奥三河15か所で、悪霊を祓い、神人和合、五穀豊穡、無病息災を願い700年にわたって大切に継承されてきた神事で、夜を徹して「テホヘ テホヘ」の掛け声とともに全員で盛り上がる。

一旦夕食のため宿所に戻ると集落の役員たちが賓客を交えての宴席を設け賑やかに寛いでいた。今夜の賓客は愛知県知事の大村氏で知事の来村は実に50年振りということで集落の人々の力が入るわけである。

舞庭に戻ると既に舞庭を踏み固める「地固めの舞」の最中で上着を着た男女数人の若者が手に手に扇子の採り物をもってテホエテホへ元気な掛け声と共に華やかに、祭りもいよいよ佳境に入ったようである。



一転、提灯を手にした子供の先導で大きな真っ赤な面と金色の目、緋色の衣装に紅で染めた太い襷を背中に懸けた山見鬼が辺りを睥睨威圧しながら黒や赤の伴鬼達を従えて堂々と舞庭に登場してきた。手に剣、鉞、煮えたぎる湯釜の周りを蓬髪乱しながら、釜を割る所作を延々と1時間に亘って繰り返す。命の再生を図り生まれ清まりの所作で、村人たちが一気に釜の周りに集まり笛太鼓の拍子によって掛け声歓声が交錯し祭り気分が最高潮に達する。村人に促され釜のまわりをぎこちなく知事が踊っている。

午後10時過ぎ、子供たちによる花の舞が始まった。頭に竹で編んだ花かんむりを被り、橙色の衣装を羽織った小学校高学年の女の子たち4人による華やかな舞である。続いて小学生の男子、低学年の女の子とそれぞれ華やかな衣装に扇や鈴の採り物をもって釜の周りを舞い続ける。時刻は11時過ぎ、都会ならば疾うの昔にお休みの時刻である。一年の節目として老若男女を問わずこの祭りを楽しみ、慈しむ様子がとても羨ましく感じる。

やはりこの祭りは体力勝負。寒気と睡魔に襲われ一旦宿所へ……………

眠い目を擦りながら舞庭へ戻る。この祭りのシンボル榊鬼（人が住む以前の山の主）や、すりこぎしゃもじ（みそぬり、めしぬり）等の豊穡を祈り願う舞いは終了。残念！いつか挽回を誓ったけど……………？





夜が白々と明け始めたが4人の青年による四ツ舞が扇、棒塚、剣と採り物を替え汗びっしょり延々と続く。

終盤の盛り上がりを見せる「湯ばやし」が始まった。この寒空に上半身裸になった青年が体中墨を塗って藁で作った湯たわしを湯につけては一面に振りまく。浴びるべきか浴びざるべきか。無病息災ということで舞庭は多くの人で埋まり嬌声が響く。中には舞庭の外にまでお目当ての人を追いかけては湯を振りかける。早いテンポの拍子に乗せて勇壮な場面が1時間近く展開される。焚火の周りではびしょびしょになった少女達が震えながら成り行きを見守っている。

舞台の上に大きな白い鬼が立ちあがった。手に鉞をもった「朝鬼」である。白い鬼、白い鬼。剣客商売に登場する「白い鬼」とも違う。睥睨威圧をすれども何とやさしくほほえまし



い。赤鬼と対峙して湯釜のまわりを舞続ける。赤い衣装をきた子供の鬼、鉞をふりあげ舞続けるひつつめ髪の若い女性、酔いながら舞続ける古老、入り乱れての饗宴はテーホ



エテーホエいよいよ終盤を迎える。

「まつりの後の寂しさ」なんて全く無縁の一昼夜だった。初めから終わりまで実に楽しいのである。ひたすら神々に感謝し祈念する。無限の世界、陶酔の世界、来るべき旅立ちの世界・・・・

時は晩秋、山路を辿る帰りの道筋、余韻はいつまでも続き、頬はいつまでもほてっていた。



神楽には辺、奥、僻といった語がよく似合う。今や古風を伝承し、且つ地方的特色の顕著な神楽を求めるならば交通の極めて便の悪い所に密やかに散在し、よほど根気よく時節を選ばねば出会うことが難しくなっている。その上近辺の景色や事物も最高の条件で見つけようなどと欲張っている。神楽巡業も年に2、3度がいいところである。フーテンの寅さんのように終生48か所は無理にしてもまだまだ力の続かぎり徘徊したいものだと思っている。

次の免許証書き換えには認知症の検査もあるとか・・・ 心配である。

絵葉書で見る「地下鉄・東京駅・東京中央郵便局」

西村 寿一郎

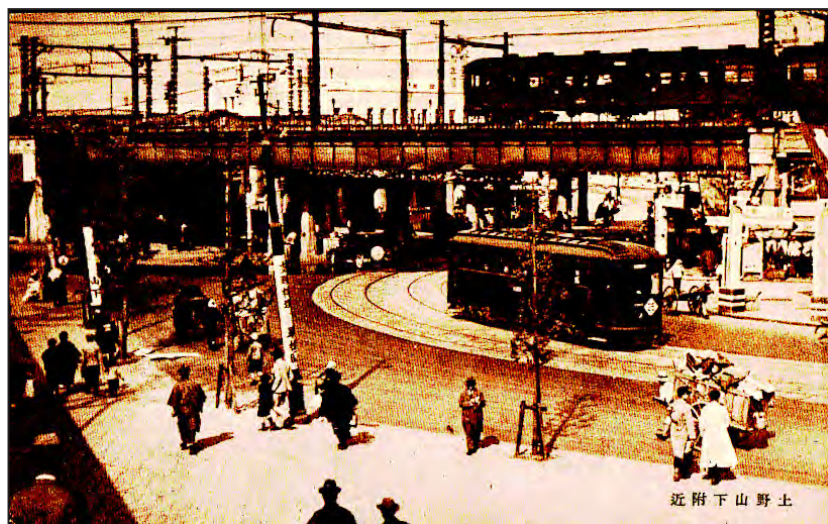
中学・高校時代の同級生十数名、久しぶりに上野山下で集まりがあった。

最近、上野・浅草ともに外国人の観光客が多い事が話題になり、スカイツリーの効果もあるのではないかと話をしていた。そんなことを含めて話題はどんどん広がり、地下鉄、東京駅、東京中央郵便局へと話ははずんだ。なにか、落語の「三題噺」のようだが、帰宅後、手元にある戦前の絵葉書を探したら数まい出てきた。以下、順を追って現在のJPタワー完成までご覧いただこうと思っています。

①昭和7年ころの上野山下付近

〈絵葉書の説明・昭和7年〉上野公園正面の坂を降りて、上野駅に行く途中の交通網があります。省線電車が高架線を疾走し地上には市内電車や乗合自動車が櫛の歯を引くように右往左往しており、この下には地下鉄が走っています。電車、自動車の交通の頻繁なことは、東京でも有数のところ です。

絵の左側高架下が上野駅広小路口、右側ガード手前にそってアメ横商店街。上野公園の正面から西郷さんの銅像が見えるように、山を少し削ったとの話を聞いたことがある。この写真より現在は少し低くなっているような気がする。



②地下鉄ビル

〈絵葉書の説明〉浅草吾妻橋畔にあります。日本最初の地下鉄隧道の起点にあたる場所です。現在の線路はまだ一局部だけにしか過ぎませんが、数年後に、予定線の工事を終わった場合には、大東京の交通潮流に一大変化を招来するものと期待されています。

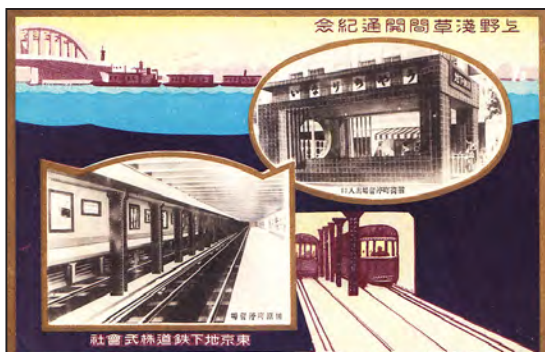
神やバーの隣で、現在は建て替えられ、浅草駅への入口になっている。



③地下鉄

上野浅草間の開通記念絵葉書で、現在の銀座線上野、稲荷町、田原町などが描かれている。

今でも、浅草駅、田原町駅、稲荷町駅には、当時の面影が残っている。



いなりちゃん（稲荷町）停留場出入口
田原町停留場

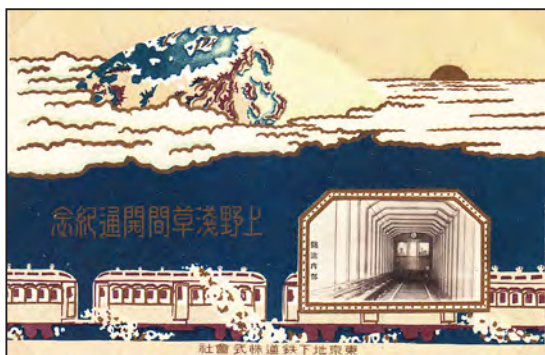
（隅田川をいくダルマ船と駒形橋（竣工日時から永代橋も考慮）



上野変電所内部

停車場改札口（ターンスタイルパシメーター）
（駅を停留所 プラットホームを停車場と表現）

（浅草のレビュー（大衆娯楽演芸）と上野の西郷銅像、文化施設がバックに描かれているか）



隧道内部

（雲海に浮かぶ地球と太陽、今では見られない構図）

④地下鉄 50 年の初日カバー

昭和 52 年 12 月 6 日発行



⑤銀座線新形車記念乗車券

昭和 59 年 11 月 30 日発売

わが国に於ける地下鉄は、開通してから 90 年の歳月を数える。



昭和 2 年 12 月 30 日に現在の銀座線浅草駅から、途中に田原町駅、稲荷町駅を経て上野駅までの約 2200 メートルが開通し、以後順次渋谷まで伸びていった。

現在の東京の地下鉄は、それぞれの私鉄と相互乗り入れし、網の目のように交錯し複雑化している。一昔前、地下鉄漫才で一世を風靡した春日三球、照代ではないが「地下鉄は何処から入れたのか」で笑いを誘ったが、銀座線は現在の台東区役所と上野学園の間に車庫があり、一般道と交差して踏切が出来ている。丸の内線も後楽園で外部から見る事が出来る。

当時の面影を残しているのは、浅草の吾妻橋交差点のところ、田原町、稲荷町の入口に見ることが出来ると思われる。

地下鉄建設の計画は、古く 1906 年（明治 39 年）に高輪・浅草間、銀座・新宿間が最初といわれている。1923 年（大正 12 年）9 月 1 日の関東大震災の影響で上野・浅草間に施行区間を変更し、1925 年（大正 14 年）9 月 27 日に着工 1927 年開通、以後 1930 年に万世橋、1931 年神田、1934 年新橋まで開通している。

⑥東京駅

〈絵葉書の説明〉全国交通網の中心で、大東京の表玄関として一日約四十万人の乗降客を吞吐している。大正三年竣工、ルネッサンス式鉄骨煉瓦、石材造の東洋一の駅である。

1896 年（明治 29 年）中央停車場を建設することが決まり、1914 年 12 月 20 日開業「東京駅」と命名された。

それまでの東京の玄関口の新橋は汐留駅と改称され貨物専用駅となった。

1945 年 5 月 25 日東京大空襲で鉄骨の屋根は焼け落ち、大半が失われた。1947 年修復工事が完成し、ほぼ現在のような外観になった。

1999 年から 2000 年にかけて、創業当時の形態に復元することが決まり、工事は 2007 年 5 月 30 日に起工され、2012 年 10 月 1 日完成。



1989 年
東京駅

2013 年
鉄道シリーズ

2001 年
東京ミレナリオ



1999 年 20 世紀デザイン



2015 年
北陸新幹線開業

切手になった東京駅

⑦東京中央郵便局

〈絵葉書の説明〉丸の内の重要な地を劃し、東京駅と丸ビルとの間、南よりに新築された。明朗な大建築物であります。ここで扱われる郵便物の総数は、引受けが一日に通常郵便二百三十四万五千通、小包郵便物が三万八千個、配達は一日に通常郵便物が百七十三万五千通、小包郵便物が一万八千個に及び、年末年始には、その数十倍に達するそうであります。



1915 年（大正 4 年）5 月 23 日前年 12 月 18 日開業した東京駅と、鉄道郵便局（東京中央郵便局と同一局舎）とを地下鉄道で結んだことである。東京駅に於ける郵便物の受渡しにこの地下道を走る電気鉄道が威力を発揮し、当時の社会に話題をまいたそうである。

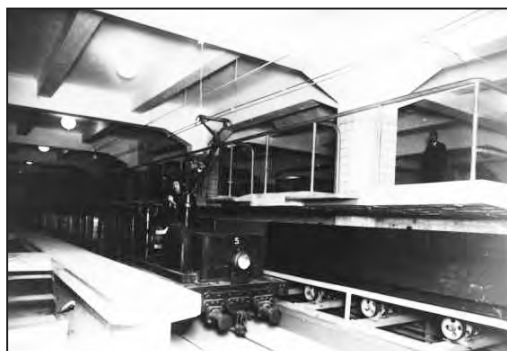
当時、地下道を走るために、トンネルは煉瓦で造られていた。

この地下道は1941年(昭和16年)廃線し、軌道は舗装して電気牽引車による輸送に切り換えし、1978年に郵便物搬送用としての使命は終了した。

この地下鉄道こそ、わが国の地下鉄道の第一号であり、歴史に残る施設であった。地下鉄を語るとき、必ずといっていいほど引合いに出されるが、多くの人に忘れ去られた施設でのひとつである。



大正4年に完成した郵便搬送用地下軌道
東京中央郵便局内1階ホーム
(通信総合博物館所蔵)



昭和8年に完成した郵便搬送用地下軌道
東京中央郵便局内中1階ホーム
(通信総合博物館所蔵)



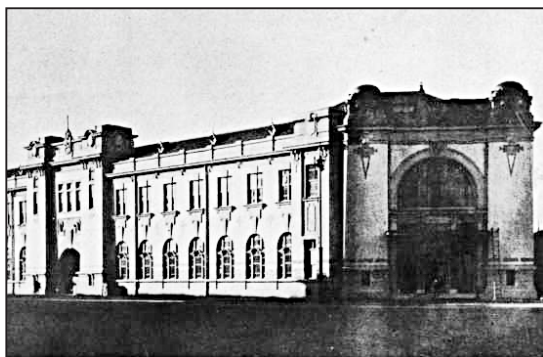
軌道廃止後の電動牽引車による郵便物搬送
(通信総合博物館所蔵)

1917年(大正6年)約2年の歳月をかけて建築中の、東京中央郵便局が完成し、4月1日から業務を開始した。外装は白色化粧煉瓦張りの木造2階建て、屋根はガラス張りのトップライト方式。

当時の見学者は「正面に立って左右を見渡せば、これが郵便局かと見疑うばかり、東京見物のもの、拍手して拝みそうな威厳ぶり。局内に入って驚いたのは、採光の妙、これだけの建物の中、暗いだろうと思っていたら案外明るい」と感想を述べている。

しかし、残念なことに大正11年1月4日局内から出火、焼失した。

午後6時50分出火、午後9時鎮火、わずか2時間でわが国郵便の中核機関が焼失した。

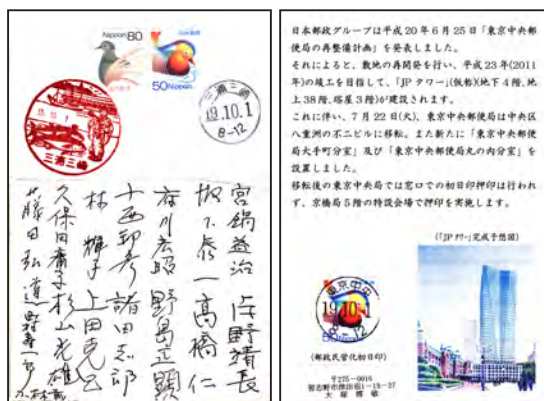


大正11年焼失した、大正6年に完成した東京中央郵便局舎
(通信総合博物館所蔵)

1927年(昭和2年)に新築工事が開始され、昭和6年12月25日竣工、昭和8年10月に諸施設が完成し、11月6日に業務を開始した。これが現在残っているJPタワーの正面である。

⑧郵便事業株式会社発足

日本郵政グループは、2007年平成19年10月1日民営化しました。くしくも、稲門フィラテリーの有志で横須賀、三浦三崎、前島密のお墓などを府川さんの案内・説明で旅行中でした。



三浦三崎局の初日印と
参加者一同の寄書き 東京中央郵便局の初日印

⑨東京中央郵便局最終営業印

2008年平成20年6月25日「東京中央郵便局の再整備計画」が発表され、現在の局舎を出来るだけ保存、再現することとしています。

新しいJPタワーは地上38階、地下4階、高さ200メートルの計画である。

この局舎での営業は7月18日(郵便は21時まで)



⑩東京中央郵便局の移転と分室の開設

平成20年7月22日、東京中央郵便局は中央区八重洲の不二ビルに移転、新たに「東京中央郵便局大手町分室」「東京中央郵便局丸の内分室」を設置しました。

日付印D欄「丸ノ内」「大手町」



日付印D欄「丸ノ内」「大手町」

東京中央郵便局丸の内分室 東京中央郵便局大手町分室

⑪JPタワーの完成と東京中央郵便局の営業開始

平成24年7月17日、風景印は初日。



参考資料

- ★稲門フィラテリー第13号
地下鉄の切手 明城與一氏
- ★稲門フィラテリー第29号
東京中央郵便局の建て替え
- ★郵便創業120年の歴史
平成3年12月25日(株)ぎょうせい
- ★東京中央郵便局沿革史
日本初の地下電車—郵便物搬送用地下軌道—
井上 卓朗
2013年3月 通信総合博物館 研究紀要 第4号

郵便秤

フランスでは 1849 年に最初の郵便切手が発行され、従来、距離や重量によって決められていた不統一料金が重量による料金に統一されました。従って、各地の郵便局や大口利用者などは秤を備える必要に迫られました。

フランス語で郵便秤、別名・書状秤は pèse-lettre と言い、骨董品として高い人気があります。専門カタログが刊行されているほどで [図 -1]、書画・骨董や郵便切手などと共に入札にも出品されます。

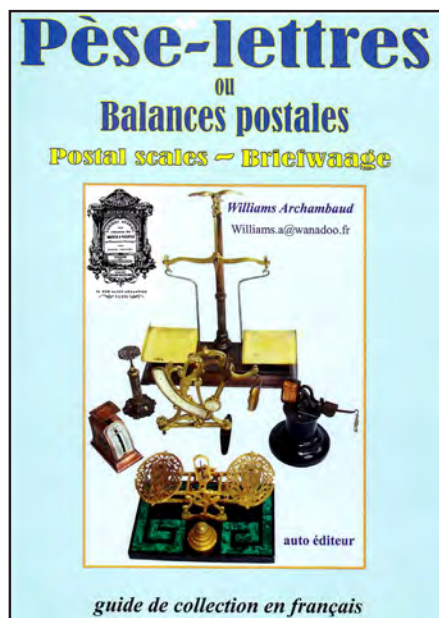


図-1 郵便秤カタログ表紙

筆者は現在 3 式を所有しています。最初に入手したのは、40 年ほど前、駐在地のアルジェリアの首都アルジェの骨董品店でした [図 2]。店主は初老のフランス婦人だったと記憶しています。

2 番目はパリ・ドゥルオー通の老舗

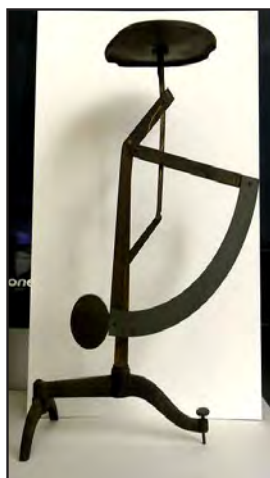


図-2 アルジェの骨董品店 図-3 パリの切手商 Roumet で入手「可動文字盤秤」 で入手「Ed.WIDMANN 秤」

Roumet 切手店でした。店内の棚に 10 数個の秤が飾っており、価格が手ごろな 1 式を購入しました [図 -3]。15 年ほど前のことでした。3 番目は、アヴィニョン Avignon 至近の骨董市で有名なリール・シュール・ソルグ l'Isle sur la Sorgue [図 -4] の露天商 [図 -5] で見つけました [図 -6]。2014 年の 8 月でした。



図-4 骨董市で有名な L'Isle-sur la Sorgue



図-5 露天商 写真手前に小包用秤が見える



図-6 リール・シュール・ソルグの露天商で
入手「Simpson Mordan 近似タイプ」

「郵便秤」はいくつかのタイプに分けられ、それぞれ名前が付けられています。主要タイプは次のとおりです。

1. Désirée Laborde 天秤 [図-7]:

Désirée Lucile LABORDE 嬢に贈与されたことからこの名がつけられました。なお、1849年に特許を取得しています。

2. Fauvel 秤 [図-8]:

1854年、Louis-Alexandre Fauvel により製造され、特許取得されました。

3. Ed. WIDMANN 秤 [図-3]:

フランス製秤は Roberval と振り子式錘を備えたタイプが主流です。

パリ在住の Ed. WIDMANN の製作と思われますが、特許は取得されていないようです。使用年代は19世紀末から20世紀初頭。

4. エッチング模様入秤 [図-9]:

郵便物を載せる受皿、目盛、座にエッチングで模様をつけた芸術品もあります。写真では分かりませんが、模様はヴォルテールの喜劇5幕を題材にしています。19世紀末から20世紀初頭に使用されました。

5. ペン置き付可動式目盛付秤 [図-10]:

このタイプの原型はスカンジナヴィアで製作。素材は真鍮。中には、図のようにペン置



図-7 Désirée Laborde 天秤

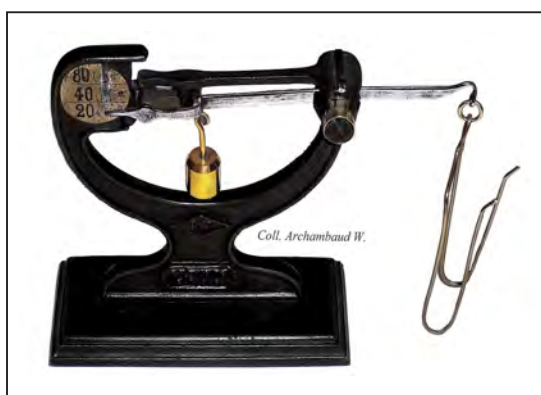


図-8 Fauvel 秤



図-9 エッチング模様入秤



図 -10 ペン置き付き可動目盛秤



図 -11 天秤原型秤

きが付いているものもあります。使用年代は20世紀初期。

6. 天秤原型秤 [図 -11]:

天秤を原型とし、被計量郵便物の重量を目盛で表し、後の一般的な秤に近い形となっています。1926年にフランスで製作された秤です。

7. 携帯用秤 [図 -12]:

1867年の万国博覧会に出品された真鍮製の携帯秤で、G.HUNDにより考案されました。1854 - 1862年にフランスで使用されていたという記録があります。

8. Roberval 秤 [図 -4]:

筆者の所有する秤もこのタイプです。英国で20世紀初頭に使用されていました。

9. 万年筆型携帯秤 [図 -13]:

英国製で1923-1940年の同国の当時の郵便料金に適用されます。その他、1932年以降に米国で使用された同様のタイプも知られています。

郵便秤の主要タイプをご紹介しましたが、この他にも多数のタイプが存在します。

(A. K)



[図 -12] 携帯用秤



図 -13 万年筆形携帯秤

POST BUS

切手収集を終わろうとした2年前、とんでもないことに気付かされた。POST BUSを移動郵便局と思いこんでいたことである。長年オーストリア切手を収集していて、「切手の日」にちなむ切手の多くにBUSが描かれていたのを移動郵便局と勝手に解釈していたのである。なんでこんなに多くの移動郵便局BUSが発車するんだろうと思いながら。ところが、ある日テレビにホルンマークをつけた豪華なBUSが乗客を乗せアルプスを走っていた。えっ！早速調べて恥ずかしくなった。POSTBUSは



移動郵便局

ヨーロッパの多くの国で路線BUSであることを知った。これには1枚のスイスの切手が影響していた。POSTBUS切手の前に大型バスの移動郵便車切手を見てしまったのがいけなかった。調べてみるとなんと多くのPOSTBUSが切手に走っていることか。ドイツ、スイス、オーストリア、北欧、ほとんどの国で走っていた。古色蒼然の車、ボンネット、箱型、トラック合体型BUSが郵便物の集配と人々の移動手段としての役割を同時に果たしていたことを描いている。2009年に英国のROYAL POSTBUSは廃止された。廃止前の地方での運行は土日を除く日の午前、午後の2回、郵便集配と乗



セルビア



チェコ



フィンランド



ベルギー



ドイツ



ハンガリー



英国



スイス



スウェーデン

ヨーロッパ各国のPOSTBUS

客輸送を行っており、乗降は任意の場で乗降可能であった。一方、大陸では企業主体は変わってもPOSTBUSは健在のようだ。それにしてもなんと多くのPOSTBUS切手がドイツ、オーストリアを中心に発行されていることか。POSTBUSのチケットも面白い、フィンランド等は切手かと思誤りそうなもの、かつてのROYALPOSTBUSにいたっては切手がチケットとして使われていた。



切手が乗車券代金



切手と混同する
北欧のPOSTBUS乗車券

ヨーロッパ以外、アジアで走っていないか。やはり少なく、それらしき1台を見つけることが出来ただけだ。それもBUSかTRACKかという車がインドを走っていた。1937年郵便の輸送というテーマで発行された8種の切手（トラ等の野生動物から身を守る槍を持った郵便配達員から飛行機）のうちの1種にROLLY（大型トラック）が走っている。このトラック、形から英国人に限定で乗客を運んでいたPOSTBUSと考えたくなる。

POSTBUSの歴史は郵便輸送手段の郵便騎手、郵便馬車は紀元前まで遡らねばならない。しかし、定期的な輸送は1490年イタリア人の



民間人タクシスがハプスブルグ家と契約し始めた郵便輸送業務運行システムが最初で、この輸送がPOSTBUSのスター



馬車

牛車

徒歩

トラック



ラクダ

航空

船舶

鉄道

1937年インド郵便手段8種を描く切手のカットとBUSを兼ねると考える大型トラック



ヨーロッパ郵便事業
500年記念切手
1990年オーストリア発行

ヨーロッパ郵便事業と考えられてるらしく、1990年オーストリアからヨーロッパ郵便事業500年を記念して郵便騎手を描いた切手が発行されている。このあたりがタクシス郵便が万国郵便連合の礎とも考えられていることを物語ってるのであろう。

タクシス郵便はタクシス家の駅制(郵便)が基本となっている。下図の様な宿駅を38km毎に設けた。これが徐々に1600年代には

トと考えられる。このタクシス郵便、現在のオランダからドイツ、オーストリアまでをカバーし、ハプスブルグ家を繁栄させた重要な情報網となったらしく、1867年プロシア政府に買い上げられるまで続いた。このタクシス郵便は最初のヨーロッパ郵便事業

15kmになり、スピードアップが図られた。この宿駅の存在は旅の姿を変えた。宿駅を利用して旅が短時間、安全、低額になったのだ。ただ当時の旅の手段は騎馬であり、POSTBUSの芽となる郵便馬車は17世紀にならないと利用できなかったようだ。また、タクシス郵便はペニーブラックに遅れること12年、1852年、私製切手も発行していた。この切手の発行を記念するタクシス郵便の郵便馬車を描いた切手がドイツから1952年に発行されている。駅制の駅舎



トウルン・ウント・タクシス
100年記念切手
1952年ドイツ発行

を描いた切手、巨万の富を得たタクシスの人物切手、更にペニーブラック125年記念にタクシス郵便切手を描くなど、ヨーロッパ大陸におけるタクシス郵便の存在の大きさを感させ、タクシス郵便馬車を今日のPOSTBUSの起源と考えさせるに十分なものである。



17世紀 ドイツバイエルン州ミュンヘン近くの
Augsburgの駅舎を描いた銅版画



フランツ・タクシス死去450年切手
1967年ドイツ発行



上記、銅版画を模したかともおもわれる
1984年ドイツ発行 切手の日の切手
タクシス郵便の郵便局



1840年世界初の切手発行125年記念する
1965年ドイツ発行の切手
ペニーブラックでなく、タクシス郵便切手を描く



トゥルン・ウント・タクシス切手3種

大陸から目をイギリスに向けてと、こちらも一人の人物によって POSTBUS の前身の郵便馬車が走り出している。表向きは郵便は馬に乗った配達夫（郵便騎手）が運ぶのが規則であった。しかし、違法であるが宿駅馬車（宿駅道路を走り運行数が多い）や駅馬車に郵便を積むことが横行していた。この実態を見て、宿駅の所有者ジョン・パーマーが、騎馬郵便配達使でなく駅馬車と郵便を一体にした馬車 (Coach) で運んだら安全、低額だと通信大臣に提案した。その結果、1784 年この郵便乗客一体馬車が時速 7 マイルで走り出した。しかし、鉄道の発達で郵便馬車は地方に限られ、自動車に引き継がれながら、1967 年公共交通機関として認められ、ランドローバー、ミニバスなど 200 位以上のルートが農村部に存在した。しかし、利用者、郵便物の減少で 2011 年には 3 つのルートが残るだけとなっていた。1985 年には郵便事業 350 年切手（15 頁左下隅）の 1 種として田舎を走る郵便バスが取り上げられていることから POSTBUS の存在は重要な郵便事業であったのであろう。

大陸での馬車の推移は国ごとに異なるようであるが、英国と異なりスイスでは民間企業として、オーストリアでは国有企業グループの一部門として公共交通機関の主要な一部門として発



Royal Mail Coach



挙手で乗車できた
Royal PostBus



1984 年発行イギリス 郵便馬車制度 200 年切手
5 種発行の内の 2 種



オーストリア 1964 年発行 UPU 会議切手

中継所で郵便馬車の
馬の付け替え作業風景

ザールバッハ郵便局と
停車中 POSTBUS

展を続けているようである。この 2 つの国と北欧で運行されているバスの車両を見ると英国とは異なり、ミニバン、ミニバスは少なく、大型バスが主体となり観光客輸送の重要な足となっており、郵便輸送は少なくなっているようである。

北欧の一部では居住地状況から POSTBUS がかなり重要な役割を果たしている。そんなバスの中、前述のインドのトラックバスとそっくりのバスがスウェーデンで走っていることを知った。その POSTBUS、半分バス、半分トラックということからスウェーデンの兎と山鳥の姿をした架空の動物 **Skvader** の愛称でよばれている車があった。



スイス、オーストリアで多く
見られるホルンマーク大型バス



スウェーデンの POSTBUS



架空の動物 **Skvader**

恥ずかしい思いをしたおかげでヨーロッパの郵便事情をすこし知ることができ、また、明治まで馬車が存在しなかった我が国の輸送システムとその背景を負った郵便事情の特異さを思った。

Y.O

参考文献

ハプスブルグ帝国の情報メディア革命
近代郵便制度の誕生 集英社

(試しに切手を黒地ではなく、光彩で囲みました。ご意見お寄せください)

10年ぶりの授業 そして「学年末考査の問題」と切手 長谷部 晃

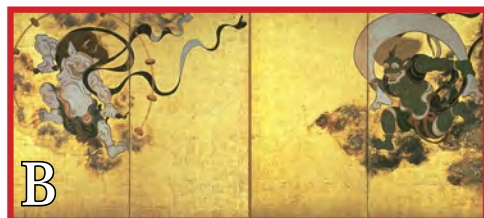
日本史 B 3 学期末考査問題

2 年 1, 2 組
2016.3.4

I 次の写真資料をみて 設問に答えなさい

- ① 写真 A は (1) 陽明門で社殿の様式は権現造で霊廟建築の代表である。
- ② 写真 B は (2) 作の「風神雷神図屏風」の一部である。
- ③ 江戸では、写真 C の作者 (3) が (4) を始めて人気をえた。

天明期の写真 D は役者絵や相撲絵の絵師で有名な (5) の作で、多色刷りの版画である。



昨年の暮れに「日本史の非常勤講師が病気で倒れ三学期の授業ができないので替わってやってもらえないだろうか」という電話があった。定年退職して14年になる。退職直後は2, 3日の非常勤講師をしたこともあるが、それから10年もたっている。この年になって非常勤講師の話が来るとは思ってもいなかった。びっくりポンというものだ。現職の時代に2回入院したこともあるので 病気

の方を思うと人ごとではない。急遽3ヶ月のリリーフ登板となった。初めての授業で教室へ行くと「Who are you?」という声がかかった。夏休みには短期留学などもある学校なのだ。(大妻嵐山中高等学校)

私が「I am Akira Hasebe. 不審者ではありません」と応えたので爆笑がわいた。好調な出だしであった。

大鏡という歴史物語がある。藤原道長の栄

華を内容とするのだが、180歳と190歳の翁が昔見聞したことを語り合うという形の物語になっている。その翁ほどではないが70過ぎのおじいさん（高校生にはおじいさんの世代だ）が語るというのも歴史というものだと授業を始めた。授業が終わった後、追いかけてきた生徒がいた。「前の先生の授業でわからなかったことがあるんですが質問していいですか」「おおいですよ。そこのコーナーで聞きましょう」廊下の隅に椅子と机のある休憩コーナーで「日本人の渡来」についてしばらく話した。「わかりました。ありがとうございました」と生徒は帰って行った。

退職以来歴史書や歴史小説もいろいろ読んできた。そして「こんなことを授業で話せたら良かった」と思うことも度々あった。それを試してみるいい機会にもなった。三学期は入試などで授業時間がかけることも多い。全部で28時間だったが無事に終了した。一番心配したのは風邪など引いて欠講にすること。病休代用が病休では様にならない。幸い風邪も引かずに過ごせた。若い子供たちの前に立ったので元気をもらったのかもしれない。2月14日の後には「バレンタインのチョコです」という贈り物もあった。貴重な経験で

した。授業を聞いていただいた皆さんありがとう。

「学年末考査の問題」と切手

28時間の授業でも学年末考査がある。授業は江戸時代の鎖国から明治維新の地租改正まで。この間の諸問題から考査問題を作る。大すじを問題にした後「これが我が人生最後のテスト問題」だから何か他人には作れないものを出してみようと考えた。100点分の10点分を、江戸時代の文化で浮世絵などが出てくるので「切手になった絵画など」を取り入れてみた。そこでできた問題が前掲のようなもの。

いずれも切手の題材になったもの。切手は次の通りです。写真Bの風神図は通常切手で単色（改版で2色）だが外は多色刷りで広く知られている。

テスト問題にも教員の好みの部分があっていいのだと思う。授業の中身は教員の独壇場なのだから。ましてや「これが最後」ということであれば許してもらえらるであろう。おまけにパソコンで多色刷りが簡単にできるのだから。最初で最後の色刷りのテスト問題ともなった。



テレビに映った 会員二人

2016年3月5日夜TBSで放送された「TBS世界ふしぎ発見」の番組に橘会員と故金井会員の姿が見られました。連絡が徹底せず見逃した方が多かったと思います。紙面では不十分ですが再放送させていただきます。

番組はその一部を「幻の切手ブルーモーリシャス 日本とつながる宝物」をテーマにクイズを交えて金井コレクションを中心にモーリシャス(島)を紹介した15分程のものです。

まず、絶滅した鳥ドードー。切手に多く描かれモーリシャスに生息、絶滅したと見られるドードーが長崎に運ばれてきていた形跡のあることを中心にドードーを解説。



次に、本題のブルーモーリシャスを話が及ぶ。モーリシャスが所有する2枚の切手からブルーモーリシャスを紹介。500枚しか発行されず27枚しか現存せず希少性が高く、競売等で高額で英国王室等に落札されたことを紹介。



更に、ブルーモーリシャスを6枚落札所有した日本人 ヒロユキ カナイ フロム オオサカとして故金井会員の蒐集活動を話題に。



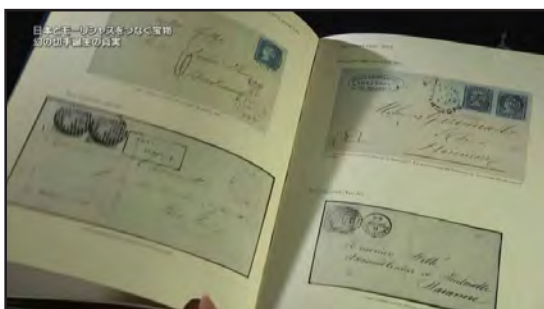
画面は有馬切手文化博物館に。故金井会員がブルーモーリシャスを所有した理由を切手が歴史学等の研究対象になることと、研究対象としての使用済み切手及び封書の価値を、橘会員が、切手リーフをバックに説明。



最後はブルーモーリシャスの持つ歴史的話。モーリシャスが列強争奪の島になり、当初の仏領から英領に変わった。英仏間の緊張感が広がる両国の住民の友好を図るため、英総督婦人が舞踏会を企画。その招待状を英仏両国の貴族に送付するために英国植民地最初の切手が発行された。その制作過程で POST PAID が POST OFFICE と間違っ て刻印され、そのため 1 年間しか使用されなかったという事を紹介。



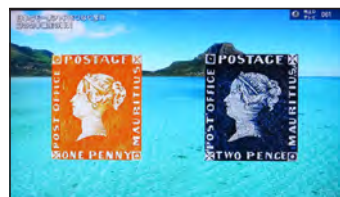
故金井会員がこの歴史的なブルーモーリシャスと他のモーリシャス切手の資料を交えて研究し、著書「Classic Mauritius」にその成果をロンドンから出版したことを紹介。



著書出版後、故金井会員はすべてのモーリシャス切手を手放し、そのうちの 2 枚がモーリシャスの宝としてモーリシャスが所有し大切に保管しているという。

後日、橘会員より次のような話が寄せられました。

当時の郵便規則上は POST OFFICE という刻



印は間違いではなく、後の規則変更からエラーとして面白く伝わった。また、ブルーモーリシャスを 6 枚手に入れた理由は未使用、使用済み、エンタイヤという切手蒐集の基本を行ったにすぎない。さらに 6 枚をすべて手放したのはモーリシャス切手研究でグランプリ・ド・ヌール (GRAND PRIX D'HONNEUR) という最高の評価を得たので、研究対象変更を考慮したためである。著書「Classic Mauritius」は Stanley Gibbons 社から出版されたこと等を話したが番組では触れられなかった。モーリシャスにある 2 枚の切手は銀行等の出資で建てられたブルーペニー博物館に収蔵されているという。

(編集子)

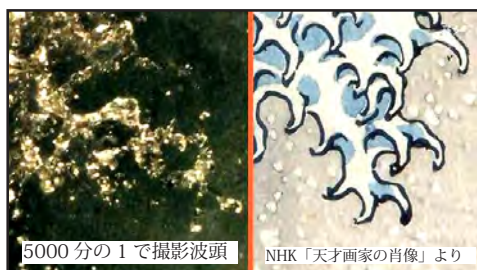
TV 画面画像は野島会員から提供いただきました。

切手の中の浮世絵



初の浮世絵グリーティング切手
北斎「神奈川沖浪裏」の波頭

3月、浮世絵がここまで遊ばれるかと思わせる切手を目にして、切手に使用された浮世絵を調べた。大和絵、錦絵とその違いは判然としない



5000分の1で撮影波頭

NHK「天才画家の肖像」より

グレートウェーブと称される「神奈川沖浪裏」の1/5000秒でしか捕えられない北斎の観察眼のすばさを示しているという波頭は金箔切手になってしまった。単片切手になって北斎が喜ぶであろうか。

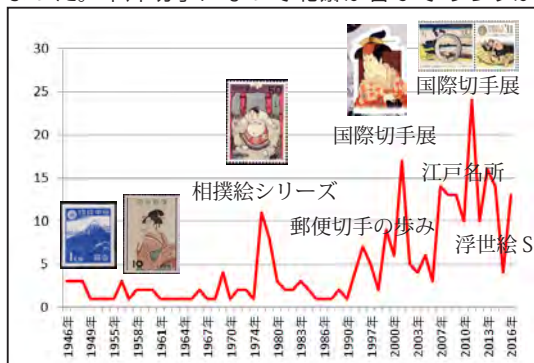


図1 浮世絵切手の発行種類数の推移

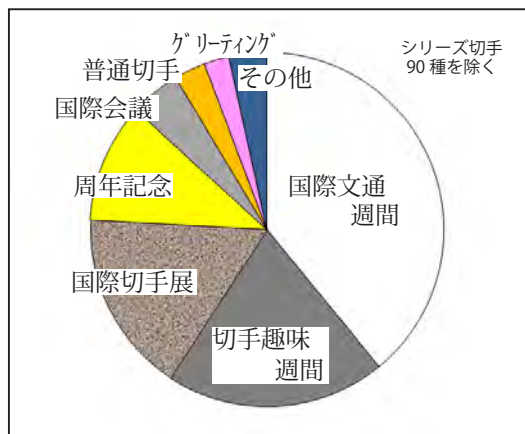


図2 浮世絵切手の発行目的別割合

が整理してみた。特殊切手を中心に276種の切手が浮世絵を使用していた。発行推移は図1のようにバラツキはあるが徐々に増えている。国際切手展とシリーズ切手の発行がその因となっている。発行目的別に全体を整理してみると、40%が一連の浮世絵シリーズ切手であった。残りの60%・186種を発行目的別に整理すると図2のように、郵趣関係の発行が浮世絵切手の75%を占めており、見返り美人に始まった浮世絵の切手趣味の世界での位置、役割が今日まで継続しているのかと考えた。

そこで切手趣味、国際文通週間切手の中で浮世絵がどう使用されてきたかを整理した。

まず、国際文通週間切手は58年間158種が発行されてきた。その中で2006～8年のグリーティング切手を兼ねた37種を除いた121種を内容別に発行の推移を見たのが図3である。多くの種類の文化財が使用されており、浮世絵が広重、北斎の風景画を中心に60%を占めており、横長切手には風景画浮世絵にせざるを得ない面がどの程度影響しているか興味深い。中で広重の五十三次切手が年を置いて間歇的に全体の35%をしめていた。

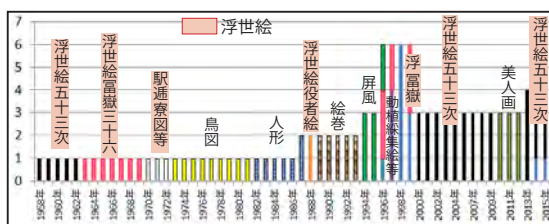


図3 世界文通週間切手になった文化財の推移

次に、切手趣味週間切手は64年間130種が発行され、その内容別発行推移が図4である。発行種、切手内容ともに文通週間とはかなり異なり、発行種は少なく、国内使用を考慮してか趣味週間は近代絵画が多く、浮世絵は少なく、その内容も風景画でなく美人画が多くなっており、広重、北斎の絵も僅か1種しか発行されていない(月に雁、山下白雨)。この、海外、国内を考慮した2種の記念切手発行を考える参考に発行件数(年)別対象割合比較図を図5に整理した。浮世絵

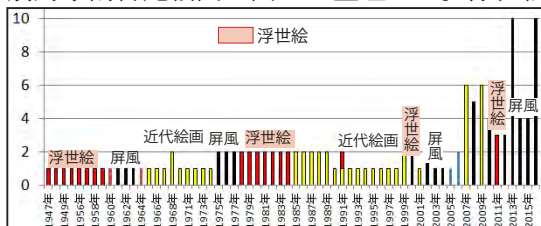


図4 切手趣味週間切手になった文化財の推移

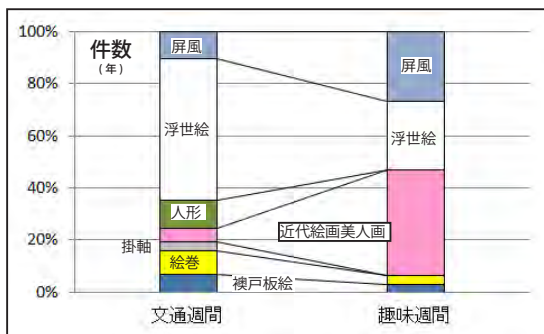


図5 文通週間、趣味週間切手使用文化財の件数比較が海外を意識して切手に採用されていることが明らかに示されている。

次に、絵師と絵で整理した結果が表1,2である。70%が広重、北斎、歌麿、写楽の4人の絵師の絵であり、かなり偏っている。更に、広重の風景画が69種もあり、浮世絵切手全体の4分の1を占めていた。これは広重の六十余州名所図会が横長でなく、縦長の一般的な浮世絵のサイズであることが影響しているのであろう。一方、北斎の絵は複数の切手になっているものが多く、21の絵が43の切手になり、他の絵師とは異なっており、特に富嶽三十六景の「神奈川沖浪裏」、「凱風快晴」、

表1、2 切手描かれた絵と絵師

	絵数
広重	101
北斎	43
歌麿	28
写楽	23
3代目広重	7
菊川英山	7
鳥居清長	7
菱川師宣	6
歌川豊国	5
鈴木春信	4
歌川国政	3
鳥高斎栄昌	3
豊原国周	3
伊藤芳邨	2
歌川国貞	2
懷月堂安度	2
橋本周延	2
香蝶桜豊国	2
西川佑信	2
鳥文斎榮之	2
梅堂国政	2
勝川春章	1
翠園堂春信	1
不明	16
総計	276

絵名	数	
富嶽三十六景	36	北斎
東海道五十三次	48	広重
六十余州名所図会	21	広重
合計	105	
見返り	6	師宣
山下白雨	6	富嶽
凱風快晴	6	富嶽
神奈川沖浪裏	5	富嶽
甲州三坂水面	2	富嶽
甲州三島越	2	富嶽
上総の海路	2	富嶽
程ヶ谷	2	富嶽
武州千住	2	富嶽
隅田川関屋の里	2	富嶽
尾州不二見原	2	富嶽
葦の上の鳥たち	3	北斎
ピードロ	3	歌麿
市川高麗蔵	3	豊国
月に雁	3	広重
日本橋	2	五十三次
由井	2	五十三次
箱根	2	五十三次
日本橋	2	五十三次
小田原	2	五十三次
周防岩国錦帯橋	2	六十余州
海老蔵	2	写楽
岩井半四郎	2	写楽
大谷鬼次	2	写楽
岩井条三郎	2	国政
雨中湯帰り	2	清長
総計	69	



「山下白雨」の多さが目立ち、これらはシート余白にも使用され、更に、次期旅券の査証ページに使用されることと、図6の内容も含め他の絵師にも増して対外的に存在感をもつ浮世絵師と位置づけられるかと考えられる。

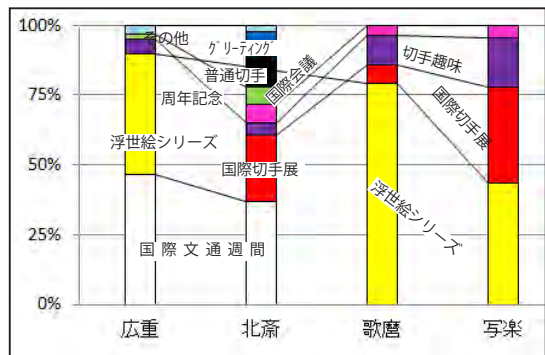


図6 絵師別使用切手発行目的別割合

次に、4人の絵師の絵の使用のされ方を整理すると図6のように北斎が多くの目的に使用されながら、浮世絵シリーズに無いのは縦の絵が少ないからであろうか。広重は風景浮世絵の使用目的限定の結果である。

最後に、この整理作業のきっかけになったデフォルメという観点でいくつかその原画と切手を比較して、浮世絵が今後どのように切手に使用されるか考えてみたい。(編集子)



幹事会報告 3月5日

1. 花本先生叙勲祝賀会について
叙勲祝賀会を10月総会時に行う。
池澤、木元会員に準備をお願いする。
2. 切手教室、常設展について
予定を確認

幹事会報告 4月2日

1. 花本先生叙勲祝賀会について
担当池澤会員より企画提案書
10月23日(日)総会(祝賀会場・高田牧舎)で行い、花本先生経歴紹介、先生の記念講演、授賞式関連資料の配布・展示等を予定
準備：プレゼン機材手配、講演内容資料・経歴資料作成、一部紙資料を電子資料に変換考慮

2. 7月切手教室

「世田谷郵趣会の歴史について」

野口 喜義(世田谷郵趣会)

3. 関東郵趣連盟総会」出席について

3月12日(土)荒木会員出席。全議案承認、宮鍋会員も含め役員全員が留任。

★切手教室

新宿北郵便局

第123回 4月2日

ムーミン切手 木村正裕氏(外部講師)

第124回 6月4日

切手が語るスペイン現代史話ー内戦勃発80年ー
安西修一郎氏(外部講師)

★稲門フィラテリー常設展 新宿北郵便局

第36回 6月5日から 9月初め

新宿北郵便局40年記念



編集後記

本会報から吉澤会員のお力が得られなくなりました。誤字、脱字、文章表現の誤りの指摘から、歴史、地理、時事等の幅広い知識からの助言まで、編集幹事だけでなく、何人の寄稿者が恥をかかずに済んだことか、厚くお礼を申し上げます。残されし教養・品性なき二人の編集幹事が今までの稲門フィラテリーの品位を維持できるか不安です。会員皆様からの腹藏なきご批判とご指導をお願いします。

発行日：2016年6月1日

発行：稲門フィラテリー

発行人：磯野 昭彦

〒150-0002

渋谷区渋谷1-11-3 正栄ビル4階

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：吉澤 忠一 青柳 次男

小川 義博